道東自動車道　トマム南富良野地区下部工工事

設　計　図
（橋　梁　工）
トマム川橋
下部工

令和７年３月

東日本高速道路株式会社
北海道支社　帯広工事事務所

＜目　次＞
（橋梁工）
トマム川橋（下り線）
下部工(1/2)

図面番号	図面名称	縮尺	備考
1～2	数量総括表（その１）～（その２）	―	
3～5	全体一般図（その１）～（その３）	図示	
6	下部工座標図	1:500	
7～9	Ａ１橋台構造一般図（その１）～（その３）	図示	
10	Ｐ１橋脚構造一般図	図示	
11	Ｐ２橋脚構造一般図	図示	
12～14	Ａ２橋台構造一般図（その１）～（その３）	図示	
15	Ｐ１橋脚オープンケーソン構造一般図	図示	
16	Ｐ２橋脚オープンケーソン構造一般図	図示	
17～32	Ａ１橋台配筋図（その１）～（その１６）	図示	
33～37	Ｐ１橋脚配筋図（その１）～（その５）	図示	
38～42	Ｐ２橋脚配筋図（その１）～（その５）	図示	
43～66	Ａ２橋台配筋図（その１）～（その２４）	図示	
67	Ａ１橋台場所打ち杭配筋図	図示	
68～69	Ａ２橋台場所打ち杭配筋図（その１）～（その２）	図示	
70～78	Ｐ１橋脚オープンケーソン配筋図（その１）～（その９）	図示	
79	Ｐ１橋脚オープンケーソン止水壁詳細図	図示	
80	Ｐ１橋脚オープンケーソン刃口金物図	図示	
81	Ｐ１橋脚オープンケーソン頂版支保工図	図示	
82	Ｐ１橋脚オープンケーソン圧入架台図	図示	

＜目　次＞
（橋梁工）
トマム川橋（下り線）
下部工(2/2)

図面番号	図面名称	縮尺	備考
83	Ｐ１橋脚オープンケーソン圧入装置図	図示	
84	Ｐ１橋脚オープンケーソン圧入反力用アンカー図	図示	
85	Ｐ１橋脚オープンケーソン注入配管図	1:250	
86～94	Ｐ２橋脚オープンケーソン配筋図（その１）～（その９）	図示	
95	Ｐ２橋脚オープンケーソン止水壁詳細図	図示	
96	Ｐ２橋脚オープンケーソン刃口金物図	図示	
97	Ｐ２橋脚オープンケーソン頂版支保工図	1:250	
98	Ｐ２橋脚オープンケーソン圧入架台図	図示	
99	Ｐ２橋脚オープンケーソン圧入装置図	1:250	
100	Ｐ２橋脚オープンケーソン圧入反力用アンカー図	図示	
101	Ｐ２橋脚オープンケーソン圧入配管図	1:250	
102	Ａ１橋台裏込め工詳細図	図示	
103	Ａ２橋台裏込め工詳細図	図示	
104	はく落防止対策工詳細図	1:250	
105～109	Ａ１橋台仮設土留め工詳細図（その１）～（その５）	図示	
110	Ｐ１橋脚仮設土留め工詳細図	図示	

トマム川橋　数量総括表（その1）

下部工数量総括表（下部工施工）

項目	種　別		単位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	A2橋台	合計	摘　要
構造物掘削	普　通　部		m^3				344.8	344.8	土砂B
	特　殊　部		m^3	768.5	431.3	370.9		1570.7	土砂B
埋戻し			m^3	99.4	128.9	128.9	136.7	493.9	
構造物裏込め工	裏込め工A		m^3					0.0	
	裏込め工B		m^3	312.6			42.7	355.3	
基礎材	B2		m^3	17.7			19.4	37.1	C-40
刃口用金物			t		5.953	5.953		11.906	
滑材注入量			m^3		44.9	43.8		88.7	
ｺﾝﾀｸﾄｸﾞﾗｳﾄ			m^3		10.7	10.7		21.4	
コンクリート	A1-3	躯体	m^3	227.2	90.0	90.0	288.5	695.7	σck=30N/mm2
		合計	〃	227.2	90.0	90.0	288.5	695.7	〃
	B1-2(A)	ケーソン躯体	〃		654.4	654.4		1308.8	σck=30N/mm2
		ケーソン頂版	〃		265.9	265.9		531.8	〃
		合計	〃		920.3	920.3		1840.6	〃
	B2-1	フーチング	〃	184.9			192.5	377.4	σck=24N/mm2
		合計	〃	184.9			192.5	377.4	〃
	D1-1	均しコンクリート	〃	8.9			9.7	18.6	σck=18N/mm2
		合計	〃	8.9			9.7	18.6	〃
	X1-1	底版コンクリート（水中コンクリート）	〃		221.9	221.9		443.8	σck=30N/mm2
		合計	〃		221.9	221.9		443.8	〃
型わく	C	躯体・底版	m^2	300.7	66.0	66.0	584.0	1016.7	
		ケーソン躯体・頂版埋設部	m^2		1026.3	1026.3		2052.6	
	C（A）	ケーソン躯体・頂版埋設部	m^2		44.2	44.2		88.4	
	D	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	m^2	4.1			4.2	8.3	
鉄筋工	A　躯体 底版	D13	t				0.013	0.013	SD345
		D16～D25	〃	3.169	5.871	5.871	5.112	20.023	〃
		D29～D32	〃	5.898			13.691	19.589	〃
		D35	〃	6.450			3.138	9.588	〃
		D38	〃				15.341	15.341	〃
		計	〃	15.517	5.871	5.871	37.295	64.554	〃
	B　躯体	D13	〃					0.000	〃
		D16～D25	〃					0.000	〃
		D29～D32	〃					0.000	〃
		D35	〃					0.000	〃
		D38	〃					0.000	〃
		D51	〃					0.000	〃
		計	〃					0.000	〃
	C　躯体 底版	D13	〃					0.000	〃
		D16～D25	〃	0.933	1.860	1.860	0.373	5.026	〃
		D29～D32	〃					0.000	〃
		計	〃	0.933	1.860	1.860	0.373	5.026	〃
	A(E)　躯体 底版	D13	t	0.051			0.679	0.730	SD345（エポキシ樹脂塗装鉄筋）
		D16～D25	〃	4.751			8.466	13.217	〃
		D29～D32	〃	4.366			5.992	10.358	〃
		D35	〃				0.369	0.369	〃
		D38	〃	1.724				1.724	〃
		計	〃	10.892			15.506	26.398	〃
	B(E)　躯体	D13	〃					0.000	〃
		D16～D25	〃	0.030				0.030	〃
		D29～D32	〃					0.000	〃
		D35	〃	2.500				2.500	〃
		D38	〃	1.987				1.987	〃
		D51	〃					0.000	〃
		計	〃	4.517				4.517	〃
	C(E)　躯体 底版	D13	〃	0.022				0.022	〃
		D16～D25	〃	0.896			0.974	1.870	〃
		D29～D32	〃					0.000	〃
		計	〃	0.918			0.974	1.892	〃
	(SD345)鉄筋質量	躯体・底版	〃	32.777	7.731	7.731	54.148	102.387	
	B(H)(E)　躯体	D13	〃					0.000	SD490（エポキシ樹脂塗装鉄筋）
		D16～D25	〃					0.000	〃
		D29～D32	〃					0.000	〃
		D35	〃					0.000	〃
		D38	〃					0.000	〃
		D51	〃		15.444	15.444		30.888	〃
		計	〃		15.444	15.444		30.888	〃
	躯体・底版	合計	〃	0.000	15.444	15.444	0.000	30.888	〃

項目		種　別	単位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	A2橋台	合計	摘　要
場所打ち杭		φ1200　杭長（全長）	m	144.0			152.0	296.0	
		本数	本	12			8	20	
		N値＜50 土砂 掘削長	m/本	12.576			18.272		
		軟岩 掘削長	m/本	1.953			2.528		
		計	m/本	14.529			20.800		
		掘削土量	m^3	197.016			188.032	385.048	
		埋戻し土量	m^3	13.176			3.400	16.576	
		残土	m^3	183.840			184.632	368.472	
鉄筋工	A　杭	D13	t		0.410	0.410		0.820	SD345（1基あたり）
		D16～D25	〃	1.092	34.754	34.754	1.056	71.656	〃
		D29～D32	〃		7.400	7.400		14.800	〃
		D35	〃					0.000	〃
		D38	〃		4.332	4.332		8.664	〃
		D41	〃					0.000	〃
		D51	〃		16.032	16.032		32.064	〃
		計	〃	1.092	62.928	62.928	1.056	128.004	〃
	B　杭	D13	t					0.000	SD345（1基あたり）
		D16～D25	〃					0.000	〃
		D29～D32	〃		20.210	20.210		40.420	〃
		D35	〃					0.000	〃
		D38	〃		6.501	6.501		13.002	〃
		D41	〃					0.000	〃
		D51	〃		11.424	11.424		22.848	〃
		計	〃		38.135	38.135		76.270	〃
	C　杭	D13	t					0.000	SD345（1基あたり）
		D16～D25	〃		8.051	8.051		16.102	〃
		D29～D32	〃					0.000	〃
		D35	〃					0.000	〃
		D38	〃					0.000	〃
		D41	〃					0.000	〃
		D51	〃					0.000	〃
		計	〃		8.051	8.051		16.102	〃
	Y　杭	D13	〃	0.156			0.096	0.252	〃
		D16～D25	〃	5.940			11.144	17.084	〃
		D29～D32	〃	21.408			10.648	32.056	〃
		D35	〃					0.000	〃
		D38	〃					0.000	〃
		計	〃	27.504			21.888	49.392	〃
	杭	合計	〃	28.596	109.114	109.114	22.944	269.768	〃
	A(H)　杭	D13	t					0.000	SD490（1基あたり）
		D16～D25	〃					0.000	〃
		D29～D32	〃		4.654	4.654		9.308	〃
		D35	〃					0.000	〃
		D38	〃					0.000	〃
		D41	〃					0.000	〃
		D51	〃		27.040	27.040		54.080	〃
		計	〃		31.694	31.694		63.388	〃
	杭	合計	〃		31.694	31.694		63.388	
オープンケーソン	圧入ケーソン沈下	砂質土	m^3		1102.3	1250.4		2352.7	
		粘性土、礫質土	m^3		1118.5	924.3		2042.8	
		合計	m^3		2220.8	2174.7		4395.5	
	圧入ケーソンアンカー工	砂質土、粘性土　Φ146　二重管削孔方式	m		99.9	113.4		213.3	ロータリーパーカッション クローラー型
		礫質土　Φ146　二重管削孔方式	m		236.1	214.6		450.7	ロータリーパーカッション クローラー型
		合計　Φ146　二重管削孔方式	m		336.0	328.0		664.0	ロータリーパーカッション クローラー型
	ＰＣ鋼より線	SWPR19　Φ21.8　設計荷重2000<f≦3000kN	kg		6798.7	6639.9		13438.6	
	グラウト注入	セメントペースト	m^3		11.3	11.0		22.3	
	アンカー定着具	シングルストランド　後付用　1T21.8	組		64	64		128	

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 数量総括表（その1）		
縮　　尺	――	図面番号	1 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

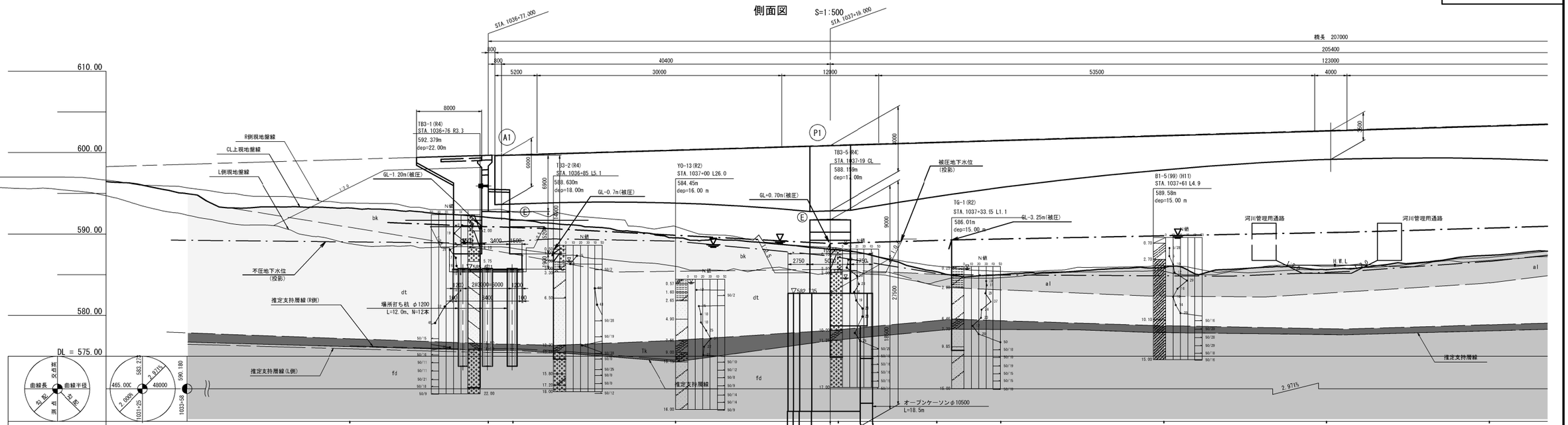
下部工数量総括表(下部工施工)

項目			種　別	単位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	A2橋台	合計	摘　要
躯体	鉄筋工(SD345)	機械式鉄筋定着工法	D16	箇所	30			130	160	
			D22	〃	145	120	120		385	
			計	〃	175	120	120	130	545	
			D13	〃	36				36	SD345(エポキシ樹脂塗装鉄筋)
			D16	〃	26			348	374	〃
			D19	〃	96				96	〃
			D22	〃				90	90	〃
			計	〃	158			438	596	〃
基礎工	鉄筋工(SD345)	機械式継手	D29～D32	箇所		504	504		1008	
			D38	〃		48	48		96	
			D51	〃		48	48		96	
			計	〃		600	600		1200	
		機械式鉄筋定着工法	D16	箇所		3318	3318		6636	
			D19	〃		48	48		96	
			計	〃		3366	3366		6732	
はく落防止対策工			連続繊維シート	m^2				114.9	114.9	

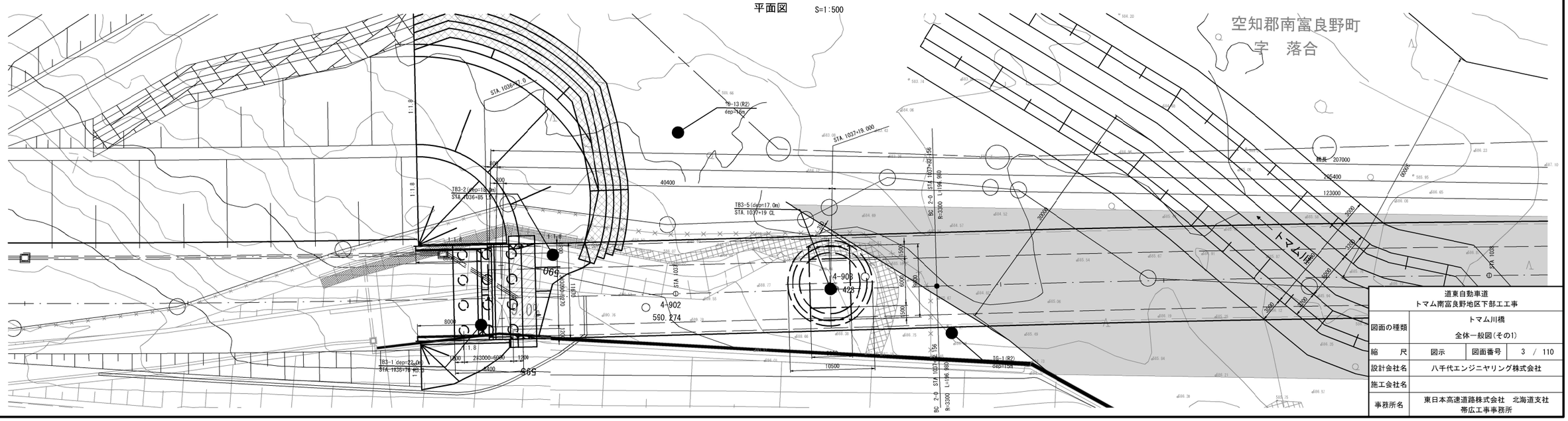
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 数量総括表(その2)		
縮　　尺	――	図面番号	2 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　全体一般図(その1)

側面図　S=1:500



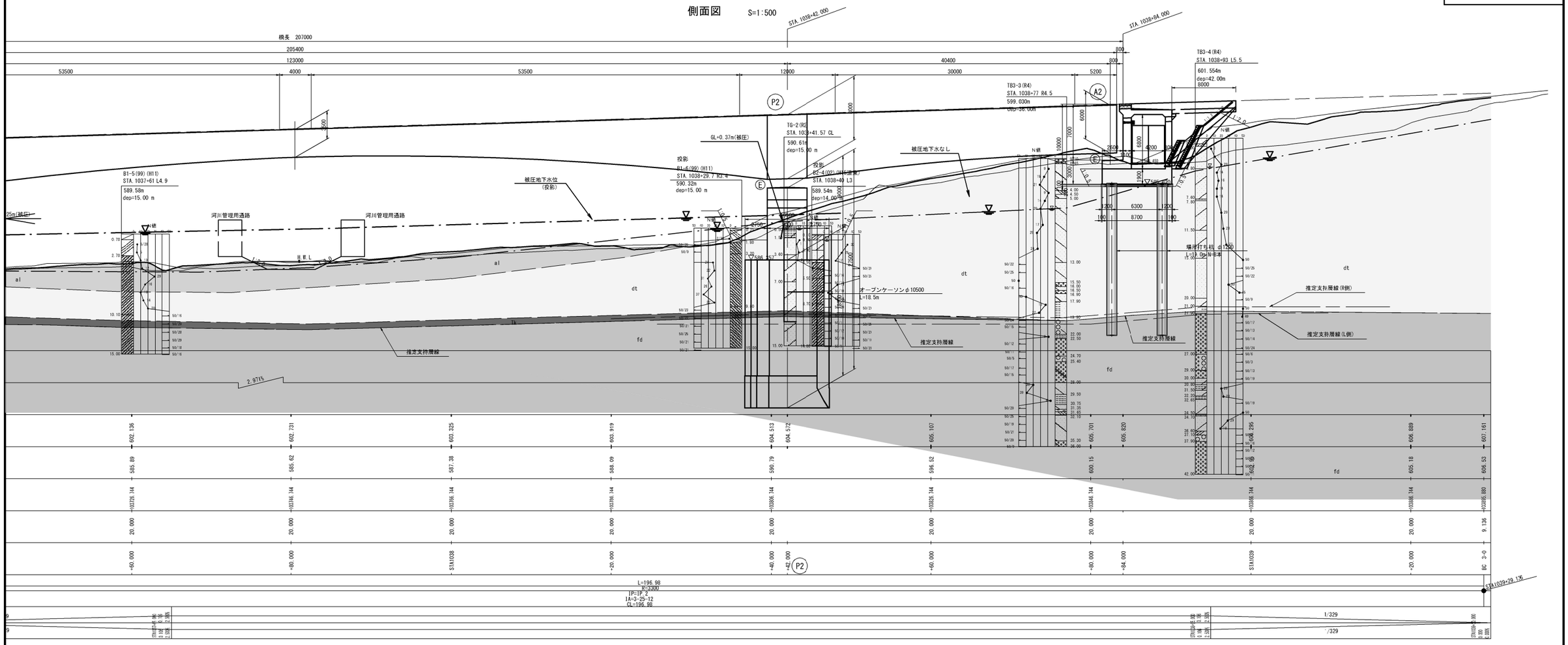
平面図　S=1:500



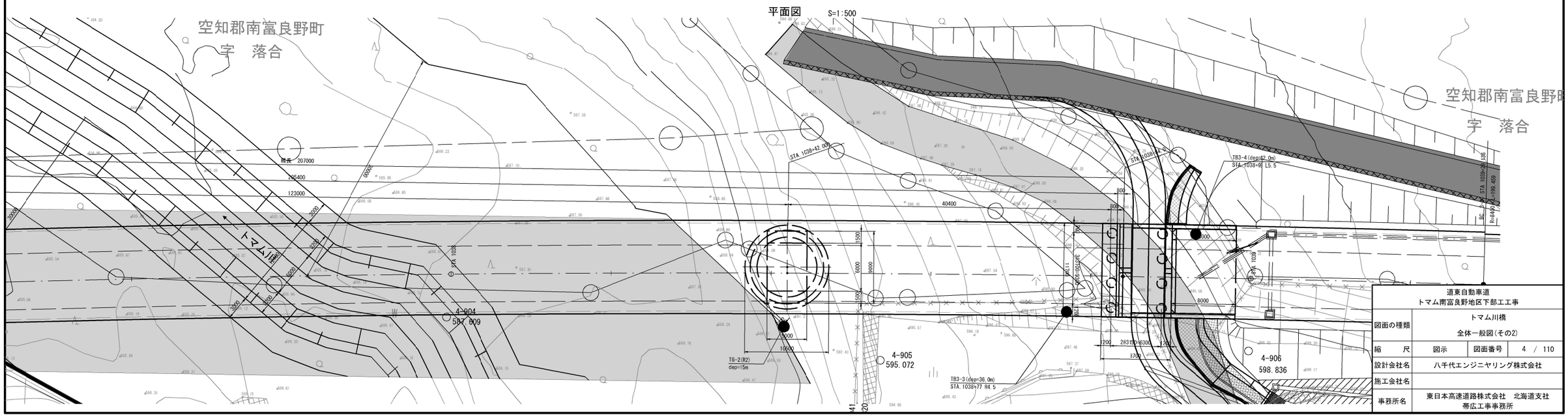
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事	
図面の種類	トマム川橋 全体一般図(その1)
縮　尺	図示
図面番号	3 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所

トマム川橋　全体一般図(その2)

側面図　S=1:500



平面図　S=1:500

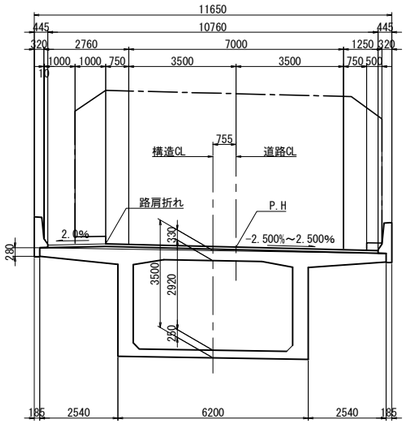


道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 全体一般図(その2)		
縮　尺	図示	図面番号	4 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　全体一般図(その3)

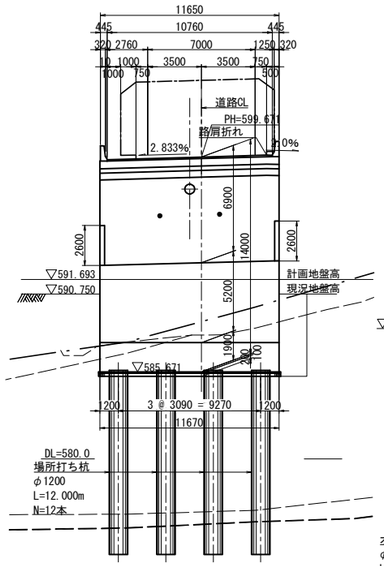
上部工標準断面図　S=1:200

Ⅱ期線
下り線
中央径間部

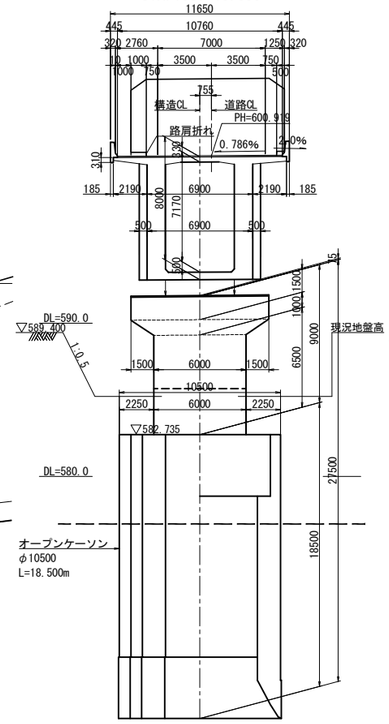


下部工正面図　S=1:400

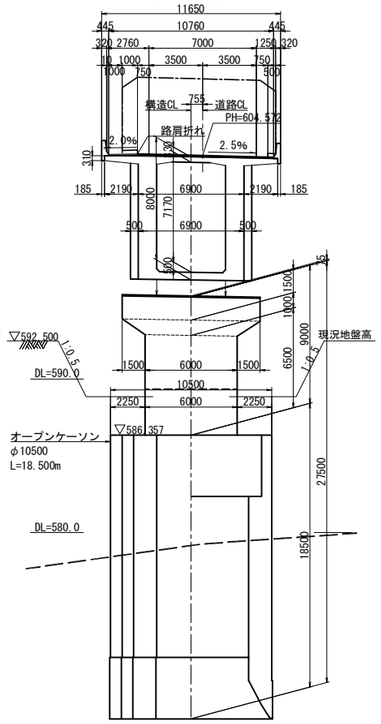
A1橋台
Ⅱ期線
下り線
STA. 1036+77.000



P1橋脚
Ⅱ期線
下り線
STA. 1037+19.000



P2橋脚
Ⅱ期線
下り線
STA. 1038+42.000



設　計　条　件

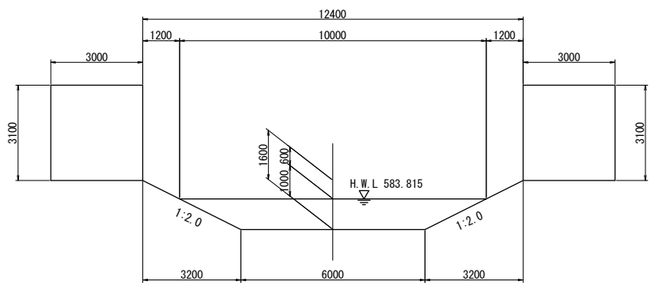
基本条件	道路規格		第1種第2級	設計速度	V=100km/h
	計画交通量		8808台/日(トマム～十勝清水)		
	大型車計画交通量		2096台/日		
	橋の重要度		B種の橋		
	橋長		207.000m(道路中心線上)	桁長	205.400m(道路中心線上)
	支間長		40.400m＋123.000m＋40.400m(道路中心線上)		
	幅員構成		地覆+左路肩+車道+右路肩+地覆		
	線形条件	平面線形	A=440m～R=3300m		
		縦断勾配	2.971% ↗ ～		
		横断勾配	2.500%↗～0.000%～↘2.500%		
	斜角		右90° 0′ 0″		
	死荷重		遮音壁(飛雪防止柵) 1.45kN/m		
	活荷重		B活荷重		
	舗装構成		車道部:アスファルト舗装:t=80mm		
	地域区分		B2地域　(北海道勇払郡) C_z=0.85　C_{IIz}=1.0　C_{IIIz}=0.85		
	耐震条件	耐震性能	レベル1:耐震性能1	レベル2:耐震性能2	
		設計水平震度		レベル1	レベル2(ﾀｲﾌﾟⅠ) / レベル2(ﾀｲﾌﾟⅡ)
			橋軸方向	0.21	0.77 / 0.73
			直角方向	0.20	0.78 / 0.74
		固有周期		レベル1	レベル2(ﾀｲﾌﾟⅠ) / レベル2(ﾀｲﾌﾟⅡ)
			橋軸方向	1.33	1.97 / 2.04
			直角方向	1.41	1.95 / 2.03
	支承条件			レベル1	レベル2
		橋軸方向	端支点	E	E
			中間支点	E	E
		直角方向	端支点	E	E
			中間支点	E	E
	地盤種別		Ⅰ・Ⅱ種混合地盤		
	交差条件		トマム川、A2橋台管理用通路		
上部工	上部工形式		3径間連続PC箱桁(張出架設)		
	床版		PC床版　t=330mm		
	防護柵	外側	フロリダ型壁高欄(Ⅱ種)		
		中分帯	-		
	添架物		路面排水管		
	使用材料	主要鋼材			
		PC鋼材	SWPR19BL 19S15.2、12S15.2、SWPR19L 1S28.6		
		コンクリート	σck=40 N/mm2、σck=30 N/mm2(地覆)		
		鉄筋	SD345、SD490		
	支承形式		免震支承		
	架設工法		張出架設		
	防食方法		-		
下部工	下部工形式		橋台:逆T式橋台(A1)、ラーメン式橋台(A2)　　橋脚:張出式橋脚(P1、P2)		
	支持地盤		fd層以深		
	使用材料	コンクリート	橋台:σck=30 N/mm2(躯体)、σck=24 N/mm2(フーチング) 橋脚:σck=30 N/mm2(柱)σck=30 N/mm2(柱上部工施工分) σck=24 N/mm2(フーチング)		
		鉄筋	橋台:SD345(躯体、フーチング) 橋脚:SD490、SD345		
	裏込土	単位体積重量	γ＝19 N/mm2		
		内部摩擦角	φ＝30°		
	上載土	単位体積重量	-		
基礎工	基礎工形式		橋台:場所打ち杭(φ1200) 橋脚:圧入オープンケーソン基礎(φ10500)		
	使用材料	コンクリート	σck=24 N/mm2(底版コンクリート)、σck=30 N/mm2(底版コンクリート以外)		
		鉄筋	SD490、SD345		
適用基準			道路橋示方書・同解説Ⅰ～Ⅴ(平成29年11月)		
			設計要領第二集(H28年8月)		
			設計要領第四集(R5年7月)		
維持管理条件			高耐久道路の建設に向けたガイドライン、東日本高速道路、令和2年12月		

地質凡例

地質時代			地質名	記号	地質構成
新世代	第四紀	完新世	盛土	bk	礫・砂・シルト・粘土
			現河床堆積物・氾濫原堆積物		円礫・砂
		更新世	岩屑堆積物・山麓緩斜面堆積物	dt	礫・砂・シルト・粘土
			十勝火砕流堆積物		火山灰・軽石・礫・砂・シルト
			古期扇状地堆積物	fd	礫・砂・粘性土

交差条件

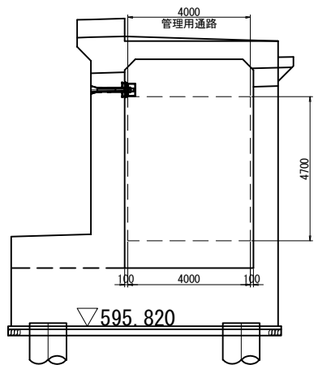
普通河川トマム川　S=1:200
計画河川断面



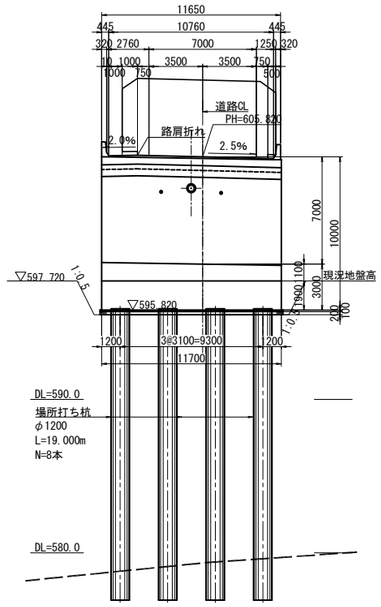
計画流量　Q=45m³／sec

A2橋台　管理用通路

S=1:200



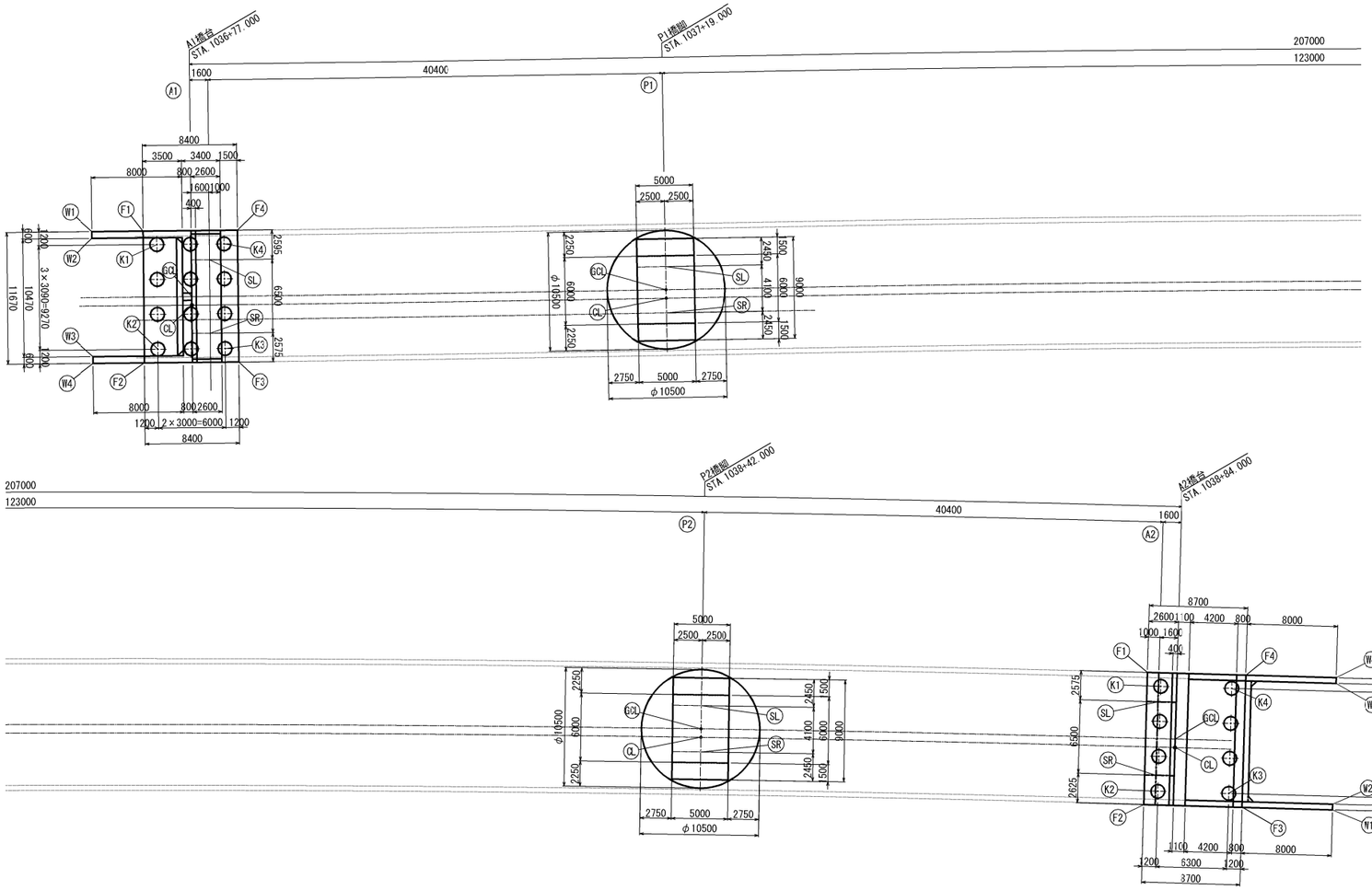
A2橋台
Ⅱ期線
下り線
STA. 1038+84.000



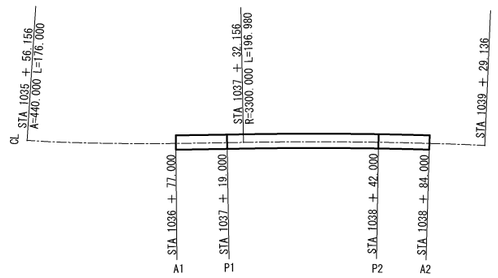
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 全体一般図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	5 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　下部工座標図

S=1:500



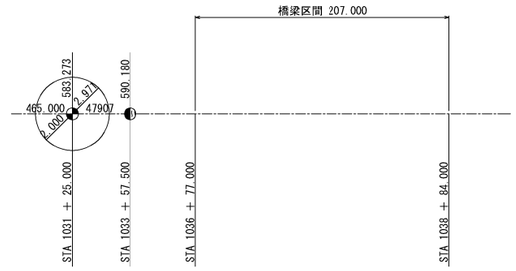
平面線形



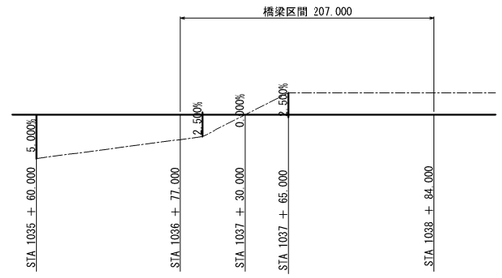
主要点座標及び座標系

測点	X 座標	Y 座標	要素
1035 ＋ 56.156	-106066.2655	34560.6749	A= 440.000
1037 ＋ 32.156	-105980.7976	34714.4722	R= 3300.000
1039 ＋ 29.136	-105885.6766	34886.9294	

縦断線形



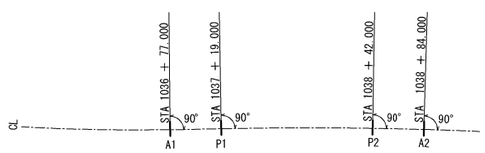
横断線形



下部工座標値

位置	番号	A1		P1		P2		A2	
		X	Y	X	Y	X	Y	X	Y
道路中心	CL	-106008.7410	34666.9188	-105987.4907	34703.1461	-105926.4836	34809.9426	-105906.5606	34846.9162
構造物中心	GCL	-106008.0881	34666.5397	-105986.8406	34702.7621	-105925.8213	34809.5802	-105905.8937	34846.5623
支承中心	SL	-106004.4738	34666.2913	-105985.0755	34701.7197	-105924.0228	34808.5963	-105903.7732	34843.6257
	SR	-106010.0950	34669.5550	-105988.6058	34703.8046	-105927.6197	34810.5641	-105909.5149	34846.6726
フーチング	F1	-106005.1924	34659.8862	-	-	-	-	-105901.9670	34841.5352
	F2	-106015.2847	34665.7458	-	-	-	-	-105912.3020	34847.0195
	F3	-106011.0670	34673.0101	-	-	-	-	-105908.2239	34854.7045
	F4	-106000.9747	34667.1506	-	-	-	-	-105897.8889	34849.2201
ウィング	W1	-106007.4518	34655.9946	-	-	-	-	-105904.4739	34861.7712
	W2	-106007.9707	34656.2958	-	-	-	-	-105904.0322	34861.5368
	W3	-106017.0252	34661.5529	-	-	-	-	-105894.5806	34856.5212
	W4	-106017.5441	34661.8541	-	-	-	-	-105894.1389	34856.2868
杭中心	K1	-106005.5276	34661.5265	-	-	-	-	-105902.4645	34843.1576
	K2	-106013.5444	34666.1810	-	-	-	-	-105910.6795	34847.5170
	K3	-106010.5317	34671.3698	-	-	-	-	-105907.7264	34853.0820
	K4	-106002.5150	34666.7153	-	-	-	-	-105899.5114	34848.7226

ピア設定方法

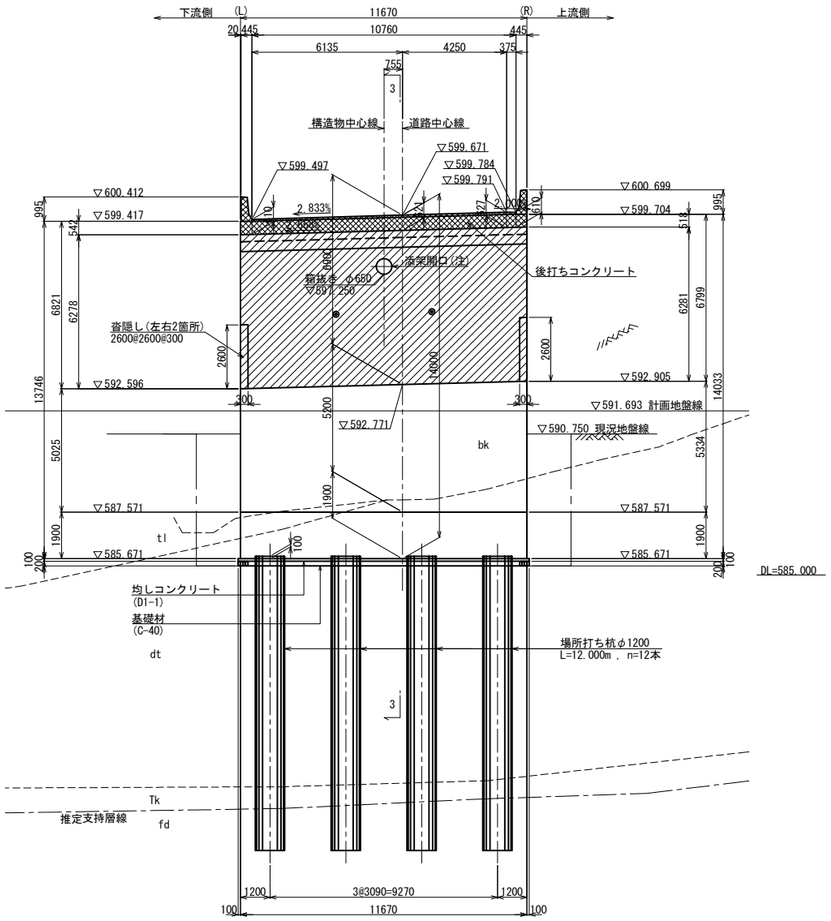


※ 全ての下部工設置方向は、CLに対し90°とする。

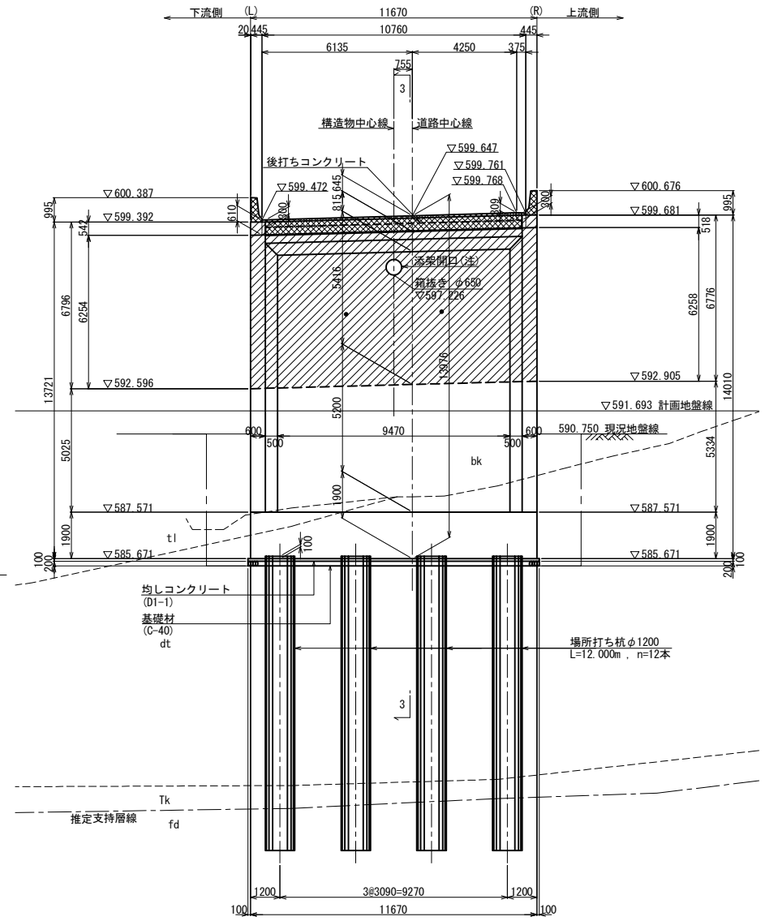
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 下部工座標図		
縮　　尺	1:500	図面番号	6 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台構造一般図（その1）S=1/250

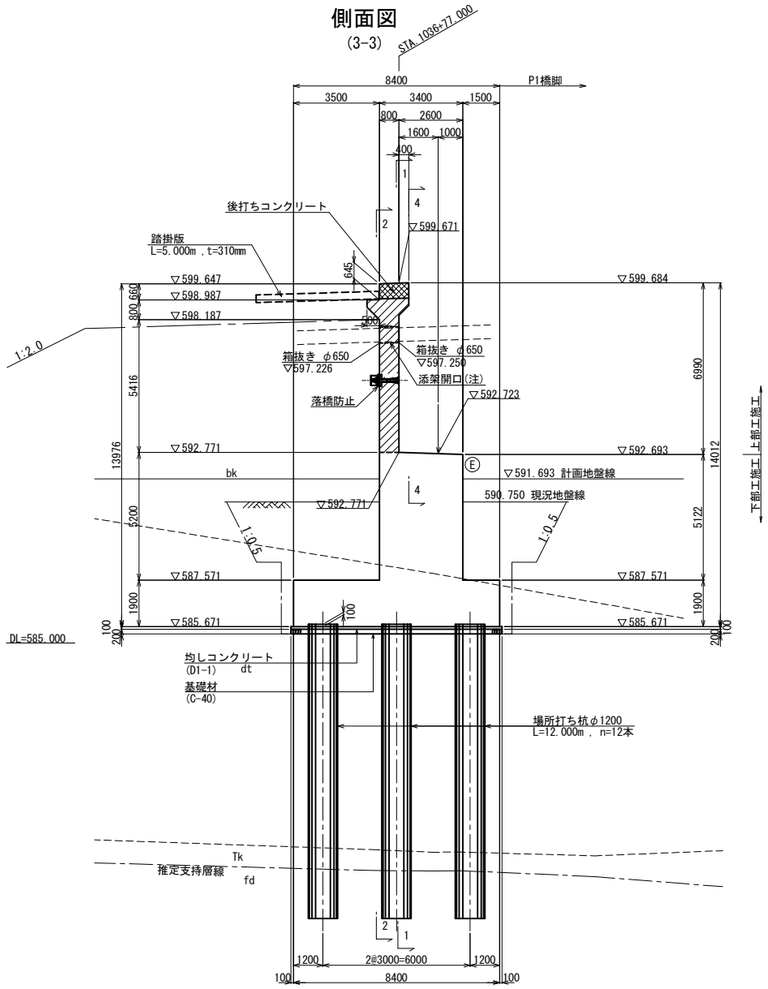
正面図
(1-1)



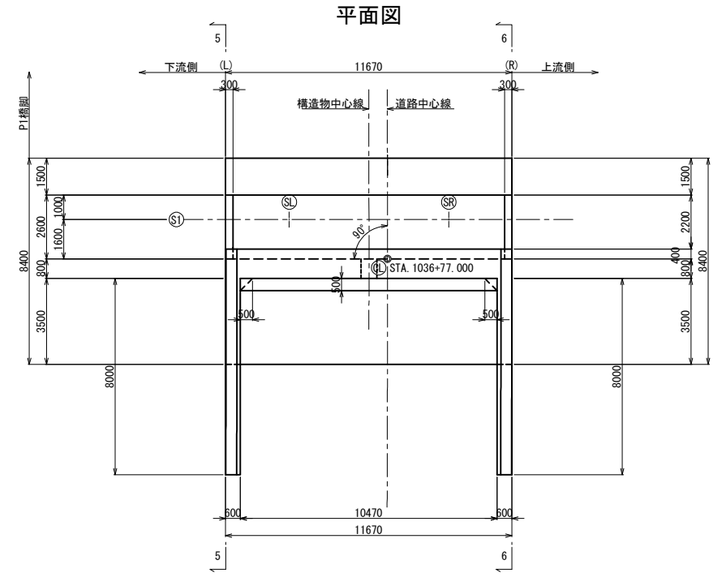
背面図
(2-2)



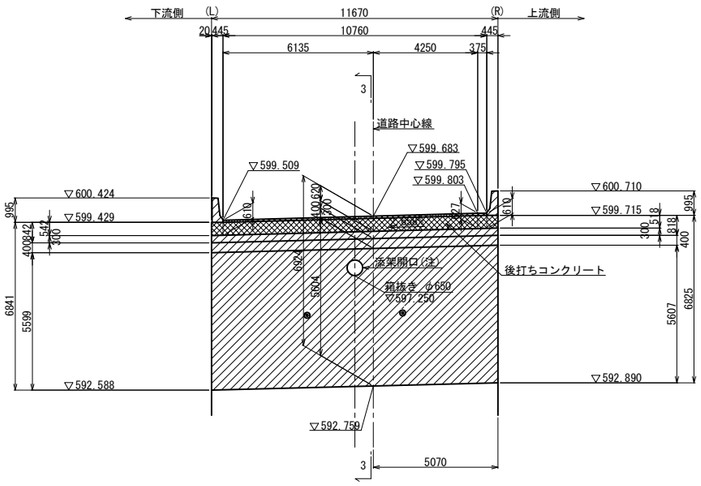
側面図
(3-3)

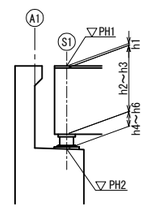


平面図



正面図
(4-4)





構造高表（支承ライン）

		S1			
		SL	GCL	CL	SR
路面計画高	PH1	599.606	599.697	599.718	599.788
舗装厚	h1	0.084			0.094
桁高	h2	6.000	－	－	6.000
レアー	h3	0.070	－	－	0.070
支承	h4	0.600	－	－	0.600
モルタル	h5	0.030	－	－	0.030
台座	h6	0.205	－	－	0.205
合計	ΣH	6.989	－	－	6.999
橋座高	PH2	592.617	592.703	592.723	592.789
橋座面勾配	横断	2.646%			

※斜線部は▨上部工施工区分を示す。
▩伸縮部を示す。

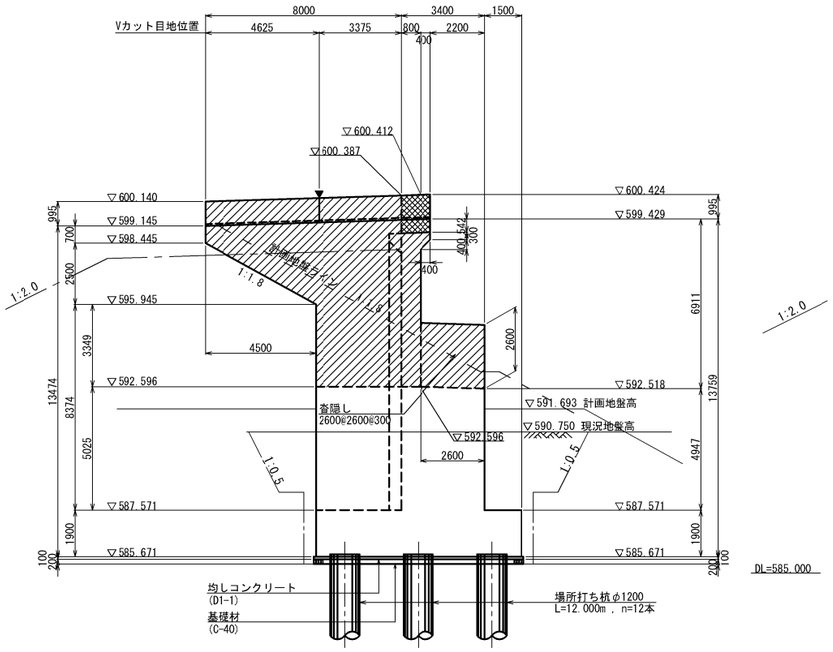
下部工材料

	コンクリート	鉄筋
躯体	σ_{ck} = 30 N/mm^2	SD345
底版	σ_{ck} = 24 N/mm^2	SD345
場所打ち杭	σ_{ck} = 24 N/mm^2	SD345

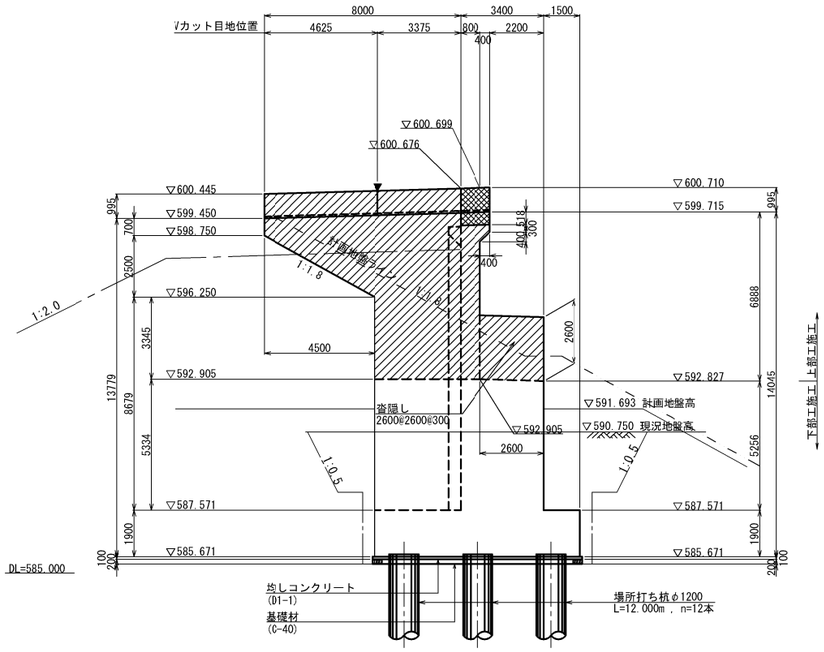
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台構造一般図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	7 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台構造一般図（その2） S=1/250

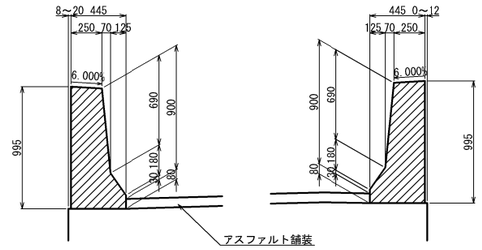
左ウイング側面図
(5-5)



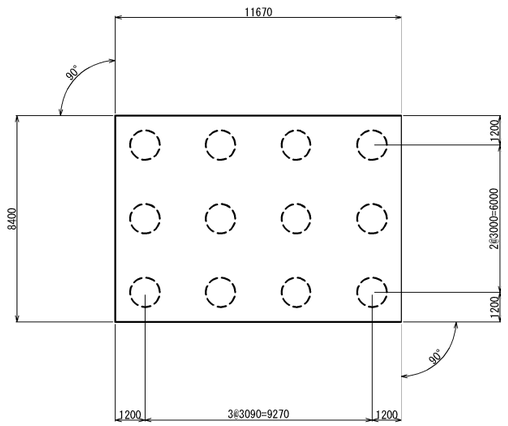
右ウイング側面図
(6-6)



壁高欄詳細図 S=1/50

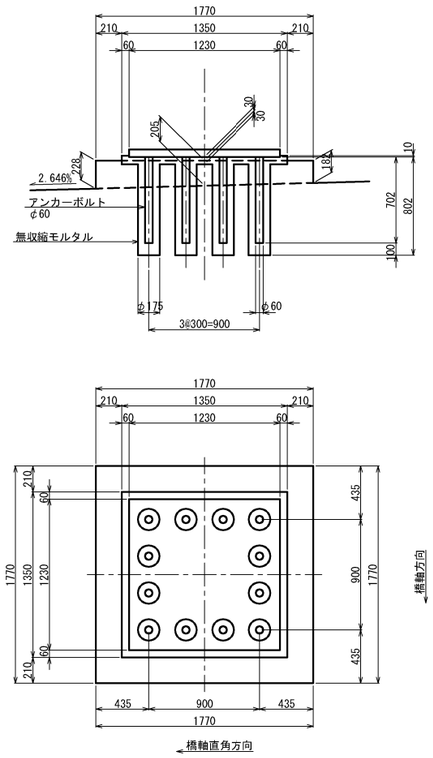


杭配置図

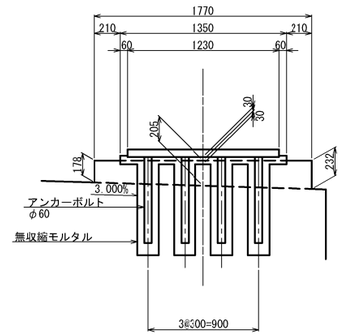


支承詳細図 S=1/50
(LRB)

橋軸直角方向



橋軸方向



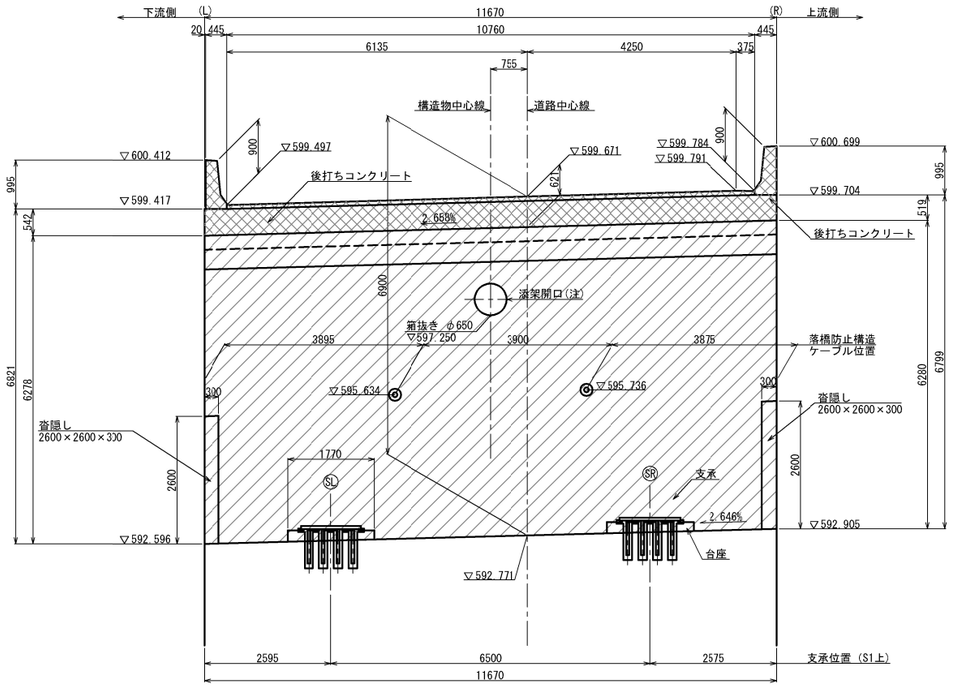
※斜線部は上部工施工区分を示す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマムJI橋 A1橋台構造一般図(その2)		
縮　　尺	図示	図面番号	8 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

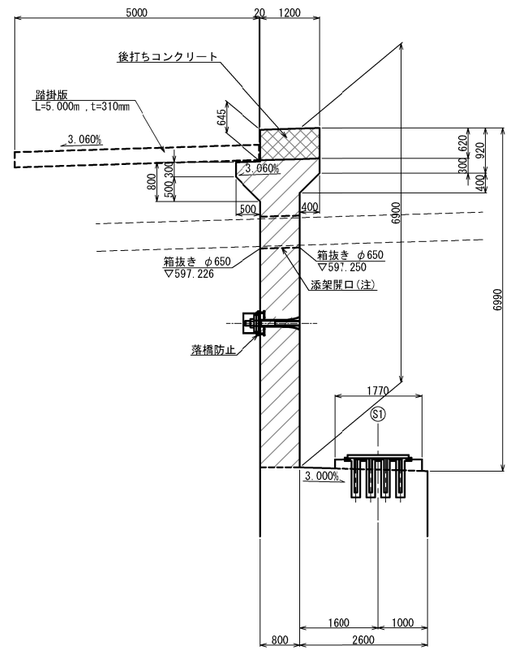
トマム川橋　A1橋台構造一般図（その3） S=1/250

橋座・パラペット詳細図　S=1/125

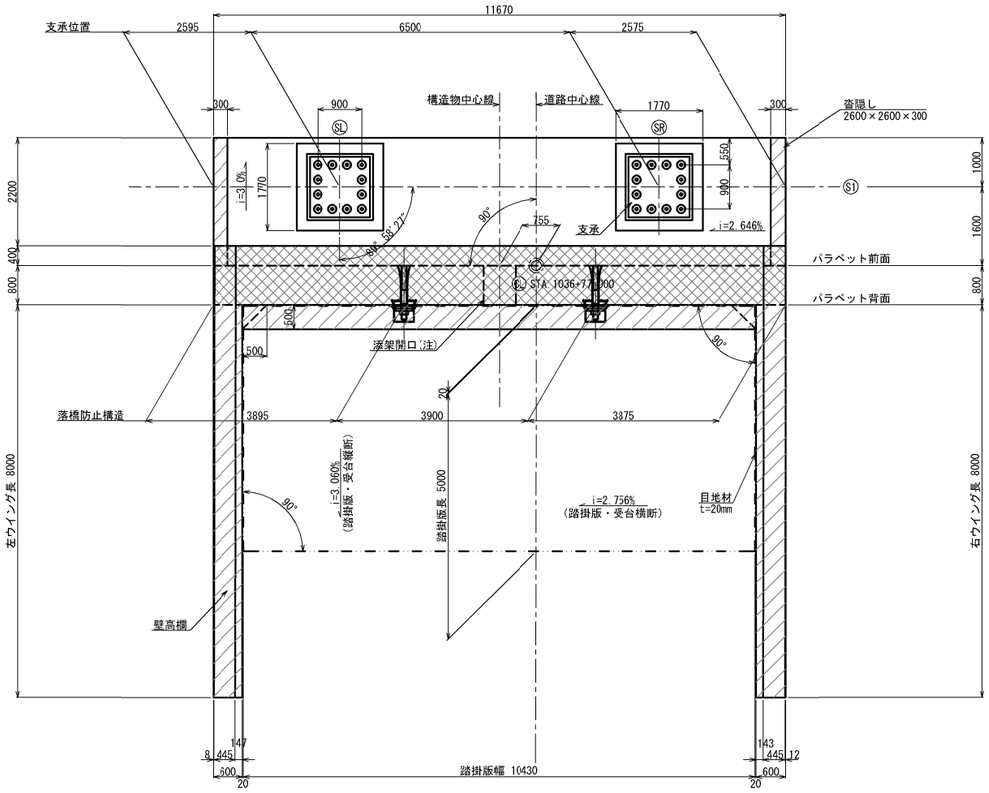
（正面図）



（側面図）



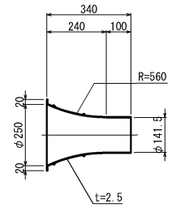
（平面図）



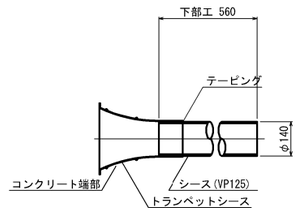
トランペットシース及び箱抜き詳細図　S=1:25

（上部工施工）

トランペットシース
（ポリエチレン）



箱抜き詳細図

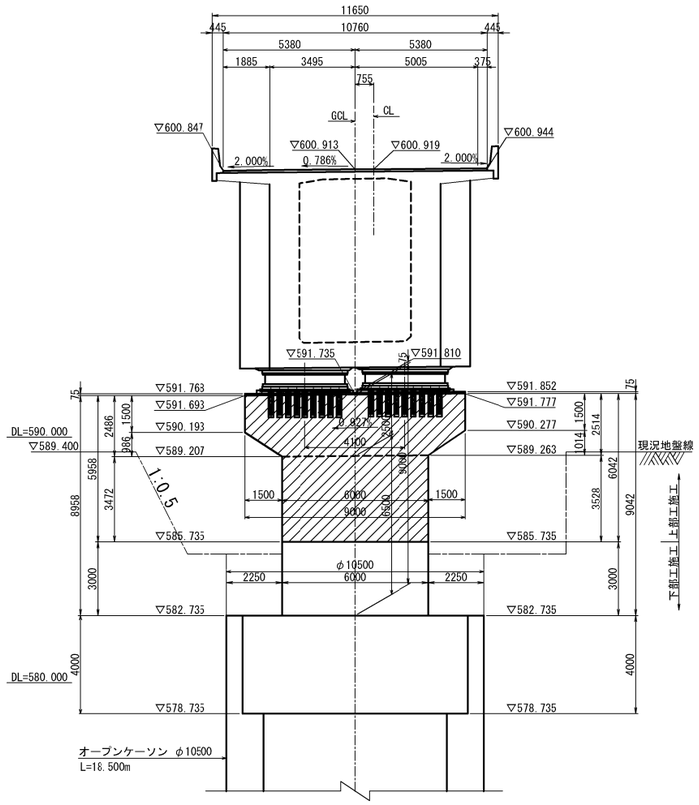


※斜線部は ▨ 上部工施工区分を示す。

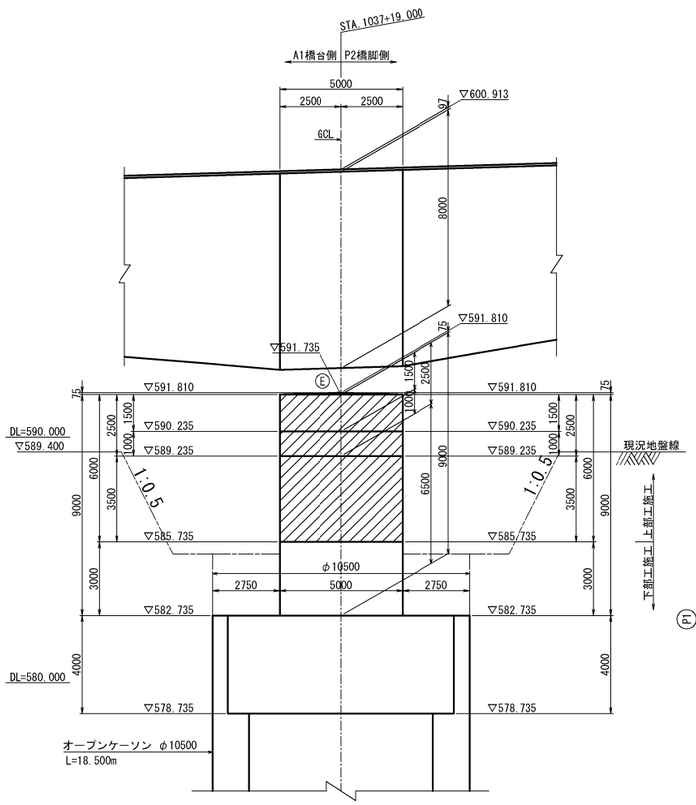
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台構造一般図(その3)		
縮　　尺	図示	図面番号	9 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚構造一般図　S=1:250

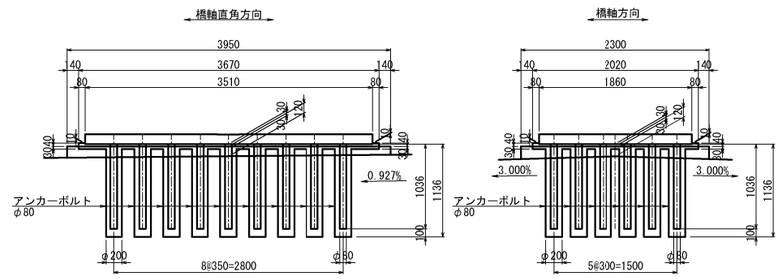
正 面 図



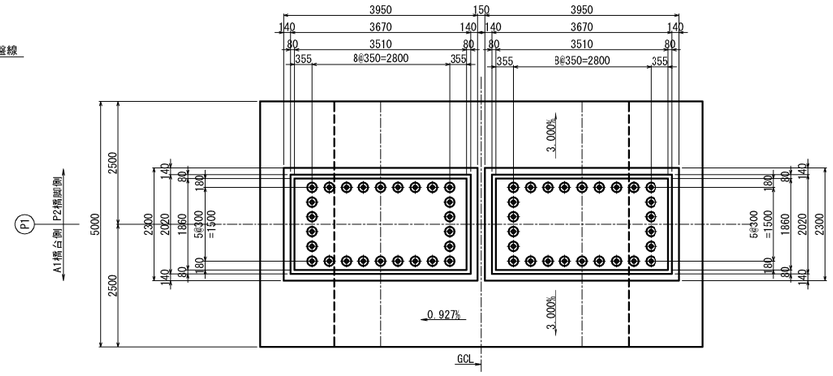
側 面 図



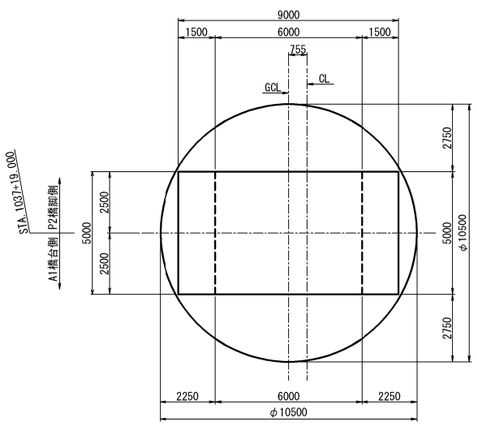
支承詳細図　S=1:75



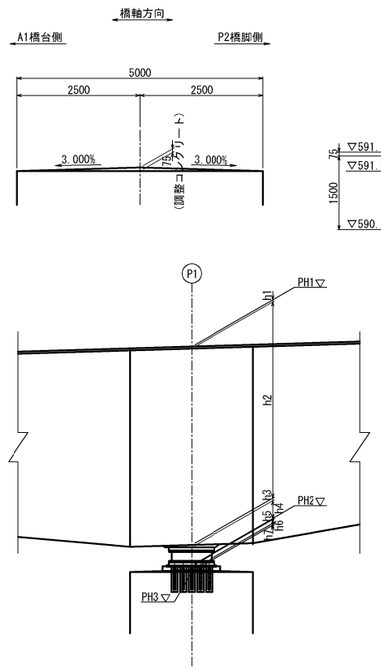
支承詳細平面図　S=1:125



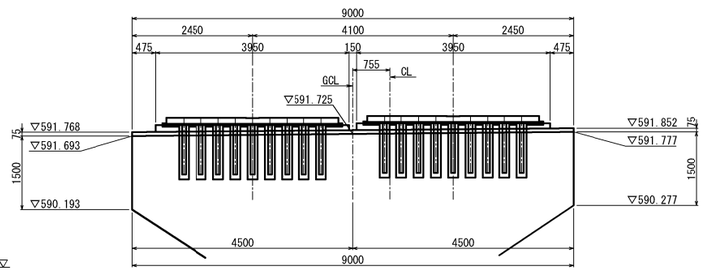
平 面 図



橋脚天端詳細図　S=1:125



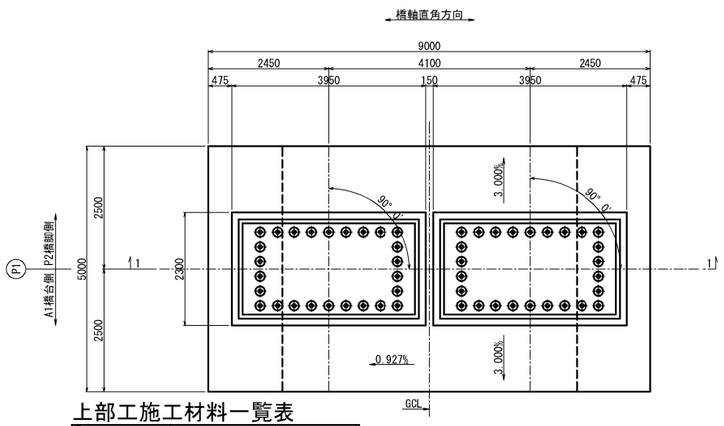
橋座面断面図　S=1:125
1 － 1



構造高表（支承ライン）

		P1			
		SL	GCL	CL	SR
計　画　高	PH1	600.896	600.913	600.919	600.929
舗　装　厚	h1	0.099			0.094
桁　　高	h2	8.000			8.000
レ ア ー 厚	h3	0.080			0.080
支　承　高	h4	0.776			0.776
小　　計	Σh1	8.955			8.950
モルタル天端高	PH2	591.941			591.979
沓座モルタル高	h5	0.030			0.030
台　座　高	h6	0.120			0.120
調整コンクリート	h7	0.075			0.075
橋　座　高	PH3	591.716	591.735	591.742	591.754
横 断 勾 配(%)	i	0.927%			
構 造 高 合 計	Σh	9.180	9.178	9.177	9.175

橋座面平面図　S=1:125



上部工施工材料一覧表

	コンクリート	主鉄筋
梁	σck = 36 N/mm²	SD345
柱	σck = 36 N/mm²	主鉄筋：SD490
		帯鉄筋：SD345

下部工施工材料一覧表

	コンクリート	鉄　筋
柱	σck = 30 N/mm²	SD490

オープンケーソン材料一覧表

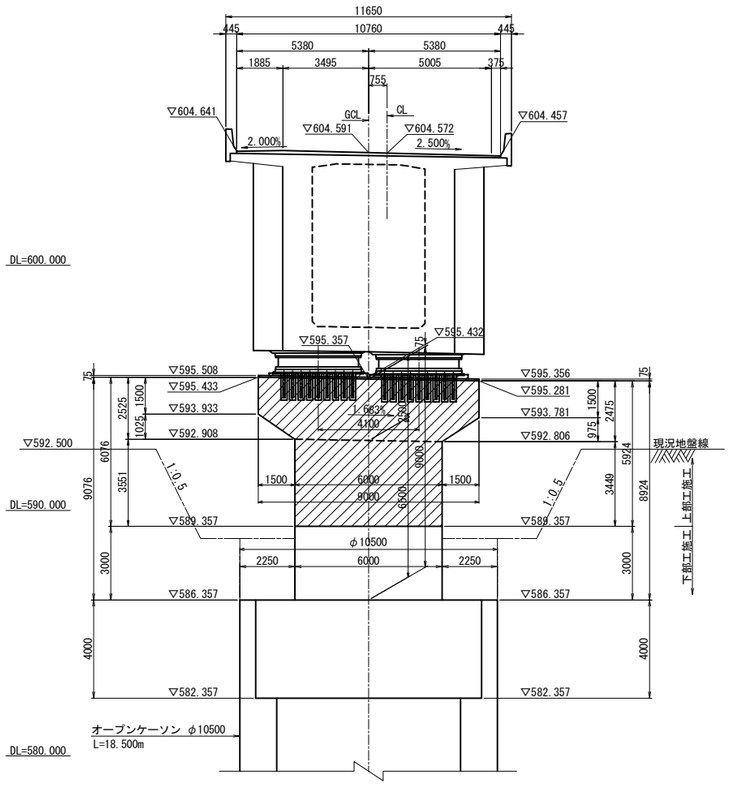
コンクリート	ケーソン頂版	σck=30N/mm²
	ケーソン頂版以外	σck=30N/mm²
	底版コンクリート	σck=24N/mm²
鉄筋(連結筋、バラベット筋)		SD490
鉄筋(鉛直筋、頂版筋)		SD345
鉄筋(上記以外)		SD345

※ ハッチング部 ▨ は上部工施工を示す。

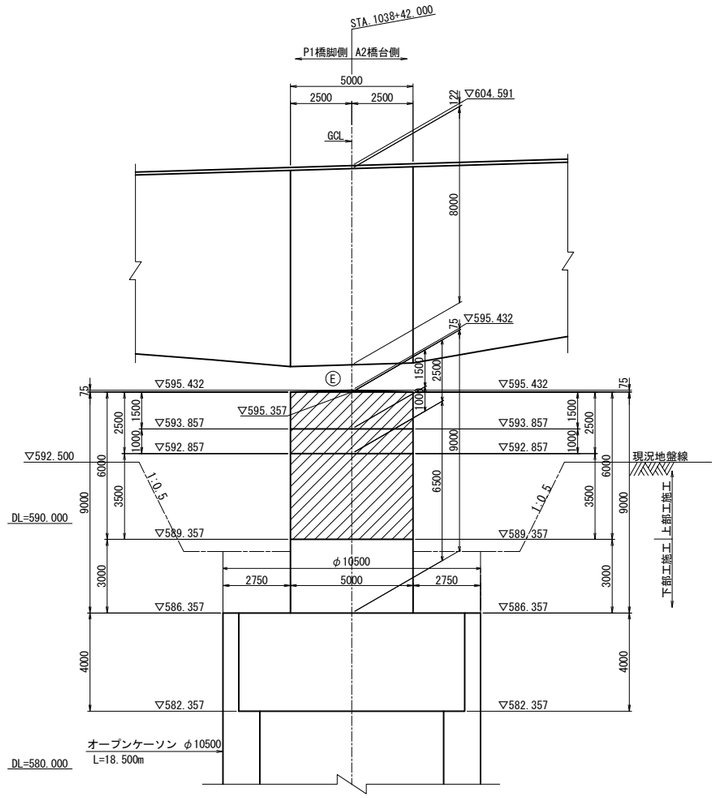
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚構造一般図		
縮　尺	図示	図面番号	10 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚構造一般図　S=1:250

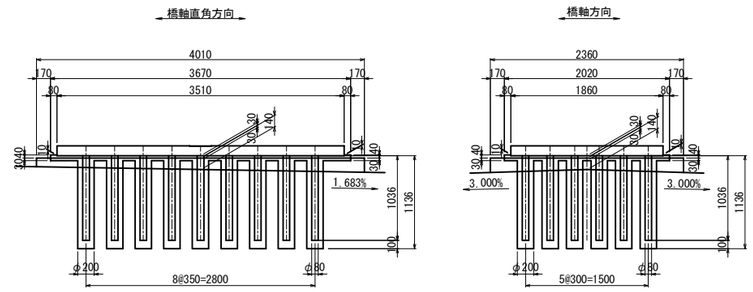
正 面 図



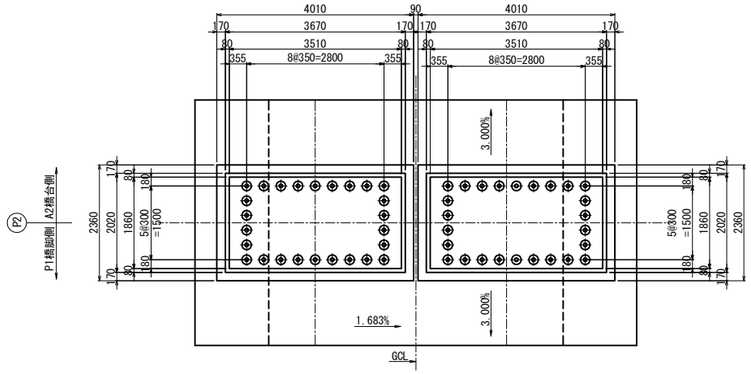
側 面 図



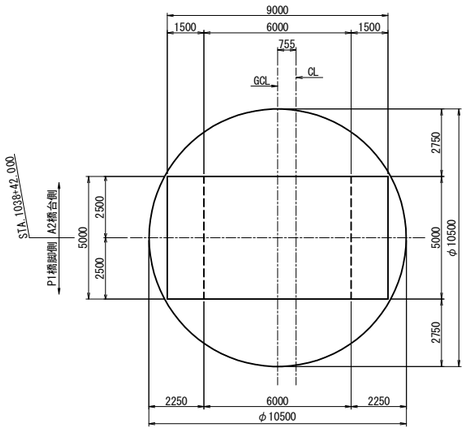
支承詳細図　S=1:75



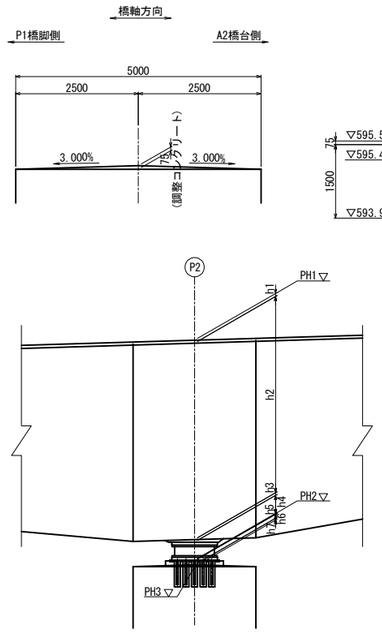
支承詳細平面図　S=1:125



平 面 図

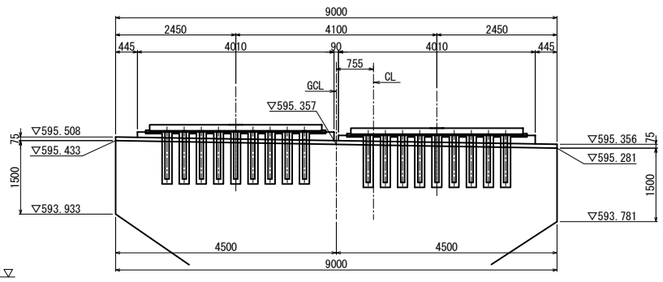


橋脚天端詳細図　S=1:125



橋座面断面図　S=1:125

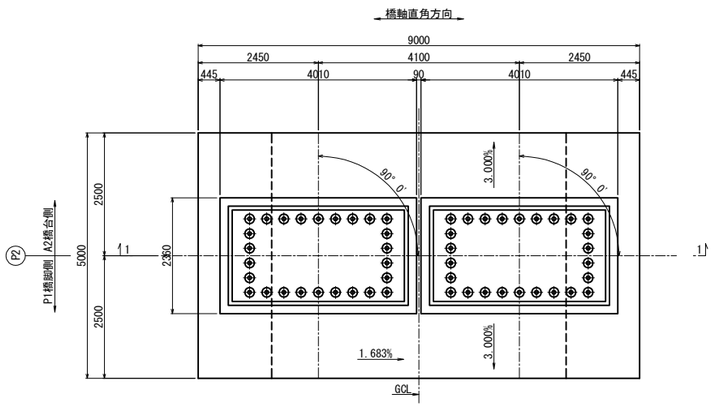
1 － 1



構造高表（支承ライン）

		P2			
		SL	GCL	CL	SR
計　画　高	PH1	604.642	604.591	604.572	604.540
舗　装　厚	h1	0.139			0.106
桁　　高	h2	8.000			8.000
レ ア ー 厚	h3	0.090			0.090
支　承　高	h4	0.776			0.776
小　　計	Σh1	9.005			8.972
モルタル天端高	PH2	595.637			595.568
沓座モルタル高	h5	0.030			0.030
台　座　高	h6	0.140			0.140
調整コンクリート	h7	0.075			0.075
橋　座　高	PH3	595.392	595.357	595.345	595.323
横 断 勾 配(%)	i	-1.683%			
構 造 高 合 計	Σh	9.250	9.234	9.227	9.217

橋座面平面図　S=1:125



上部工施工材料一覧表

	コンクリート	主鉄筋
梁	σck = 36 N/mm²	SD345
柱	σck = 36 N/mm²	主鉄筋：SD490
		帯鉄筋：SD345

下部工施工材料一覧表

	コンクリート	鉄　筋
柱	σck = 30 N/mm²	SD490

オープンケーソン材料一覧表

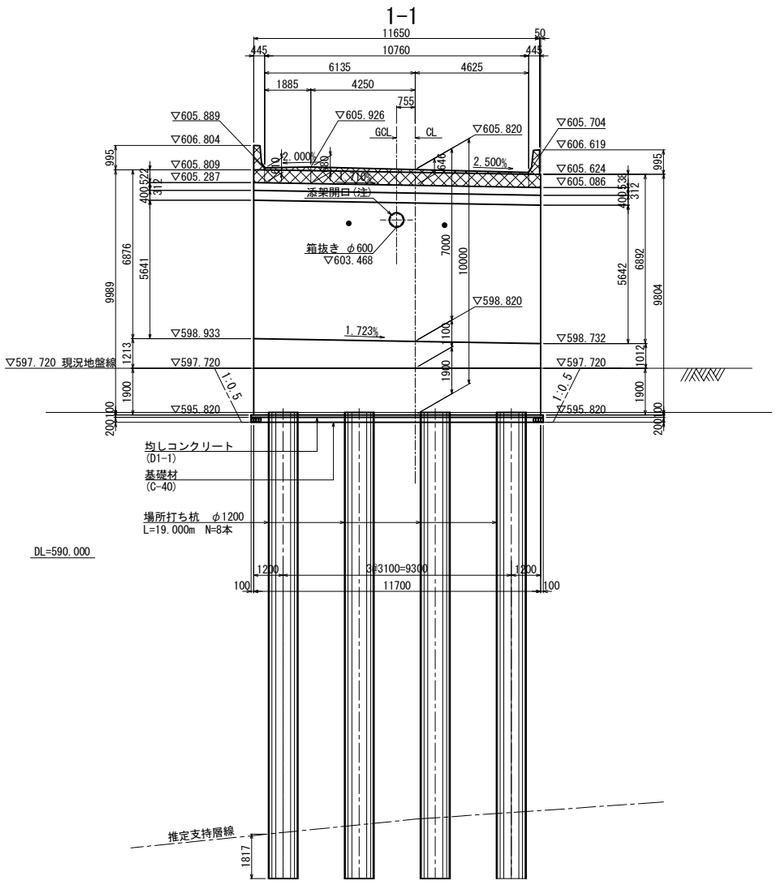
コンクリート	ケーソン頂版	σck=30N/mm²
	ケーソン頂版以外	σck=30N/mm²
	底版コンクリート	σck=24N/mm²
鉄筋(連結筋、バラペット筋)		SD490
鉄筋(鉛直筋、頂版筋)		SD345
鉄筋(上記以外)		SD345

※ ハッチング部 ▨ は上部工施工を示す。

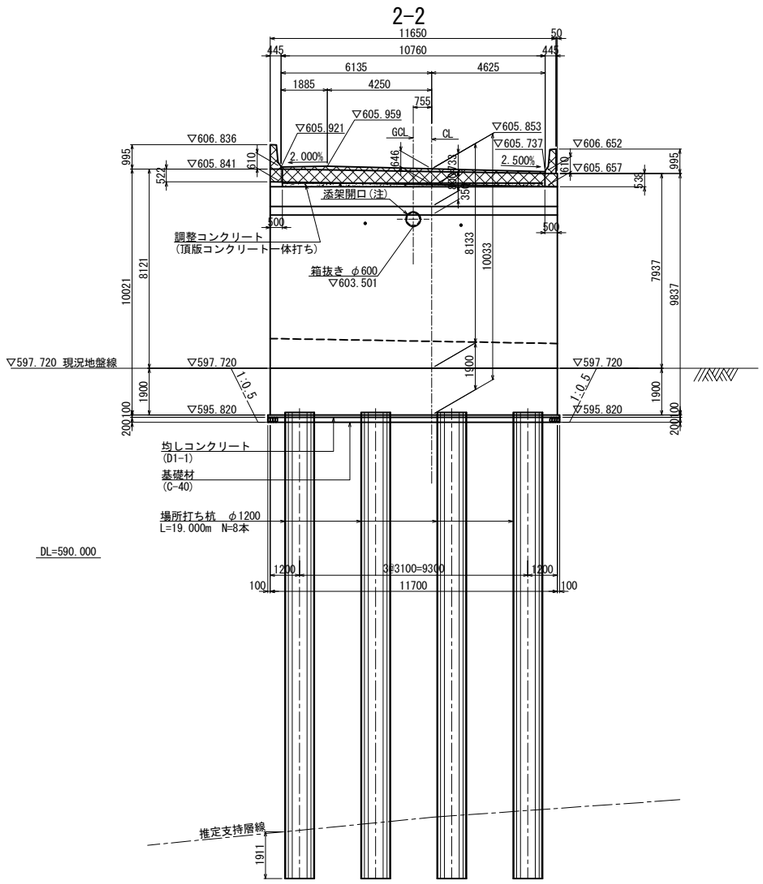
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚構造一般図		
縮　尺	図示	図面番号	11 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台構造一般図(その1)　S=1:250

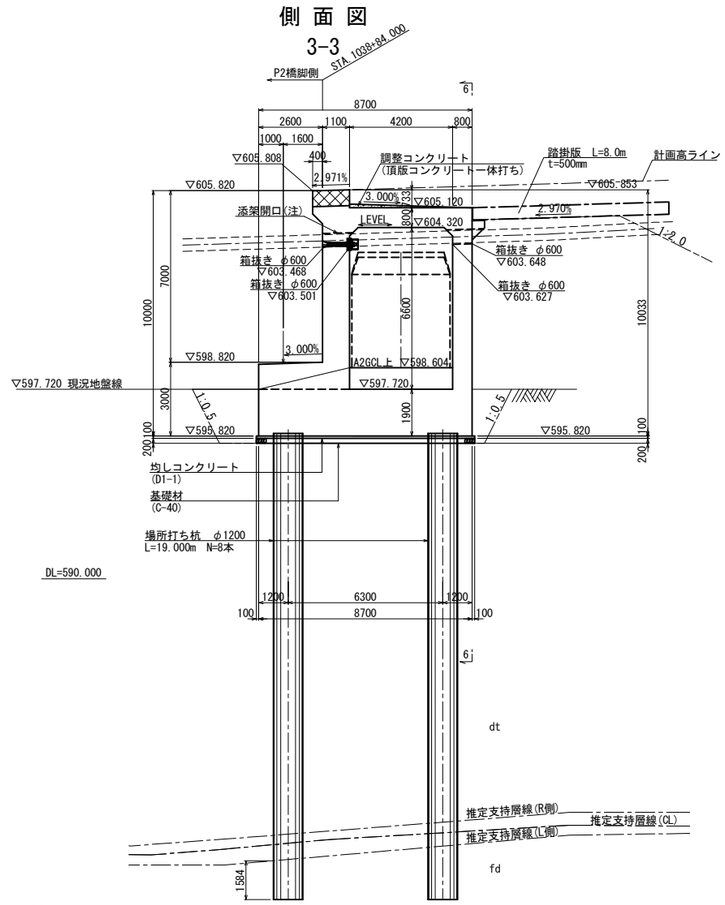
正面図
1-1



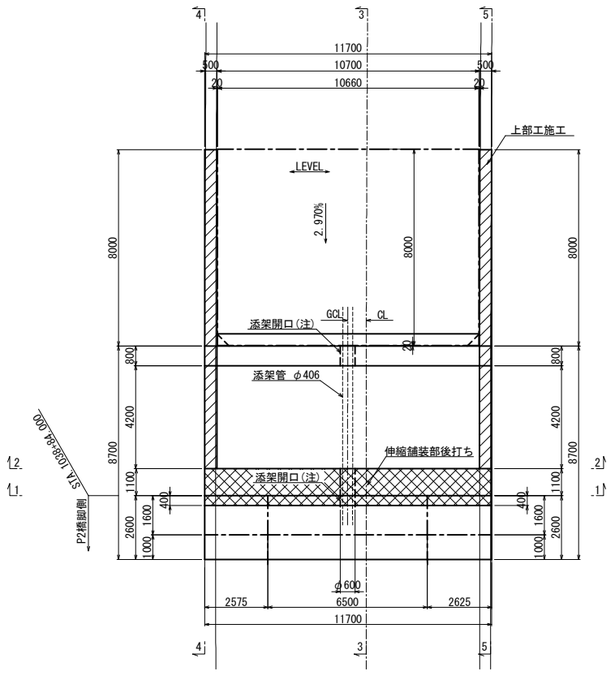
背面図
2-2



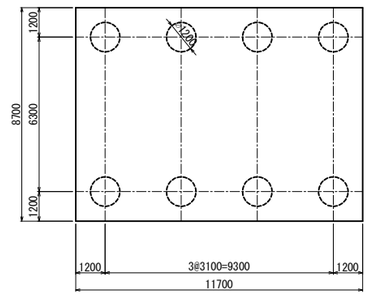
側面図
3-3



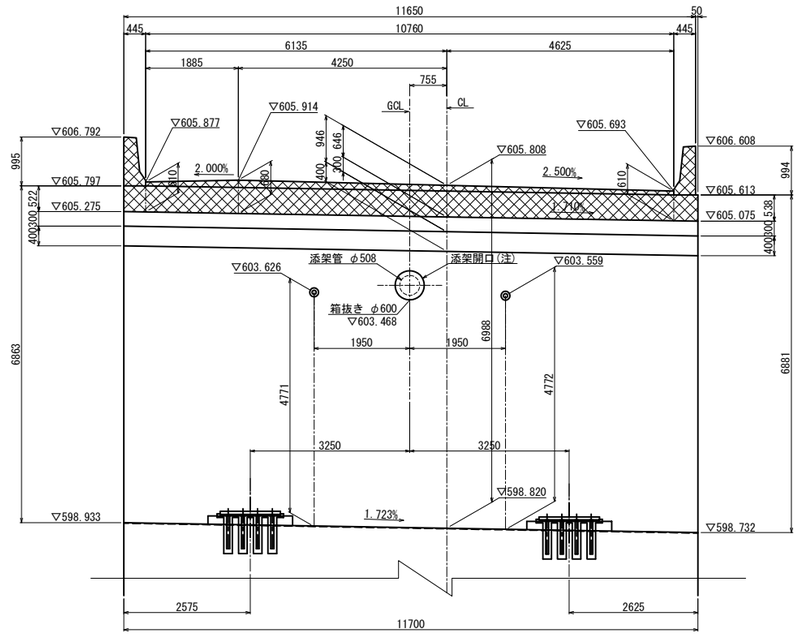
平面図



杭配置図



アゴ部前面図　S=1:125



下部工施工材料基準強度

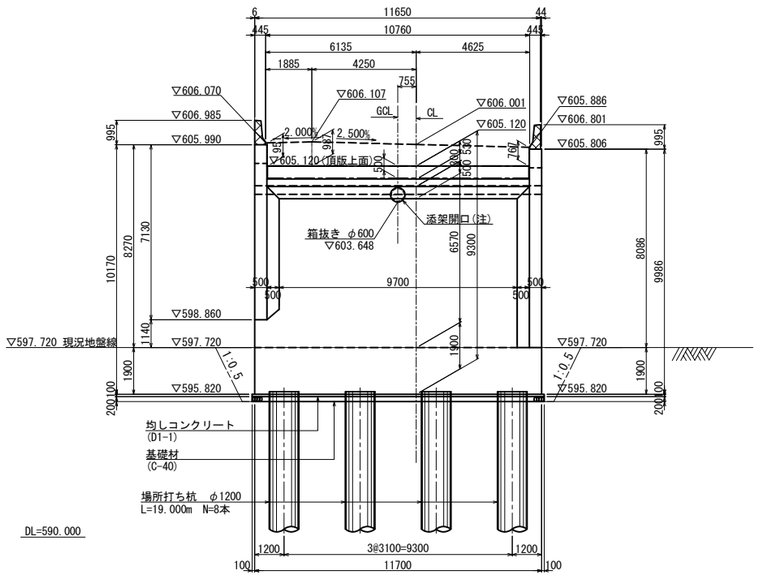
	コンクリート	鉄　筋
躯体	σ_{ck} = 30 N/mm²	SD345
フーチング	σ_{ck} = 24 N/mm²	SD345
均しコンクリート	σ_{ck} = 18 N/mm²	－

※ ハッチング部 ▨ は伸縮装置後打ち部を示す。
※ ハッチング部 ▨ は調整コンクリートを示し、上部工施工とする。

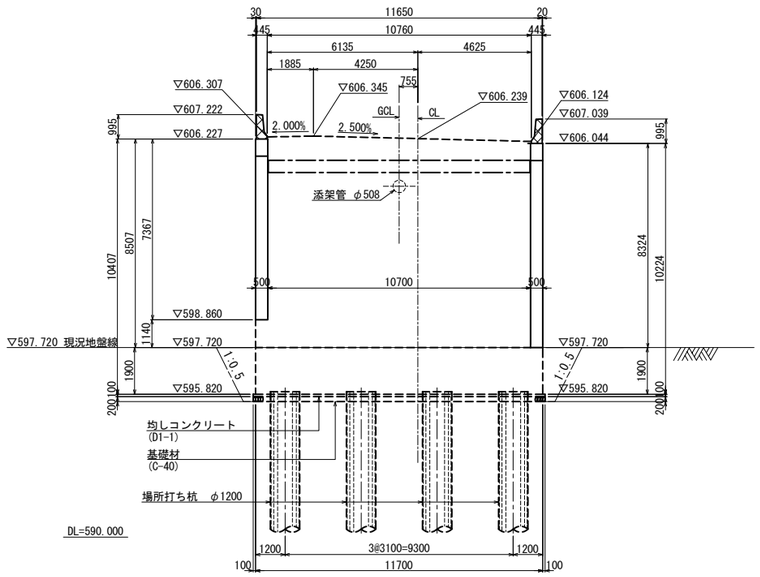
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台構造一般図(その1)		
縮　　尺	図示	図面番号	12 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台構造一般図(その2)　S=1:250

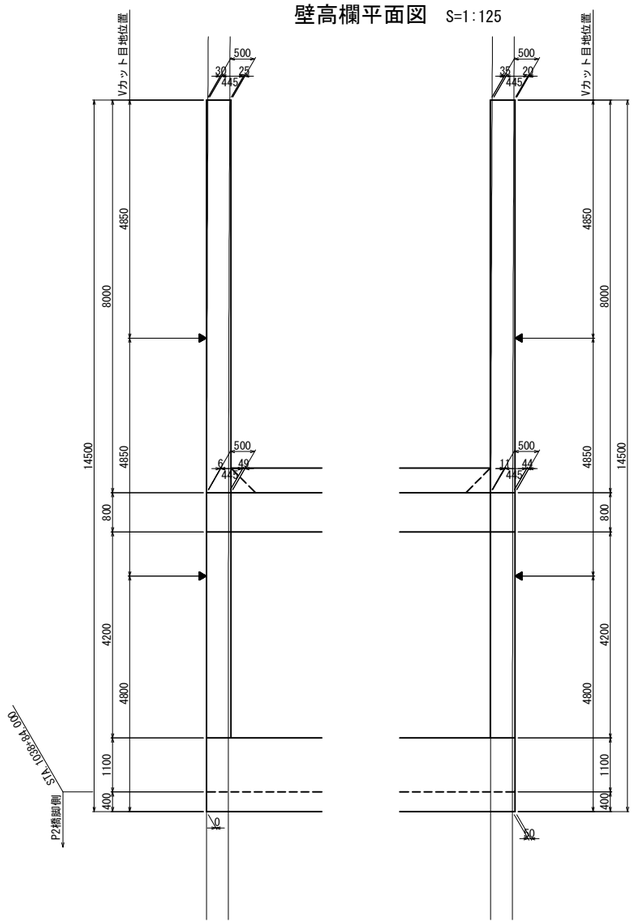
背 面 図
6-6



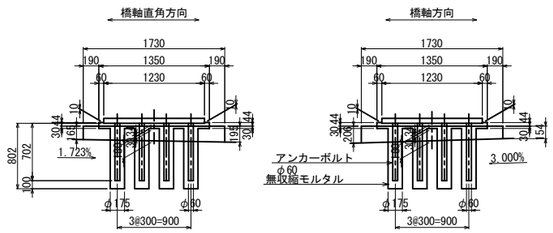
背 面 図（ウイング背面）
7-7

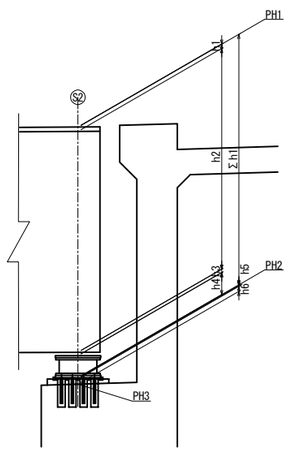


壁高欄平面図　S=1:125



支承詳細図　S=1:75

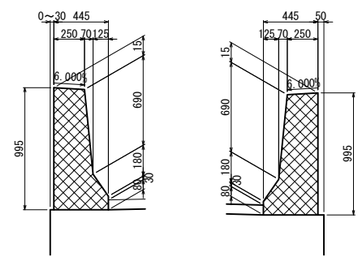




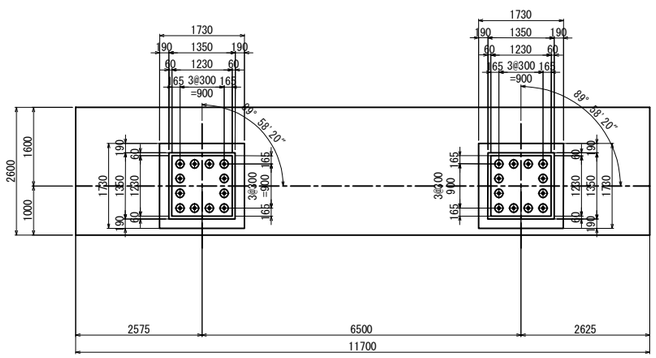
構造高表（支承ライン）

		S2(A2支承横断ライン)			
		SL	GCL	CL	SR
計画高	PH1	605.873	605.791	605.773	605.710
舗装厚	h1	0.148			0.097
桁高	h2	6.000			6.000
レアー厚	h3	0.070			0.070
支承高	h4	0.600			0.600
小計	Σh1	6.818			6.767
モルタル天端高	PH2	599.055			598.943
沓座モルタル高	h5	0.034			0.034
台座高	h6	0.180			0.180
橋座高	PH3	598.841	598.785	598.772	598.729
横断勾配(%)	i	-1.723%			
構造高合計	Σh	7.032	7.006	7.001	6.981

壁高欄詳細図　S=1:50



橋座面詳細平面図　S=1:125

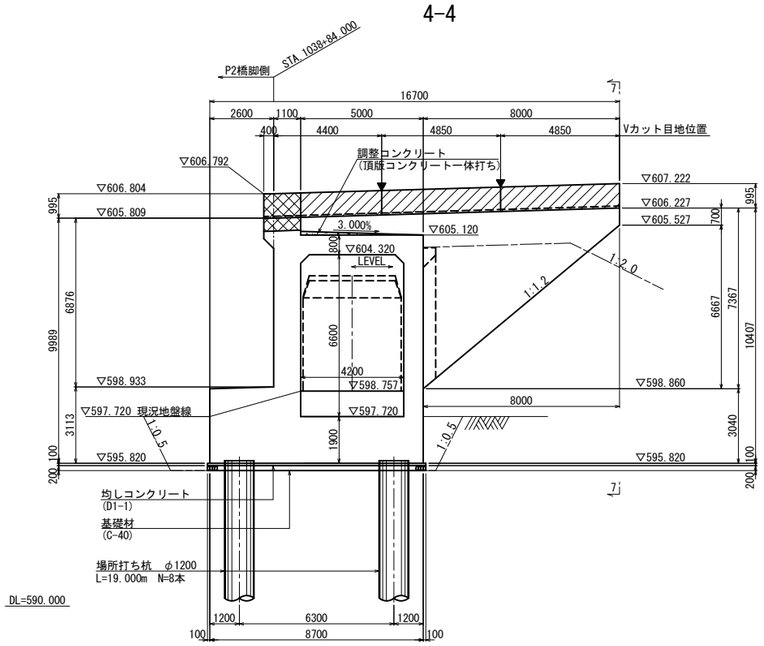


※ ハッチング部 ▨ は伸縮装置後打ち部を示す。
※ ハッチング部 ▨ は上部工施工を示す。

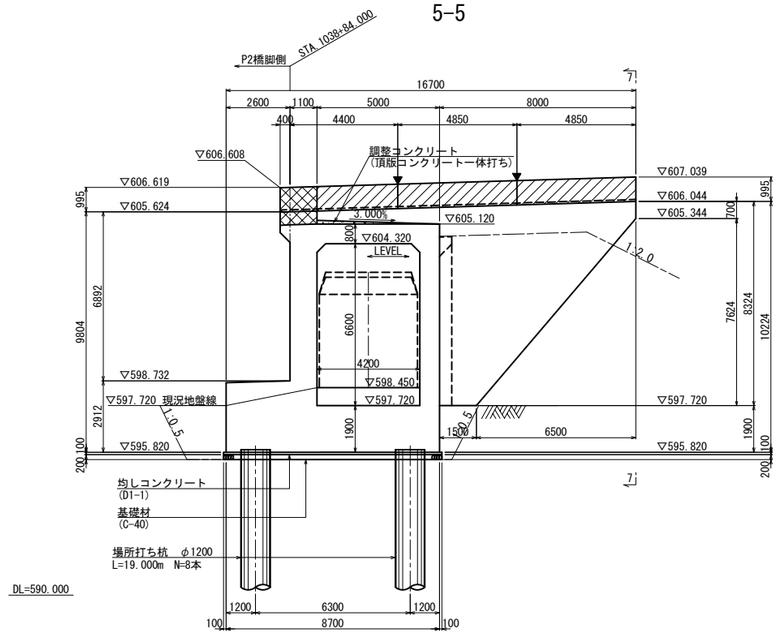
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台構造一般図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	13 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台構造一般図(その3)　S=1:250

左側ウイング側面図
4-4

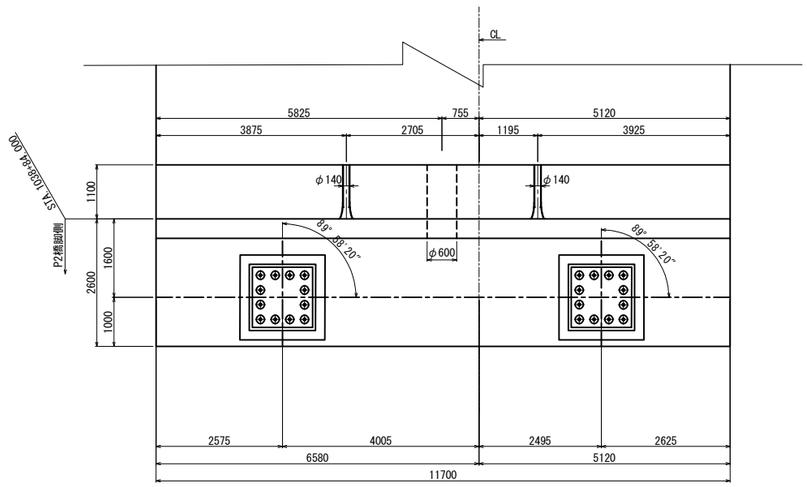


右側ウイング側面図
5-5

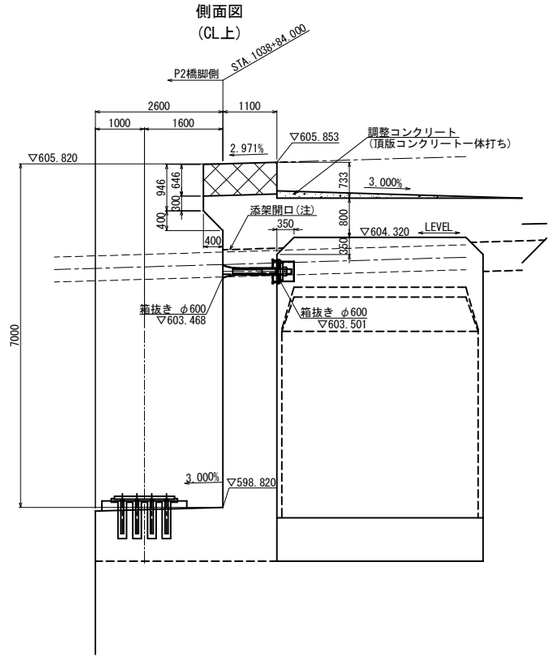


橋座面詳細図　S=1:125

平面図

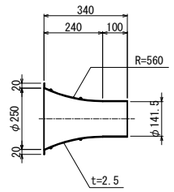


側面図
(CL上)



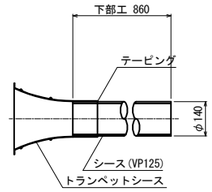
トランペットシース及び箱抜き詳細図　S=1:25
(下部工施工)

トランペットシース
(ポリエチレン)



※トランペットシースはコンクリート打設前にセットする。

箱抜き詳細図



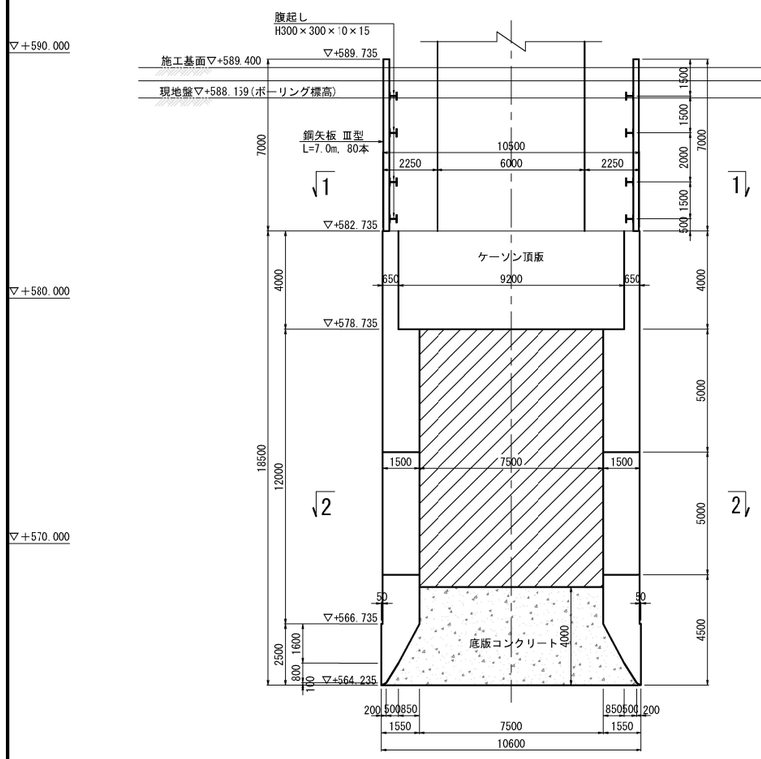
※シースはコンクリート打設前にセットする。

※ ハッチング部 ▩ は伸縮装置後打ち部を示す。
※ ハッチング部 ▨ は上部工施工を示す。

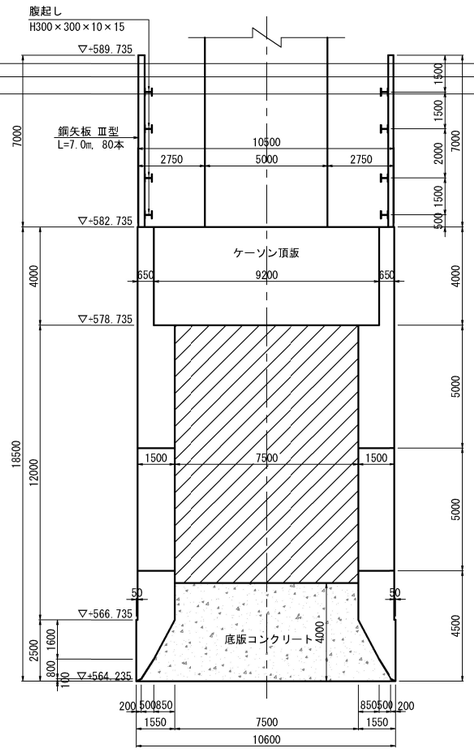
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台構造一般図(その3)		
縮　　尺	図示	図面番号	14 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚オープンケーソン構造一般図　S=1:250

正面図
直角方向



側面図
橋軸方向

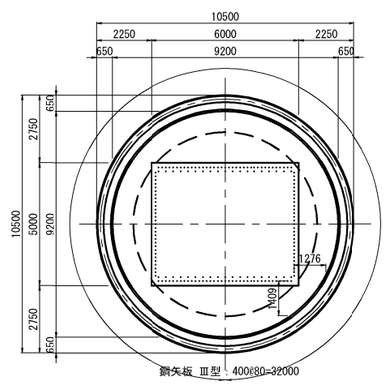


土質定数一覧表 Bor TB3-5(R4)

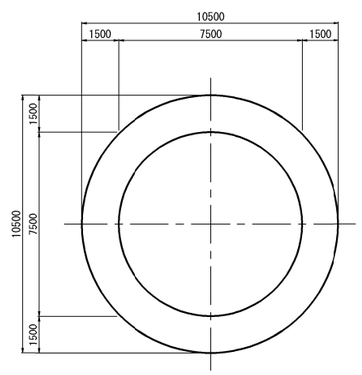
土質区分		設計N値	単位重量γ	粘着力C	内部摩擦角φ	変形係数 αEo		ED	液状化低減係数 DE		
						常時	地震時		Lv1	Lv2 type1	Lv2 type2
記号	土質	(回)	(kN/m3)	(kN/m2)	(°)	(kN/m2)	(kN/m2)	(kN/m2)	(-)	(-)	(-)
dt	砂質土	30	21	0	38	73,600	147,200	254,227	1	1	1
TK	砂質土	32	21	0	38	89,600	179,200	265,404	1	1	1
fd	砂れき	67	21	0	40	105,600	211,200	1,060,468	1	1	1

▽+588.159
10000
▽+578.159
1250
▽+576.909

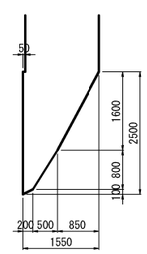
1 － 1



2 － 2



刃先部詳細　S=1:125



使用材料一覧表

コンクリート	ケーソン頂版	σck=30N/mm²
	ケーソン頂版以外	σck=30N/mm²
	底版コンクリート	σck=24N/mm²
鉄筋(連結筋、パラペット筋)		SD490
鉄筋(鉛直筋、頂版筋)		SD345
鉄筋(上記以外)		SD345

設計条件表

コンタクトグラウト		使用する
沈下促進工	滑材	使用する

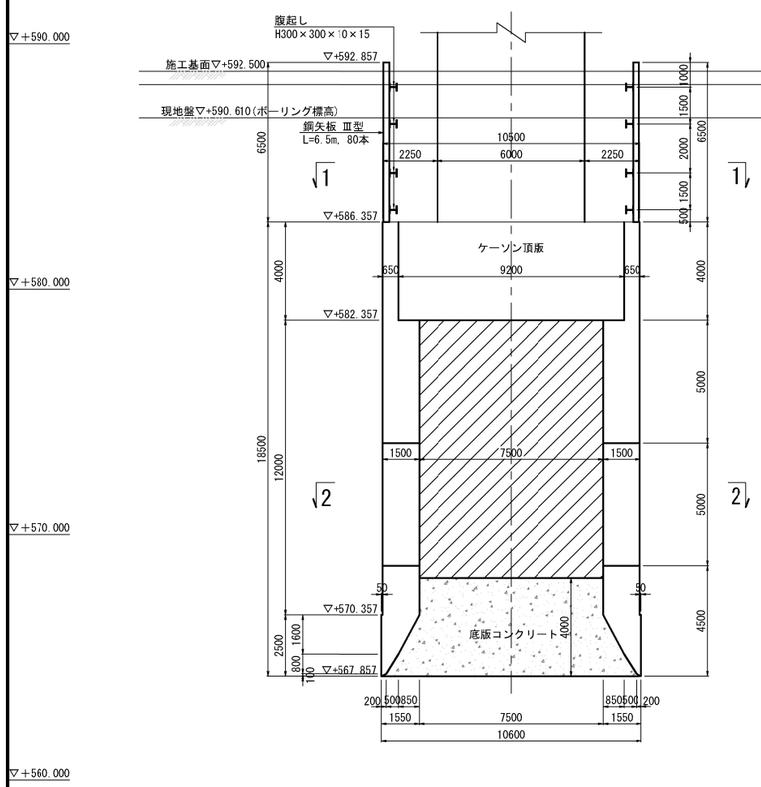
底版コンクリート(水中コンクリート)について

種別	水中設計基準強度	呼び強度	粗骨材の最大寸法	スランプフロー	空気量	水セメント比 W/C	細骨材率 S/a
	(N/mm²)	(N/mm²)	(mm)	(cm)	(%)	(%)	(%)
ミキナ	24	30	25以下	55～60	4以下	50～65	40

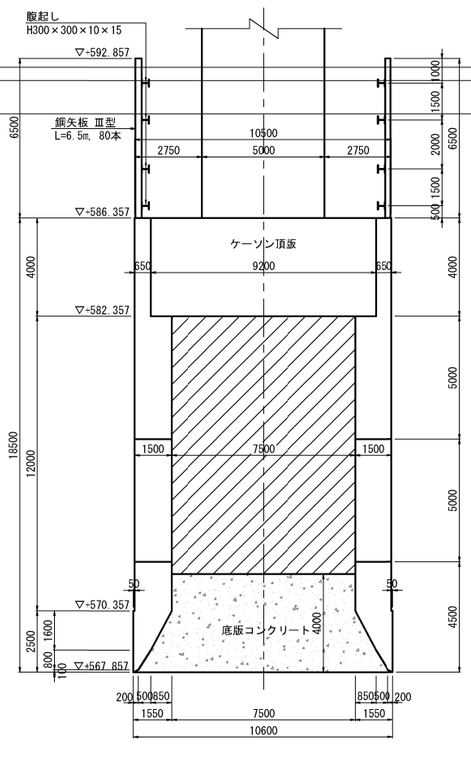
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚オープンケーソン構造一般図		
縮　尺	図 示	図面番号	15 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚オープンケーソン構造一般図　S=1:250

正面図
直角方向



側面図
橋軸方向

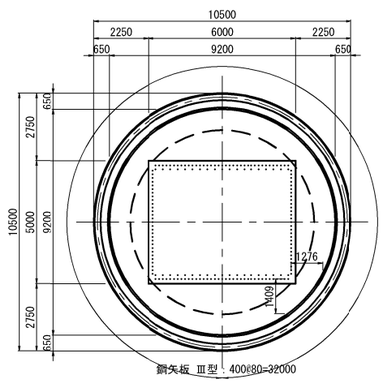


土質定数一覧表 Bor TG-2(R2)

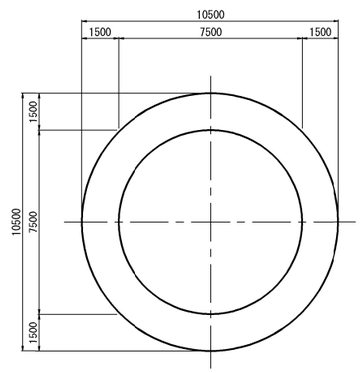
土質区分		設計N値	単位重量 γ	粘着力 C	内部摩擦角 φ	変形係数 αEo		ED	液状化低減係数 DE		
						常　時	地震時		Lv1	Lv2 type1	Lv2 type2
記号	土質	(回)	(kN/m3)	(kN/m2)	(°)	(kN/m2)	(kN/m2)	(kN/m2)	(-)	(-)	(-)
dt	砂質土	30	21	0	38	73,600	147,200	254,227	1	1	1
TK	砂質土	32	21	0	38	89,600	179,200	265,404	1	1	1
fd	砂れき	67	21	0	40	105,600	211,200	1,060,468	1	1	1

▽+590.610
10625
▽+579.985
1654
▽+578.331

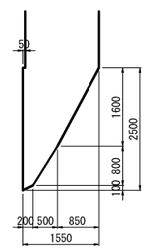
1 － 1



2 － 2



刃先部詳細　S=1:125



使用材料一覧表

コンクリート	ケーソン頂版	σck=30N/mm²
	ケーソン頂版以外	σck=30N/mm²
	底版コンクリート	σck=24N/mm²
鉄筋(連結筋、パラペット筋)		SD490
鉄筋(鉛直筋、頂版筋)		SD345
鉄筋(上記以外)		SD345

設計条件表

コンタクトグラウト		使用する
沈下促進工	滑材	使用する

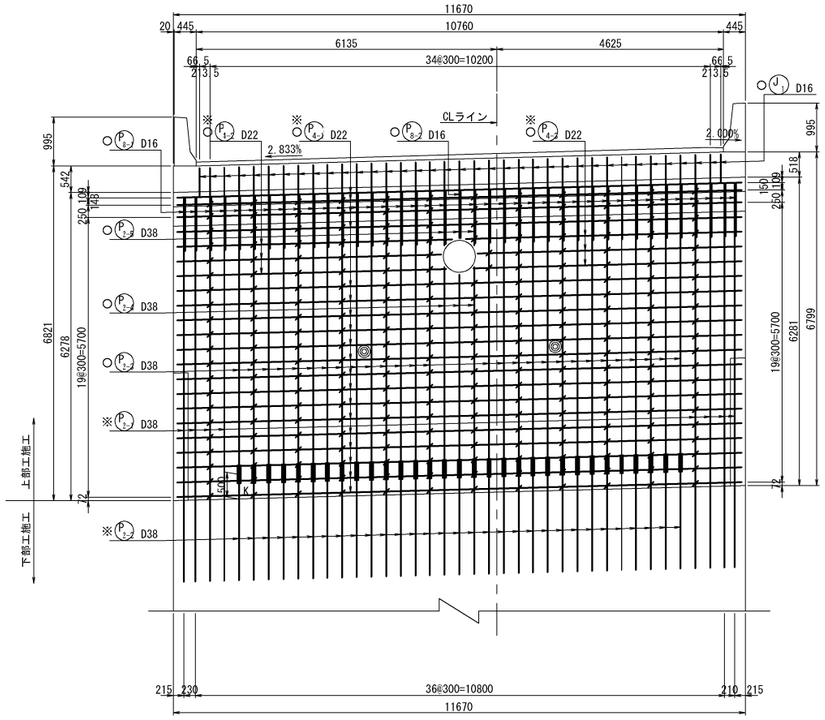
底版コンクリート(水中コンクリート)について

種別	水中設計基準強度	呼び強度	粗骨材の最大寸法	スランプフロー	空気量	水セメント比 W/C	細骨材率 S/a
	(N/mm²)	(N/mm²)	(mm)	(cm)	(%)	(%)	(%)
ミキナ	24	30	25以下	55～60	4以下	50～65	40

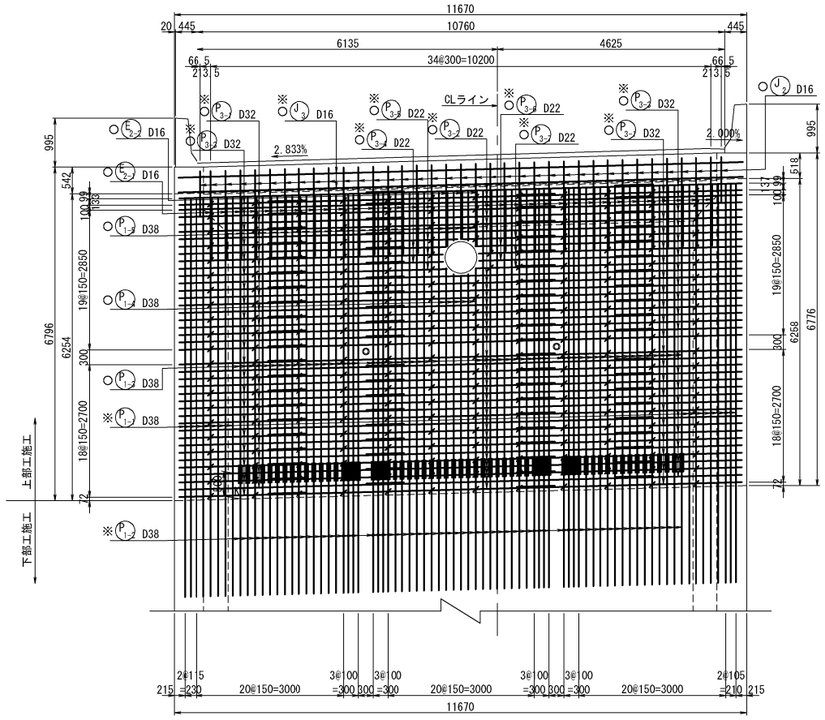
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン構造一般図		
縮　尺	図 示	図面番号	16 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台配筋図(その1) S=1：125

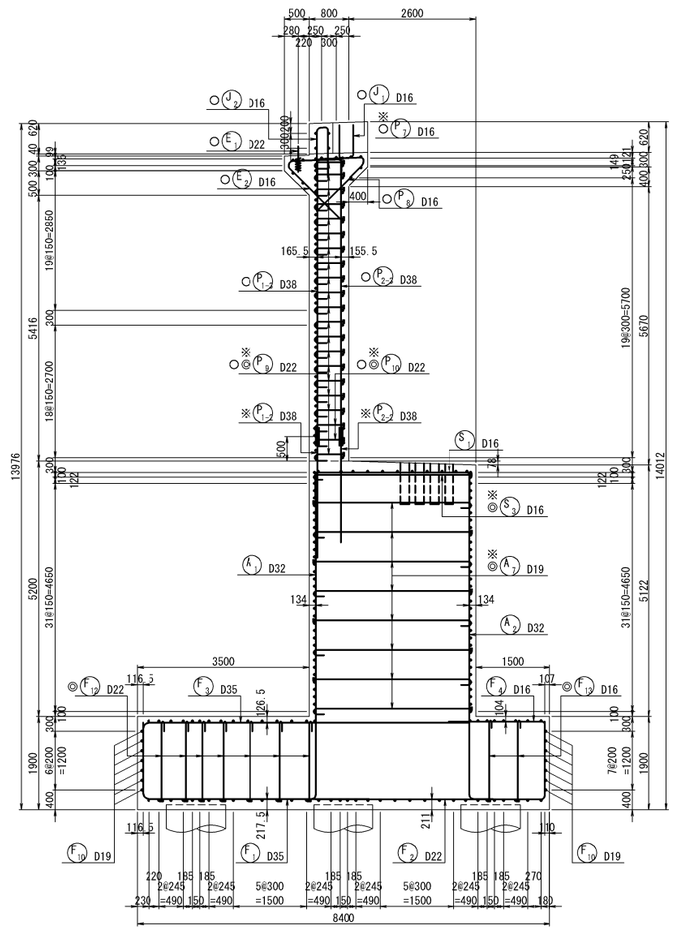
パラペット正面図
2 － 2



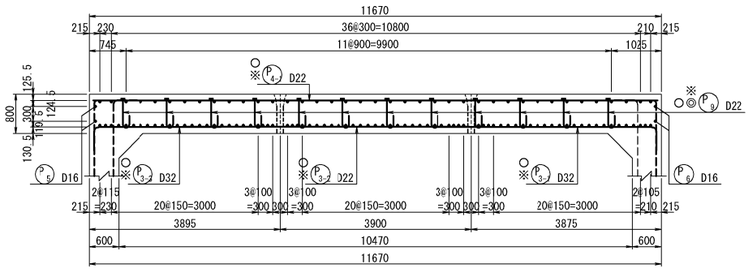
パラペット背面図
3 － 3



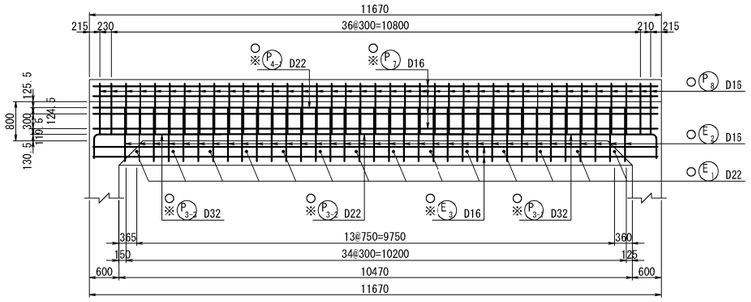
側面図
1 － 1



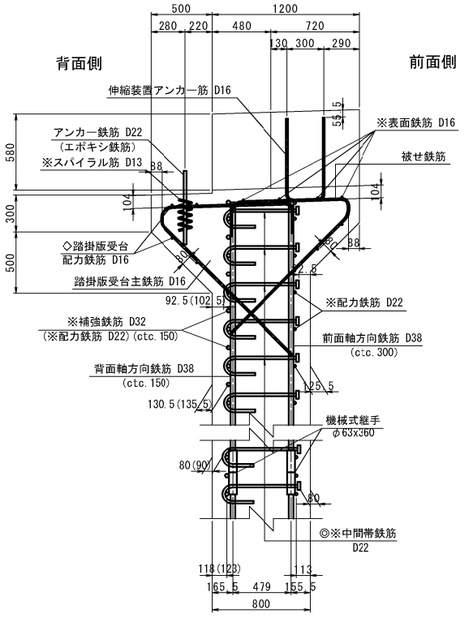
パラペット平面図
4 － 4



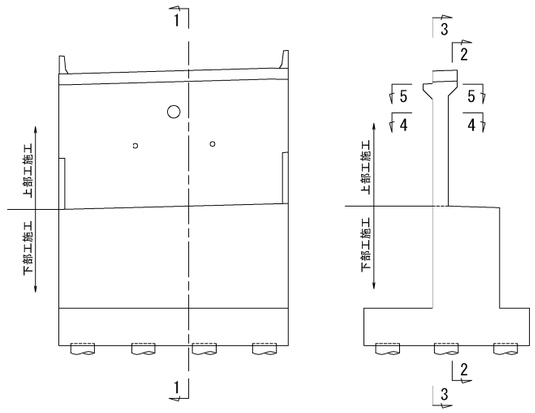
踏掛版受台平面図
5 － 5



パラペットかぶり詳細図 S=1:50



位 置 図

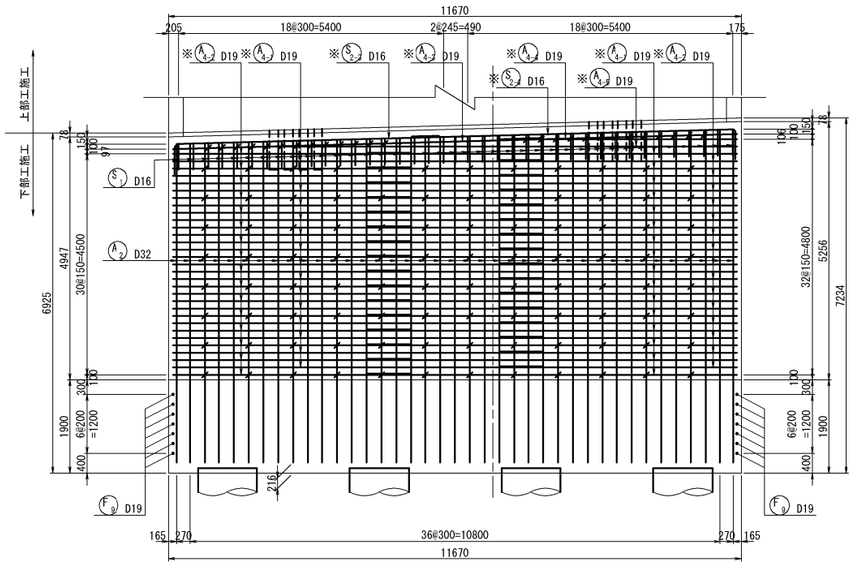


注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

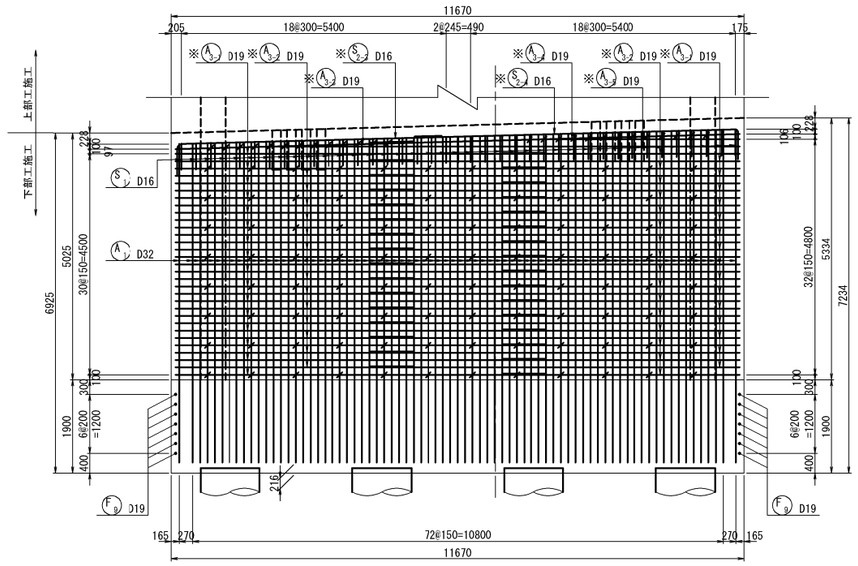
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その1)		
縮　　尺	図 示	図面番号	17 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台配筋図(その2) S=1：125

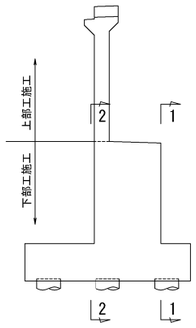
竪壁正面図
1 － 1



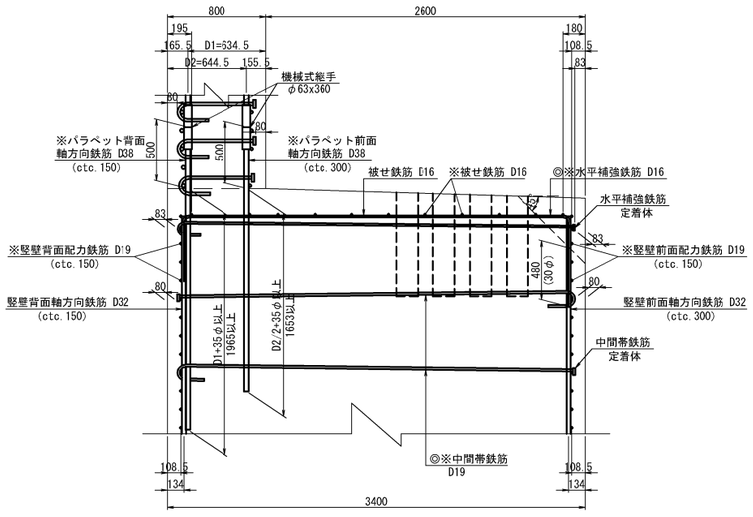
竪壁背面図
2 － 2



位 置 図

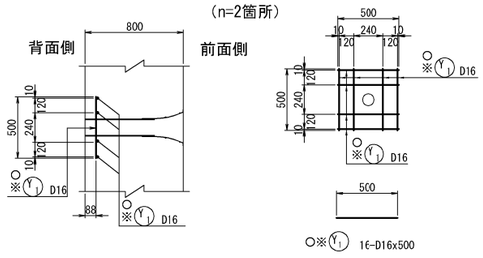


橋座かぶり詳細図 S=1：50



落橋防止構造用心鉄筋 S=1：50

(n=2箇所)

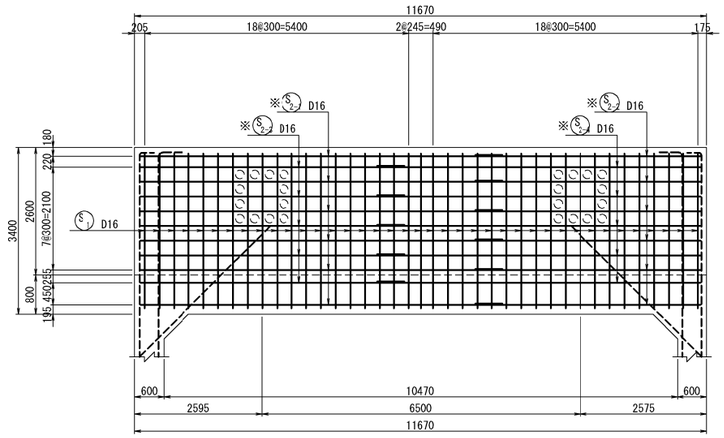


注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

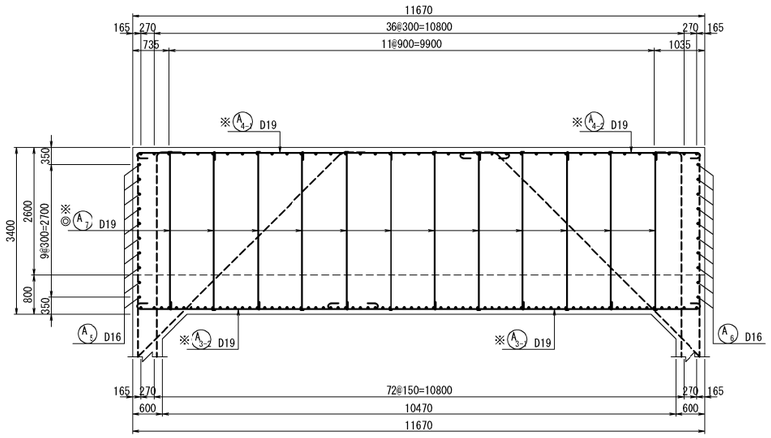
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その2)		
縮　　尺	図 示	図面番号	18 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台配筋図(その3) S=1：125

橋座平面図
1 － 1

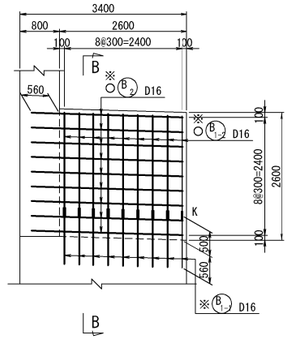


竪壁平面図
3 － 3

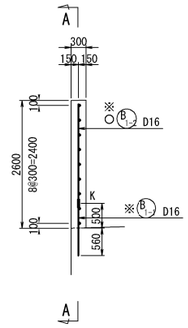


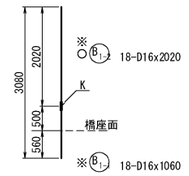
沓隠し詳細図
(n=2箇所)

沓隠し正面図
A － A

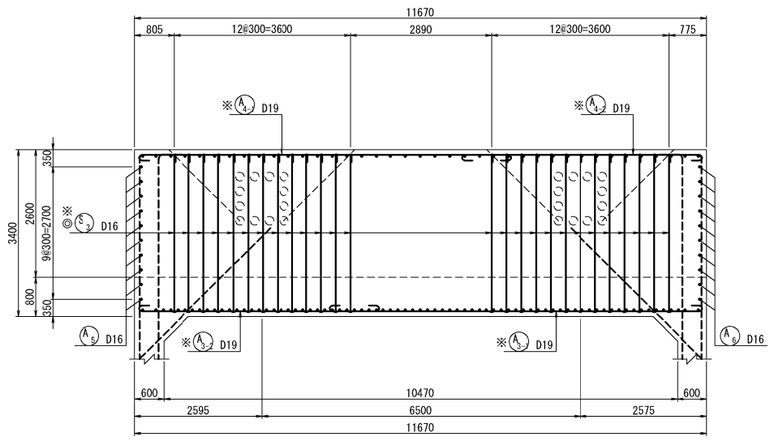


沓隠し側面図
B － B

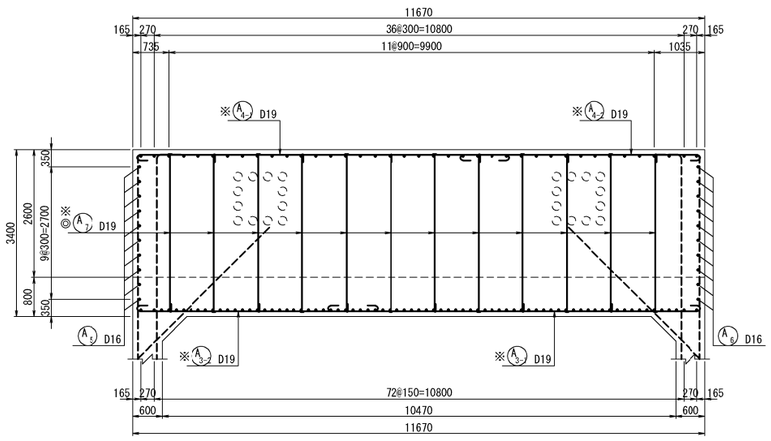




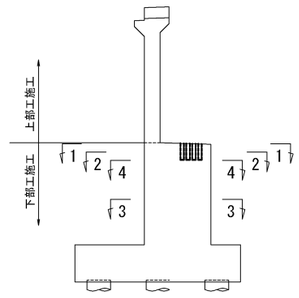
水平補強筋平面図
2 － 2



竪壁平面図
4 － 4



位 置 図



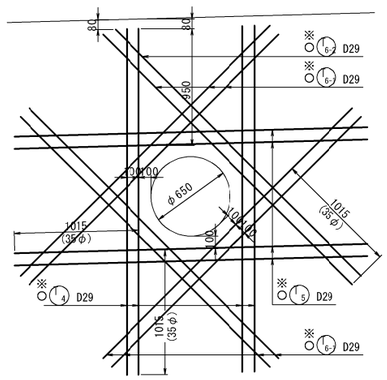
注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) A 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その3)		
縮　　尺	図 示	図面番号	19 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

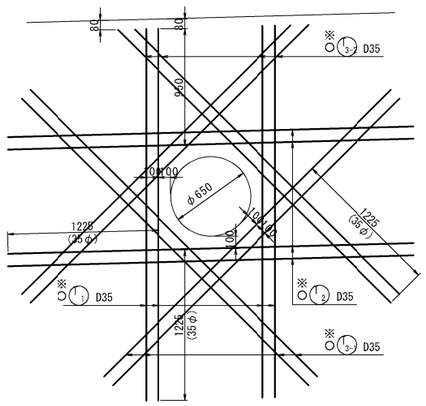
トマム川橋　A1橋台配筋図(その4) S=1：125

開口部補強詳細図 S=1：50

前面側

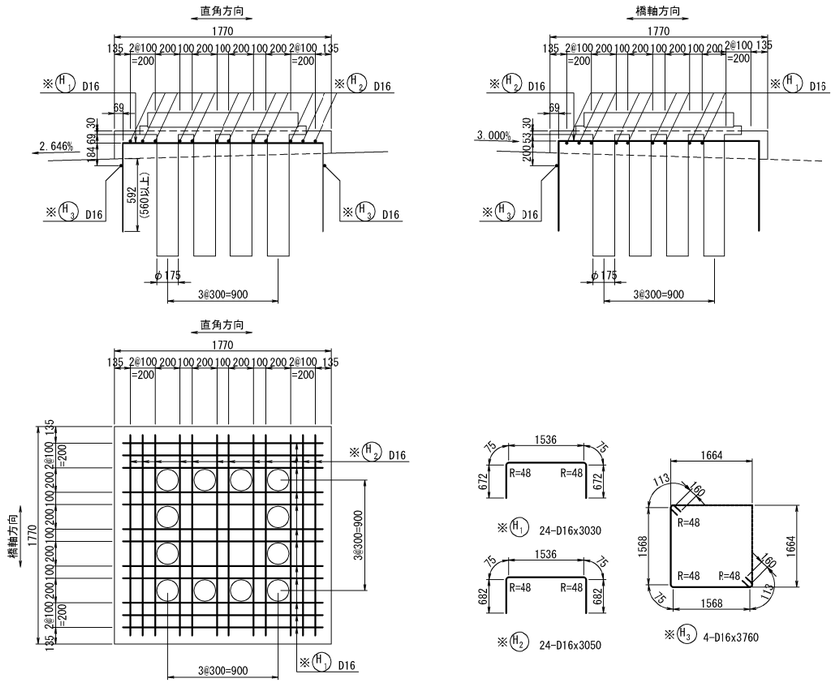


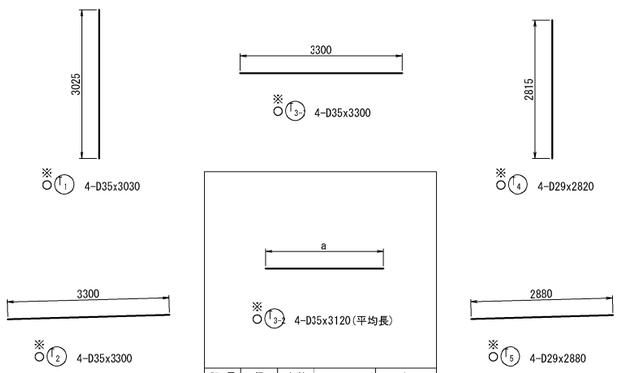
背面側

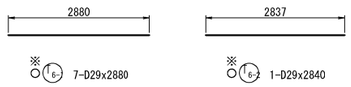


支承補強鉄筋 S=1:50

(n=2個所)







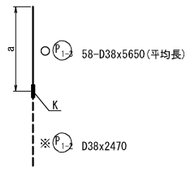
記 号	径	本数	a	L
1	D35	1	3047	3050
2	D35	1	3095	3100
3	D35	1	3142	3140
4	D35	1	3200	3200
平均長		4		3120

注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その4)		
縮　　尺	図 示	図面番号	20 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台配筋図(その5) S=1：125

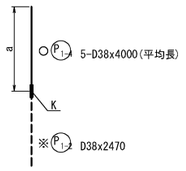
上部工施工鉄筋



○ P_{1-1} 58-D38x5650(平均長)

※ P_{1-2} D38x2470

記号	径	本数	a	L
1	D38	1	5653	5650
2	D38	1	5653	5650
3	D38	1	5653	5650
4	D38	1	5653	5650
5	D38	1	5653	5650
6	D38	1	5653	5650
7	D38	1	5653	5650
8	D38	1	5653	5650
9	D38	1	5653	5650
10	D38	1	5653	5650
11	D38	1	5653	5650
12	D38	1	5653	5650
13	D38	1	5653	5650
14	D38	1	5654	5650
15	D38	1	5654	5650
16	D38	1	5654	5650
17	D38	1	5654	5650
18	D38	1	5654	5650
19	D38	1	5654	5650
20	D38	1	5654	5650
21	D38	1	5654	5650
22	D38	1	5654	5650
23	D38	1	5654	5650
24	D38	1	5654	5650
25	D38	1	5654	5650
26	D38	1	5654	5650
27	D38	1	5654	5650
28	D38	1	5654	5650
29	D38	1	5654	5650
30	D38	1	5654	5650
31	D38	1	5654	5650
32	D38	1	5654	5650
33	D38	1	5654	5650
34	D38	1	5655	5660
35	D38	1	5655	5660
36	D38	1	5655	5660
37	D38	1	5655	5660
38	D38	1	5655	5660
39	D38	1	5655	5660
40	D38	1	5655	5660
41	D38	1	5655	5660
42	D38	1	5655	5660
43	D38	1	5655	5660
44	D38	1	5655	5660
45	D38	1	5655	5660
46	D38	1	5655	5660
47	D38	1	5655	5660
48	D38	1	5655	5660
49	D38	1	5655	5660
50	D38	1	5656	5660
51	D38	1	5656	5660
52	D38	1	5656	5660
53	D38	1	5656	5660
54	D38	1	5656	5660
55	D38	1	5656	5660
56	D38	1	5656	5660
57	D38	1	5656	5660
58	D38	1	5656	5660
平均長		58		5650



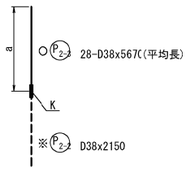
○ P_{1-3} 5-D38x4000(平均長)

※ P_{1-4} D38x2470

記号	径	本数	a	L
1	D38	1	3925	3930
2	D38	1	3953	3950
3	D38	1	3960	3950
4	D38	1	4067	4070
5	D38	1	4083	4030
平均長		5		4000

○ P_{1-5} 5-D38x1050(平均長)

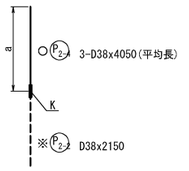
記号	径	本数	a	L
1	D38	1	979	930
2	D38	1	1006	1010
3	D38	1	1015	1020
4	D38	1	1121	1120
5	D38	1	1137	1140
平均長		5		1050



○ P_{2-1} 28-D38x5670(平均長)

※ P_{2-2} D38x2150

記号	径	本数	a	L
1	D38	1	5670	5670
2	D38	1	5670	5670
3	D38	1	5670	5670
4	D38	1	5670	5670
5	D38	1	5670	5670
6	D38	1	5670	5670
7	D38	1	5670	5670
8	D38	1	5670	5670
9	D38	1	5671	5670
10	D38	1	5671	5670
11	D38	1	5671	5670
12	D38	1	5671	5670
13	D38	1	5671	5670
14	D38	1	5671	5670
15	D38	1	5671	5670
16	D38	1	5671	5670
17	D38	1	5671	5670
18	D38	1	5671	5670
19	D38	1	5671	5670
20	D38	1	5671	5670
21	D38	1	5671	5670
22	D38	1	5671	5670
23	D38	1	5672	5670
24	D38	1	5672	5670
25	D38	1	5672	5670
26	D38	1	5672	5670
27	D38	1	5672	5670
28	D38	1	5672	5670
平均長		28		5670



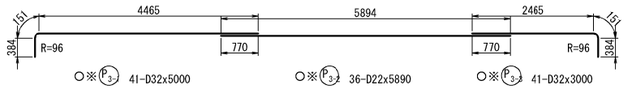
○ P_{2-3} 3-D38x4050(平均長)

※ P_{2-4} D38x2150

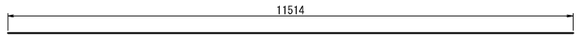
記号	径	本数	a	L
1	D38	1	3949	3950
2	D38	1	4091	4090
3	D38	1	4107	4110
平均長		3		4050

○ P_{2-5} 3-D38x1070(平均長)

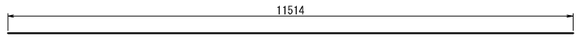
記号	径	本数	a	L
1	D38	1	972	970
2	D38	1	1114	1110
3	D38	1	1130	1130
平均長		3		1070



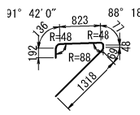
○※ P_{3-1} 41-D32x5000　○※ P_{3-2} 36-D22x5890　○※ P_{3-3} 41-D32x3000



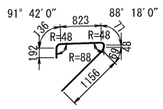
○※ P_{4-1} 19-D22x11510



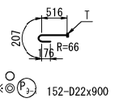
○※ P_{7} 6-D16x11510



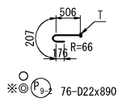
○ P_{8-1} 38-D16x2660



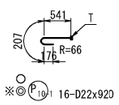
○ P_{8-2} 1-D16x2500



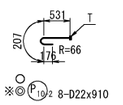
※◎ P_{3-4} 152-D22x900



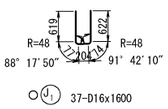
○ ※◎ P_{8-3} 76-D22x890



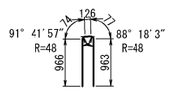
※◎ P_{10-1} 16-D22x920



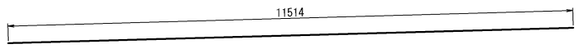
※◎ P_{10-2} 8-D22x910



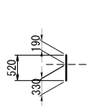
○ J_{1} 37-D16x1600



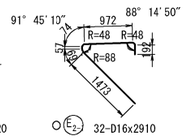
○ J_{2} 37-D16x2210



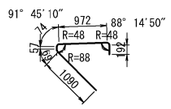
※○ J_{3} 4-D16x11510



○ E_{1} 14-D22x520
注）溶融亜鉛めっき

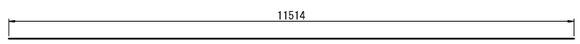


○ E_{2} 32-D16x2910

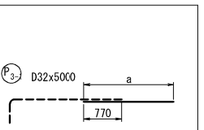


○ E_{3} 3-D16x2530

※ E_{4} 14-D13x1590



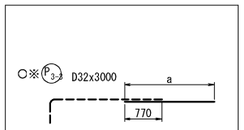
○※ E_{3} 4-D16x11510



○※ P_{3-1} D32x5000

○※ P_{3-2} 2-D22x1620(平均長)

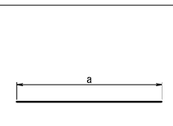
記号	径	本数	a	L
1	D22	1	1593	1590
2	D22	1	1647	1650
平均長		2		1620



○※ P_{3-3} D32x3000

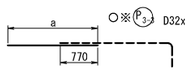
○※ P_{3-4} 3-D22x3710(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D22	1	3586	3590
2	D22	1	3667	3670
3	D22	1	3883	3880
平均長		3		3710



○※ P_{4-2} 3-D22x5500(平均長)

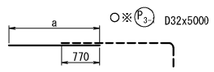
記号	径	本数	a	L
1	D22	1	5394	5390
2	D22	1	5496	5500
3	D22	1	5617	5620
平均長		3		5500



○※ P_{3-5} D32x3000

○※ P_{3-6} 2-D22x3610(平均長)

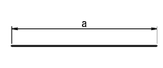
記号	径	本数	a	L
1	D22	1	3568	3570
2	D22	1	3639	3640
平均長		2		3610



○※ P_{3-7} D32x5000

○※ P_{3-8} 3-D22x1700(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D22	1	1570	1570
2	D22	1	1635	1640
3	D22	1	1882	1880
平均長		3		1700



○※ P_{4-3} 3-D22x5490(平均長)

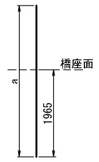
記号	径	本数	a	L
1	D22	1	5376	5380
2	D22	1	5463	5460
3	D22	1	5616	5620
平均長		3		5490

注1）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）K 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その5)		
縮　尺	図 示	図面番号	21 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

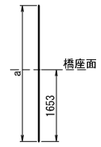
トマム川橋　A1橋台配筋図(その6) S=1：125

下部工施工鉄筋



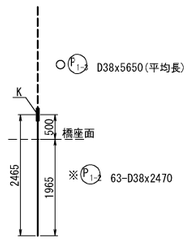
※(P1-1) 16-D38x8120(平均長)

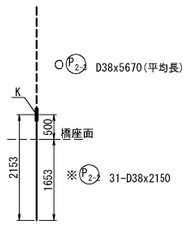
記 号	径	本数	a	L
1	D38	1	8120	8120
2	D38	1	8120	8120
3	D38	1	8120	8120
4	D38	1	8120	8120
5	D38	1	8120	8120
6	D38	1	8120	8120
7	D38	1	8120	8120
8	D38	1	8120	8120
9	D38	1	8123	8120
10	D38	1	8123	8120
11	D38	1	8123	8120
12	D38	1	8123	8120
13	D38	1	8123	8120
14	D38	1	8123	8120
15	D38	1	8123	8120
16	D38	1	8124	8120
平均長		16		8120

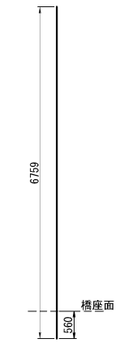


※(P2-1) 8-D38x7830(平均長)

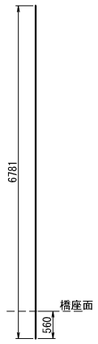
記 号	径	本数	a	L
1	D38	1	7823	7820
2	D38	1	7823	7820
3	D38	1	7823	7820
4	D38	1	7823	7820
5	D38	1	7825	7830
6	D38	1	7825	7830
7	D38	1	7825	7830
8	D38	1	7825	7830
平均長		8		7830



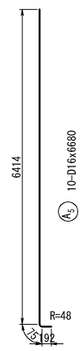


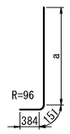


※(P5) 2-D16x6760



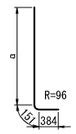
※(P6) 2-D16x6780





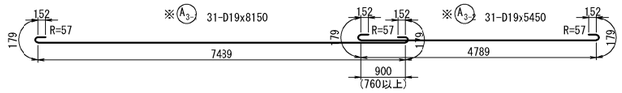
(A1) 75-D32x7080(平均長)

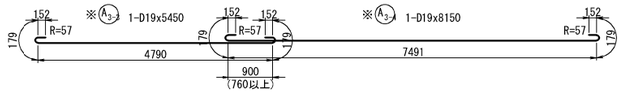
記 号	径	本数	a	L	記 号	径	本数	a	L
1	D32	1	6390	6930	39	D32	1	6544	7080
2	D32	1	6397	6930	40	D32	1	6548	7080
3	D32	1	6401	6940	41	D32	1	6552	7090
4	D32	1	6405	6940	42	D32	1	6556	7090
5	D32	1	6409	6940	43	D32	1	6560	7100
6	D32	1	6413	6950	44	D32	1	6564	7100
7	D32	1	6417	6950	45	D32	1	6568	7100
8	D32	1	6421	6960	46	D32	1	6572	7110
9	D32	1	6425	6960	47	D32	1	6575	7110
10	D32	1	6429	6960	48	D32	1	6579	7110
11	D32	1	6433	6970	49	D32	1	6583	7120
12	D32	1	6437	6970	50	D32	1	6587	7120
13	D32	1	6441	6980	51	D32	1	6591	7130
14	D32	1	6445	6980	52	D32	1	6595	7130
15	D32	1	6448	6980	53	D32	1	6599	7130
16	D32	1	6452	6990	54	D32	1	6603	7140
17	D32	1	6456	6990	55	D32	1	6607	7140
18	D32	1	6460	7000	56	D32	1	6611	7150
19	D32	1	6464	7000	57	D32	1	6615	7150
20	D32	1	6468	7000	58	D32	1	6619	7150
21	D32	1	6472	7010	59	D32	1	6623	7160
22	D32	1	6476	7010	60	D32	1	6627	7160
23	D32	1	6480	7020	61	D32	1	6631	7170
24	D32	1	6484	7020	62	D32	1	6635	7170
25	D32	1	6488	7020	63	D32	1	6639	7170
26	D32	1	6492	7030	64	D32	1	6643	7180
27	D32	1	6496	7030	65	D32	1	6647	7180
28	D32	1	6500	7040	66	D32	1	6651	7190
29	D32	1	6504	7040	67	D32	1	6655	7190
30	D32	1	6508	7040	68	D32	1	6659	7190
31	D32	1	6512	7050	69	D32	1	6663	7200
32	D32	1	6516	7050	70	D32	1	6667	7200
33	D32	1	6520	7060	71	D32	1	6671	7210
34	D32	1	6524	7060	72	D32	1	6675	7210
35	D32	1	6528	7060	73	D32	1	6679	7210
36	D32	1	6532	7070	74	D32	1	6683	7220
37	D32	1	6536	7070	75	D32	1	6690	7230
38	D32	1	6540	7080	平均長		75		7080

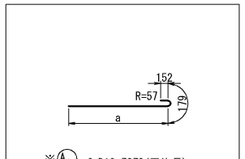


(A2) 39-D32x7080(平均長)

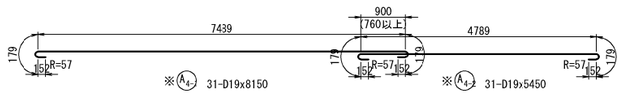
記 号	径	本数	a	L
1	D32	1	6390	6930
2	D32	1	6397	6930
3	D32	1	6405	6940
4	D32	1	6413	6950
5	D32	1	6421	6960
6	D32	1	6429	6960
7	D32	1	6437	6970
8	D32	1	6445	6980
9	D32	1	6452	6990
10	D32	1	6460	7000
11	D32	1	6468	7000
12	D32	1	6476	7010
13	D32	1	6484	7020
14	D32	1	6492	7030
15	D32	1	6500	7040
16	D32	1	6508	7040
17	D32	1	6516	7050
18	D32	1	6524	7060
19	D32	1	6532	7070
20	D32	1	6540	7080
21	D32	1	6548	7080
22	D32	1	6556	7090
23	D32	1	6564	7100
24	D32	1	6572	7110
25	D32	1	6579	7110
26	D32	1	6587	7120
27	D32	1	6595	7130
28	D32	1	6603	7140
29	D32	1	6611	7150
30	D32	1	6619	7150
31	D32	1	6627	7160
32	D32	1	6635	7170
33	D32	1	6643	7180
34	D32	1	6651	7190
35	D32	1	6659	7190
36	D32	1	6667	7200
37	D32	1	6675	7210
38	D32	1	6683	7220
39	D32	1	6690	7230
平均長		39		7080

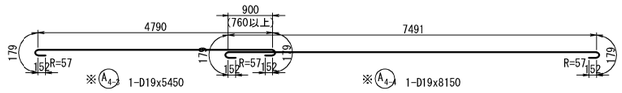


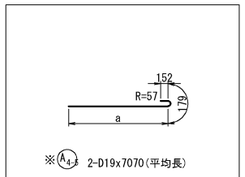




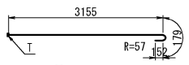
記 号	径	本数	a	L
1	D19	1	3840	4170
2	D19	1	9643	9970
平均長		2		7070

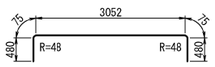




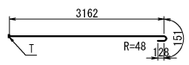


記 号	径	本数	a	L
1	D19	1	3840	4170
2	D19	1	9643	9970
平均長		2		7070

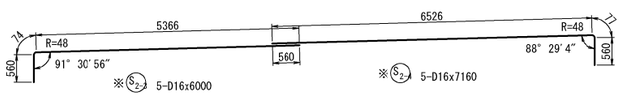




(S1) 39-D16x4160



※◎(S3) 26-D16x3440

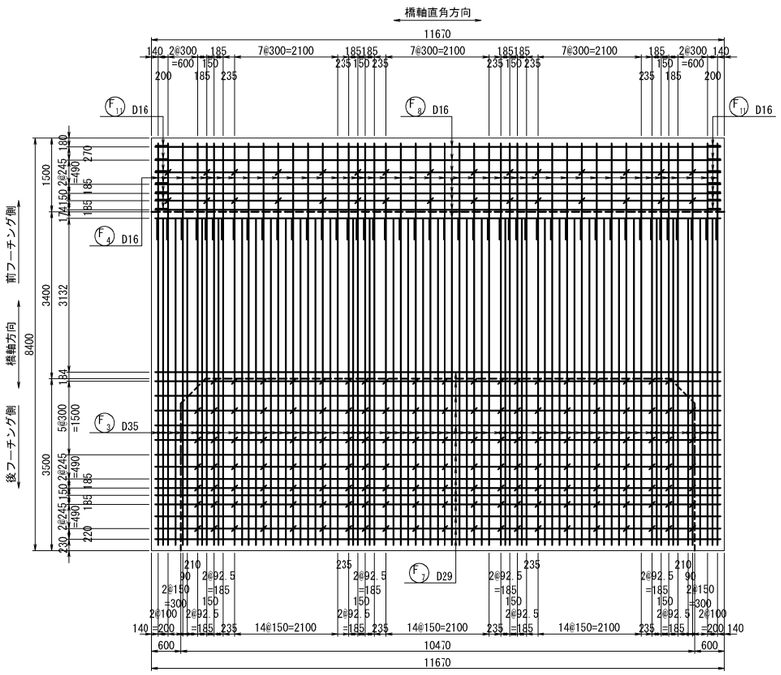


注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

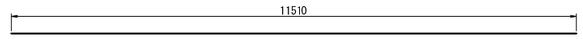
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その6)		
縮　　尺	図　示	図面番号	22 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台配筋図(その7) S=1：125

1 － 1

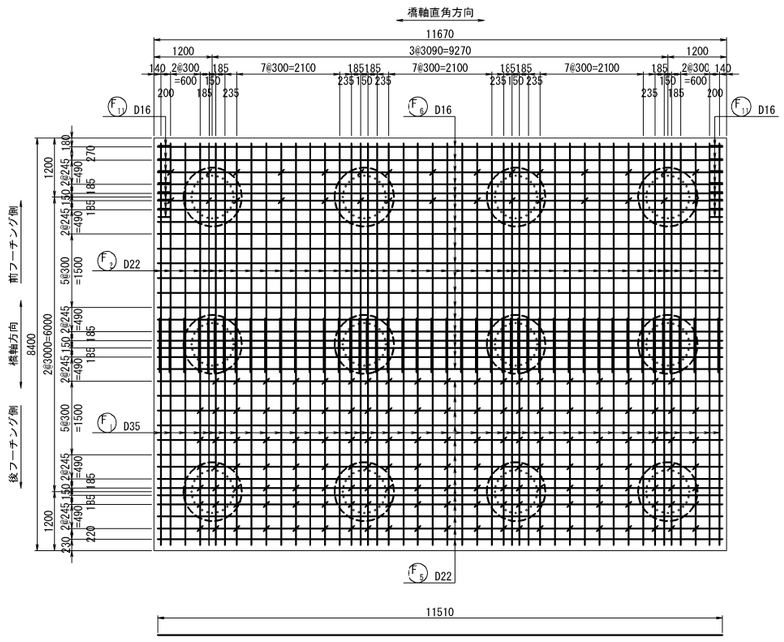


F7 15-D29x11510

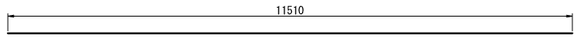


F8 8-D16x11510

2 － 2

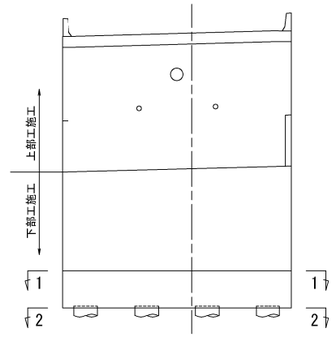


F5 14-D22x11510



F6 20-D16x11510

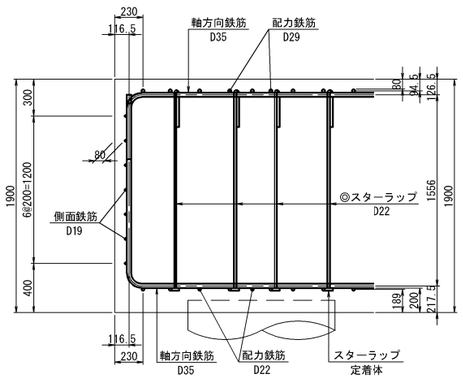
位置図



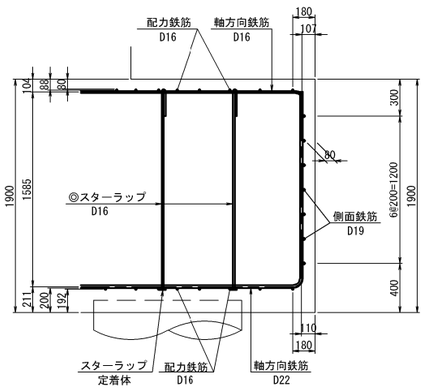
フーチングかぶり詳細図　S=1：50

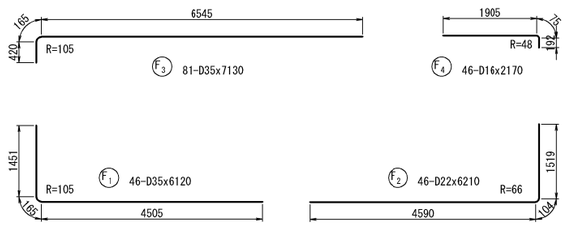
橋軸方向

後フーチング側

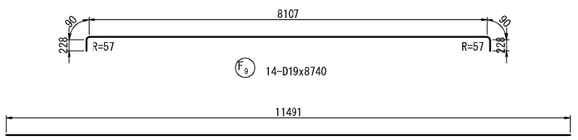


前フーチング側



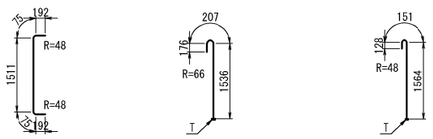


F3 81-D35x7130　F4 46-D16x2170　F1 46-D35x6120　F2 46-D22x6210



F9 14-D19x8740

F10 14-D19x11490



F11 14-D16x2050　◎F12 145-D22x1920　◎F13 30-D16x1840

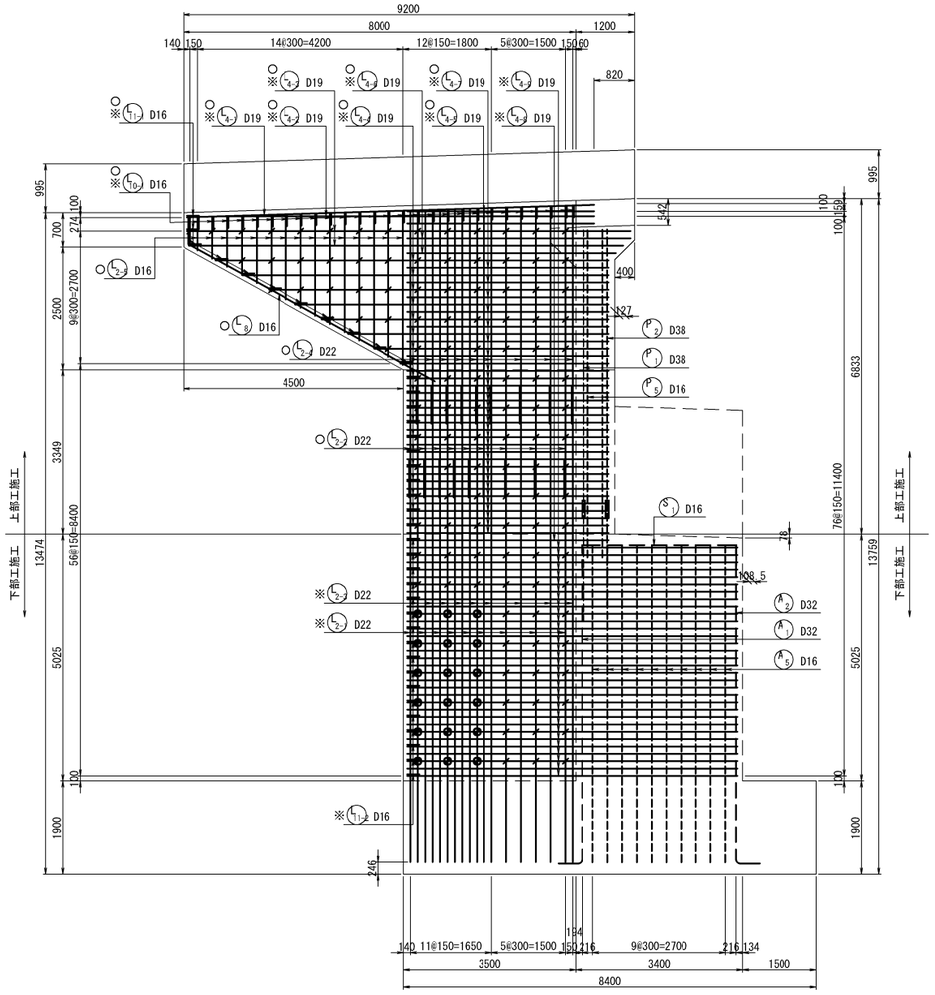
注1）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）K 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その7)		
縮　　尺	図　示	図面番号	23 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

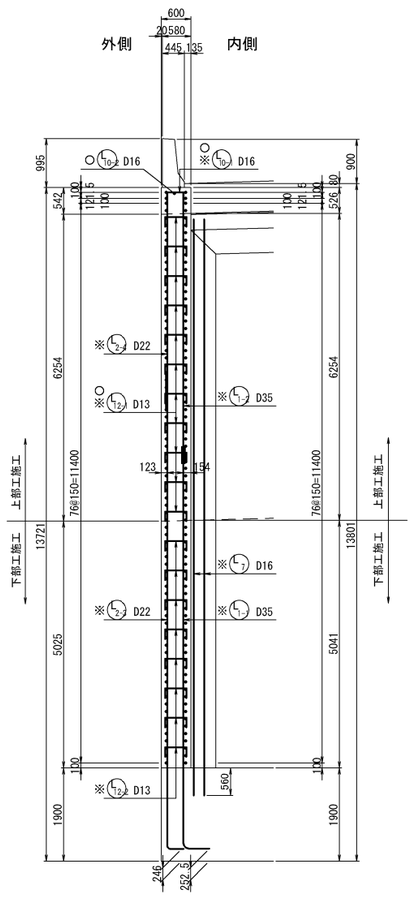
トマム川橋　A1橋台配筋図(その8) S=1：125

左側ウイング

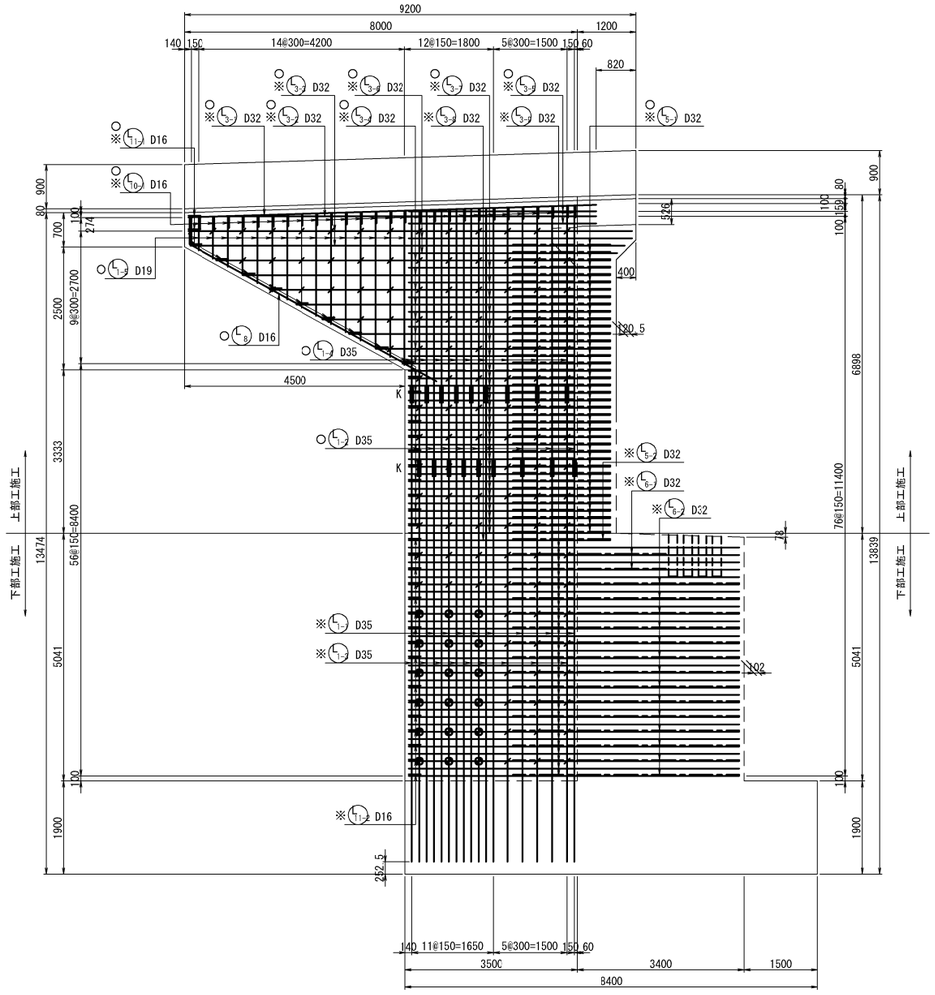
1 － 1
外 側

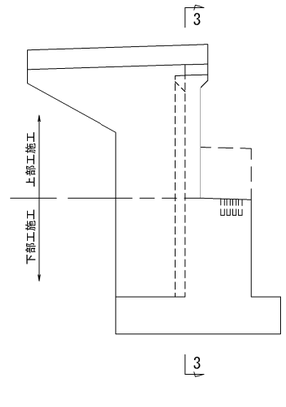


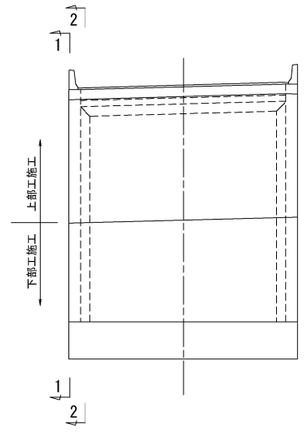
3 － 3



2 － 2
内 側







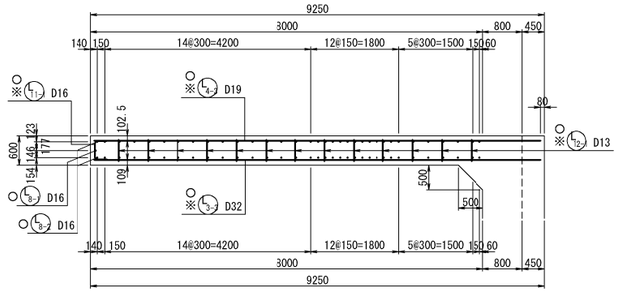
注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。
注6) ⊘ は L_{13} 鉄筋を表わす。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その8)		
縮　　尺	図 示	図面番号	24 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

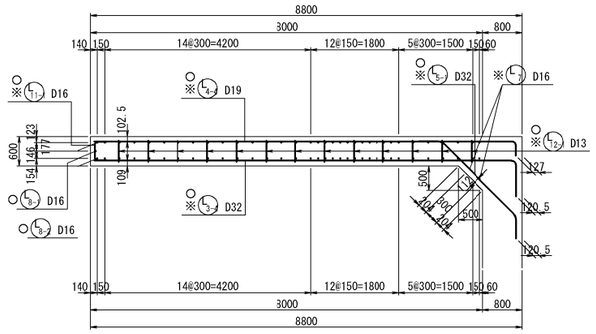
トマム川橋　A1橋台配筋図(その9) S=1：125

左側ウイング

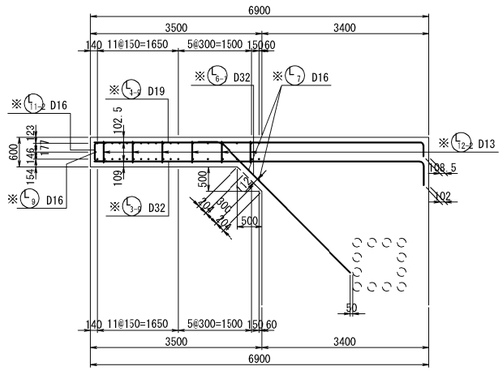
1 － 1



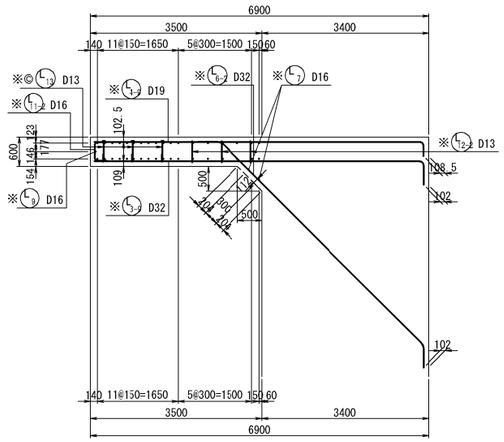
2 － 2

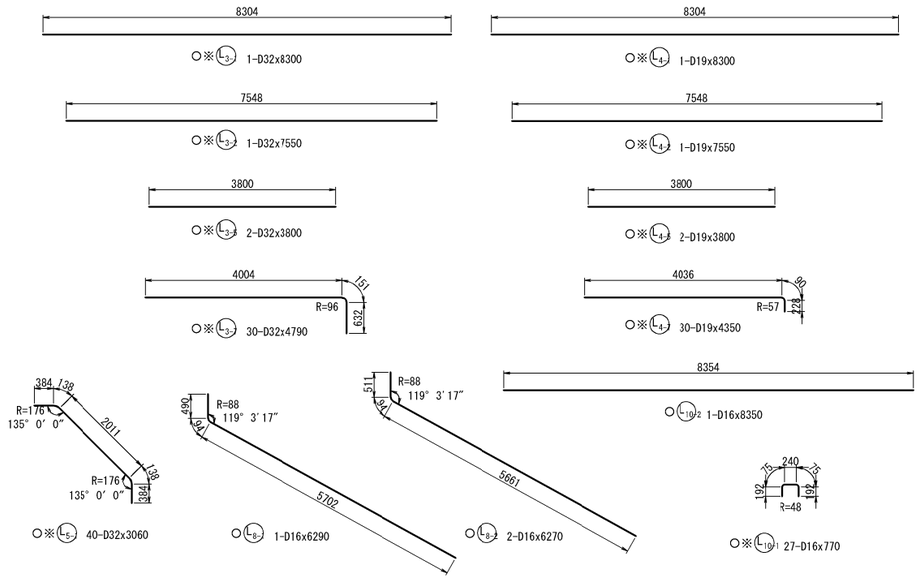


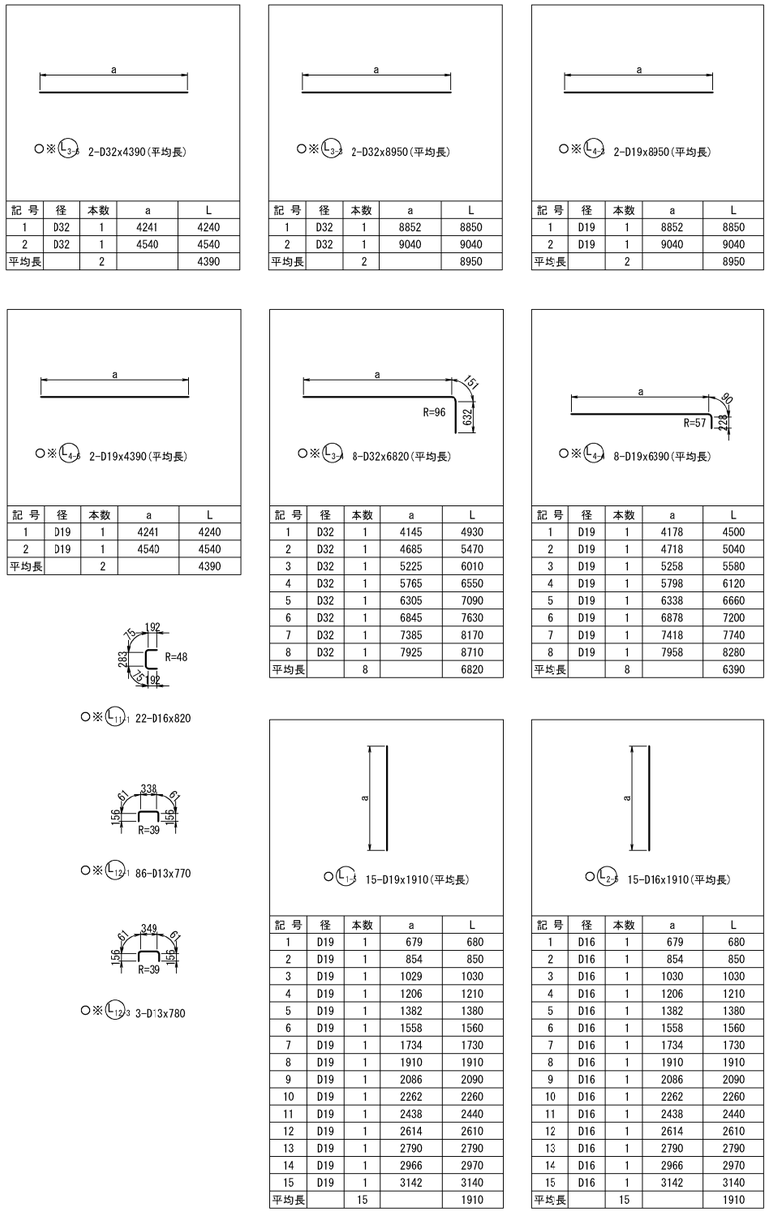
3 － 3



4 － 4







記号	径	本数	a	L
1	D32	1	4241	4240
2	D32	1	4540	4540
平均長		2		4390

記号	径	本数	a	L
1	D32	1	8852	8850
2	D32	1	9040	9040
平均長		2		8950

記号	径	本数	a	L
1	D19	1	8852	8850
2	D19	1	9040	9040
平均長		2		8950

記号	径	本数	a	L
1	D19	1	4241	4240
2	D19	1	4540	4540
平均長		2		4390

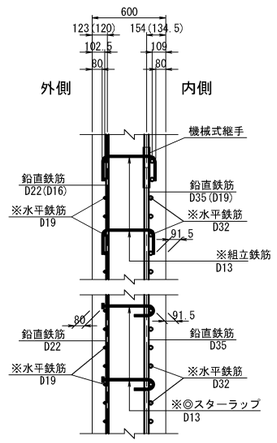
記号	径	本数	a	L
1	D32	1	4145	4930
2	D32	1	4685	5470
3	D32	1	5225	6010
4	D32	1	5765	6550
5	D32	1	6305	7090
6	D32	1	6845	7630
7	D32	1	7385	8170
8	D32	1	7925	8710
平均長		8		6820

記号	径	本数	a	L
1	D19	1	4178	4500
2	D19	1	4718	5040
3	D19	1	5258	5580
4	D19	1	5798	6120
5	D19	1	6338	6660
6	D19	1	6878	7200
7	D19	1	7418	7740
8	D19	1	7958	8280
平均長		8		6390

記号	径	本数	a	L
1	D19	1	679	680
2	D19	1	854	850
3	D19	1	1029	1030
4	D19	1	1206	1210
5	D19	1	1382	1380
6	D19	1	1558	1560
7	D19	1	1734	1730
8	D19	1	1910	1910
9	D19	1	2086	2090
10	D19	1	2262	2260
11	D19	1	2438	2440
12	D19	1	2614	2610
13	D19	1	2790	2790
14	D19	1	2966	2970
15	D19	1	3142	3140
平均長		15		1910

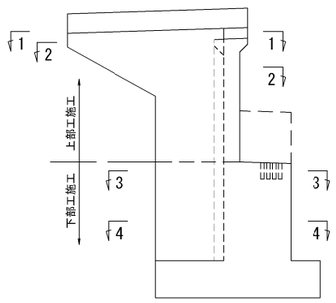
記号	径	本数	a	L
1	D16	1	679	680
2	D16	1	854	850
3	D16	1	1030	1030
4	D16	1	1206	1210
5	D16	1	1382	1380
6	D16	1	1558	1560
7	D16	1	1734	1730
8	D16	1	1910	1910
9	D16	1	2086	2090
10	D16	1	2262	2260
11	D16	1	2438	2440
12	D16	1	2614	2610
13	D16	1	2790	2790
14	D16	1	2966	2970
15	D16	1	3142	3140
平均長		15		1910

左側ウイングかぶり詳細図



※（　）内は、パラレルウイング部を示す。

位 置 図

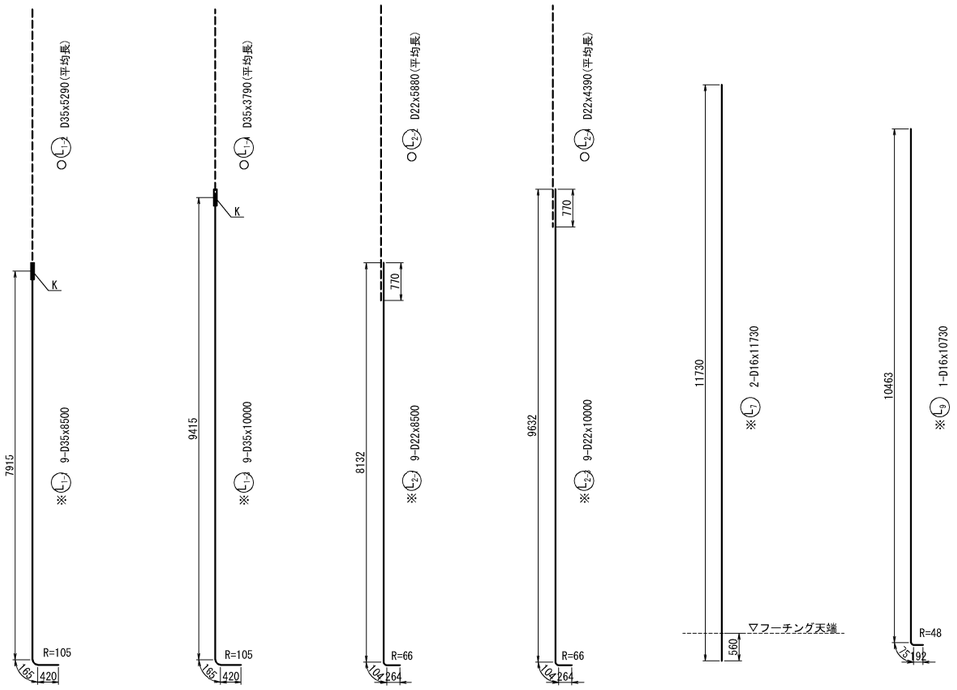


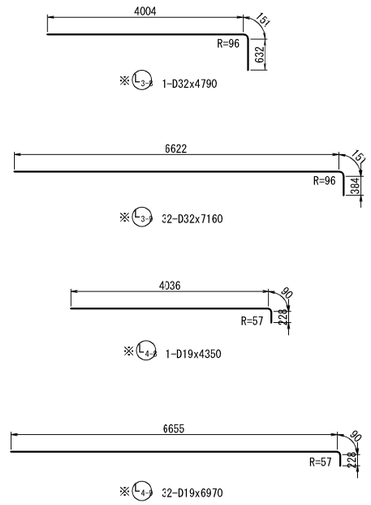
注1）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）⚓印は機械式継手位置を表す。

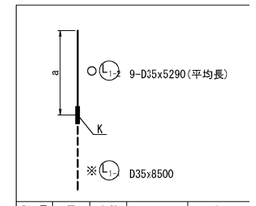
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その9)		
縮　　尺	図 示	図面番号	25 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台配筋図(その10) S=1：125

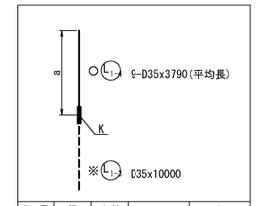
左側ウイング



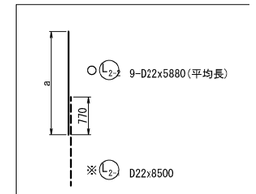




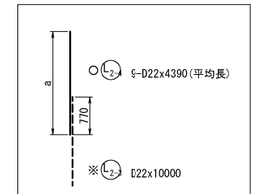
記 号	径	本数	a	L
1	D35	1	5250	5250
2	D35	1	5259	5260
3	D35	1	5268	5270
4	D35	1	5278	5280
5	D35	1	5287	5290
6	D35	1	5296	5300
7	D35	1	5315	5320
8	D35	1	5333	5330
9	D35	1	5347	5350
平均長		9		5290



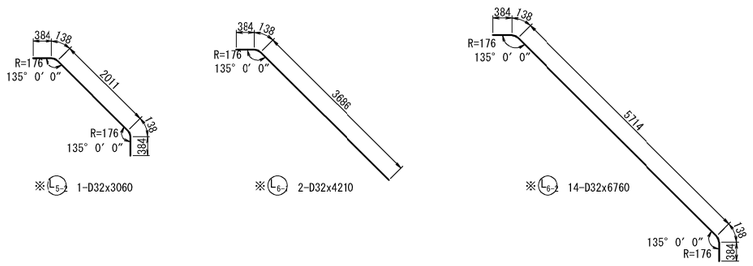
記 号	径	本数	a	L
1	D35	1	3745	3750
2	D35	1	3754	3750
3	D35	1	3764	3760
4	D35	1	3773	3770
5	D35	1	3782	3780
6	D35	1	3792	3790
7	D35	1	3805	3810
8	D35	1	3824	3820
9	D35	1	3843	3840
平均長		9		3790

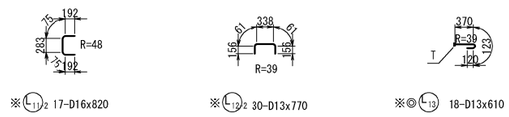


記 号	径	本数	a	L
1	D22	1	5844	5840
2	D22	1	5853	5850
3	D22	1	5862	5860
4	D22	1	5871	5870
5	D22	1	5881	5880
6	D22	1	5890	5890
7	D22	1	5904	5900
8	D22	1	5922	5920
9	D22	1	5941	5940
平均長		9		5880



記 号	径	本数	a	L
1	D22	1	4348	4350
2	D22	1	4358	4360
3	D22	1	4367	4370
4	D22	1	4376	4380
5	D22	1	4385	4390
6	D22	1	4395	4400
7	D22	1	4413	4410
8	D22	1	4432	4430
9	D22	1	4446	4450
平均長		9		4390





注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

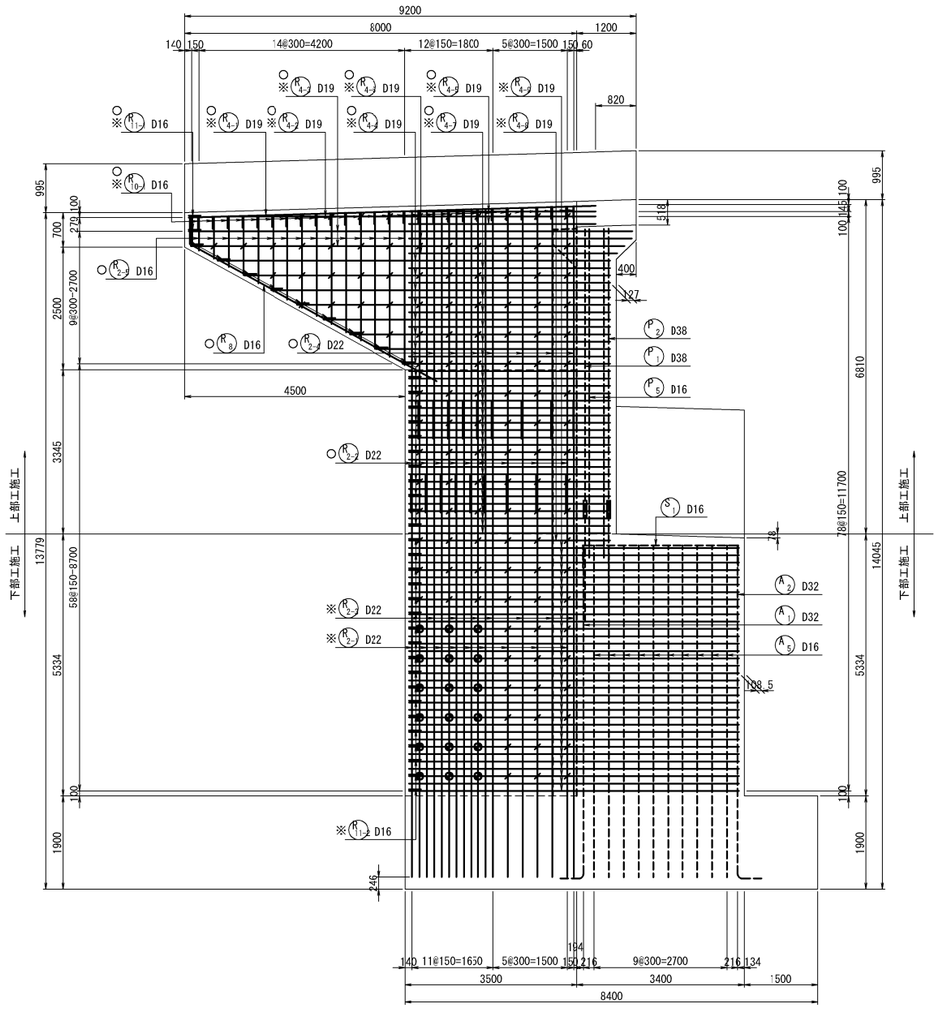
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その10)		
縮　　尺	図　示	図面番号	26 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台配筋図(その11) S=1：125

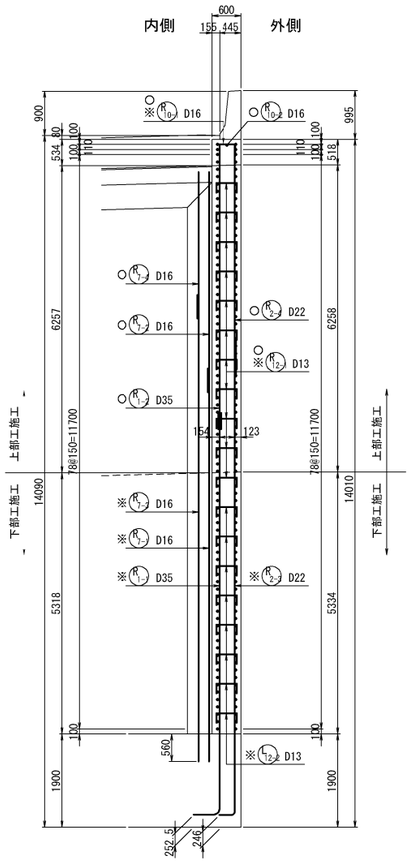
右側ウイング

1 － 1

外 側

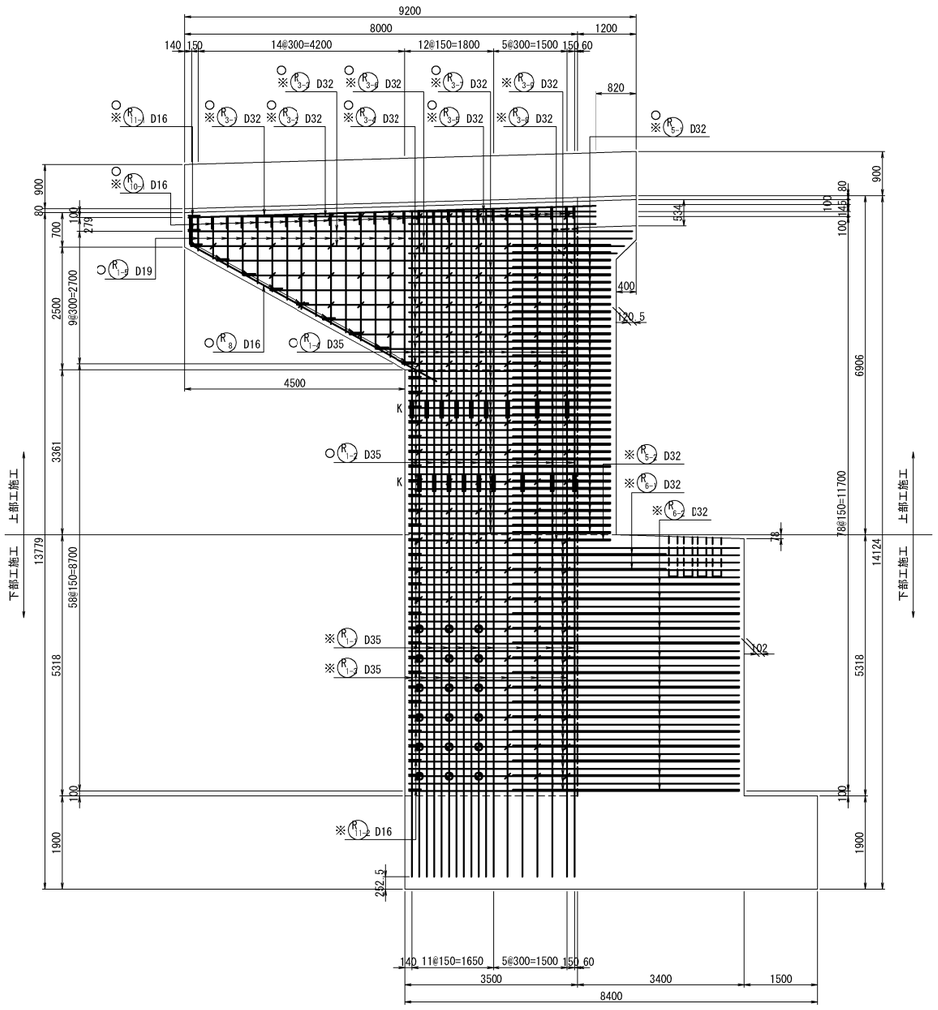


3 － 3

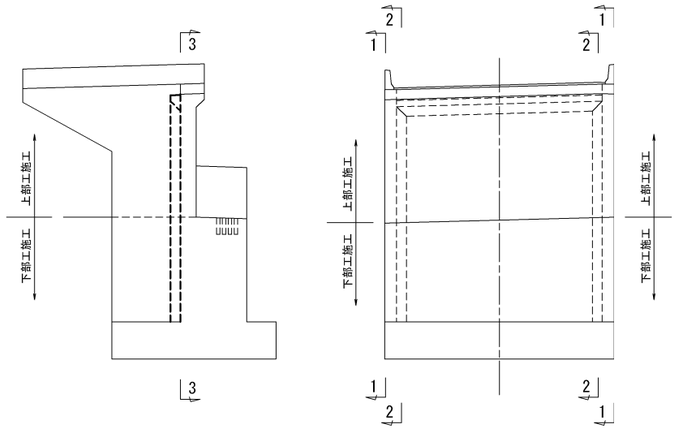


2 － 2

内 側



位 置 図



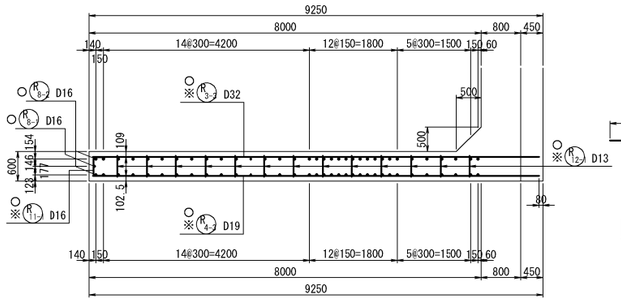
注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。
注6) ⊘ は R 鉄筋を表わす。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その11)		
縮　　尺	図　示	図面番号	27 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

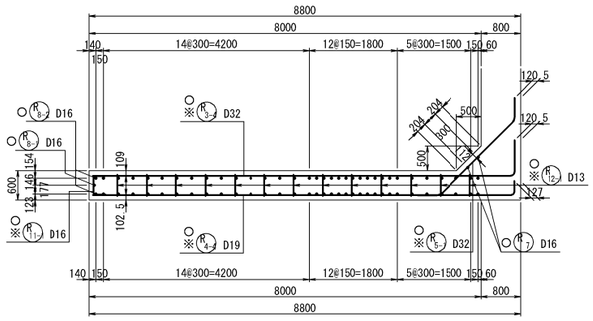
トマム川橋　A1橋台配筋図(その12) S=1：125

右側ウイング

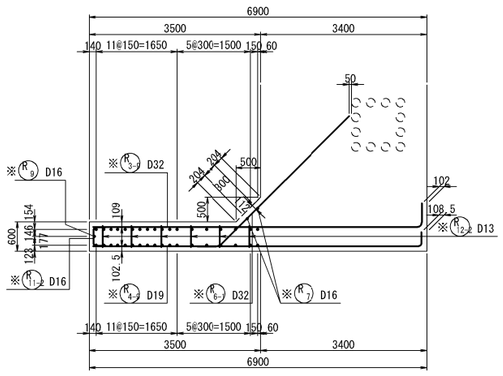
1 － 1



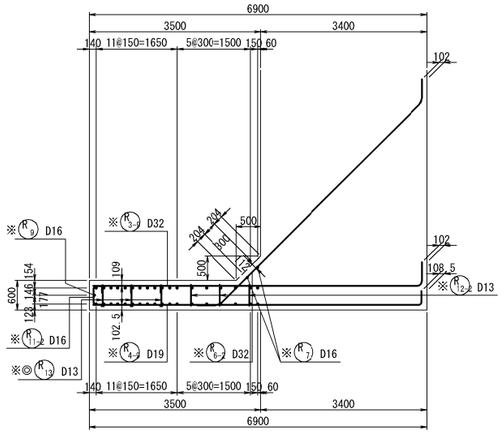
2 － 2

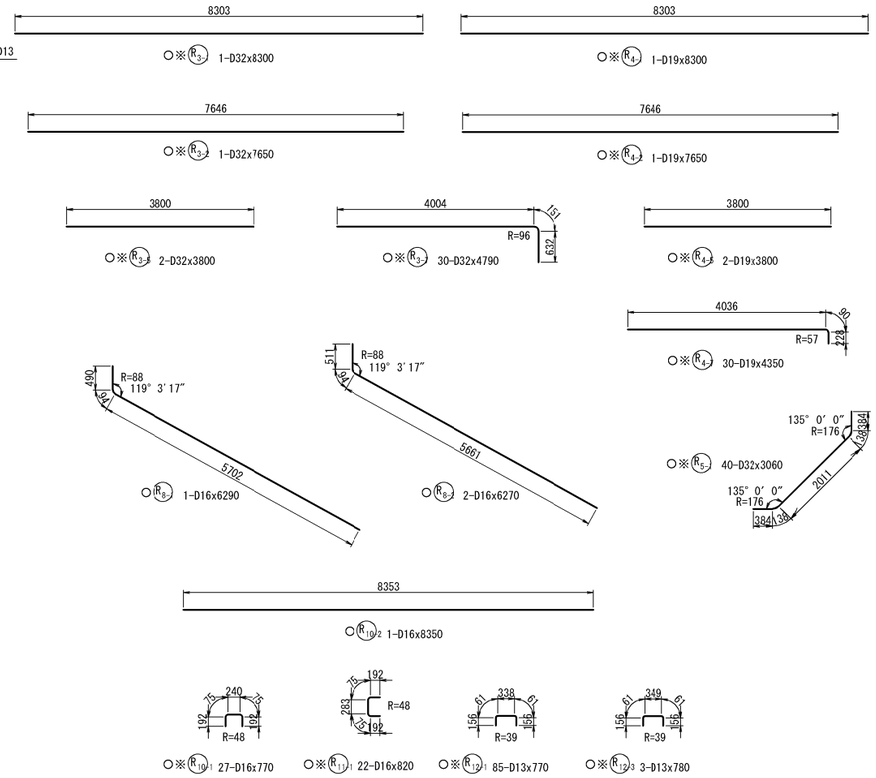


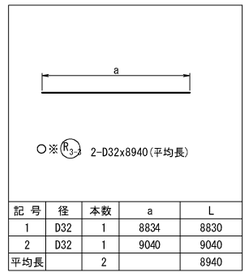
3 － 3



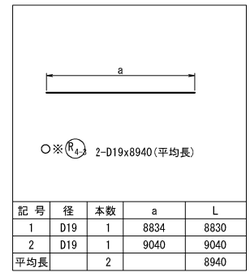
4 － 4



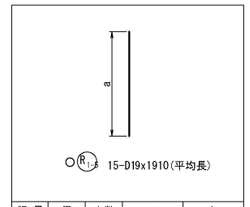




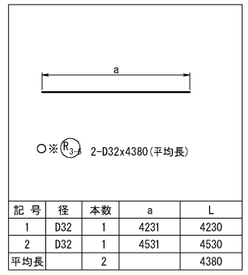
記号	径	本数	a	L
1	D32	1	8834	8830
2	D32	1	9040	9040
平均長		2		8940



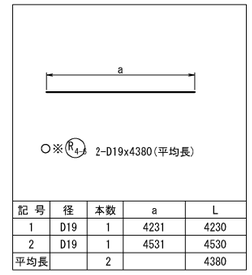
記号	径	本数	a	L
1	D19	1	8834	8830
2	D19	1	9040	9040
平均長		2		8940



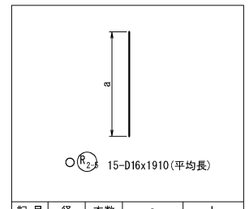
記号	径	本数	a	L
1	D19	1	678	680
2	D19	1	853	850
3	D19	1	1029	1030
4	D19	1	1204	1200
5	D19	1	1379	1380
6	D19	1	1555	1560
7	D19	1	1730	1730
8	D19	1	1929	1930
9	D19	1	2081	2080
10	D19	1	2256	2260
11	D19	1	2431	2430
12	D19	1	2607	2610
13	D19	1	2782	2780
14	D19	1	2957	2960
15	D19	1	3133	3130
平均長		15		1910



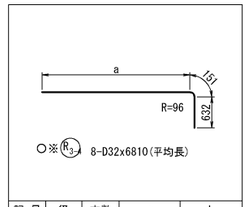
記号	径	本数	a	L
1	D32	1	4231	4230
2	D32	1	4531	4530
平均長		2		4380



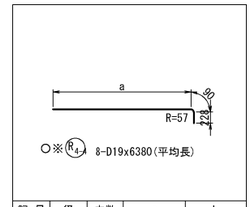
記号	径	本数	a	L
1	D19	1	4231	4230
2	D19	1	4531	4530
平均長		2		4380



記号	径	本数	a	L
1	D16	1	678	680
2	D16	1	853	850
3	D16	1	1029	1030
4	D16	1	1204	1200
5	D16	1	1379	1380
6	D16	1	1555	1560
7	D16	1	1730	1730
8	D16	1	1905	1910
9	D16	1	2081	2080
10	D16	1	2256	2260
11	D16	1	2431	2430
12	D16	1	2607	2610
13	D16	1	2782	2780
14	D16	1	2957	2960
15	D16	1	3133	3130
平均長		15		1910

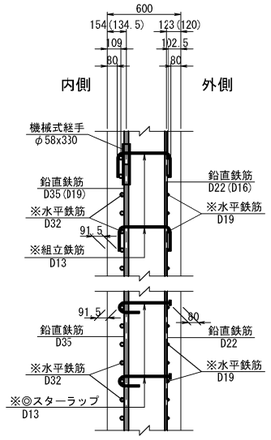


記号	径	本数	a	L
1	D32	1	4137	4930
2	D32	1	4677	5460
3	D32	1	5217	6000
4	D32	1	5757	6540
5	D32	1	6297	7080
6	D32	1	6837	7620
7	D32	1	7377	8160
8	D32	1	7917	8700
平均長		8		6810



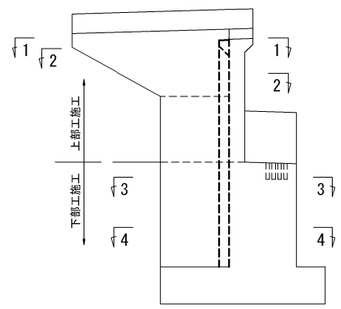
記号	径	本数	a	L
1	D19	1	4169	4490
2	D19	1	4709	5030
3	D19	1	5249	5570
4	D19	1	5789	6110
5	D19	1	6329	6650
6	D19	1	6869	7190
7	D19	1	7409	7730
8	D19	1	7949	8270
平均長		8		6380

右側ウイングかぶり詳細図



※（　）内は、パラレルウイング部を示す。

位置図

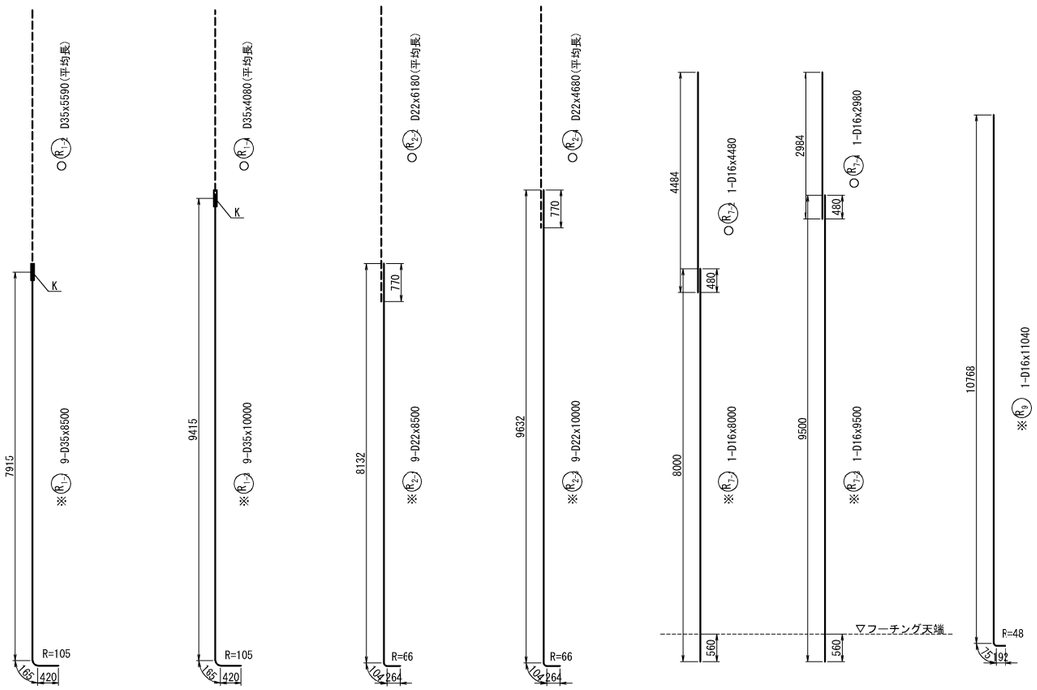


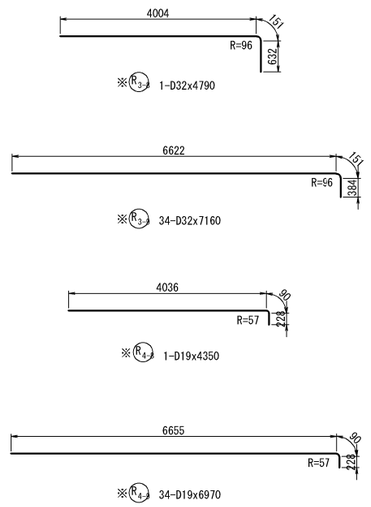
注1）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）K 印は機械式継手位置を表す。

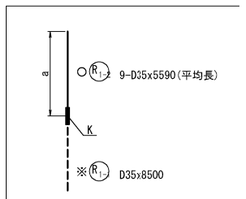
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その12)		
縮　尺	図　示	図面番号	28 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台配筋図(その13) S=1：125

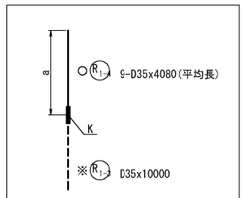
右側ウイング



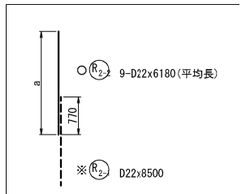




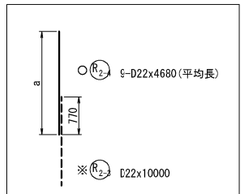
記 号	径	本数	a	L
1	D35	1	5545	5550
2	D35	1	5553	5550
3	D35	1	5562	5560
4	D35	1	5571	5570
5	D35	1	5579	5580
6	D35	1	5588	5590
7	D35	1	5605	5610
8	D35	1	5623	5620
9	D35	1	5636	5640
平均長		9		5590



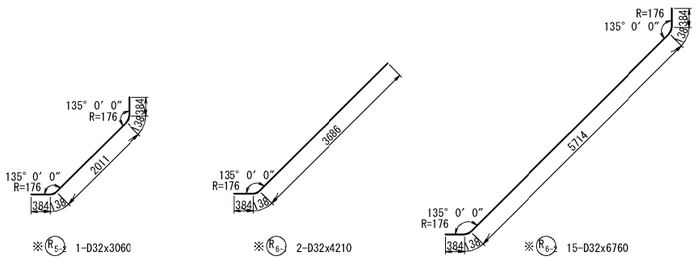
記 号	径	本数	a	L
1	D35	1	4040	4040
2	D35	1	4049	4050
3	D35	1	4058	4060
4	D35	1	4066	4070
5	D35	1	4075	4080
6	D35	1	4084	4080
7	D35	1	4097	4100
8	D35	1	4114	4110
9	D35	1	4131	4130
平均長		9		4080

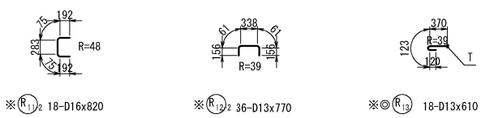


記 号	径	本数	a	L
1	D22	1	6139	6140
2	D22	1	6148	6150
3	D22	1	6156	6160
4	D22	1	6165	6170
5	D22	1	6174	6170
6	D22	1	6182	6180
7	D22	1	6195	6200
8	D22	1	6213	6210
9	D22	1	6230	6230
平均長		9		6180



記 号	径	本数	a	L
1	D22	1	4643	4640
2	D22	1	4652	4650
3	D22	1	4661	4660
4	D22	1	4669	4670
5	D22	1	4678	4680
6	D22	1	4687	4690
7	D22	1	4704	4700
8	D22	1	4721	4720
9	D22	1	4734	4730
平均長		9		4680



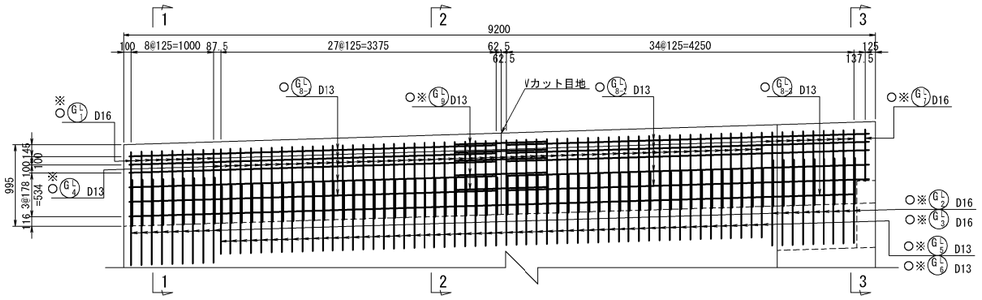


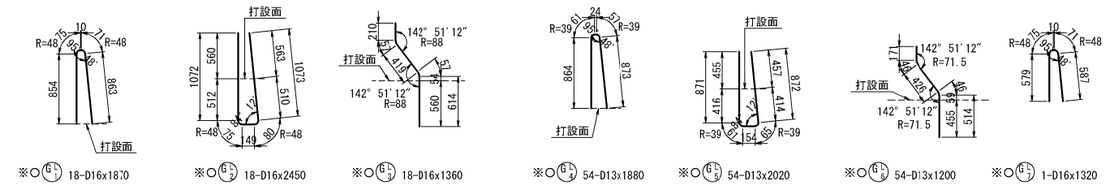
注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

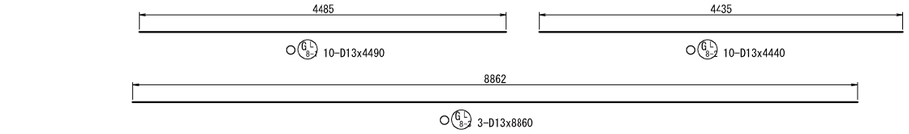
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その13)		
縮　　尺	図　示	図面番号	29 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台配筋図(その14) S=1：75

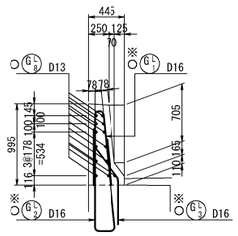
左壁欄側面展開図



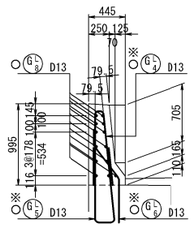




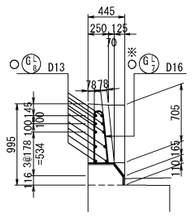
1 － 1

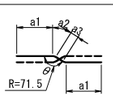


2 － 2



3 － 3



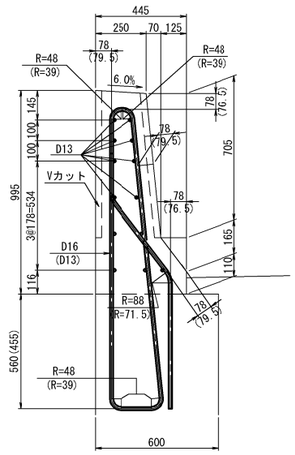


○※G5 10-D13x1060(平均長)

記 号	径	本数	a1	a2	a3	θ	L
1	D13	2	430	40	106	148° 2′9″	1050
2	D13	2	427	44	108	144° 51′16″	1050
3	D13	2	425	48	109	141° 54′13″	1060
4	D13	2	420	53	114	137° 8′19″	1060
5	D13	2	417	59	121	133° 0′35″	1070
平均長		10					1060

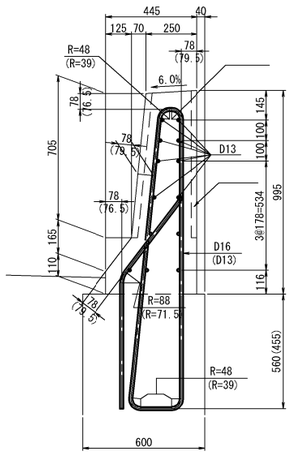
壁高欄かぶり詳細図 S=1：30

左壁欄



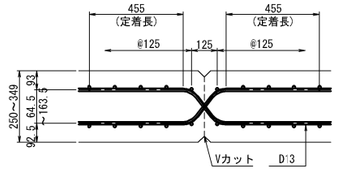
注）（ ）内はD13鉄筋の数値を表す。

右壁欄

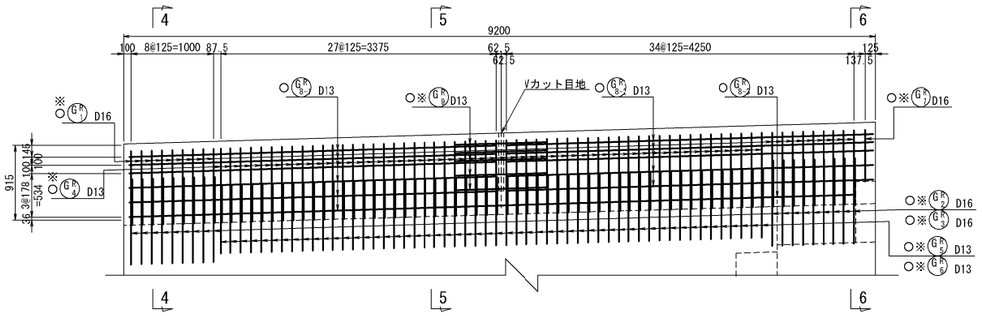


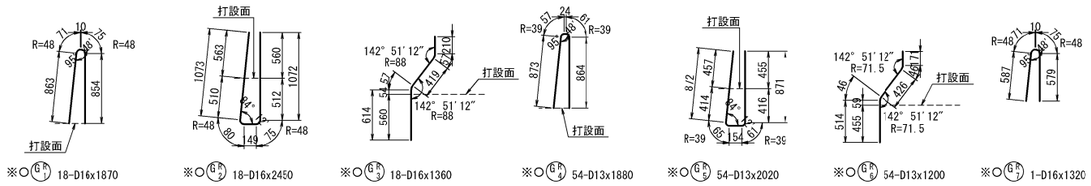
注）（ ）内はD13鉄筋の数値を表す。

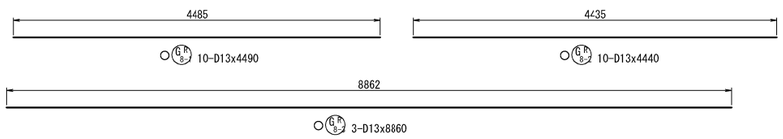
Vカット詳細図 S=1：30



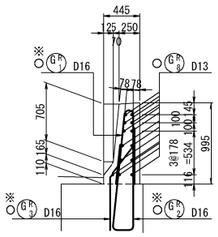
右壁欄側面展開図



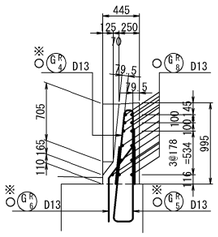




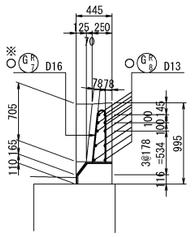
4 － 4

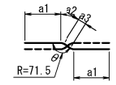


5 － 5



6 － 6

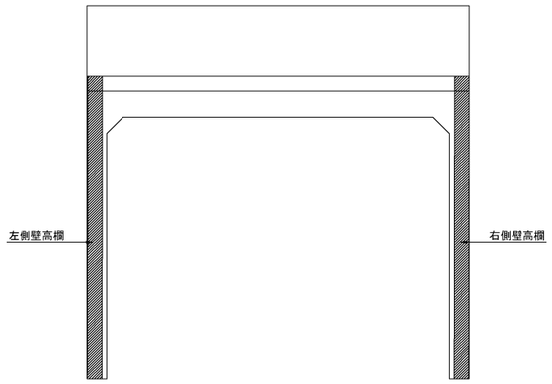




○※G5 10-D13x1060(平均長)

記 号	径	本数	a1	a2	a3	θ	L
1	D13	2	430	40	106	148° 2′9″	1050
2	D13	2	427	44	108	144° 51′16″	1050
3	D13	2	425	48	109	141° 54′13″	1060
4	D13	2	420	53	114	137° 8′19″	1060
5	D13	2	417	59	121	133° 0′35″	1070
平均長		10					1060

位置図



注1）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）K 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマムJI橋 A1橋台配筋図(その14)		
縮　尺	図　示	図面番号	30 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台配筋図(その15)

鉄筋質量表

(下部工施工，エポキシ樹脂塗装鉄筋)

	種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
※	P1-1	D38	8120	16	8.95	72.7	1163	(平均長)
※	P1-2	D38	2470	63	8.95	22.1	1392	B
※	P2-1	D38	7830	8	8.95	70.1	561	(平均長)
※	P2-2	D38	2150	31	8.95	19.2	595	B
※	P5	D16	6760	2	1.56	10.5	21	
※	P6	D16	6780	2	1.56	10.6	21	
							3753 kg	
※	A3-1	D19	8150	31	2.25	18.3	567	
※	A3-2	D19	5450	31	2.25	12.3	381	
※	A3-3	D19	5450	1	2.25	12.3	12	
※	A3-4	D19	8150	1	2.25	18.3	18	
※	A3-5	D19	7070	2	2.25	15.9	32	(平均長)
※	A4-1	D19	8150	31	2.25	18.3	567	
※	A4-2	D19	5450	31	2.25	12.3	381	
※	A4-3	D19	5450	1	2.25	12.3	12	
※	A4-4	D19	8150	1	2.25	18.3	18	
※	A4-5	D19	7070	2	2.25	15.9	32	(平均長)
※◎	A7	D19	3500	96	2.25	7.88	756	(96) C
							2776 kg	
※	S2-1	D16	8000	6	1.56	12.5	75	
※	S2-2	D16	5160	6	1.56	8.05	48	
※	S2-3	D16	6000	5	1.56	9.36	47	
※	S2-4	D16	7160	5	1.56	11.2	56	
※◎	S3	D16	3440	26	1.56	5.37	140	(26) C
							366 kg	
※	H1	D16	3030	24	1.56	4.73	114	
※	H2	D16	3050	24	1.56	4.76	114	
※	H3	D16	3760	4	1.56	5.87	23	
							251 kg	
※	L1-1	D35	8500	9	7.51	63.8	574	B
※	L1-3	D35	10000	9	7.51	75.1	676	B
※	L2-1	D22	8500	9	3.04	25.8	232	
※	L2-3	D22	10000	9	3.04	30.4	274	
※	L3-8	D32	4790	1	6.23	29.8	30	
※	L3-9	D32	7160	32	6.23	44.6	1427	
※	L4-8	D19	4350	1	2.25	9.79	10	
※	L4-9	D19	6970	32	2.25	15.7	502	
※	L5-2	D32	3060	1	6.23	19.1	19	
※	L6-1	D32	4210	2	6.23	26.2	52	
※	L6-2	D32	6760	14	6.23	42.1	589	
※	L7	D16	11730	2	1.56	18.3	37	
※	L9	D16	10730	1	1.56	16.7	17	
※	L11-2	D16	820	17	1.56	1.28	22	
※	L12-2	D13	770	30	0.995	0.766	23	
※◎	L13	D13	610	18	0.995	0.607	11	(18) C
							4495 kg	
※	R1-1	D35	8500	9	7.51	63.8	574	B
※	R1-3	D35	10000	9	7.51	75.1	676	B
※	R2-1	D22	8500	9	3.04	25.8	232	
※	R2-3	D22	10000	9	3.04	30.4	274	
※	R3-8	D32	4790	1	6.23	29.8	30	
※	R3-9	D32	7160	34	6.23	44.6	1516	
※	R4-8	D19	4350	1	2.25	9.79	10	
※	R4-9	D19	6970	34	2.25	15.7	534	
※	R5-2	D32	3060	1	6.23	19.1	19	
※	R6-1	D32	4210	2	6.23	26.2	52	
※	R6-2	D32	6760	15	6.23	42.1	632	
※	R7-1	D16	8000	1	1.56	12.5	13	
※	R7-3	D16	9500	1	1.56	14.8	15	
※	R9	D16	11040	1	1.56	17.2	17	
※	R11-2	D16	820	18	1.56	1.28	23	
※	R12-2	D13	770	36	0.995	0.766	28	
※◎	R13	D13	610	18	0.995	0.607	11	(18) C
							4656 kg	
※	B1-1	D16	1060	18	1.56	1.65	30	B
							30 kg	

鉄筋質量 (SD345)

	鉄筋A	鉄筋B	鉄筋C	合計	(機械定着)
D38	1724 kg	1987 kg	-	3711 kg	
D35	-	2500 kg	-	2500 kg	
D32	4366 kg	-	-	4366 kg	
D22	1012 kg	-	-	1012 kg	
D19	3076 kg	-	756 kg	3832 kg	(96)
D16	663 kg	30 kg	140 kg	833 kg	(26)
D13	51 kg	-	22 kg	73 kg	(36)
合　計	10892 kg	4517 kg	918 kg	16327 kg	(158)

鉄筋質量表

(下部工施工，普通鉄筋)

	種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
	A1	D32	7080	75	6.23	44.1	3308	(平均長)
	A2	D32	7080	39	6.23	44.1	1720	(平均長)
	A5	D16	6680	10	1.56	10.4	104	
	A6	D16	6980	10	1.56	10.9	109	
							5241 kg	
	S1	D16	4160	39	1.56	6.49	253	
							253 kg	
	F1	D35	6120	46	7.51	46.0	2116	
	F2	D22	6210	46	3.04	18.9	869	
	F3	D35	7130	81	7.51	53.5	4334	
	F4	D16	2170	46	1.56	3.39	156	
	F5	D22	11510	14	3.04	35.0	490	
	F6	D16	11510	20	1.56	18.0	360	
	F7	D29	11510	15	5.04	58.0	870	
	F8	D16	11510	8	1.56	18.0	144	
	F9	D19	8740	14	2.25	19.7	276	
	F10	D19	11490	14	2.25	25.9	363	
	F11	D16	2050	14	1.56	3.20	45	
◎	F12	D22	1920	145	3.04	5.84	847	(145) C
◎	F13	D16	1840	30	1.56	2.87	86	(30) C
							10956 kg	

鉄筋質量 (SD345)

	鉄筋A	鉄筋B	鉄筋C	合計	(機械定着)
D35	6450 kg	-	-	6450 kg	
D32	5028 kg	-	-	5028 kg	
D29	870 kg	-	-	870 kg	
D22	1359 kg	-	847 kg	2206 kg	(145)
D19	639 kg	-	-	639 kg	
D16	1171 kg	-	86 kg	1257 kg	(30)
合　計	15517 kg	-	933 kg	16450 kg	(175)

注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) ⌓ 印は機械式継手位置を表す。
注6) ( )内は機械式鉄筋定着工法箇所数を示す。
注7) [ ]内は機械継手継手個所数を示す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その15)		
縮　尺	図　示	図面番号	31 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台配筋図(その16)

鉄筋集計表

種　別			普通鉄筋			エポキシ樹脂塗装鉄筋		
			下部工施工			下部工施工		
			躯体	底版	小計	躯体	底版	小計
A (SD345)	D13		－	－		51	－	51
	D16 ～ D25	D16	466	705	1171	663	－	663
		D19	－	639	639	3076	－	3076
		D22	－	1359	1359	1012	－	1012
		D25	－	－		－	－	
		計	466	2703	3169	4751	－	4751
	D29 ～ D32	D29	－	870	870	－	－	
		D32	5028	－	5028	4366	－	4366
		計	5028	870	5898	4366	－	4366
	D35		－	6450	6450	－	－	
	D38		－	－		1724	－	1724
	D41		－	－		－	－	
	D51		－	－		－	－	
	Aの合計		5494	10023	15517	10892	－	10892
B (SD345)	D13		－	－		－	－	
	D16 ～ D25	D16	－	－		30	－	30
		D19	－	－		－	－	
		D22	－	－		－	－	
		D25	－	－		－	－	
		計	－	－		30	－	30
	D29 ～ D32	D29	－	－		－	－	
		D32	－	－		－	－	
		計	－	－		－	－	
	D35		－	－		2500	－	2500
	D38		－	－		1987	－	1987
	D41		－	－		－	－	
	D51		－	－		－	－	
	Bの合計		－	－		4517	－	4517
C (SD345)	D13		－	－		22	－	22
	D16 ～ D25	D16	－	86	86	140	－	140
		D19	－	－		756	－	756
		D22	－	847	847	－	－	
		D25	－	－		－	－	
		計	－	933	933	896	－	896
	D29 ～ D32	D29	－	－		－	－	
		D32	－	－		－	－	
		計	－	－		－	－	
	D35		－	－		－	－	
	D38		－	－		－	－	
	D41		－	－		－	－	
	D51		－	－		－	－	
	Cの合計		－	933	933	918	－	918
合　計 (SD345)			5494	10956	16450	16327	－	16327

機械式継手箇所数 (エポキシ樹脂塗装鉄筋)

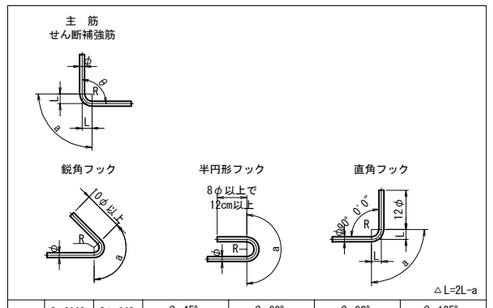
鉄筋径	箇所数
	下部工施工
D16	－
D19	－
D22	－
D25	－
D29	－
D32	－
D35	－
D38	－
D41	－
D51	－
合 計	－

※機械式継手は上部工施工とする

機械式鉄筋定着工法数量表(下部工施工)

鉄筋径	箇　所　数					
	0<=L≦1m	1m<=L≦2m	2m<=L≦3m	3m<=L≦4m	4m<=L≦5m	5m<=L≦6m
D16		30				
D22		145				
合計						175
D13(エポキシ樹脂塗装鉄筋)	36					
D16(エポキシ樹脂塗装鉄筋)				26		
D19(エポキシ樹脂塗装鉄筋)				96		
合計(エポキシ樹脂塗装鉄筋)						158

鉄筋加工寸法表(SD345)



径	θ≦90° R=3.0φ	θ＞90° R=5.5φ	θ=45°		θ=60°		θ=90°		θ=135°	
			a	△L	a	△L	a	△L	a	△L
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

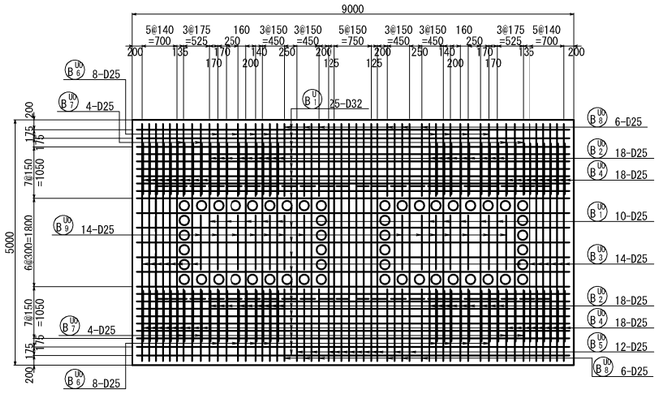
注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注3) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注4) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注5) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注6) K 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台配筋図(その16)		
縮　　尺	図　示	図面番号	32 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

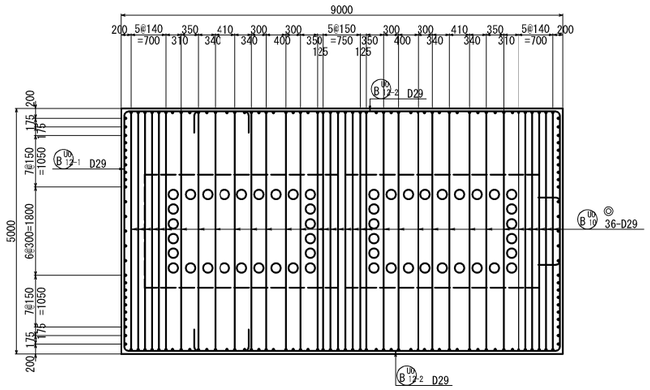
トマム川橋　P1橋脚配筋図(その1)

S=1:125

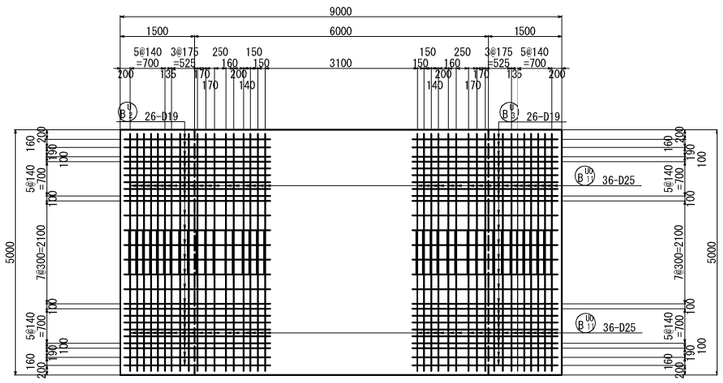
1 － 1



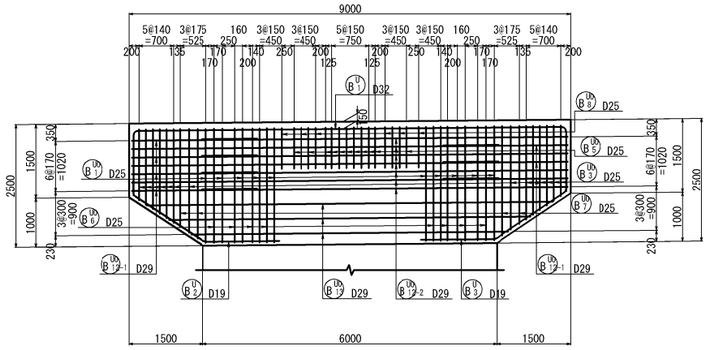
2 － 2



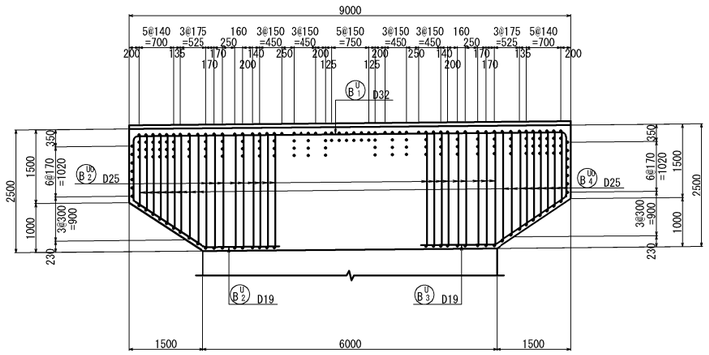
3 － 3

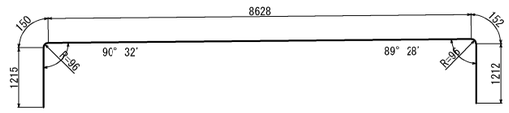


4 － 4

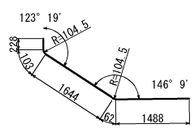


5 － 5

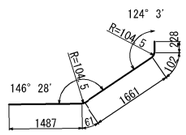




25-D32 X 11360

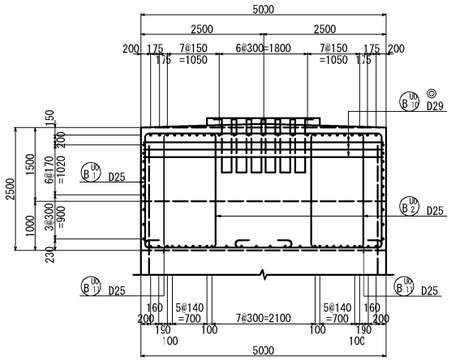


26-D19 X 3530

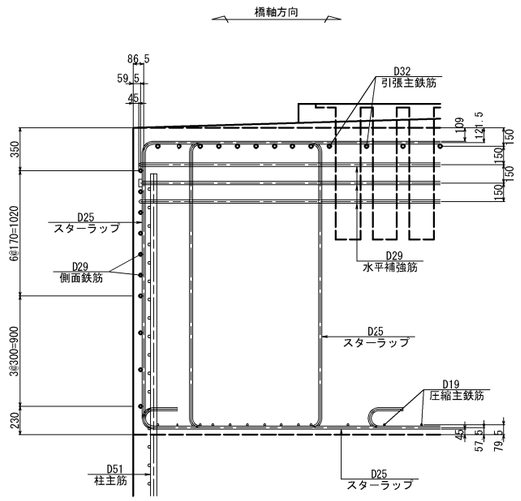


26-D19 X 3540

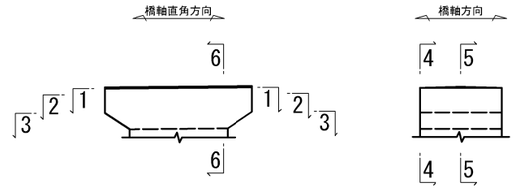
6 － 6



梁部かぶり詳細図　S=1:50



位置図



注1）　鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

注2）K　印は機械式継手位置を表す。

注3）鉄筋径D51の鉄筋はSD490を表し、

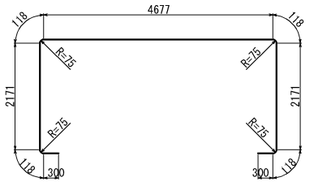
　　その他の鉄筋はSD345を表す。

注4）※印鉄筋は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

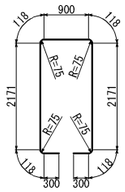
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚配筋図(その1)		
縮　　尺	図 示	図面番号	33 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚配筋図(その2)

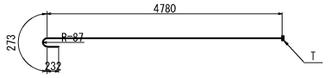
S=1:125



B1 10-D25 X 10090

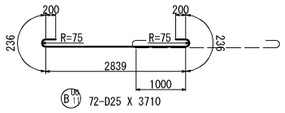


B2 36-D25 X 6310



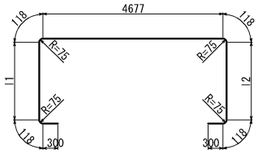
© B19 96-D29 X 5290

注）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。



B11 72-D25 X 3710

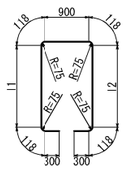
変化鉄筋表



B3 14-D25 X 8920（平均長）

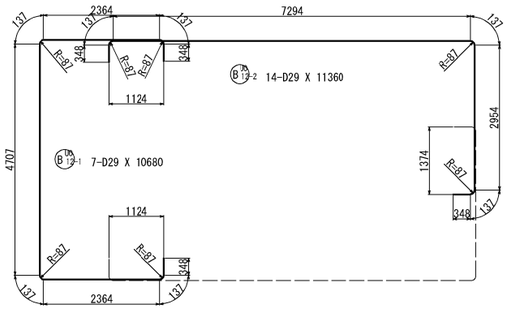
種 別	径	本数	l1	l2	L
B3-1	D25	1	1288	1288	8330
-2	D25	1	1382	1382	8510
-3	D25	1	1475	1475	8700
-4	D25	1	1568	1568	8890
-5	D25	1	1662	1662	9070
-6	D25	1	1755	1755	9260
-7	D25	1	1962	1962	9670
-8	D25	1	1961	1961	9670
-9	D25	1	1754	1754	9260
-10	D25	1	1661	1661	9070
-11	D25	1	1568	1568	8890
-12	D25	1	1474	1474	8700
-13	D25	1	1381	1381	8510
-14	D25	1	1288	1288	8330
平均長		14			8920

変化鉄筋表



B4 36-D25 X 5310（平均長）

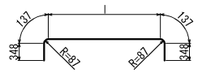
種 別	径	本数	l1	l2	L
B4-1	D25	2	1288	1288	4550
-2	D25	2	1382	1382	4740
-3	D25	2	1475	1475	4920
-4	D25	2	1568	1568	5110
-5	D25	2	1662	1662	5300
-6	D25	2	1755	1755	5480
-7	D25	2	1845	1845	5660
-8	D25	2	1962	1962	5900
-9	D25	2	2078	2078	6130
-10	D25	2	2078	2078	6130
-11	D25	2	1961	1961	5890
-12	D25	2	1844	1844	5660
-13	D25	2	1754	1754	5480
-14	D25	2	1661	1661	5290
-15	D25	2	1568	1568	5110
-16	D25	2	1474	1474	4920
-17	D25	2	1381	1381	4730
-18	D25	2	1288	1288	4550
平均長		36			5310



B13-2 14-D29 X 11360

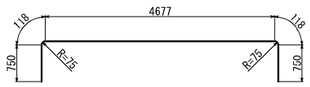
B13-1 7-D29 X 10680

変化鉄筋表

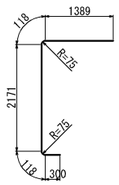


B13 6-D29 X 8170（平均長）

種 別	径	本数	l	L
B13-1	D29	2	6302	7270
-2	D29	2	7202	8170
-3	D29	2	8102	9070
平均長		6		8170

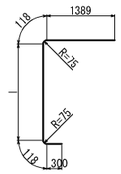


B5 12-D25 X 6410



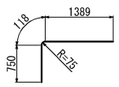
B6 16-D25 X 4100

変化鉄筋表



B7 8-D25 X 389)（平均長）

種 別	径	本数	l	L
B7-1	D25	2	1845	3770
-2	D25	2	2078	4000
-3	D25	2	2078	4000
-4	D25	2	1844	3770
平均長		8		3890



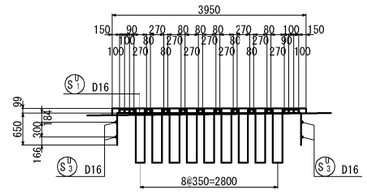
B8 12-D25 X 2260

S9 14-D25 X 1100

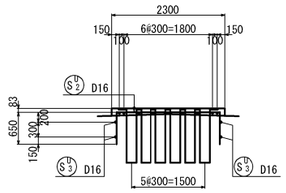
台座コンクリート配筋図

(2箇所)

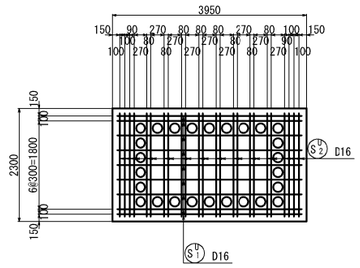
橋軸直角方向

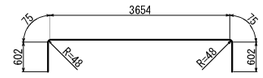


橋軸方向

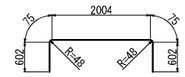


平面図

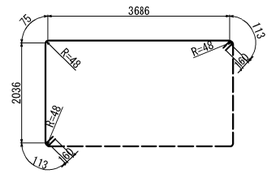




S1 18-D16 X 5010



S2 48-D16 X 3360



S3 8-D16 X 6340

注1） 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

注2）K 印は機械式継手位置を表す。

注3）鉄筋径D51の鉄筋はSD490を表し、
　　その他の鉄筋はSD345を表す。

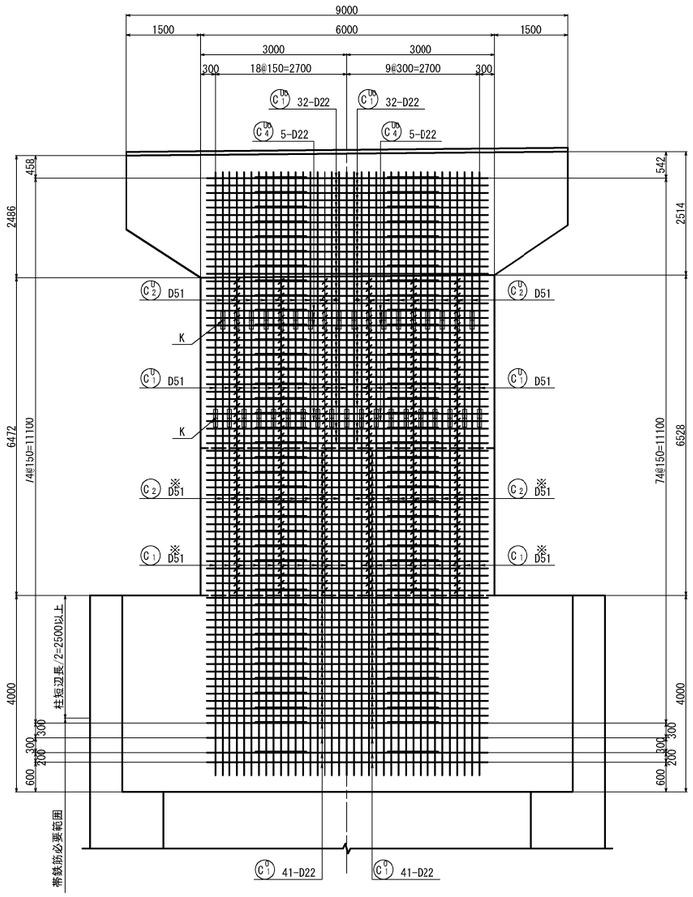
注4）※印鉄筋は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚配筋図(その2)		
縮　　尺	図 示	図面番号	34 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

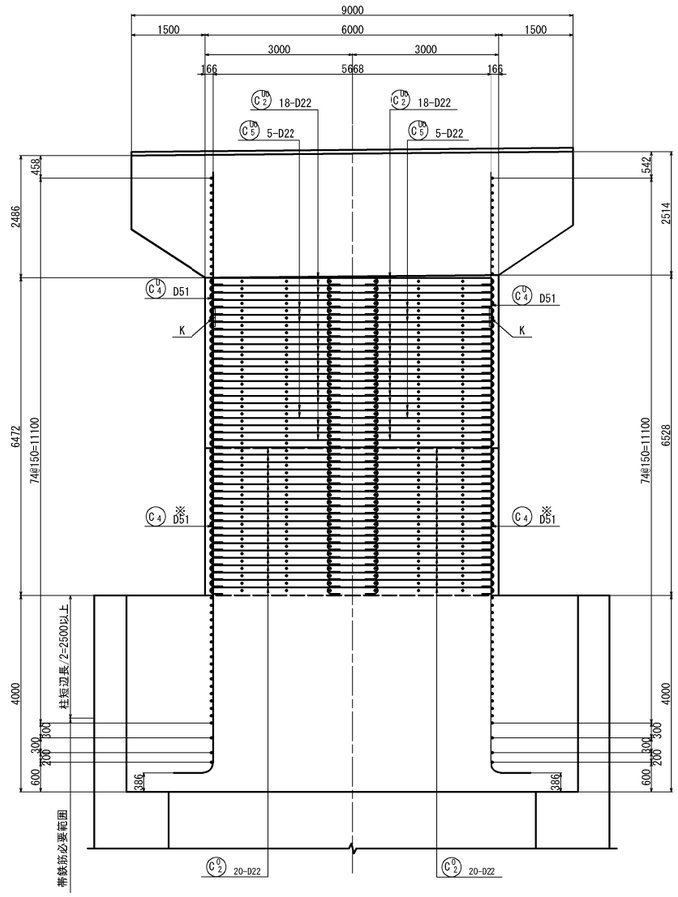
トマム川橋　P1橋脚配筋図(その3)

S=1:125

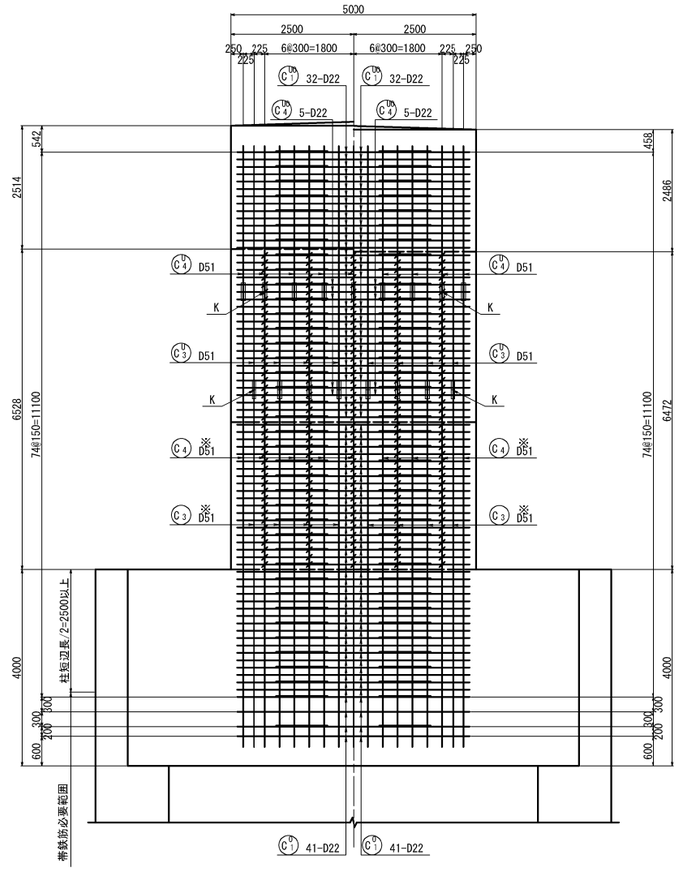
7 － 7　　8 － 8



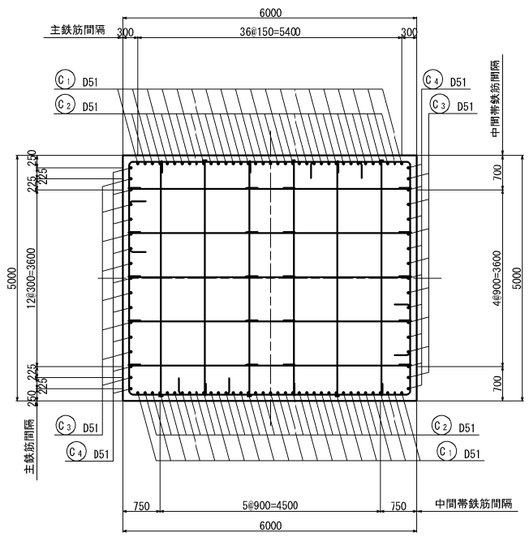
9 － 9



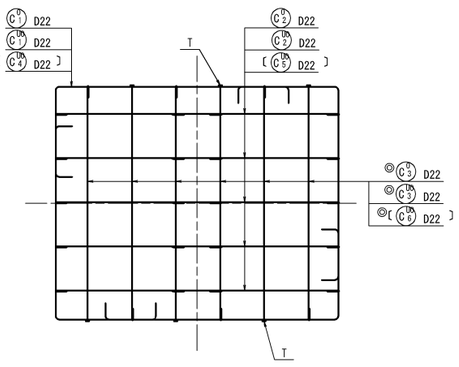
10 － 10　　11 － 11



13 － 13

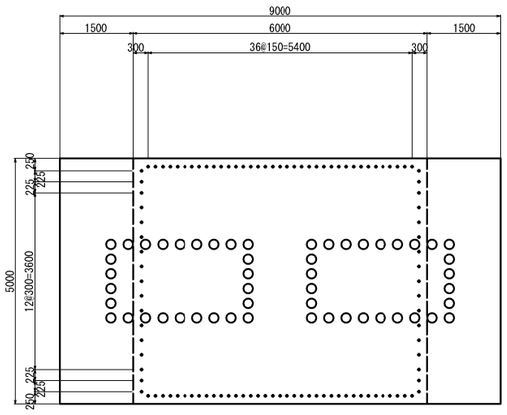


帯鉄筋及び中間帯鉄筋組立図

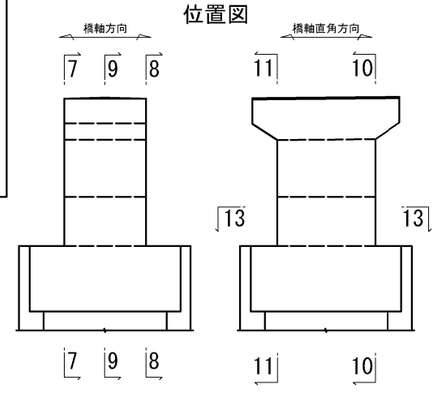


注1）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）橋軸方向の中間帯鉄筋は半円形フックと定着体を交互に配置する。
注3）〔　〕内記号は機械式継手部を示す。

柱主鉄筋と支承アンカー箱抜きの取合図



位置図



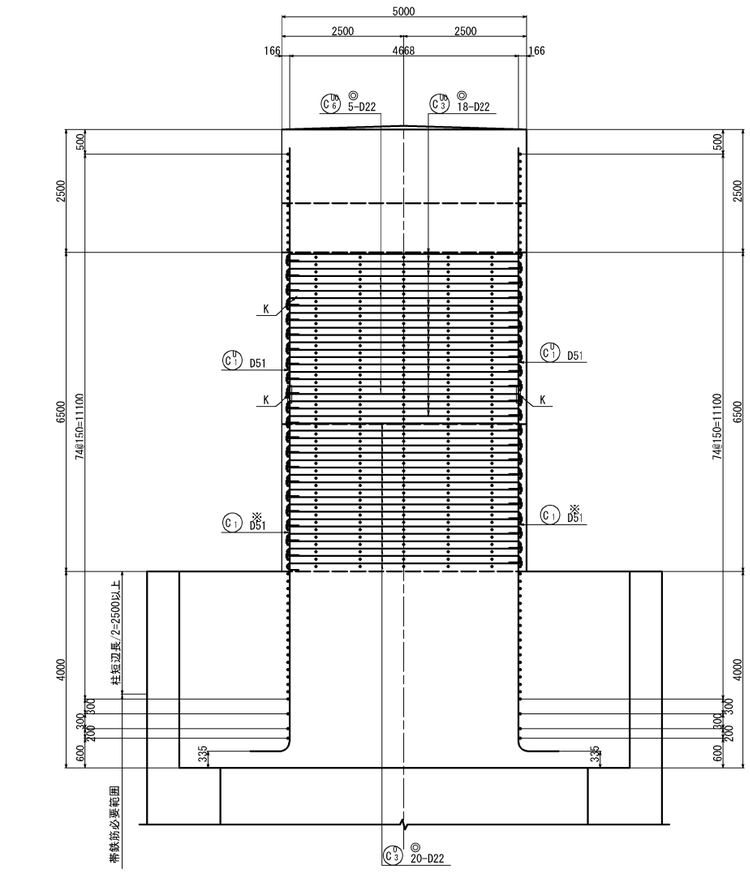
注1）　鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注2）K　印は機械式継手位置を表す。
注3）鉄筋径D51の鉄筋はSD490を表し、
　　その他の鉄筋はSD345を表す。
注4）※印鉄筋は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

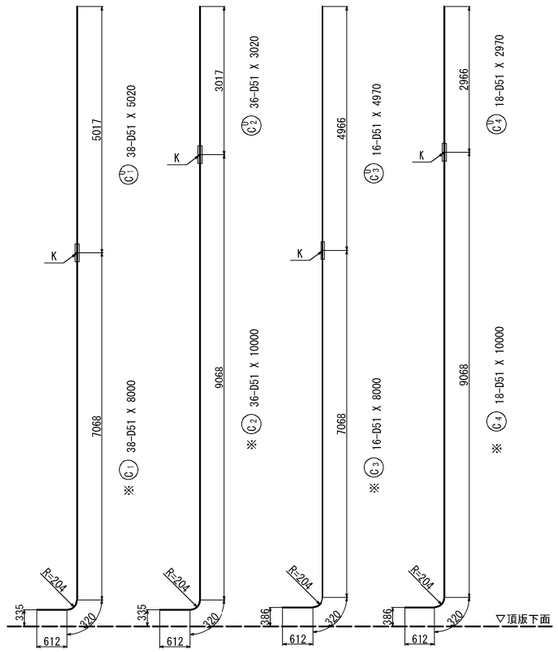
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚配筋図(その3)		
縮　尺	図 示	図面番号	35 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

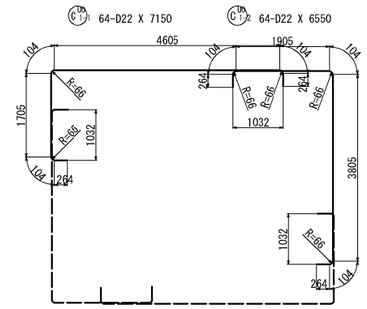
トマム川橋　P1橋脚配筋図(その4)

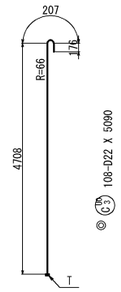
S=1:125

12 - 12

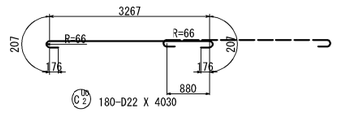


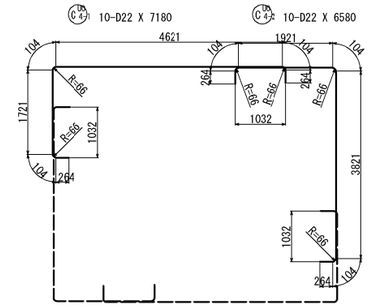


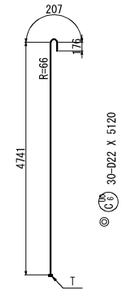




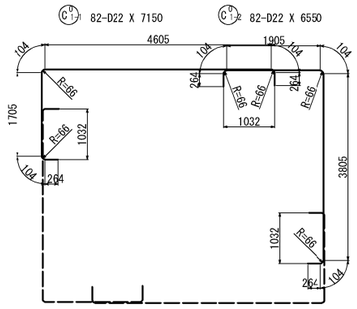
注）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

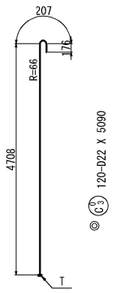




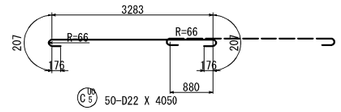


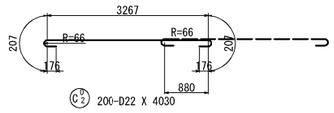
注）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。



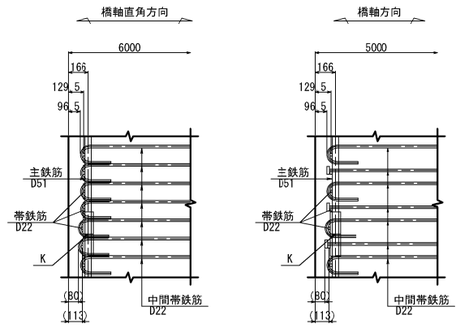


注）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

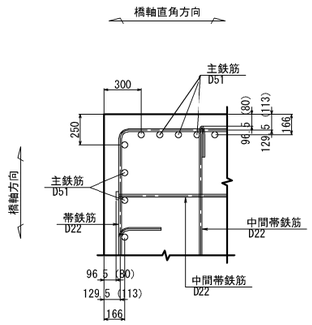




かぶり詳細図　S=1:50

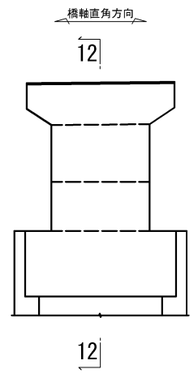


端部詳細図　S=1:50



注1）橋軸方向の中間帯鉄筋は半円形フックと定着体を交互に配置する。
注2）（ ）内数値は機械式継手φ84(D51)による数値を表す。

位置図



注1）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注2）K　印は機械式継手位置を表す。
注3）鉄筋径D51の鉄筋はSD490を表し、
その他の鉄筋はSD345を表す。
注4）※印鉄筋は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚配筋図(その4)		
縮　　尺	図 示	図面番号	36 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚配筋図(その5)

鉄筋質量表

（下部工施工，エポキシ樹脂塗装鉄筋）

種 別	径	長　さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質　量	摘　要
C 1	D51	8000	38	15.9	127	4826	K B
C 2	D51	10000	36	〃	159	5724	K B
C 3	D51	8000	16	〃	127	2032	K B
C 4	D51	10000	18	〃	159	2862	K B
						15444kg	
鉄筋質量（SD490）							
			B				
合　計 D51			15444 kg				
総質量			15444 kg				

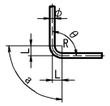
鉄筋質量表

（下部工施工）

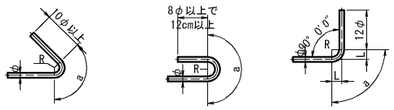
種 別	径	長　さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質　量	摘　要
C 0 1-1	D22	7150	82	3.04	21.7	1779	
C 0 1-2	D22	6550	82	〃	19.9	1632	
C 0 2	D22	4030	200	〃	12.3	2460	
◎ C 0 3	D22	5090	120	〃	15.5	1860	<120> C
						7731kg	
鉄筋質量（SD345）							
			A		C	〈機械定着箇所〉	
合　計 D22			5871 kg		1860 kg	<120>	
総質量			5871 kg		1860 kg	<120>	

鉄筋加工寸法表(SD345)

主　筋
せん断補強筋



鋭角フック　　半円形フック　　直角フック



△L=2L−a

径	θ≦90° R=3.0φ	θ＞90° R=5.5φ	θ=45°		θ=60°		θ=90°		θ=135°	
			a	△L	a	△L	a	△L	a	△L
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

鉄筋集計表

種　別			普通鉄筋	エポキシ樹脂塗装鉄筋
			下部工施工	下部工施工
			柱	柱
A (SD345)	D13		−	−
	D15 ～ D25	D16	−	−
		D19	−	−
		D22	5871	−
		D25	−	−
		計	5871	−
	D29 ～ D32	D29	−	−
		D32	−	−
	D32	計	−	−
	D35		−	−
	D38		−	−
	D41		−	−
	D51		−	−
	Aの合計		5871	−
C (SD345)	D13		−	−
	D15 ～ D25	D16	−	−
		D19	−	−
		D22	1860	−
		D25	−	−
		計	1860	−
	D29 ～ D32	D29	−	−
		D32	−	−
	D32	計	−	−
	D35		−	−
	D38		−	−
	D41		−	−
	D51		−	−
	Cの合計		1860	−
合　計（SD345）			7731	−
B(H) (SD490)	D29 ～ D32	D29	−	−
		D32	−	−
	D32	計	−	−
	D35		−	−
	D38		−	−
	D41		−	−
	D51		−	15444
	Bの合計		−	15444
合　計（SD490）			−	15444

機械式継手箇所数

（エポキシ樹脂塗装鉄筋）

鉄筋径	箇所数
	下部工施工
D29	−
D32	−
D35	−
D38	−
D41	−
D51	−
合 計	−

※機械式継手は上部工施工とする

機械式鉄筋定着工法数量表

（下部工施工）

鉄筋径	箇　所　数						計(箇所)
	L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m	4m<L≦5m	5m<L≦6m	
D22	−	−	−	−	−	120	120
合　計							120

注1）◎印は機械式鉄筋定着工法を示し、〈 〉内は鉄筋定着工法箇所数を示す。

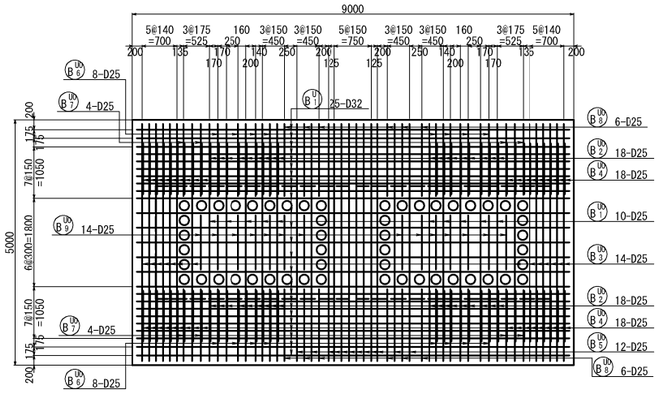
注2）K は機械式継手を表わし、（ ）内は機械式継手箇所数を示す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚配筋図(その5)		
縮　　尺	−	図面番号	37 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

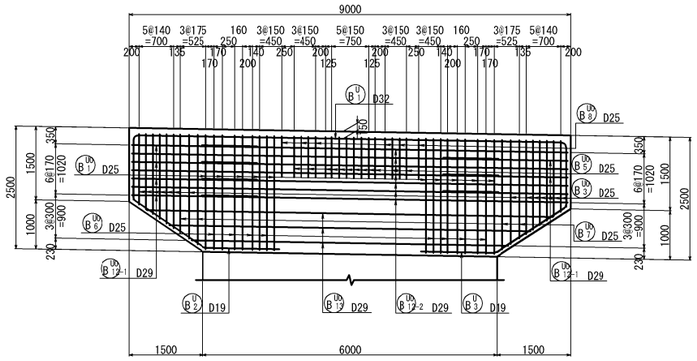
トマム川橋　P2橋脚配筋図(その1)

S=1:125

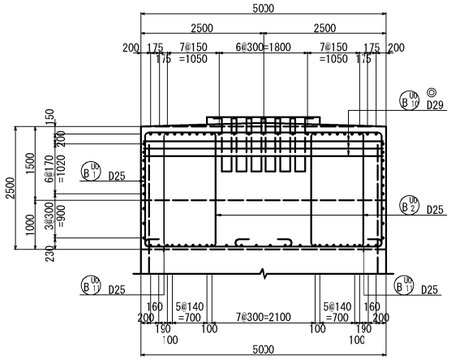
1 － 1



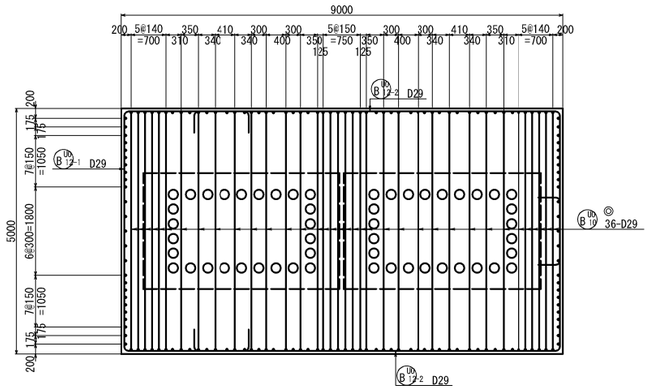
4 － 4



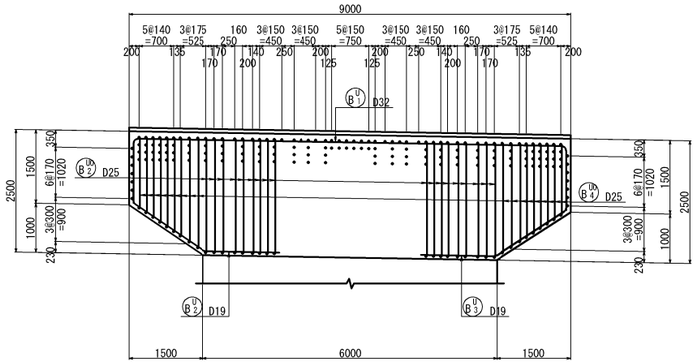
6 － 6



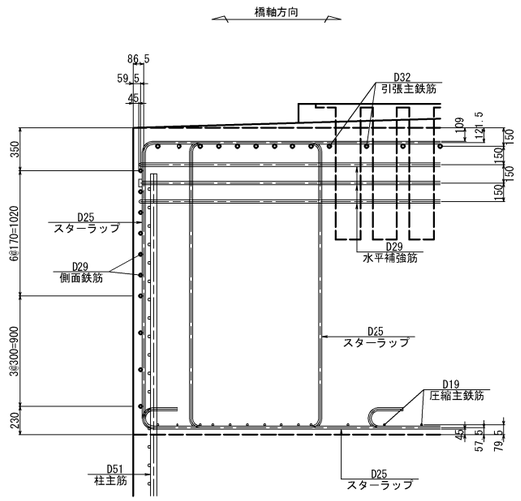
2 － 2



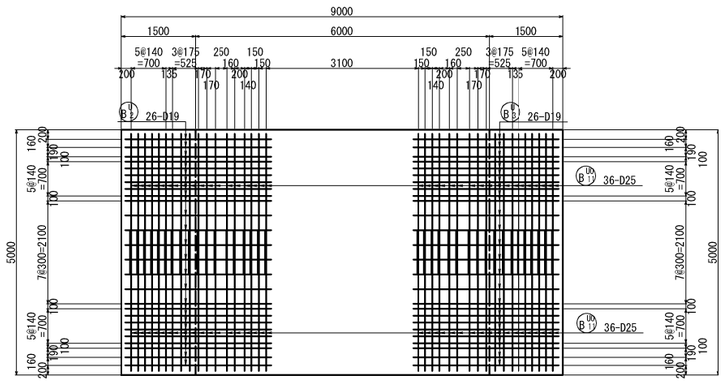
5 － 5

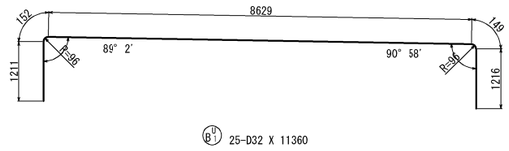


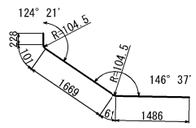
梁部かぶり詳細図　S=1:50

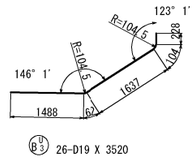


3 － 3

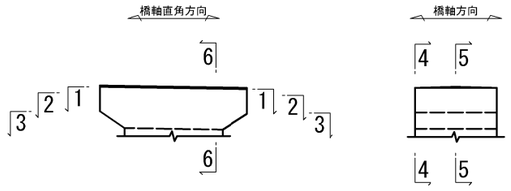








位置図



注1）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

注2）K　印は機械式継手位置を表す。

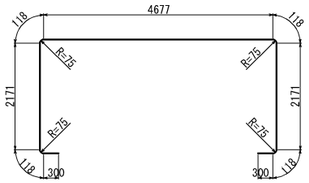
注3）鉄筋径D51の鉄筋はSD490を表し、
　　その他の鉄筋はSD345を表す。

注4）※印鉄筋は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

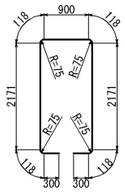
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚配筋図(その1)		
縮　尺	図 示	図面番号	38 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚配筋図(その2)

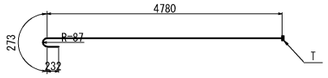
S=1:125



B1 10-D25 X 10090

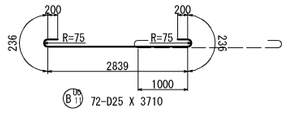


B2 36-D25 X 6310



B10 96-D29 X 5290

注）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

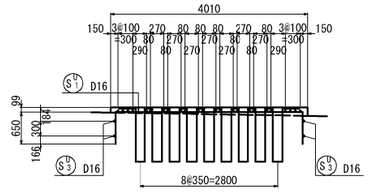


B11 72-D25 X 3710

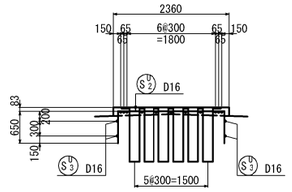
台座コンクリート配筋図

(2箇所)

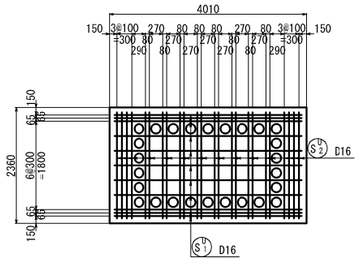
橋軸直角方向

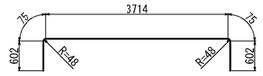


橋軸方向

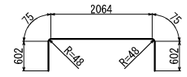


平面図

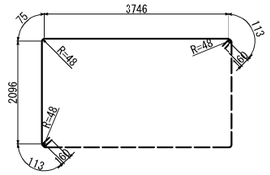




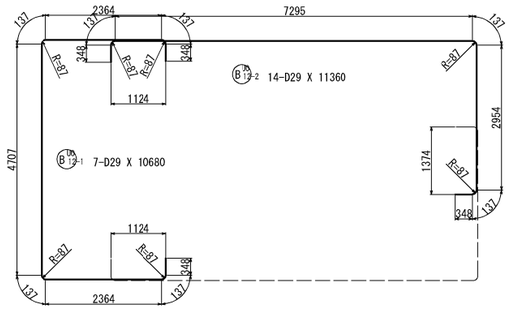
S1 22-D16 X 5070



S2 48-D16 X 3420



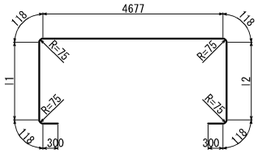
S3 8-D16 X 6460



B12-2 14-D29 X 11360

B12-1 7-D29 X 10680

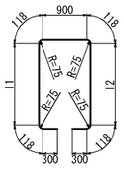
変化鉄筋表



B3 14-D25 X 8920（平均長）

種 別	径	本数	l1	l2	L
B 3-1	D25	1	1287	1287	8320
-2	D25	1	1381	1381	8510
-3	D25	1	1474	1474	8700
-4	D25	1	1567	1567	8880
-5	D25	1	1661	1661	9070
-6	D25	1	1754	1754	9260
-7	D25	1	1961	1961	9670
-8	D25	1	1962	1962	9670
-9	D25	1	1755	1755	9260
-10	D25	1	1662	1662	9070
-11	D25	1	1568	1568	8890
-12	D25	1	1475	1475	8700
-13	D25	1	1382	1382	8510
-14	D25	1	1288	1288	8330
平均長		14			8920

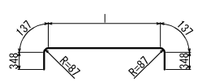
変化鉄筋表



B4 36-D25 X 5310（平均長）

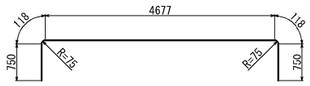
種 別	径	本数	l1	l2	L
B 4-1	D25	2	1287	1287	4550
-2	D25	2	1381	1381	4730
-3	D25	2	1474	1474	4920
-4	D25	2	1567	1567	5110
-5	D25	2	1661	1661	5290
-6	D25	2	1754	1754	5480
-7	D25	2	1844	1844	5660
-8	D25	2	1961	1961	5890
-9	D25	2	2077	2077	6130
-10	D25	2	2078	2078	6130
-11	D25	2	1962	1962	5900
-12	D25	2	1845	1845	5660
-13	D25	2	1755	1755	5480
-14	D25	2	1662	1662	5300
-15	D25	2	1568	1568	5110
-16	D25	2	1475	1475	4920
-17	D25	2	1382	1382	4740
-18	D25	2	1288	1288	4550
平均長		36			5310

変化鉄筋表



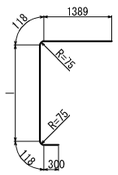
B13 6-D29 X 8170（平均長）

種 別	径	本数	l	L
B 13-1	D29	2	6302	7270
-2	D29	2	7202	8170
-3	D29	2	8103	9070
平均長		6		8170



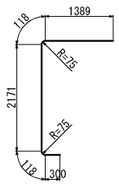
B5 12-D25 X 6410

変化鉄筋表

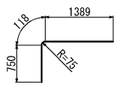


B7 8-D25 X 389)（平均長）

種 別	径	本数	l	L
B 7-1	D25	2	1844	3770
-2	D25	2	2077	4000
-3	D25	2	2078	4000
-4	D25	2	1845	3770
平均長		8		3890



B6 16-D25 X 4100



B8 12-D25 X 2260

S9 14-D25 X 1100

注1） 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。

注2） K　印は機械式継手位置を表す。

注3） 鉄筋径D51の鉄筋はSD490を表し、
その他の鉄筋はSD345を表す。

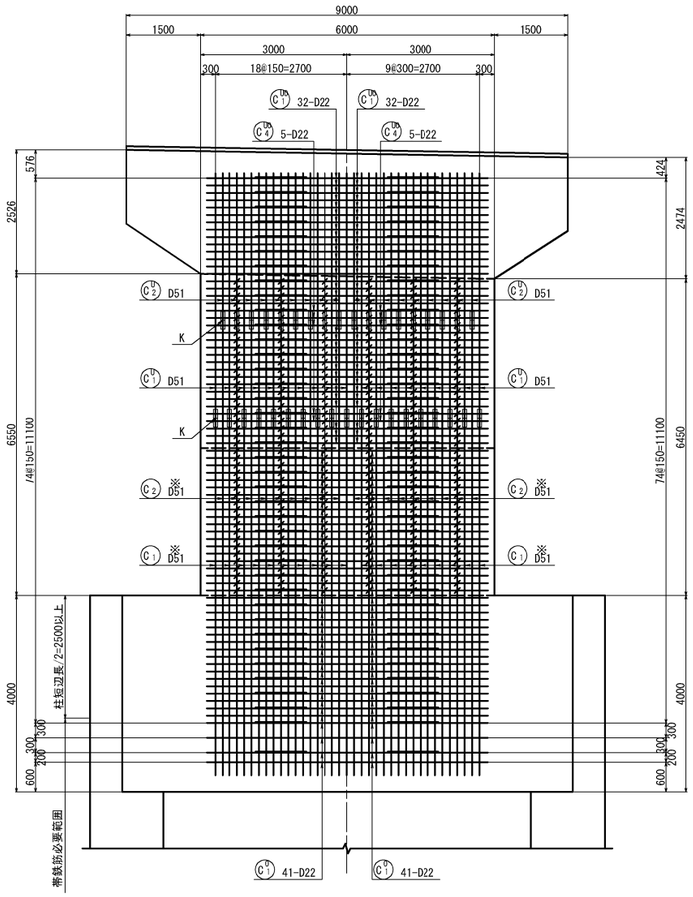
注4） ※印鉄筋は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚配筋図(その2)		
縮　　尺	図 示	図面番号	39 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

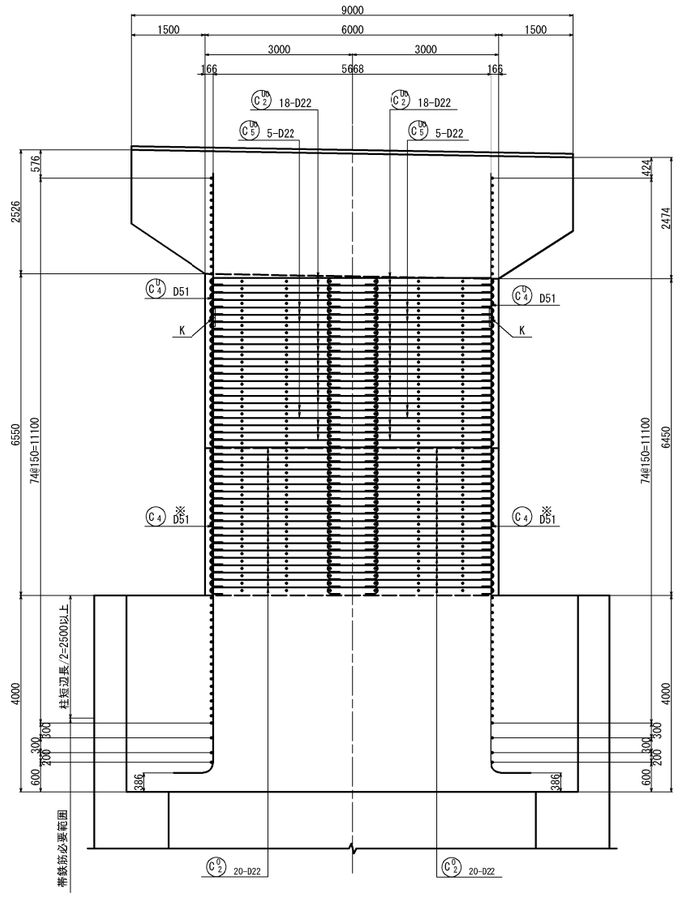
トマム川橋　P2橋脚配筋図(その3)

S=1:125

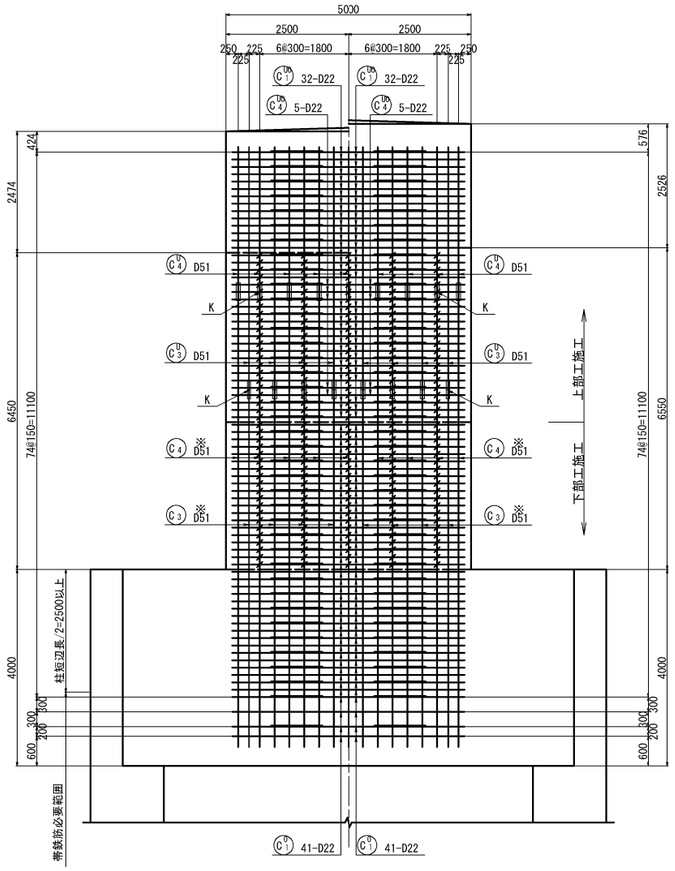
7 － 7　　8 － 8



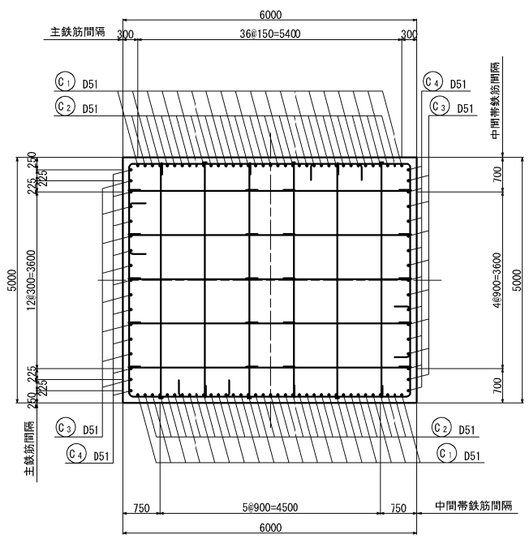
9 － 9



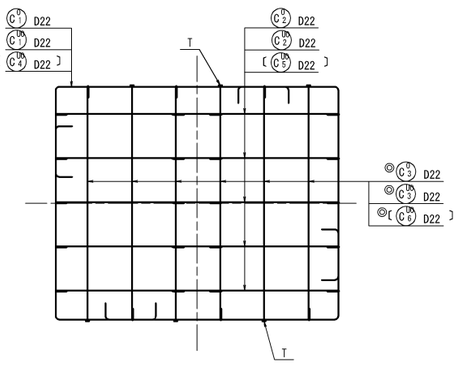
10 － 10　　11 － 11



13 － 13

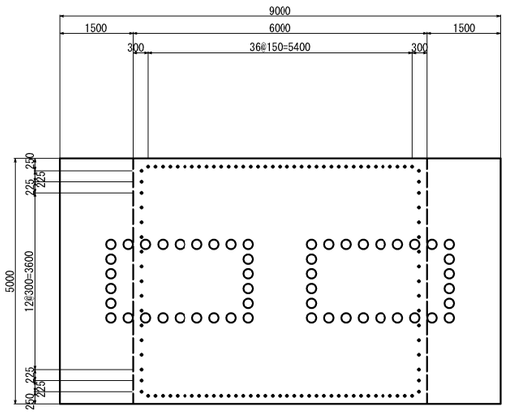


帯鉄筋及び中間帯鉄筋組立図

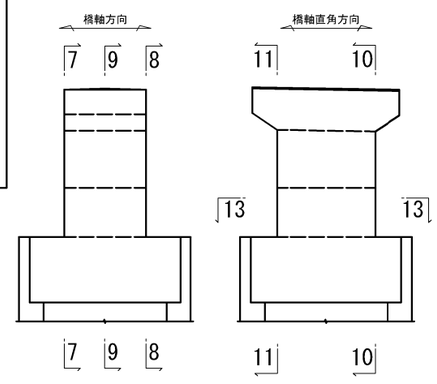


注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) 橋軸方向の中間帯鉄筋は半円形フックと定着体を交互に配置する。
注3) 〔　〕内記号は機械式継手部を示す。

柱主鉄筋と支承アンカー箱抜きの取合図



位置図



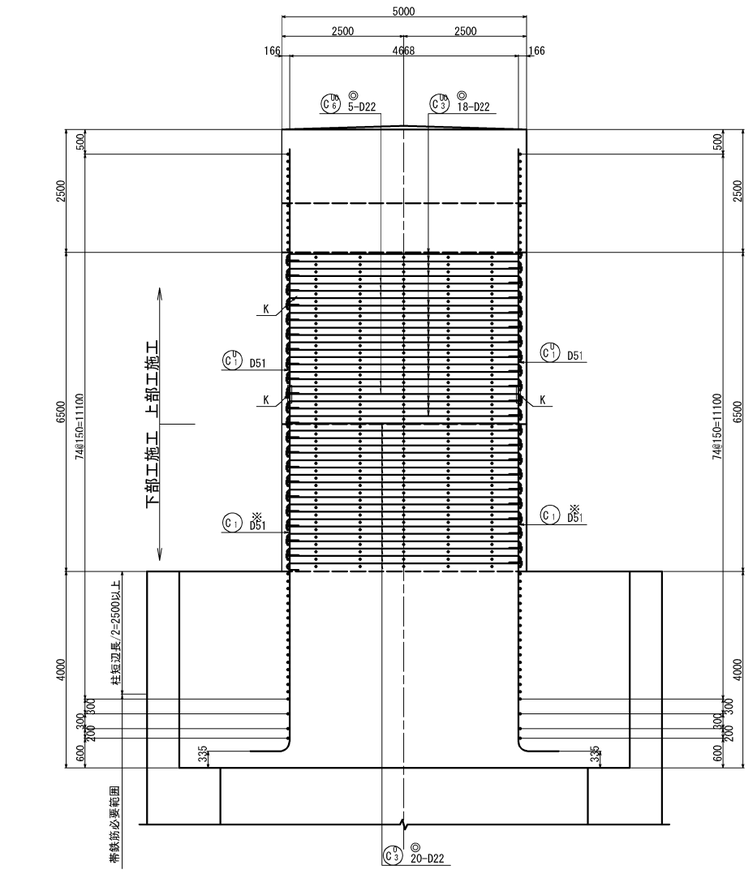
注1)　鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注2) K　印は機械式継手位置を表す。
注3) 鉄筋径D51の鉄筋はSD490を表し、
　　その他の鉄筋はSD345を表す。
注4) ※印鉄筋は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

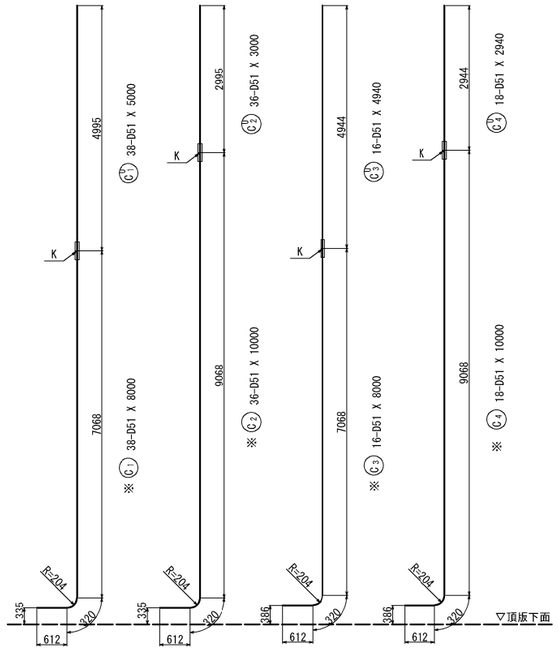
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚配筋図(その3)		
縮　尺	図 示	図面番号	40 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

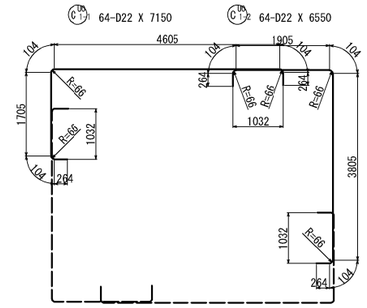
トマム川橋　P2橋脚配筋図(その4)

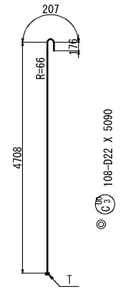
S=1:125

12 - 12

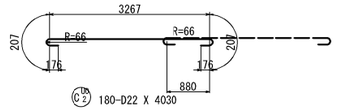


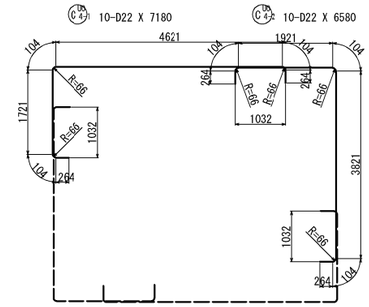


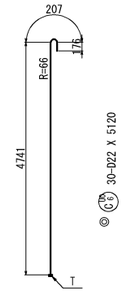




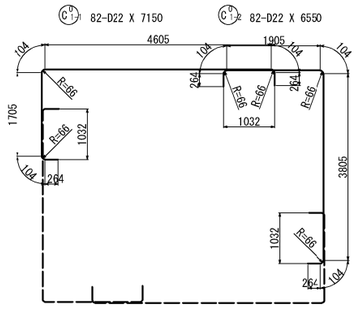
注）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

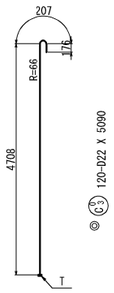




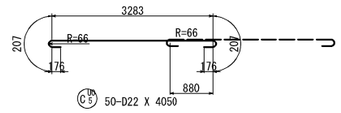


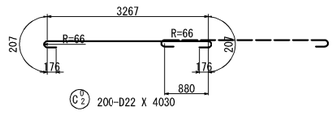
注）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。



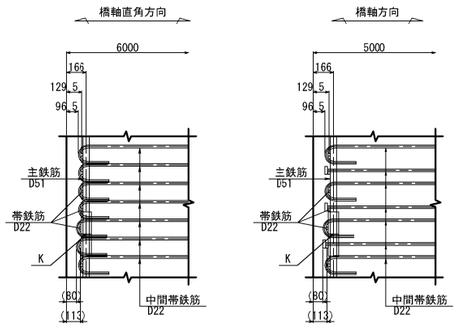


注）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

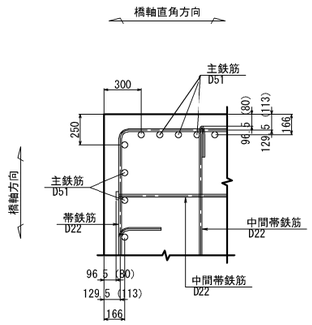




かぶり詳細図　S=1:50

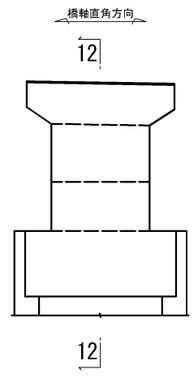


端部詳細図　S=1:50



注1）橋軸方向の中間帯鉄筋は半円形フックと定着体を交互に配置する。
注2）（ ）内数値は機械式継手φ84(D51)による数値を表す。

位置図



注1）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注2）K　印は機械式継手位置を表す。
注3）鉄筋径D51の鉄筋はSD490を表し、
その他の鉄筋はSD345を表す。
注4）※印鉄筋は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚配筋図(その4)		
縮　　尺	図 示	図面番号	41 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚配筋図(その5)

鉄筋質量表

(下部工施工, エポキシ樹脂塗装鉄筋)

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
C 1	D51	8000	38	15.9	127	4826	⌋ B
C 2	D51	10000	36	〃	159	5724	⌋ B
C 3	D51	8000	16	〃	127	2032	⌋ B
C 4	D51	10000	18	〃	159	2862	⌋ B
						15444kg	
鉄筋質量 (SD490)							
			B				
合 計 D51			15444 kg				
総質量			15444 kg				

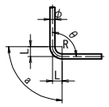
鉄筋質量表

(下部工施工)

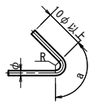
種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
C^{0}_{1-1}	D22	7150	82	3.04	21.7	1779	⌈
C^{0}_{1-2}	D22	6550	82	〃	19.9	1632	⌉
C^{0}_{2}	D22	4030	200	〃	12.3	2460	⟷
◎ C^{0}_{3}	D22	5090	120	〃	15.5	1860	｜ <120> C
						7731kg	
鉄筋質量 (SD345)							
			A		C	<機械定着箇所>	
合 計 D22			5871 kg		1860 kg	<120>	
総質量			5871 kg		1860 kg	<120>	

鉄筋加工寸法表(SD345)

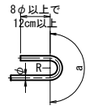
主 筋
せん断補強筋



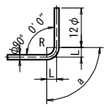
鋭角フック



半円形フック



直角フック



△L=2L−a

径	θ≦90° R=3.0φ	θ＞90° R=5.5φ	θ=45°		θ=60°		θ=90°		θ=135°	
			a	△L	a	△L	a	△L	a	△L
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

鉄筋集計表

種 別			普通鉄筋	ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗装鉄筋
			下部工施工	下部工施工
			柱	柱
A (SD345)	D13		−	−
	D16 ～ D25	D16	−	−
		D19	−	−
		D22	5871	−
		D25	−	−
		計	5871	−
	D29 ～ D32	D29	−	−
		D32	−	−
		計	−	−
	D35		−	−
	D38		−	−
	D41		−	−
	D51		−	−
	Aの合計		5871	−
C (SD345)	D13		−	−
	D16 ～ D25	D16	−	−
		D19	−	−
		D22	1860	−
		D25	−	−
		計	1860	−
	D29 ～ D32	D29	−	−
		D32	−	−
		計	−	−
	D35		−	−
	D38		−	−
	D41		−	−
	D51		−	−
	Cの合計		1860	−
合 計 (SD345)			7731	−
B(H) (SD490)	D29 ～ D32	D29	−	−
		D32	−	−
		計	−	−
	D35		−	−
	D38		−	−
	D41		−	−
	D51		−	15444
	Bの合計		−	15444
合 計 (SD490)			−	15444

機械式継手箇所数 (エポキシ樹脂塗装鉄筋)

鉄筋径	箇所数
	下部工施工
D29	−
D32	−
D35	−
D38	−
D41	−
D51	−
合 計	−

※機械式継手は上部工施工とする

機械式鉄筋定着工法数量表

(下部工施工)

鉄筋径	箇 所 数						計(箇所)
	L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m	4m<L≦5m	5m<L≦6m	
D22	−	−	−	−	−	120	120
合 計							120

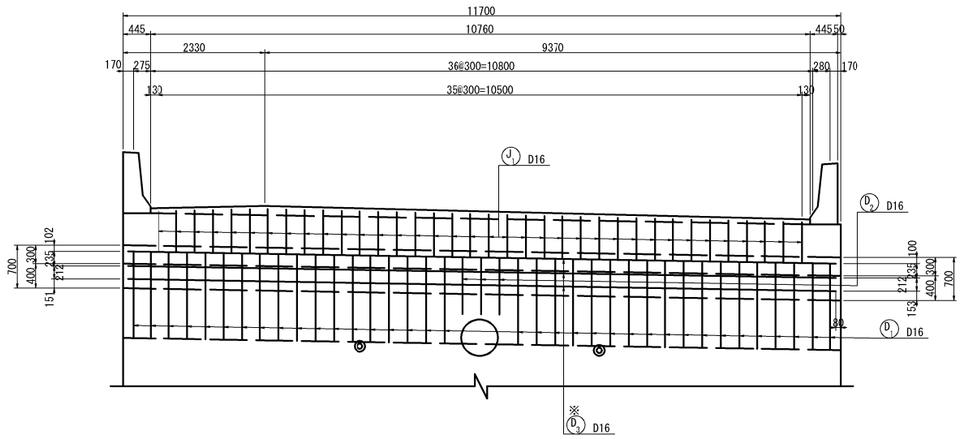
注1) ◎印は機械式鉄筋定着工法を示し、< >内は鉄筋定着工法箇所数を示す。

注2) K は機械式継手を表わし、( )内は機械式継手箇所数を示す。

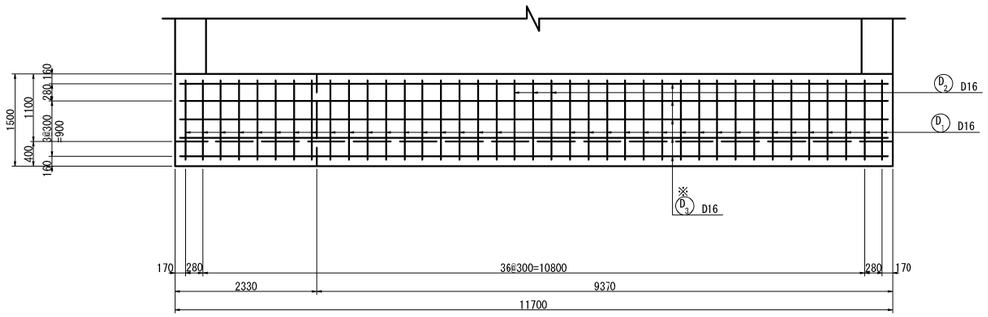
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚配筋図(その5)		
縮 尺	−	図面番号	42 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その1)　S=1:100

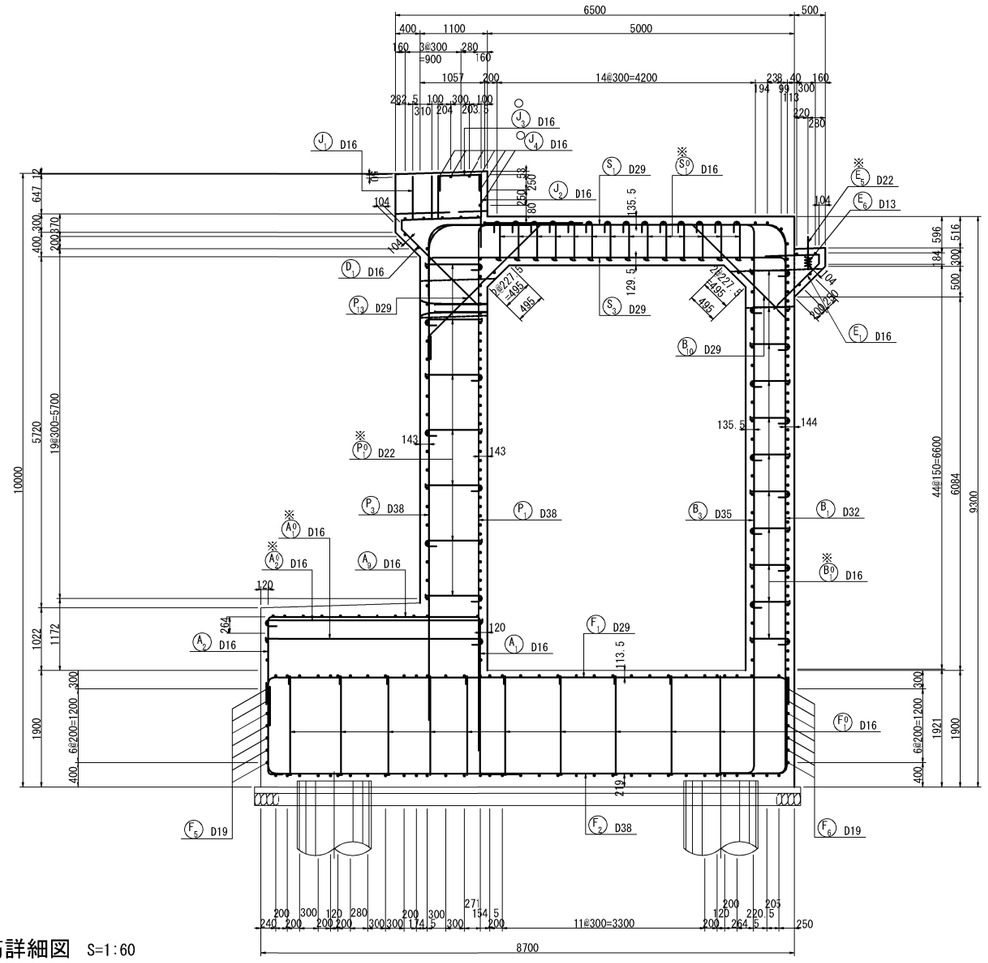
前面突起正面図
1 － 1



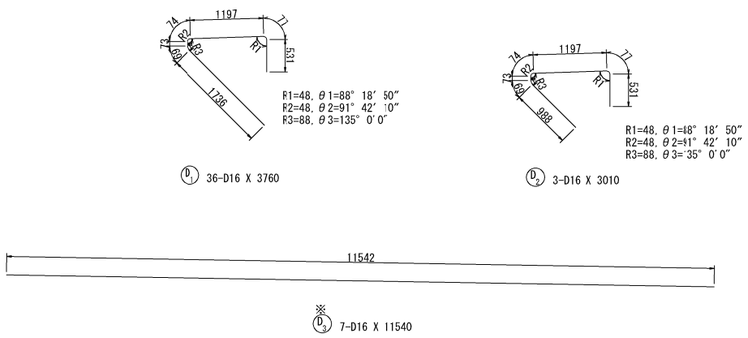
前面突起平面図
2 － 2

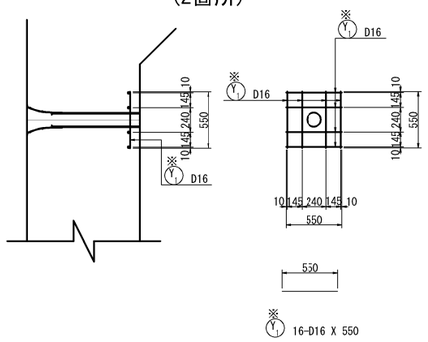


側面図
3 － 3

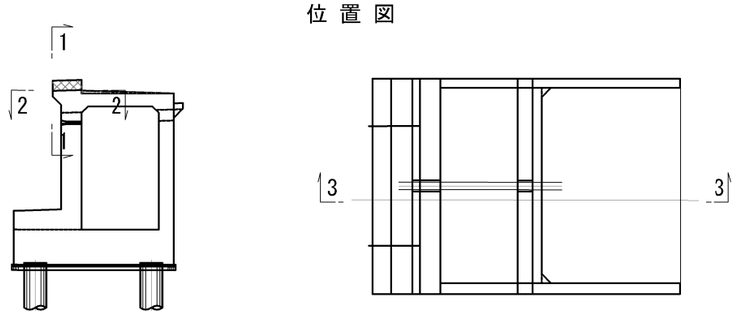


落橋防止装置用心鉄筋詳細図　S=1:60
(2箇所)





位 置 図

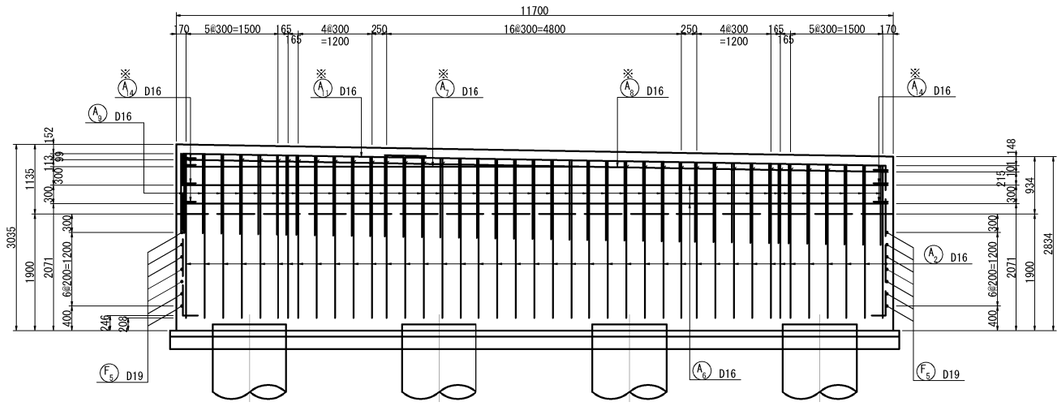


注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

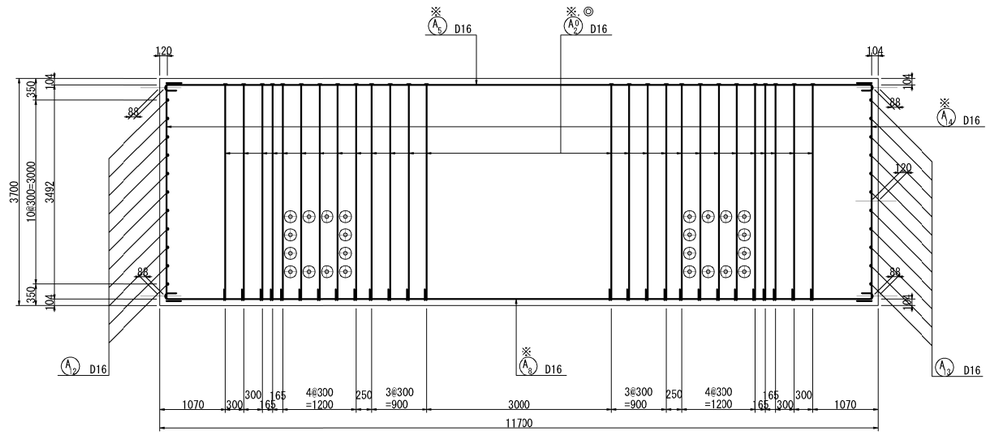
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その1)		
縮　尺	図示	図面番号	43 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その2)　S=1:100

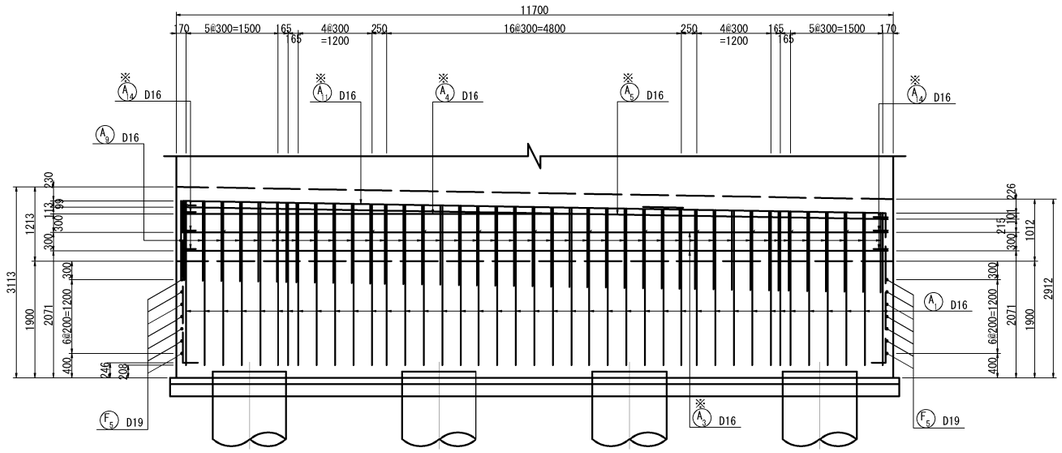
竪壁正面図
1 － 1



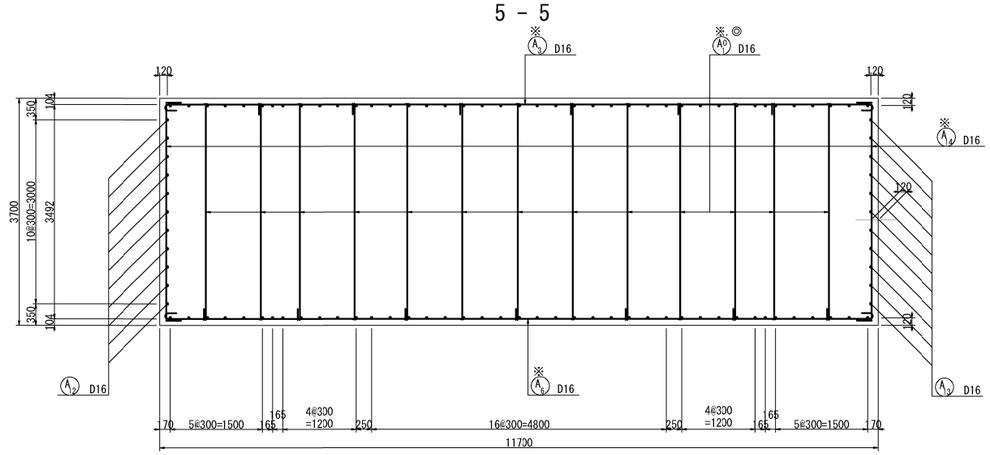
水平補強筋平面図
4 － 4



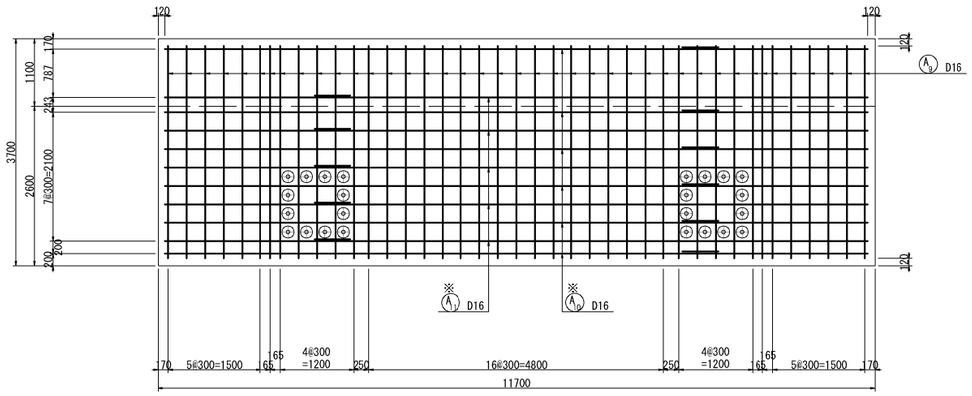
竪壁背面図
2 － 2



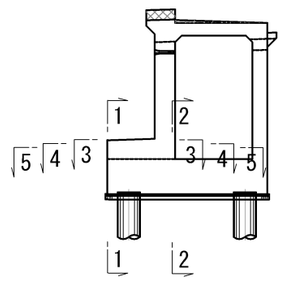
竪壁平面図
5 － 5



橋座平面図
3 － 3



位 置 図



注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その2)		
縮　　尺	1:100	図面番号	44 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その3)　S=1:100

変化鉄筋表

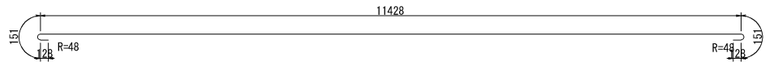
A1 41-D16 X 2800（平均長）

種 別	径	本数	I	L
A 1- 1	D16	1	2431	2700
- 2	D16	1	2436	2700
- 3	D16	1	2441	2710
- 4	D16	1	2446	2710
- 5	D16	1	2451	2720
- 6	D16	1	2457	2720
- 7	D16	1	2459	2730
- 8	D16	1	2462	2730
- 9	D16	1	2467	2730
-10	D16	1	2473	2740
-11	D16	1	2478	2750
-12	D16	1	2483	2750
-13	D16	1	2487	2750
-14	D16	1	2492	2760
-15	D16	1	2498	2770
-16	D16	1	2503	2770
-17	D16	1	2508	2780
-18	D16	1	2513	2780
-19	D16	1	2518	2790
-20	D16	1	2523	2790
-21	D16	1	2529	2800
-22	D16	1	2534	2800
-23	D16	1	2539	2810
-24	D16	1	2544	2810
-25	D16	1	2549	2820
-26	D16	1	2554	2820
-27	D16	1	2560	2830
-28	D16	1	2565	2830
-29	D16	1	2570	2840
-30	D16	1	2574	2840
-31	D16	1	2579	2850
-32	D16	1	2585	2850
-33	D16	1	2590	2860
-34	D16	1	2595	2860
-35	D16	1	2598	2870
-36	D16	1	2601	2870
-37	D16	1	2606	2870
-38	D16	1	2611	2880
-39	D16	1	2616	2880
-40	D16	1	2621	2890
-41	D16	1	2626	2890
平均長		41		2800

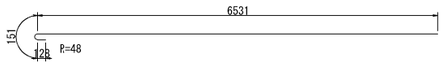
変化鉄筋表

A2 41-D16 X 2800（平均長）

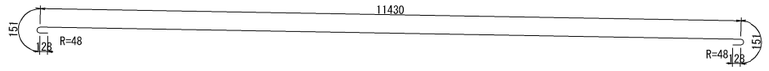
種 別	径	本数	I	L
A 2- 1	D16	1	2431	2700
- 2	D16	1	2436	2700
- 3	D16	1	2441	2710
- 4	D16	1	2446	2710
- 5	D16	1	2451	2720
- 6	D16	1	2457	2720
- 7	D16	1	2459	2730
- 8	D16	1	2462	2730
- 9	D16	1	2467	2730
-10	D16	1	2473	2740
-11	D16	1	2478	2750
-12	D16	1	2483	2750
-13	D16	1	2487	2750
-14	D16	1	2492	2760
-15	D16	1	2498	2770
-16	D16	1	2503	2770
-17	D16	1	2508	2780
-18	D16	1	2513	2780
-19	D16	1	2518	2790
-20	D16	1	2523	2790
-21	D16	1	2529	2800
-22	D16	1	2534	2800
-23	D16	1	2539	2810
-24	D16	1	2544	2810
-25	D16	1	2549	2820
-26	D16	1	2554	2820
-27	D16	1	2560	2830
-28	D16	1	2565	2830
-29	D16	1	2570	2840
-30	D16	1	2574	2840
-31	D16	1	2579	2850
-32	D16	1	2585	2850
-33	D16	1	2590	2860
-34	D16	1	2595	2860
-35	D16	1	2598	2870
-36	D16	1	2601	2870
-37	D16	1	2606	2870
-38	D16	1	2611	2880
-39	D16	1	2616	2880
-40	D16	1	2621	2890
-41	D16	1	2626	2890
平均長		41		2800



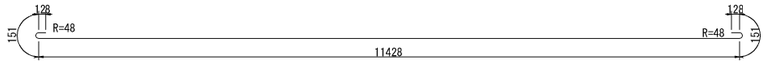
※ A3 2-D16 X 11990



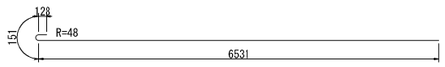
※ A4 1-D16 X 6810



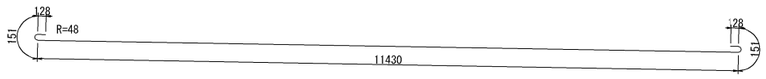
※ A5 1-D16 X 11990



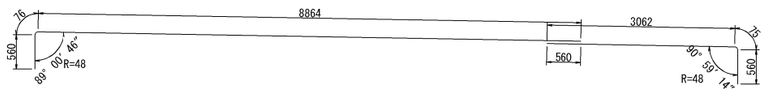
※ A6 2-D16 X 11990



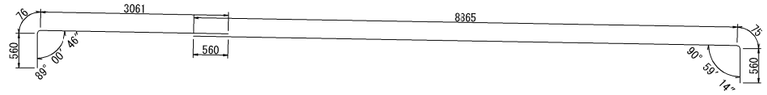
※ A7 1-D16 X 6810



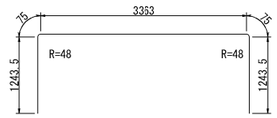
※ A8 1-D16 X 11990



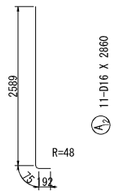
※ A9 6-D16 X 9500　※ A10 6-D16 X 3700



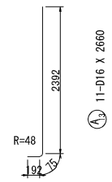
※ A11 5-D16 X 3700　※ A12 5-D16 X 9500



A13 41-D16 X 6000

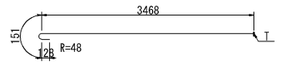


A14 11-D16 X 2860

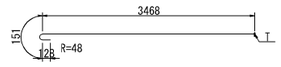


A15 11-D16 X 2660

※ A16 7-D16 X 3930



※、◎ A17 13-D16 X 3750



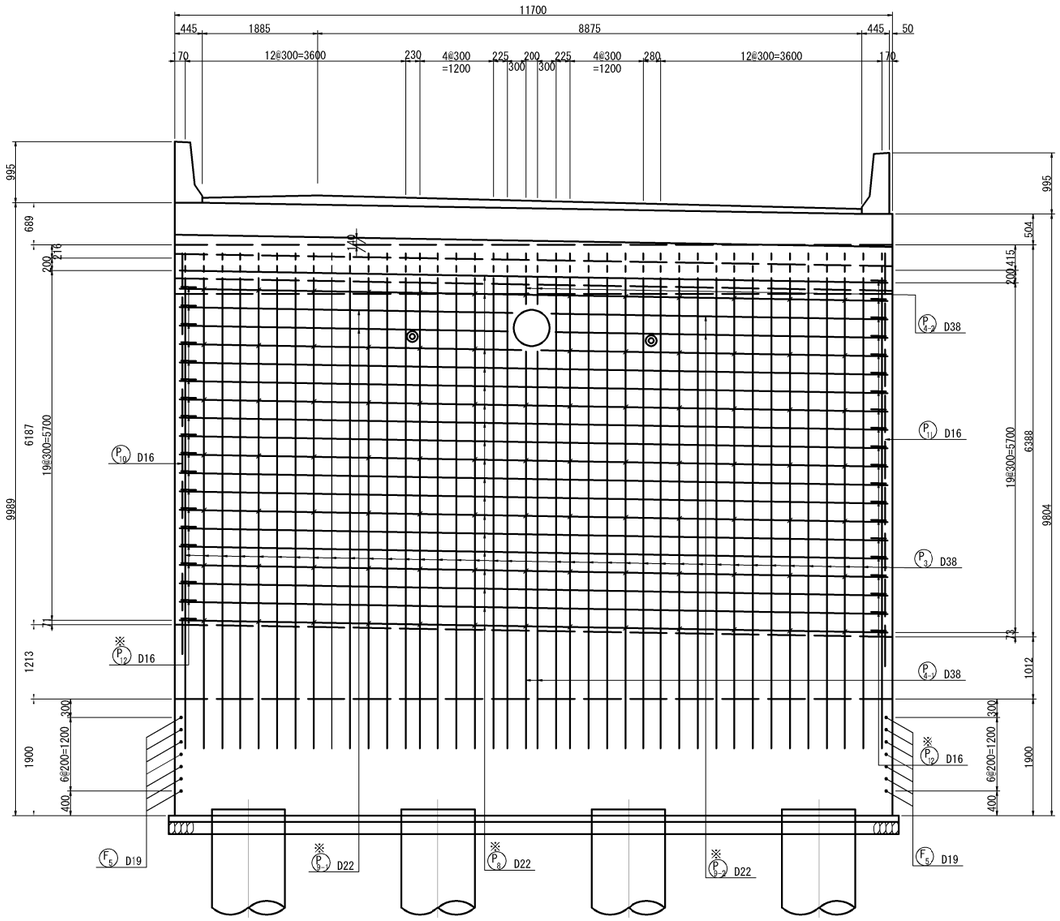
※、◎ A18 26-D16 X 3750

注1）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）K 印は機械式継手位置を表す。

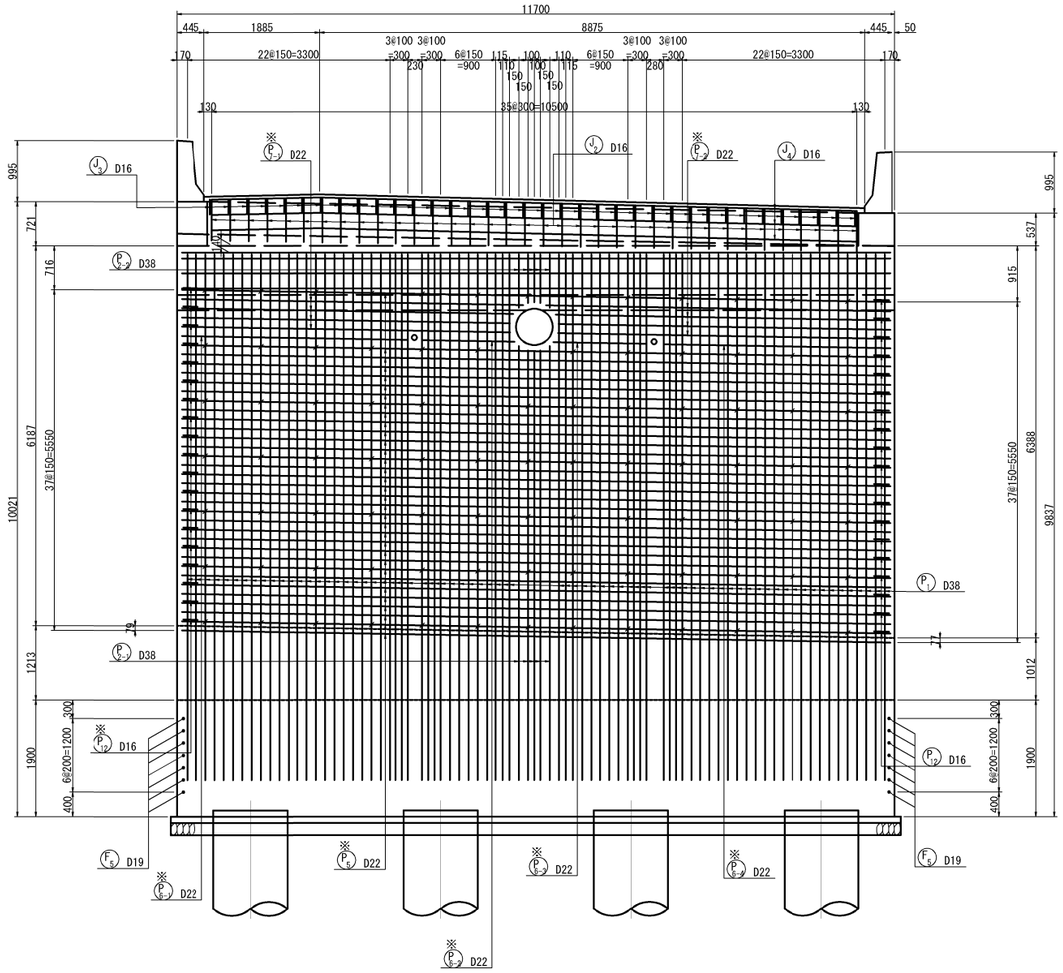
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その3)		
縮　　尺	1:100	図面番号	45 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その4)　S=1:100

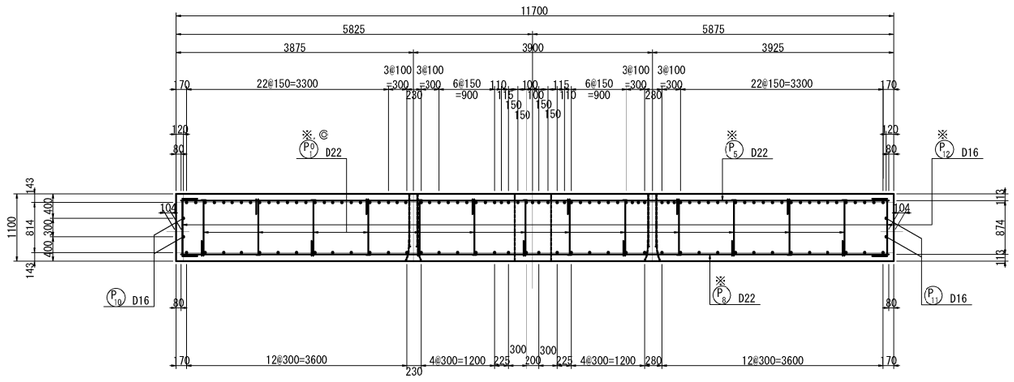
前壁正面図
1 － 1



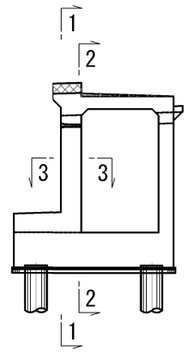
前壁背面図
2 － 2



前壁平面図
3 － 3



位 置 図

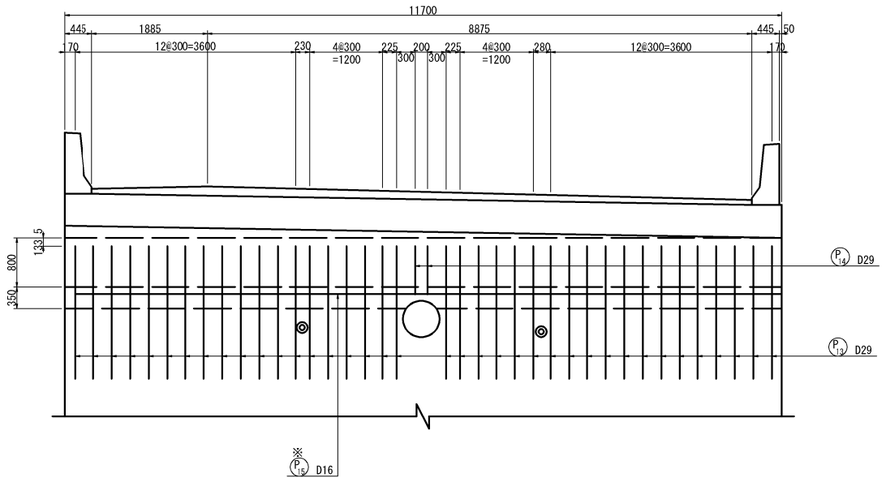


注1）「印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）K 印は機械式継手位置を表す。

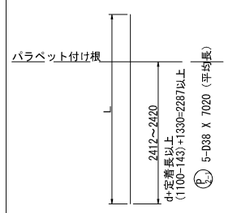
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その4)		
縮　　尺	1:100	図面番号	46 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その5)　S=1:100

前壁ハンチ断面図
1 － 1

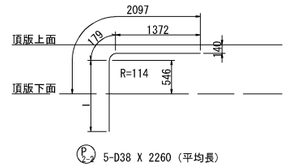


変化鉄筋表

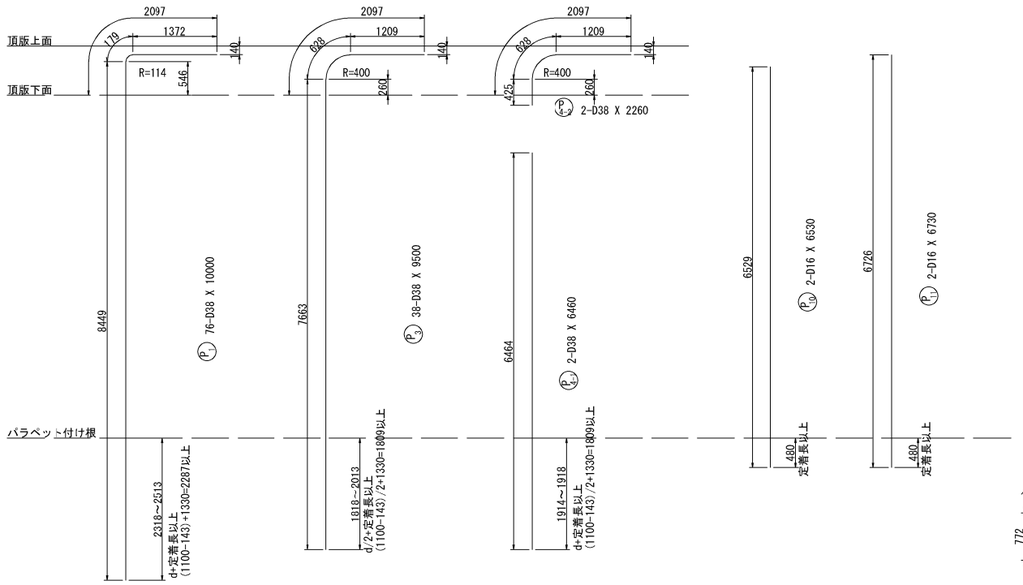


種 別	径	本数	L
P 2-1-1	D38	1	7072
-2	D38	1	6997
-3	D38	1	6984
-4	D38	1	6997
-5	D38	1	7072
平均長		5	7020

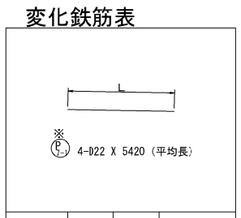
変化鉄筋表



種 別	径	本数	l	L
P 2-2-1	D38	1	753	2300
-2	D38	1	678	2230
-3	D38	1	665	2220
-4	D38	1	678	2230
-5	D38	1	753	2300
平均長		5		2260

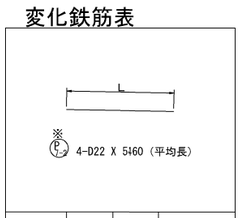


変化鉄筋表



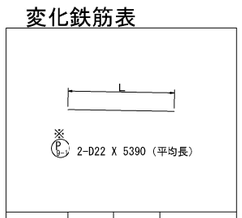
種 別	径	本数	L
P 7-1-1	D22	1	5356
-2	D22	1	5350
-3	D22	1	5405
-4	D22	1	5566
平均長		4	5420

変化鉄筋表



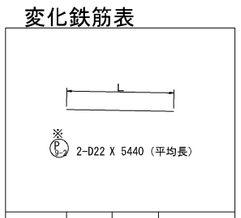
種 別	径	本数	L
P 7-2-1	D22	1	5409
-2	D22	1	5399
-3	D22	1	5448
-4	D22	1	5603
平均長		4	5460

変化鉄筋表

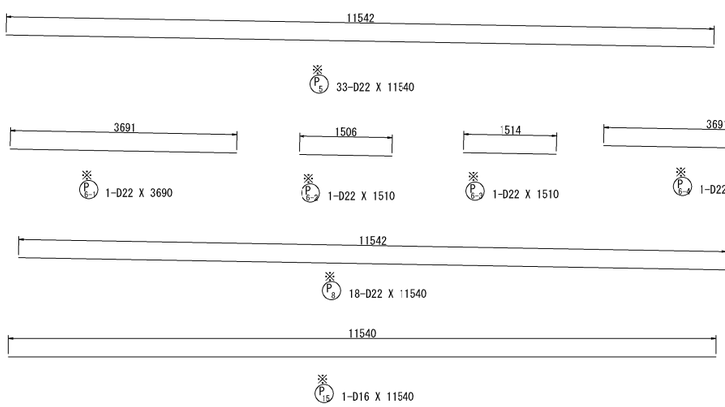


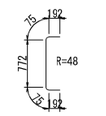
種 別	径	本数	L
P 9-1-1	D22	1	5350
-2	D22	1	5428
平均長		2	5390

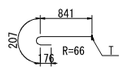
変化鉄筋表

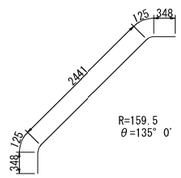


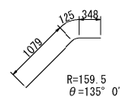
種 別	径	本数	L
P 9-2-1	D22	1	5402
-2	D22	1	5470
平均長		2	5440



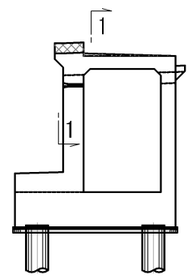








位 置 図

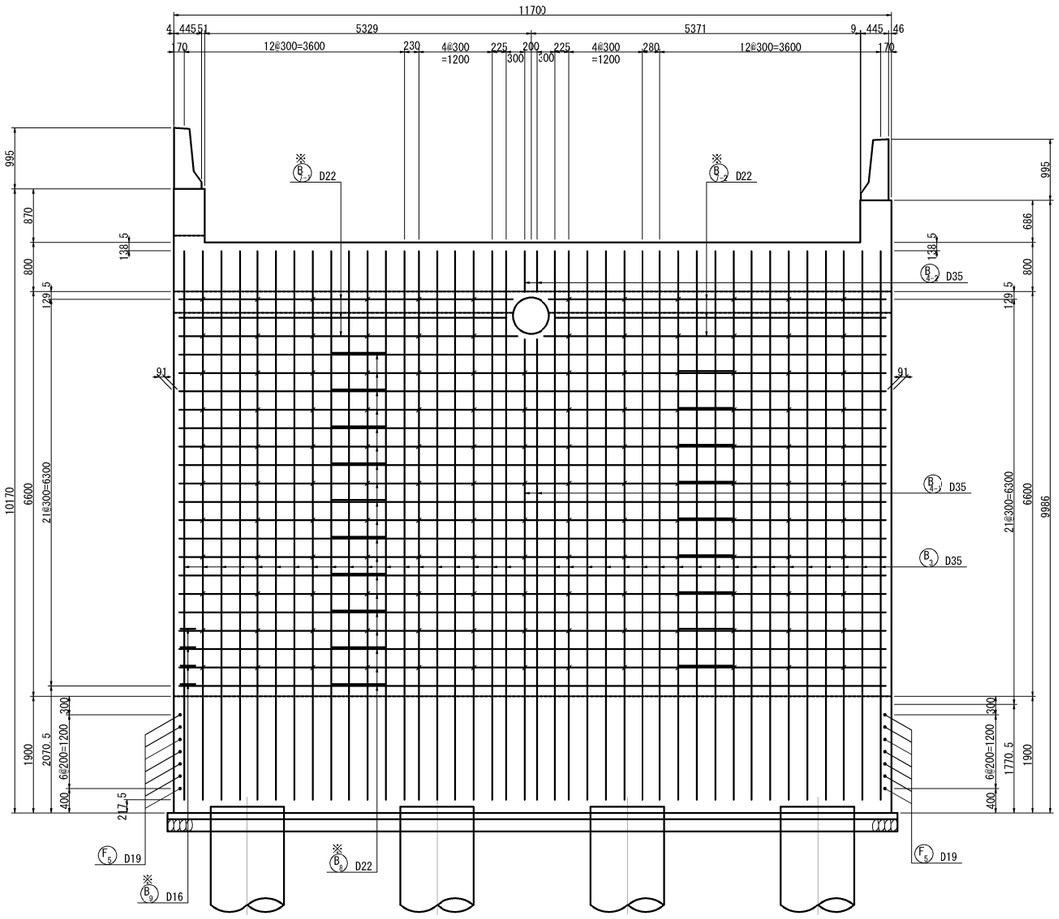


注1）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）K 印は機械式継手位置を表す。

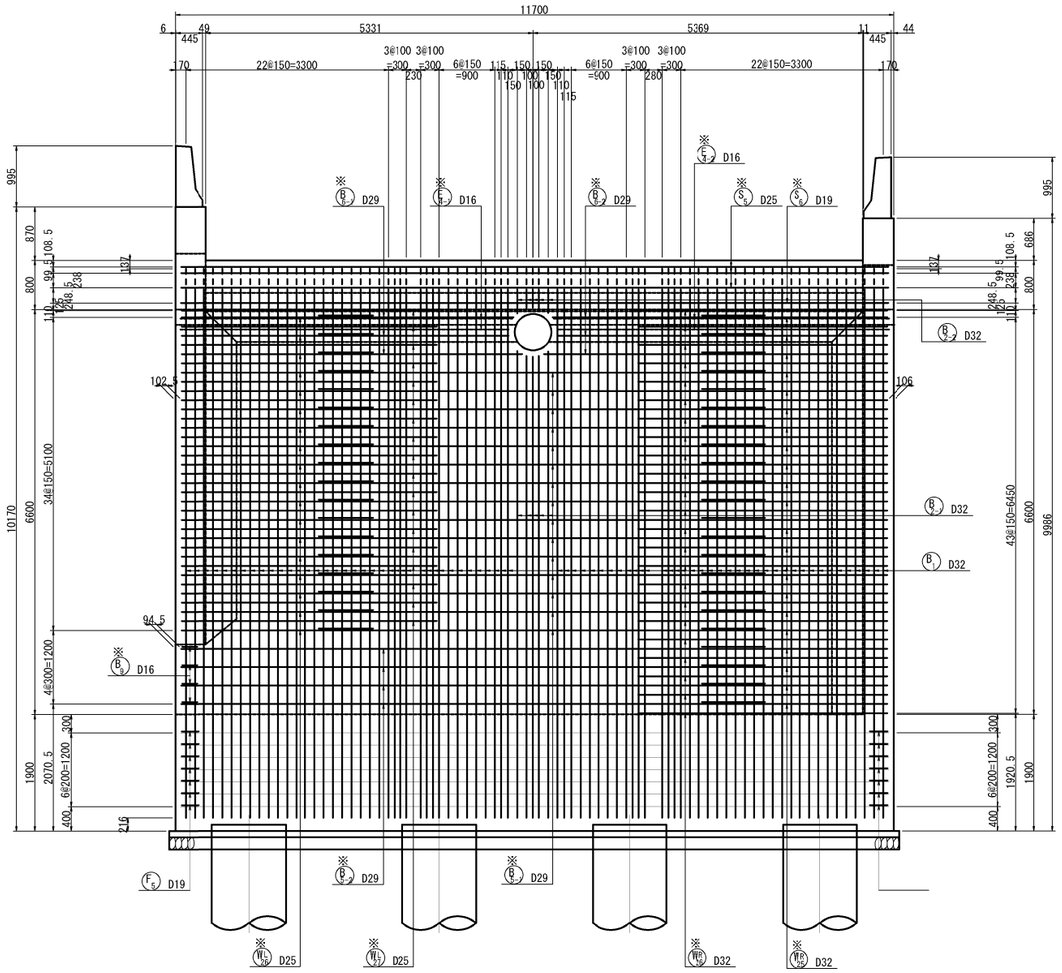
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その5)		
縮　　尺	1:100	図面番号	47 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その6)　S=1:100

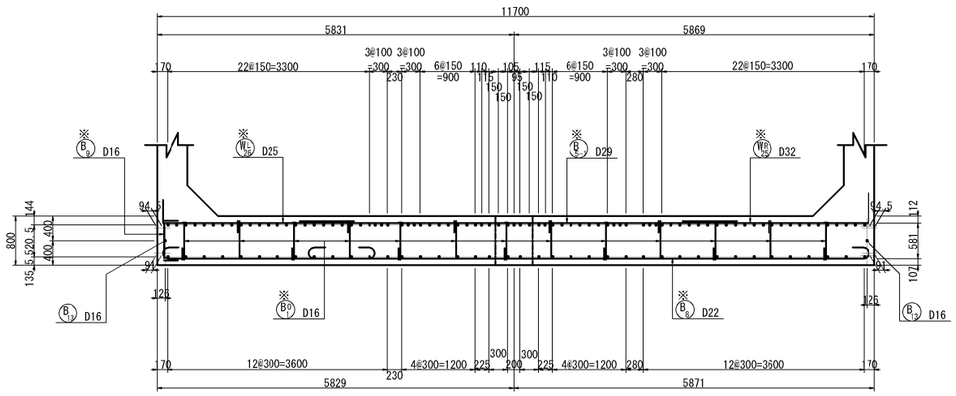
後壁正面図
1 － 1



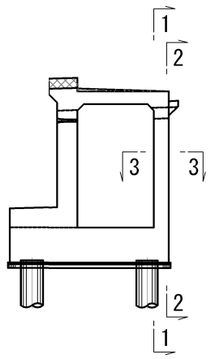
後壁背面図
2 － 2



後壁平面図
3 － 3



位 置 図

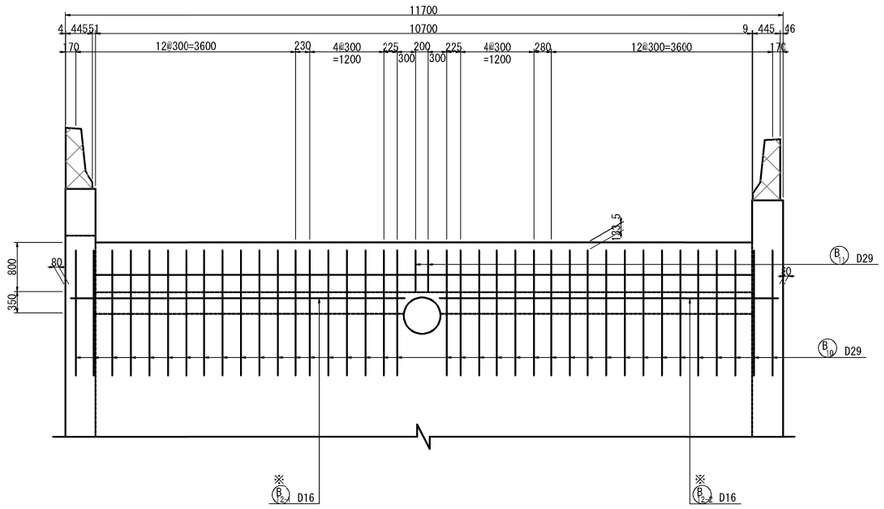


注1）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）K 印は機械式継手位置を表す。

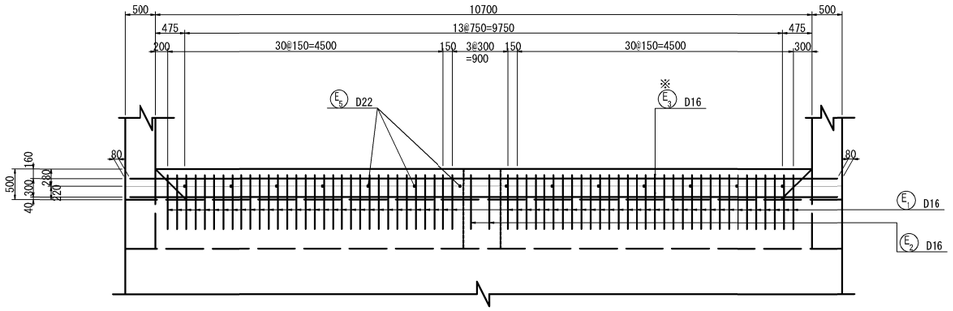
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その6)		
縮　　尺	1:100	図面番号	48 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その7)　S=1:100

後壁ハンチ断面図
1 － 1

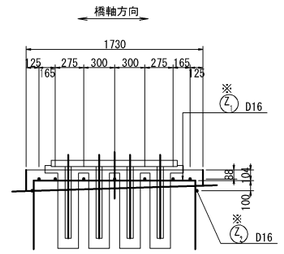


後壁平面図
2 － 2

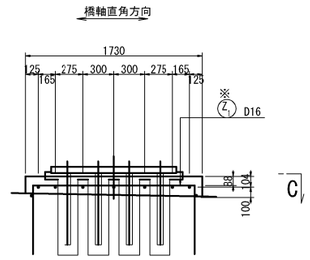


台座コンクリート詳細図 S=1:60
(2箇所)

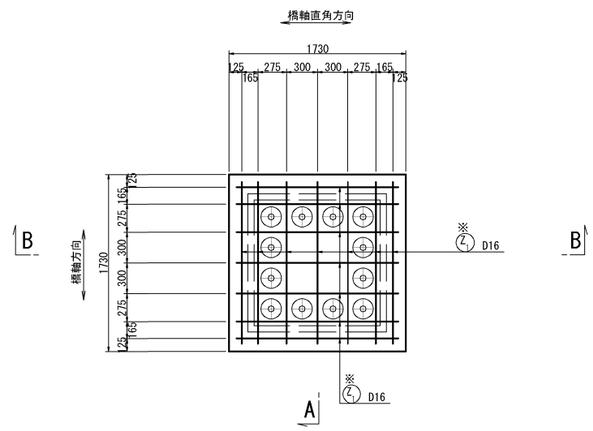
A － A

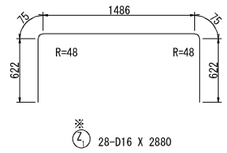


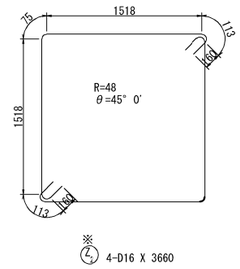
B － B



C － C

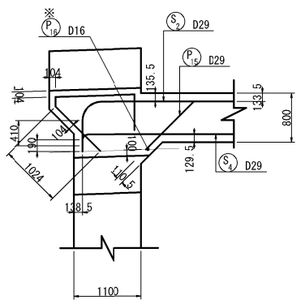




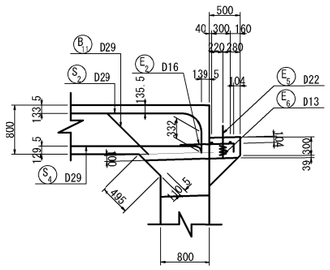


床版、前壁・後壁ハンチ、受台開口部詳細図

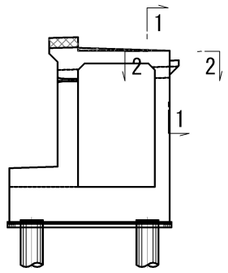
前　壁



後　壁



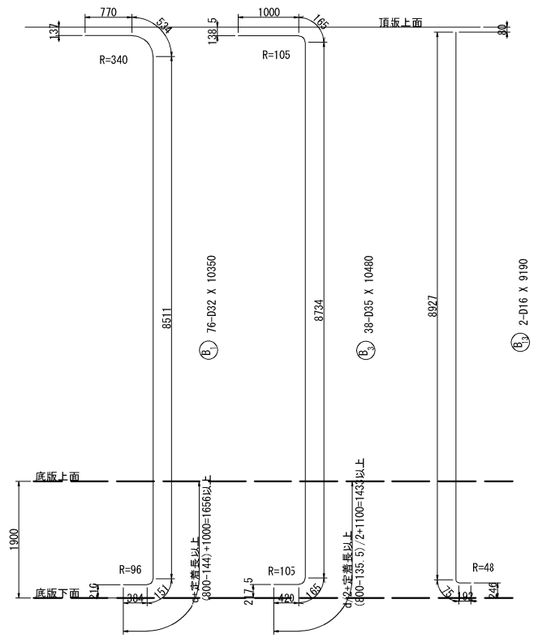
位 置 図

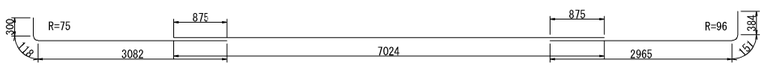


注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

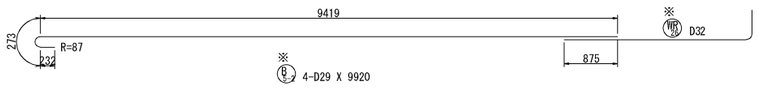
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その7)		
縮　　尺	図示	図面番号	49 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その8)　S=1:100

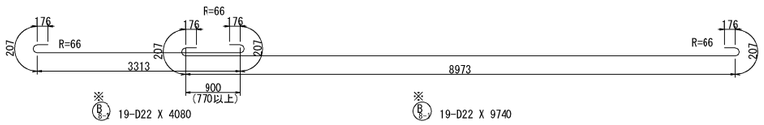




※ 18-D25 X 3500　※ 15-D29 X 7020　※ 22-D32 X 3500



※ 4-D29 X 9920



※ 19-D22 X 4080　※ 19-D22 X 9740

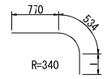
※ 1-D16 X 5460　※ 1-D16 X 5510

変化鉄筋表

5-D32 X 799)（平均長）

種 別	径	本数	l	L
B 2-1-1	D32	1	7499	8030
-2	D32	1	7427	7960
-3	D32	1	7416	7950
-4	D32	1	7430	7970
-5	D32	1	7508	8040
平均長		5		7990

変化鉄筋表



5-D32 X 1640（平均長）

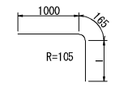
種 別	径	本数	l	L
B 2-2-1	D32	1	378	1680
-2	D32	1	306	1610
-3	D32	1	295	1600
-4	D32	1	309	1610
-5	D32	1	387	1690
平均長		5		1640

変化鉄筋表

2-D35 X 7980（平均長）

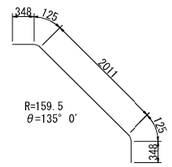
種 別	径	本数	l	L
B 4-1-1	D35	1	7396	7980
-2	D35	1	7398	7980
平均長		2		7980

変化鉄筋表

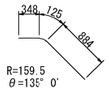


2-D35 X 830（平均長）

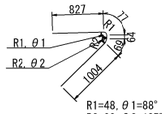
種 別	径	本数	l	L
B 4-2-1	D35	1	662	1830
-2	D35	1	664	1830
平均長		2		1830



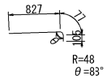
38-D29 X 2960



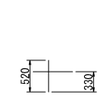
2-D29 X 1360



64-D16 X 2040



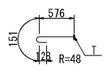
2-D16 X 1010



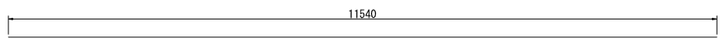
※ 14-D22 X 520

14-D13 X 950

※ 4-D16 X 1010

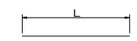


※,◎ 141-D16 X 860



※ 2-D16 X 11540

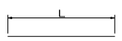
変化鉄筋表



※ 2-D16 X 5390（平均長）

種 別	径	本数	L
E 4-1-1	D16	1	5353
-2	D16	1	5417
平均長		2	5390

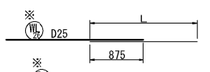
変化鉄筋表



※ 2-D16 X 5420（平均長）

種 別	径	本数	L
E 4-2-1	D16	1	5392
-2	D16	1	5455
平均長		2	5420

変化鉄筋表



※ 3-D29 X 3190（平均長）

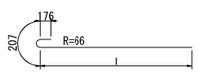
種 別	径	本数	L
B 6-1-1	D29	1	3168
-2	D29	1	3090
-3	D29	1	3307
平均長		3	3190

変化鉄筋表

※ 3-D29 X 3470（平均長）

種 別	径	本数	L
B 6-2-1	D29	1	3452
-2	D29	1	3374
-3	D29	1	3590
平均長		3	3470

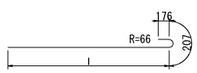
変化鉄筋表



※ 3-D22 X 5750（平均長）

種 別	径	本数	l	L
B 7-1-1	D22	1	5373	5760
-2	D22	1	5273	5660
-3	D22	1	5451	5830
平均長		3		5750

変化鉄筋表



※ 3-D22 X 5790（平均長）

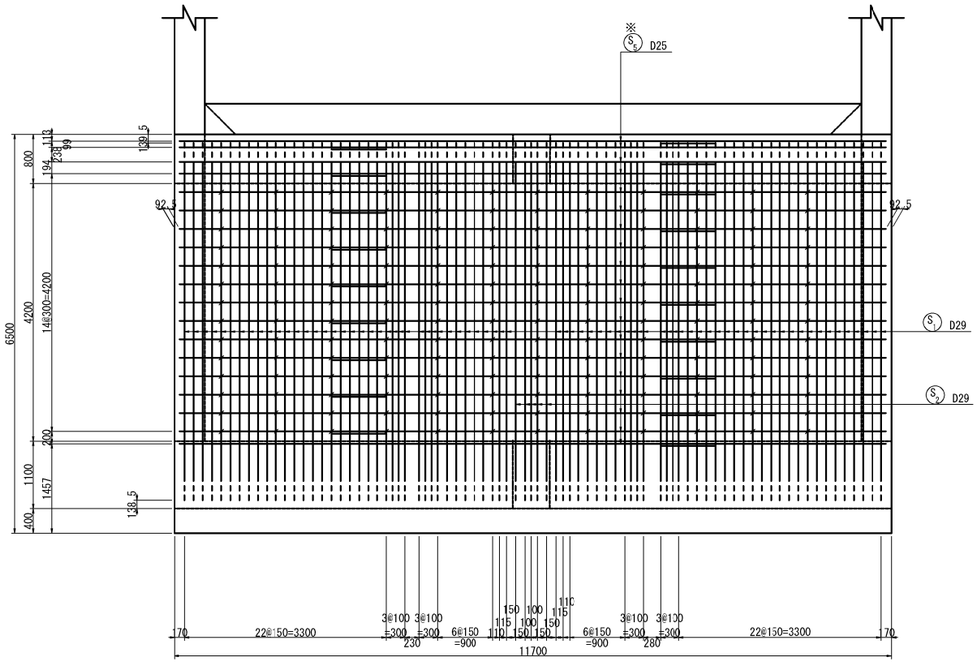
種 別	径	本数	l	L
B 7-2-1	D22	1	5416	5800
-2	D22	1	5316	5700
-3	D22	1	5494	5880
平均長		3		5790

注1）「印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）K 印は機械式継手位置を表す。

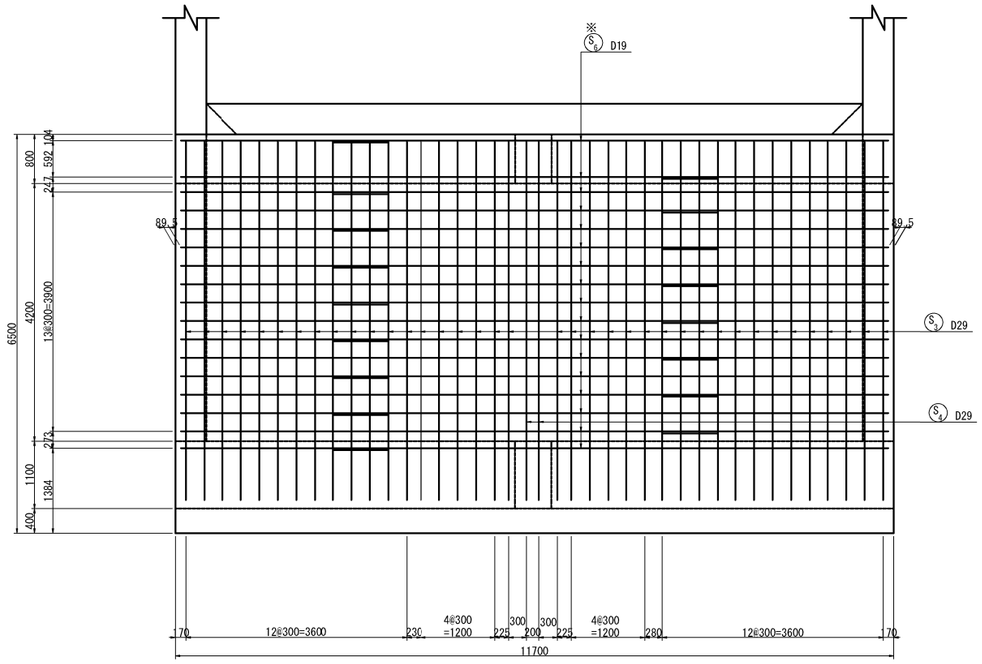
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その8)		
縮　　尺	1:100	図面番号	50 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その9)　S=1:100

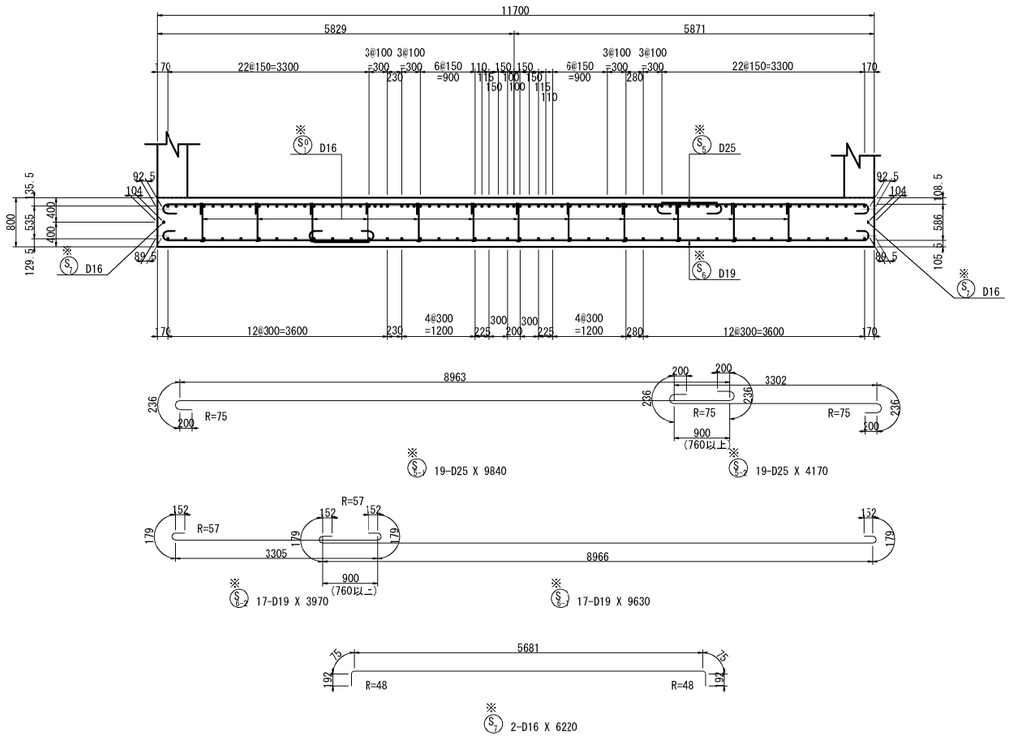
頂版上面平面図
1 － 1

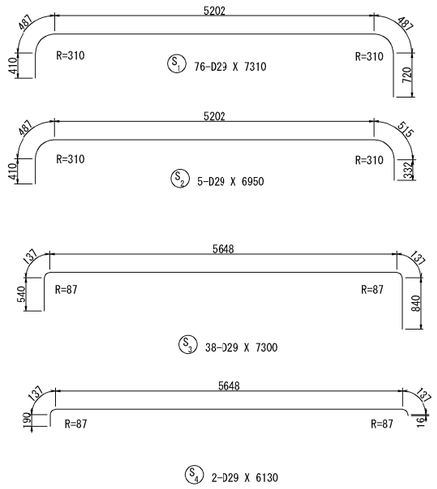


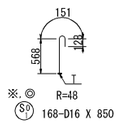
頂版下面平面図
2 － 2



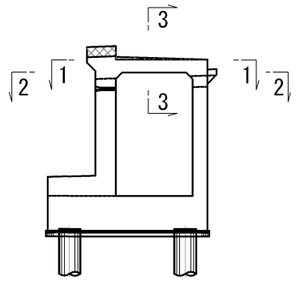
頂版断面図
3 － 3







位置図



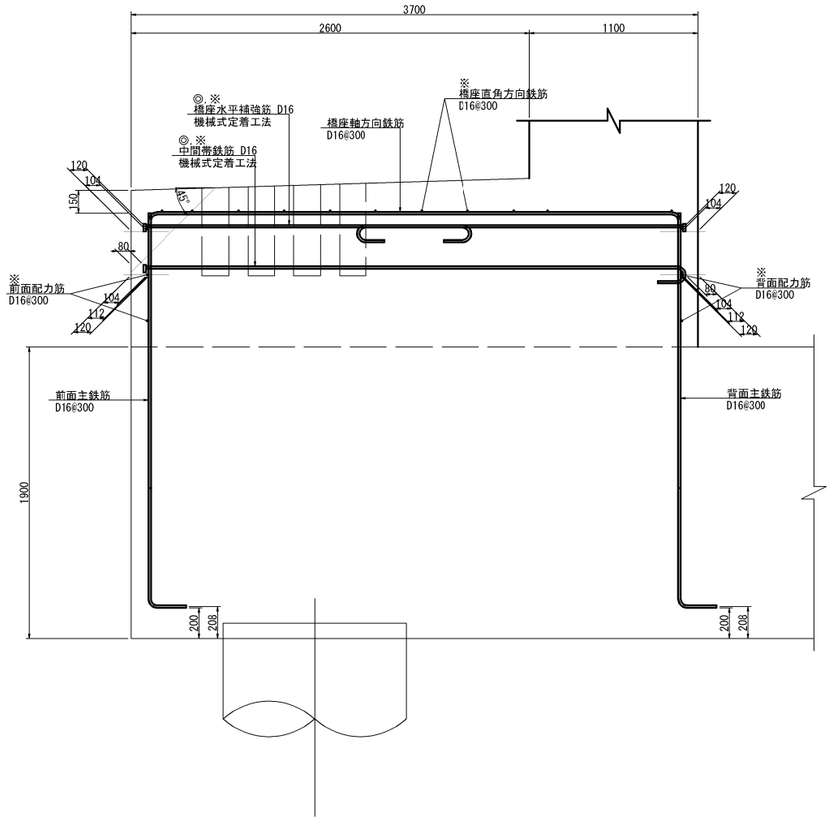
注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その9)		
縮　　尺	1:100	図面番号	51 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

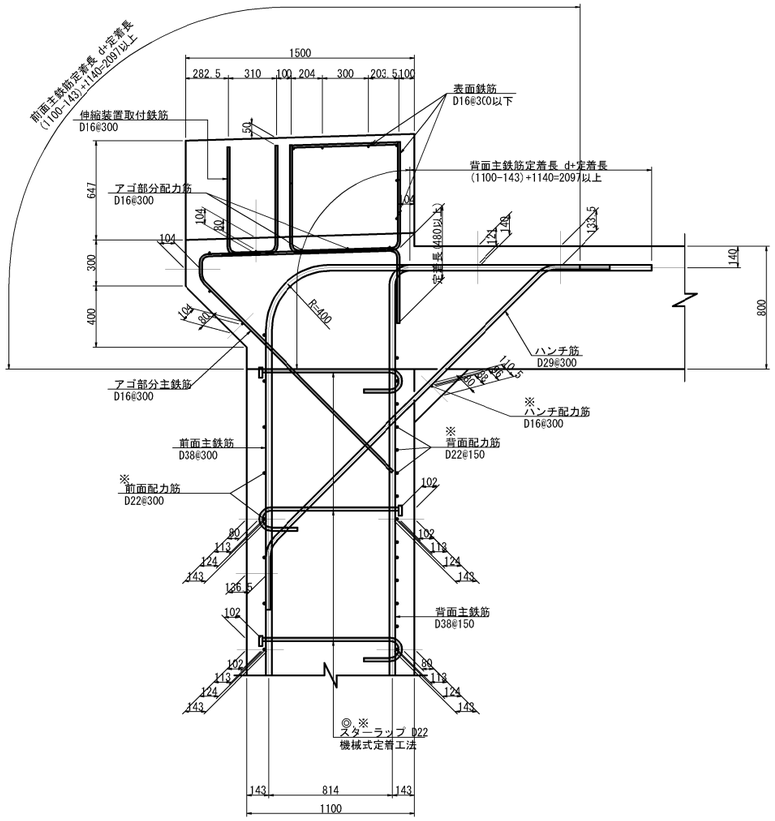
トマム川橋　A2橋台配筋図(その10)　S=1:40

かぶり詳細図　S=1:40

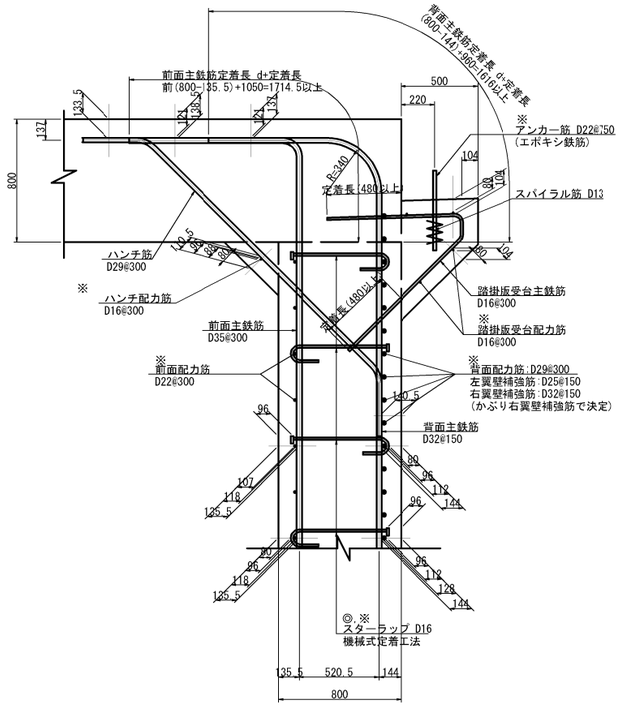
竪　壁



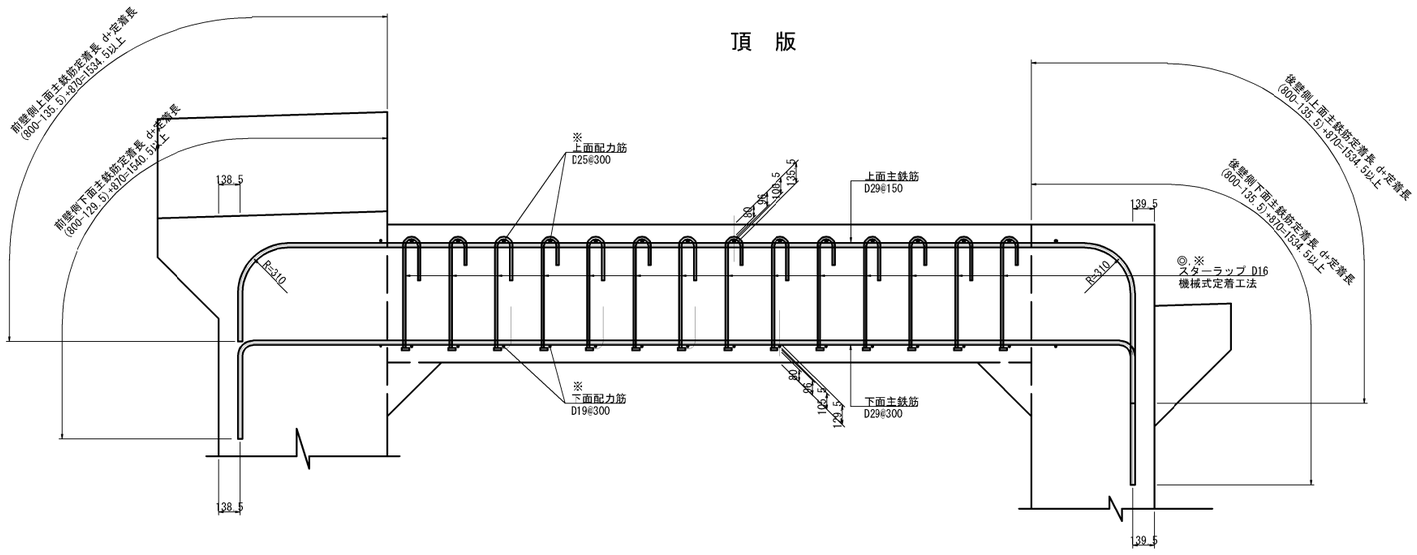
前　壁



後　壁



頂　版

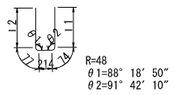


注1) ◎印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その10)		
縮　　尺	1:40	図面番号	52 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その11)　S=1:100

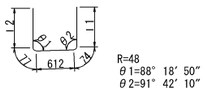
変化鉄筋表



Ⓙ1 36-D16 X 1660（平均長）

種 別	径	本数	l 1	l 2	L
J 1-1	D16	1	614	612	1590
-2	D16	1	617	614	1600
-3	D16	1	619	616	1600
-4	D16	1	622	619	1610
-5	D16	1	624	621	1610
-6	D16	1	626	623	1610
-7	D16	1	629	626	1620
-8	D16	1	631	628	1620
-9	D16	1	633	631	1630
-10	D16	1	636	633	1630
-11	D16	1	638	635	1640
-12	D16	1	640	638	1640
-13	D16	1	643	640	1650
-14	D16	1	645	642	1650
-15	D16	1	648	645	1660
-16	D16	1	650	647	1660
-17	D16	1	652	649	1670
-18	D16	1	655	652	1670
-19	D16	1	657	654	1680
-20	D16	1	659	657	1680
-21	D16	1	662	659	1690
-22	D16	1	664	661	1690
-23	D16	1	666	664	1700
-24	D16	1	669	666	1700
-25	D16	1	671	668	1700
-26	D16	1	674	671	1710
-27	D16	1	676	673	1710
-28	D16	1	678	675	1720
-29	D16	1	681	678	1720
-30	D16	1	683	680	1730
-31	D16	1	674	671	1710
-32	D16	1	663	660	1690
-33	D16	1	652	649	1670
-34	D16	1	641	638	1640
-35	D16	1	629	627	1620
-36	D16	1	618	615	1600
平均長		36			1660

変化鉄筋表



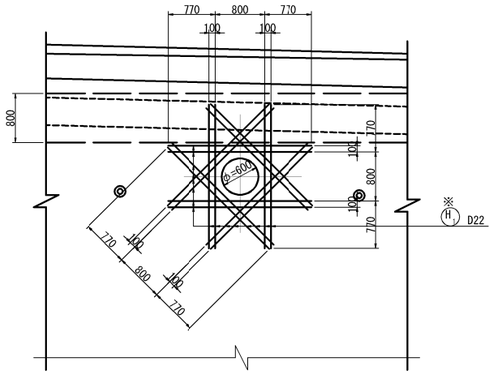
Ⓙ2 36-D16 X 2060（平均長）

種 別	径	本数	l 1	l 2	L
J 2-1	D16	1	614	612	1990
-2	D16	1	617	614	1990
-3	D16	1	619	616	2000
-4	D16	1	622	619	2000
-5	D16	1	624	621	2010
-6	D16	1	626	623	2010
-7	D16	1	629	626	2020
-8	D16	1	631	628	2020
-9	D16	1	633	631	2030
-10	D16	1	636	633	2030
-11	D16	1	638	635	2040
-12	D16	1	640	638	2040
-13	D16	1	643	640	2050
-14	D16	1	645	642	2050
-15	D16	1	648	645	2060
-16	D16	1	650	647	2060
-17	D16	1	652	649	2060
-18	D16	1	655	652	2070
-19	D16	1	657	654	2070
-20	D16	1	659	657	2080
-21	D16	1	662	659	2080
-22	D16	1	664	661	2090
-23	D16	1	666	664	2090
-24	D16	1	669	666	2100
-25	D16	1	671	668	2100
-26	D16	1	674	671	2110
-27	D16	1	676	673	2110
-28	D16	1	678	675	2120
-29	D16	1	681	678	2120
-30	D16	1	683	680	2130
-31	D16	1	674	671	2110
-32	D16	1	663	660	2090
-33	D16	1	652	649	2060
-34	D16	1	641	638	2040
-35	D16	1	629	627	2020
-36	D16	1	618	615	2000
平均長		36			2060

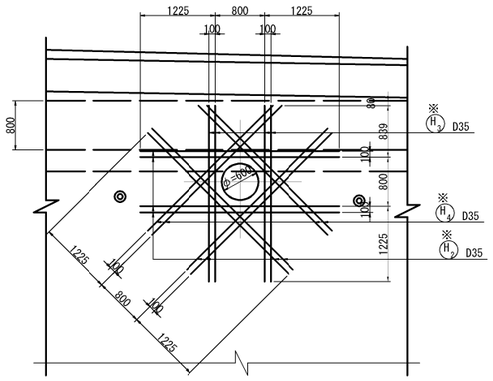
開口補強筋詳細図

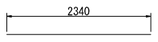
前　壁

前面

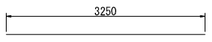


背 面





※ H1 16-D22 X 2340

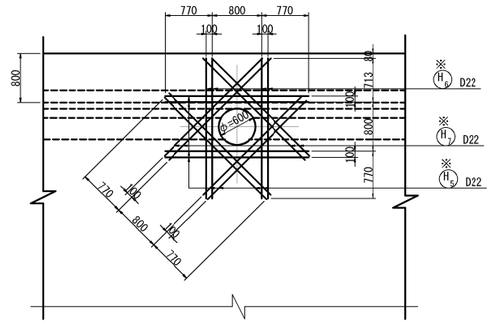


※ H2 8-D35 X 3250

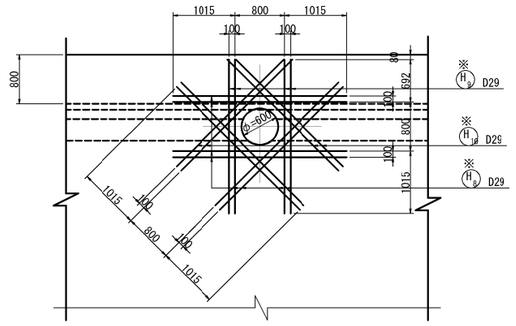
※ H5 4-D35 X 2860

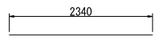
後　壁

前 面

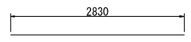


背 面



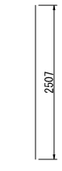


※ H5 8-D22 X 2340



※ H8 8-D29 X 2830

※ H6 4-D22 X 2280



※ H9 4-D29 X 2510

変化鉄筋表

※ H8 4-D35 X 2930（平均長）

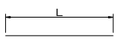
種 別	径	本数	L
H 4-1	D35	2	2877
-2	D35	2	2977
平均長		4	2930

変化鉄筋表

※ H7 4-D22 X 2290（平均長）

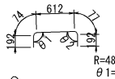
種 別	径	本数	L
H 7-1	D22	2	2244
-2	D22	2	2344
平均長		4	2294

変化鉄筋表



※ H10 4-D29 X 2510（平均長）

種 別	径	本数	L
H 10-1	D29	2	2459
-2	D29	2	2559
平均長		4	2509



Ⓙ3 36-D16 X 1150

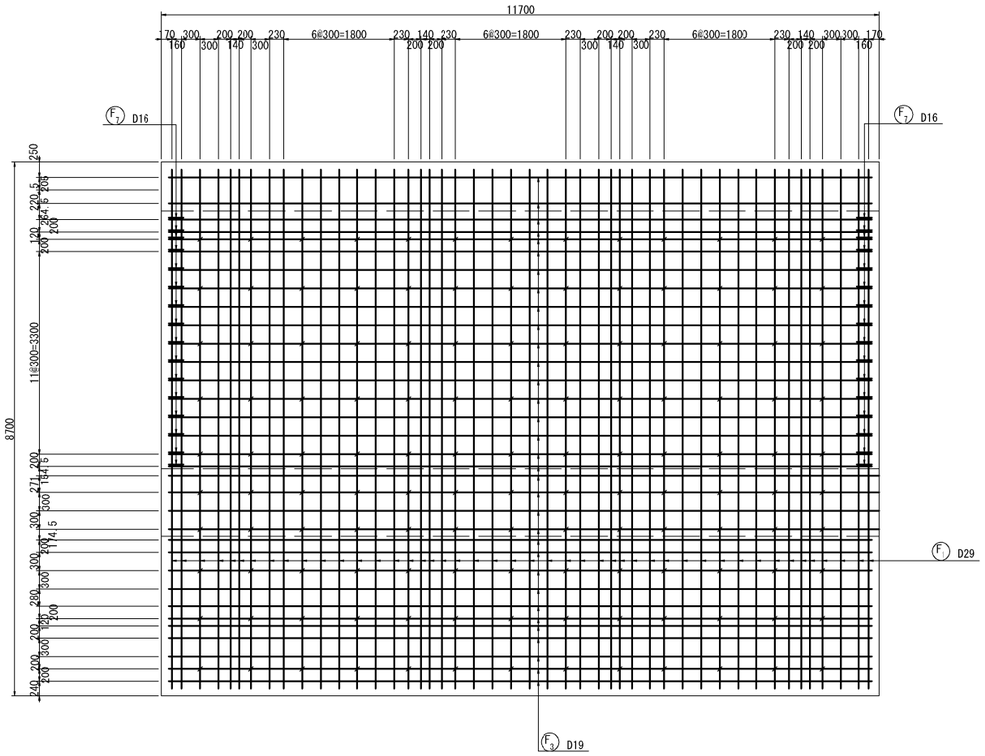
Ⓙ4 6-D16 X 10500

注1）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）K印は機械式継手位置を表す。

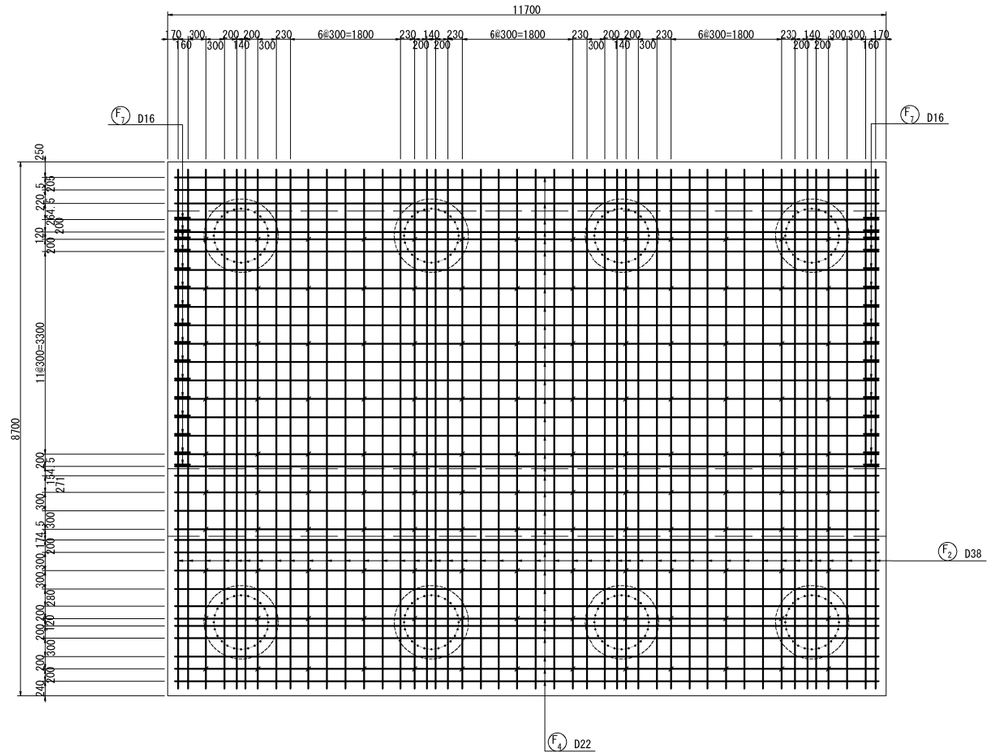
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その11)		
縮　尺	1:100	図面番号	53 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

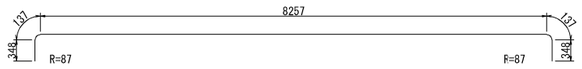
トマム川橋　A2橋台配筋図(その12)　S=1:100

フーチング上面図
1 － 1

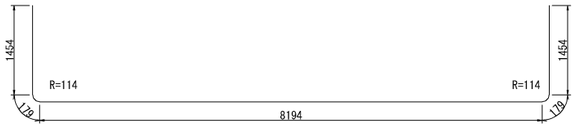


フーチング下面図
2 － 2

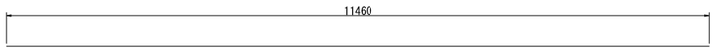




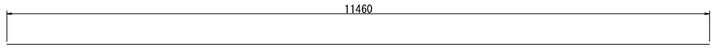
F1 46-D29 X 9230



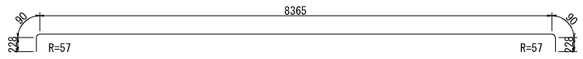
F2 46-D38 X 11460



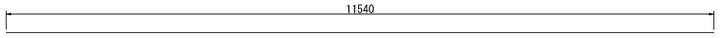
F3 33-D19 X 11460



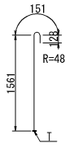
F4 33-D22 X 11460



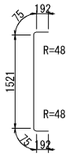
F5 10-D19 X 9000



F6 10-D19 X 11540

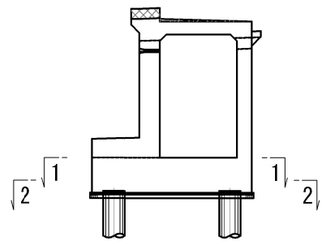


F8 130-D16 X 1840



F7 32-D16 X 2060

位 置 図



注1）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）K 印は機械式継手位置を表す。

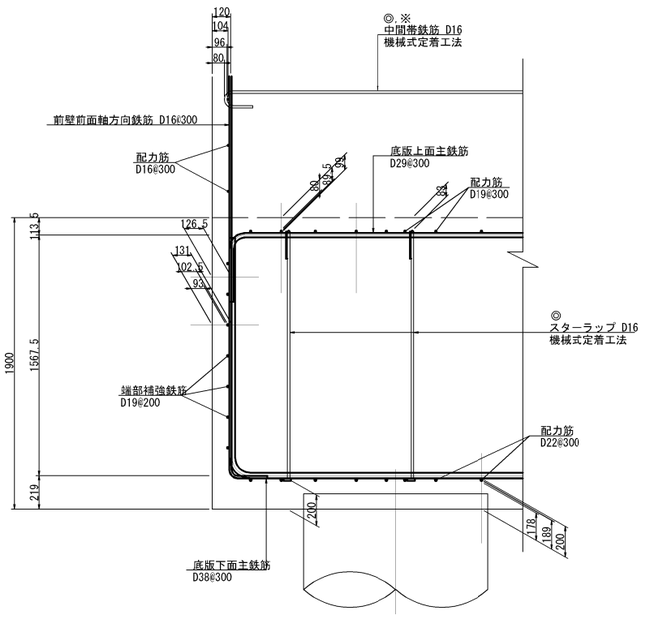
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その12)		
縮　　尺	1:100	図面番号	54 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その13)　S=1:40

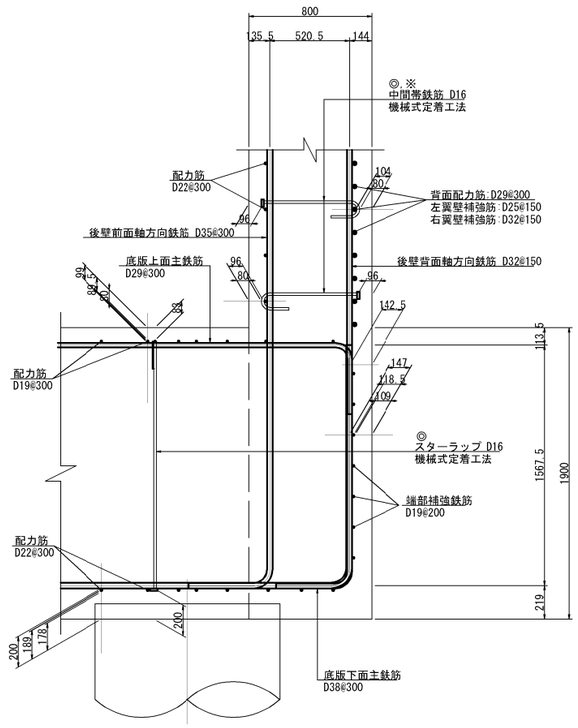
かぶり詳細図　S=1:40

底　版

前　趾



後　趾



注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

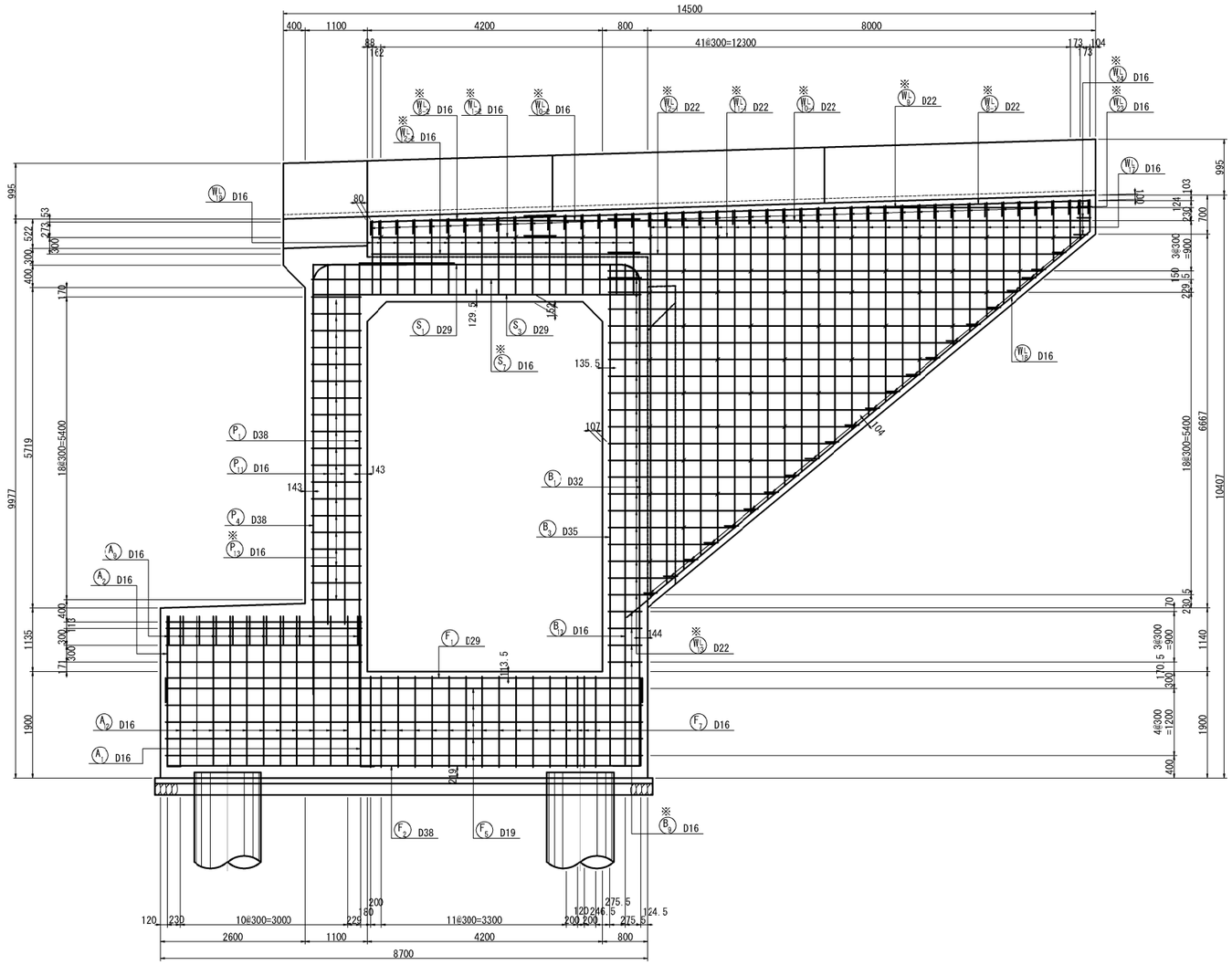
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その13)		
縮　　尺	1:40	図面番号	55 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その14)

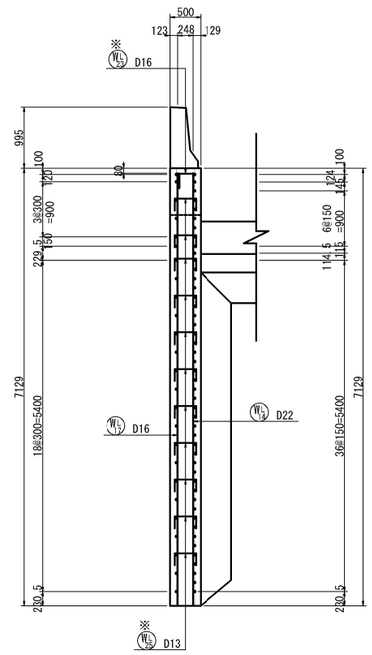
S=1:100

左側ウイング

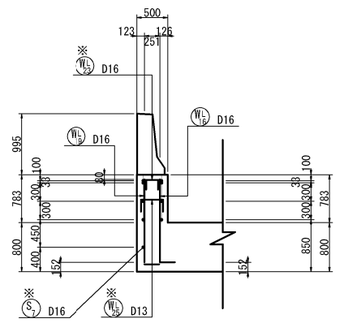
1 － 1
外側



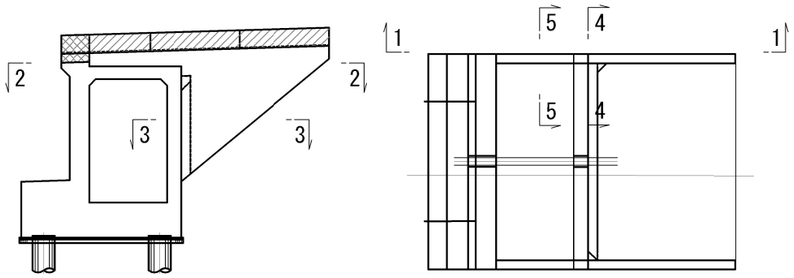
4 － 4



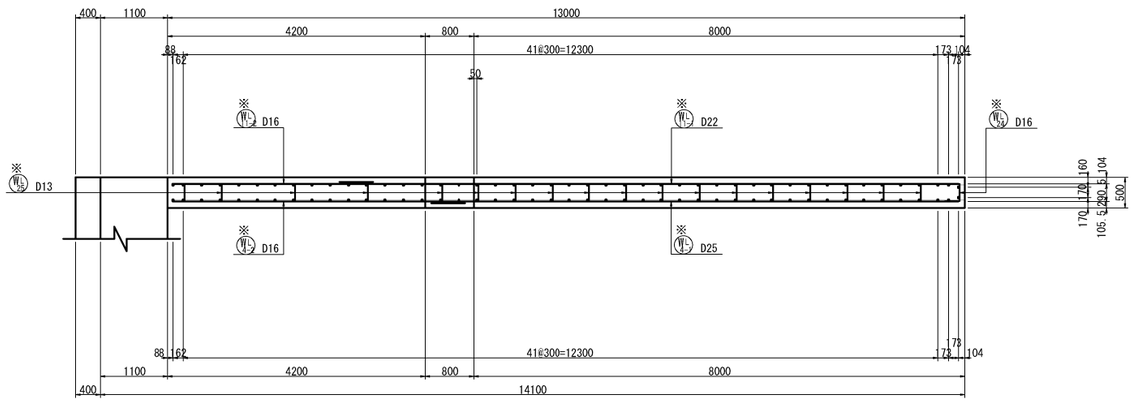
5 － 5



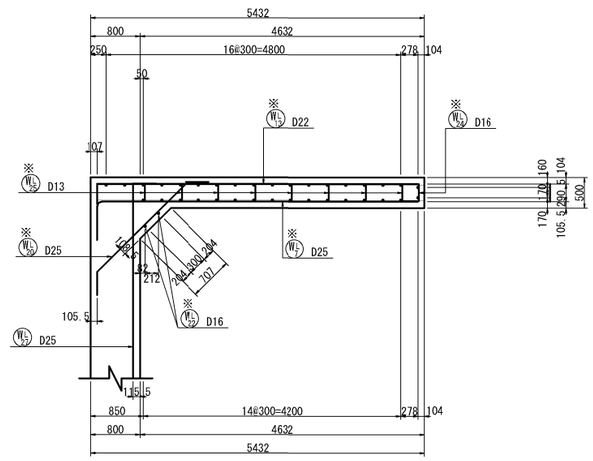
位置図



2 － 2



3 － 3



注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

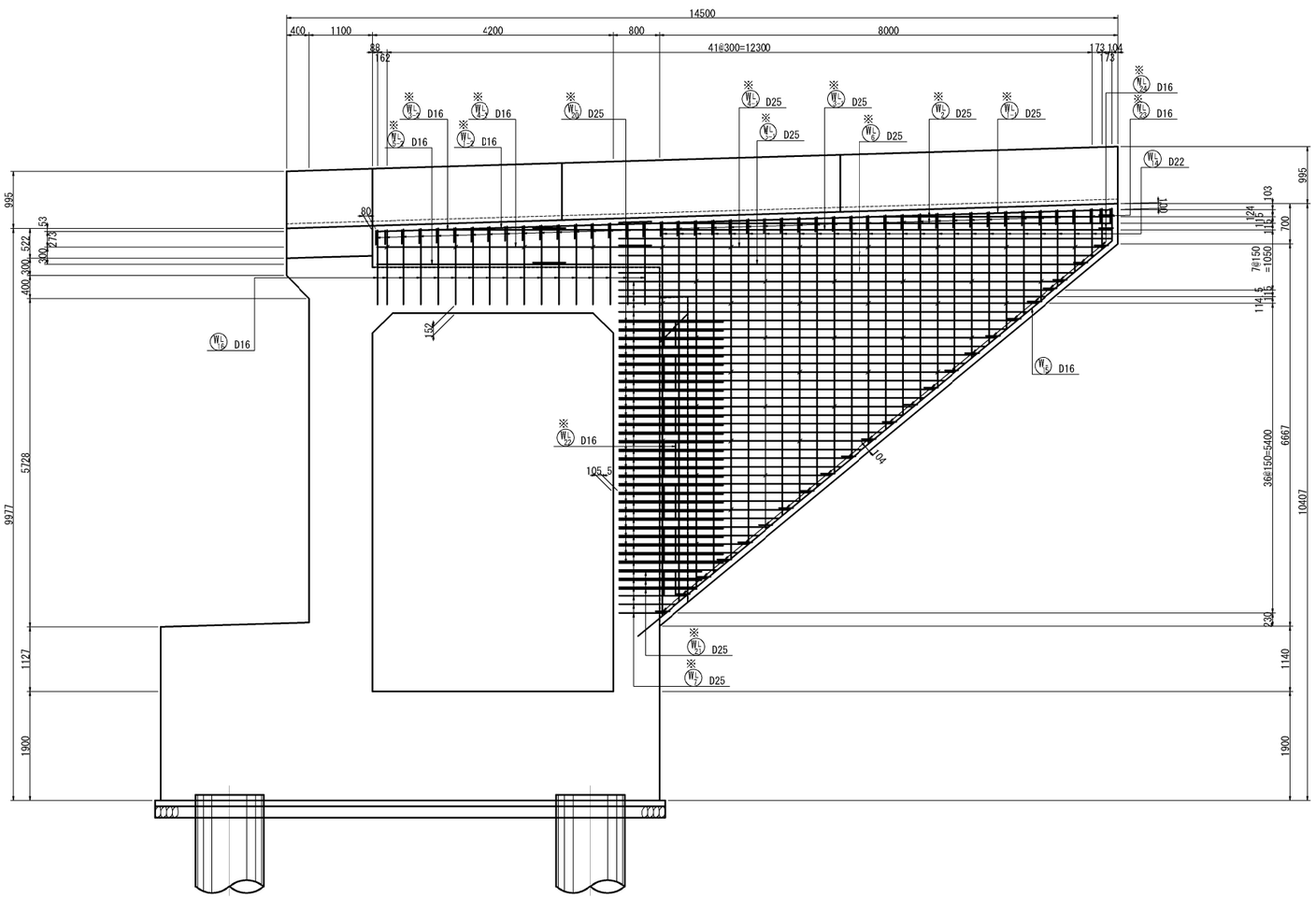
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その14)		
縮　　尺	1:100	図面番号	56 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

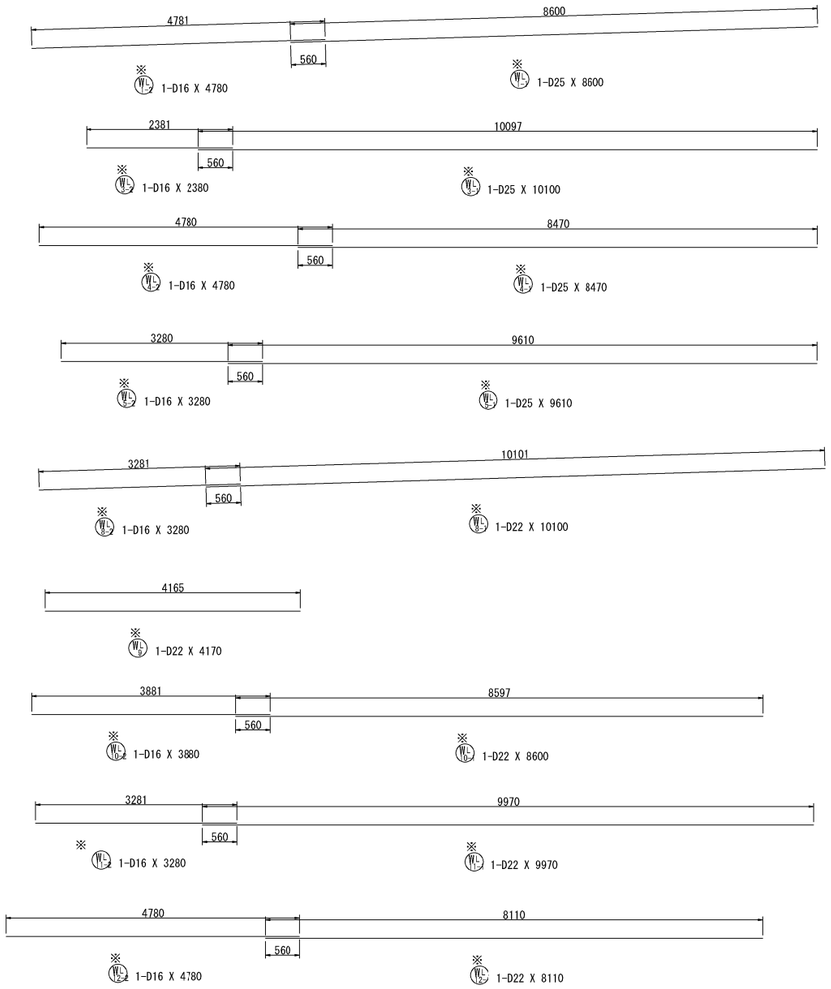
トマム川橋　A2橋台配筋図(その15)

左側ウイング

S=1:100

1 － 1
内側

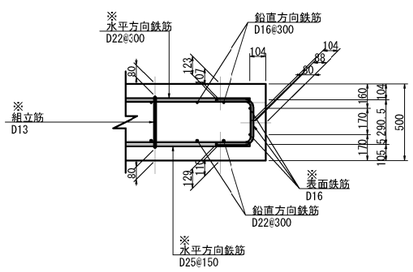




かぶり詳細図　S=1:40

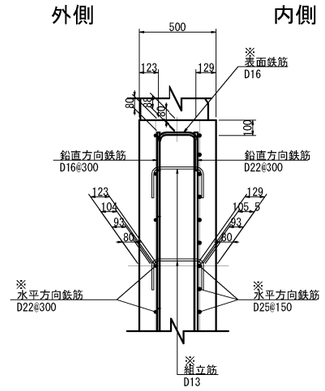
(左翼壁)

端 部

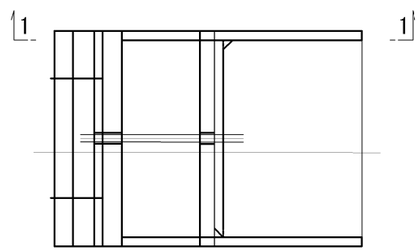


パラレル部

外側　　内側



位 置 図

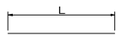


注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その15)		
縮　　尺	図　示	図面番号	57 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その16)　S=1:100

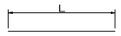
変化鉄筋表



※ W L2 2-D25 X 6100 (平均長)

種 別	径	本数	L
W L2-1	D25	1	4165
-2	D25	1	8041
平均長		2	6100

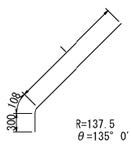
変化鉄筋表



※ W L6 3-D25 X 8270 (平均長)

種 別	径	本数	L
W L6-1	D25	1	7930
-2	D25	1	8290
-3	D25	1	8597
平均長		3	8270

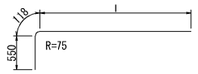
変化鉄筋表



※ W L5 3-D25 X 2340 (平均長)

種 別	径	本数	I	L
W L1-1	D25	1	1851	2260
-2	D25	1	1973	2380
-3	D25	1	1973	2380
平均長		3		2340

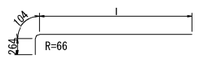
変化鉄筋表



W L7 40-D25 X 4910 (平均長)

種 別	径	本数	I	L
W L7-1	D25	1	734	1400
-2	D25	1	914	1580
-3	D25	1	1094	1760
-4	D25	1	1274	1940
-5	D25	1	1454	2120
-6	D25	1	1634	2300
-7	D25	1	1814	2480
-8	D25	1	1994	2660
-9	D25	1	2174	2840
-10	D25	1	2354	3020
-11	D25	1	2534	3200
-12	D25	1	2714	3380
-13	D25	1	2894	3560
-14	D25	1	3074	3740
-15	D25	1	3254	3920
-16	D25	1	3434	4100
-17	D25	1	3614	4280
-18	D25	1	3794	4460
-19	D25	1	3974	4640
-20	D25	1	4154	4820
-21	D25	1	4334	5000
-22	D25	1	4514	5180
-23	D25	1	4694	5360
-24	D25	1	4874	5540
-25	D25	1	5054	5720
-26	D25	1	5234	5900
-27	D25	1	5414	6080
-28	D25	1	5594	6260
-29	D25	1	5774	6440
-30	D25	1	5954	6620
-31	D25	1	6134	6800
-32	D25	1	6314	6980
-33	D25	1	6494	7160
-34	D25	1	6674	7340
-35	D25	1	6854	7520
-36	D25	1	7040	7710
-37	D25	1	7220	7890
-38	D25	1	7357	8030
-39	D25	1	7495	8160
-40	D25	1	7675	8340
平均長		40		4910

変化鉄筋表



※ W L15 21-D22 X 4650 (平均長)

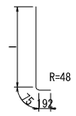
種 別	径	本数	I	L
W L3-1	D22	1	741	1110
-2	D22	1	1101	1470
-3	D22	1	1461	1830
-4	D22	1	1821	2190
-5	D22	1	2181	2550
-6	D22	1	2541	2910
-7	D22	1	2901	3270
-8	D22	1	3261	3630
-9	D22	1	3621	3990
-10	D22	1	3981	4350
-11	D22	1	4341	4710
-12	D22	1	4701	5070
-13	D22	1	5061	5430
-14	D22	1	5421	5790
-15	D22	1	5781	6150
-16	D22	1	6141	6510
-17	D22	1	6501	6870
-18	D22	1	6861	7230
-19	D22	1	7221	7590
-20	D22	1	7504	7870
-21	D22	1	7684	8050
平均長		21		4690

変化鉄筋表

W L8 27-D22 X 3740 (平均長)

種 別	径	本数	L
W L4-1	D22	1	707
-2	D22	1	846
-3	D22	1	1087
-4	D22	1	1328
-5	D22	1	1570
-6	D22	1	1811
-7	D22	1	2052
-8	D22	1	2293
-9	D22	1	2534
-10	D22	1	2775
-11	D22	1	3016
-12	D22	1	3257
-13	D22	1	3498
-14	D22	1	3739
-15	D22	1	3981
-16	D22	1	4222
-17	D22	1	4463
-18	D22	1	4704
-19	D22	1	4945
-20	D22	1	5186
-21	D22	1	5427
-22	D22	1	5668
-23	D22	1	5909
-24	D22	1	6150
-25	D22	1	6392
-26	D22	1	6633
-27	D22	1	6874
平均長		27	3740

変化鉄筋表



W L6 17-D16 X 1580 (平均長)

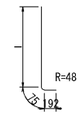
種 別	径	本数	I	L
W L6-1	D16	1	1244	1510
-2	D16	1	1248	1520
-3	D16	1	1257	1520
-4	D16	1	1266	1530
-5	D16	1	1275	1540
-6	D16	1	1284	1550
-7	D16	1	1293	1560
-8	D16	1	1302	1570
-9	D16	1	1311	1580
-10	D16	1	1320	1590
-11	D16	1	1328	1600
-12	D16	1	1337	1600
-13	D16	1	1346	1610
-14	D16	1	1355	1620
-15	D16	1	1364	1630
-16	D16	1	1373	1640
-17	D16	1	1382	1650
平均長		17		1580

変化鉄筋表

W L7 27-D16 X 3740 (平均長)

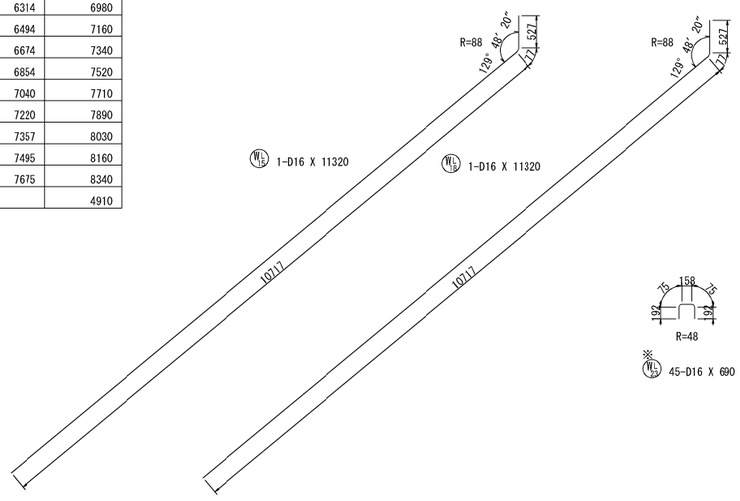
種 別	径	本数	L
W L7-1	D16	1	707
-2	D16	1	846
-3	D16	1	1087
-4	D16	1	1328
-5	D16	1	1570
-6	D16	1	1811
-7	D16	1	2052
-8	D16	1	2293
-9	D16	1	2534
-10	D16	1	2775
-11	D16	1	3016
-12	D16	1	3257
-13	D16	1	3498
-14	D16	1	3739
-15	D16	1	3981
-16	D16	1	4222
-17	D16	1	4463
-18	D16	1	4704
-19	D16	1	4945
-20	D16	1	5186
-21	D16	1	5427
-22	D16	1	5668
-23	D16	1	5909
-24	D16	1	6150
-25	D16	1	6392
-26	D16	1	6633
-27	D16	1	6874
平均長		27	3740

変化鉄筋表



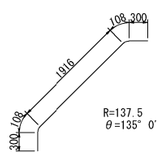
W L9 17-D16 X 1580 (平均長)

種 別	径	本数	I	L
W L9-1	D16	1	1244	1510
-2	D16	1	1248	1520
-3	D16	1	1257	1520
-4	D16	1	1266	1530
-5	D16	1	1275	1540
-6	D16	1	1284	1550
-7	D16	1	1293	1560
-8	D16	1	1302	1570
-9	D16	1	1311	1580
-10	D16	1	1320	1590
-11	D16	1	1328	1600
-12	D16	1	1337	1600
-13	D16	1	1346	1610
-14	D16	1	1355	1620
-15	D16	1	1364	1630
-16	D16	1	1373	1640
-17	D16	1	1382	1650
平均長		17		1580

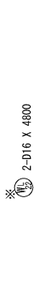


W L16 1-D16 X 11320

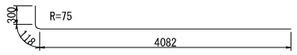
W L16 1-D16 X 11320



※ W L5 29-D25 X 2730



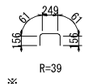
※ W L1 2-D16 X 4800



※ W L3 18-D25 X 4590

※ W L3 45-D16 X 690

※ W L3 25-D16 X 720



※ W L3 45-D13 X 630

注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

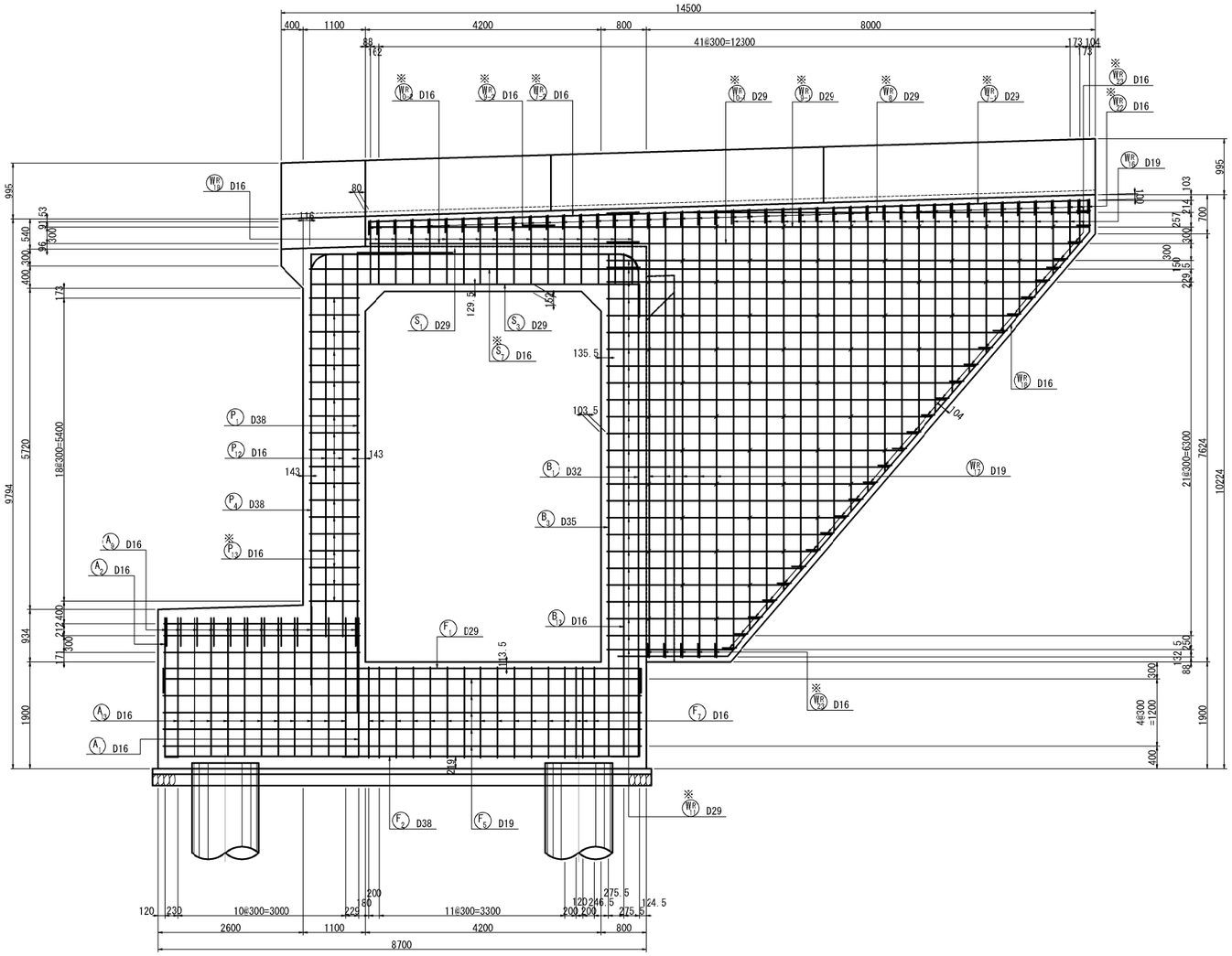
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その16)		
縮　　尺	1:100	図面番号	58 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その17)

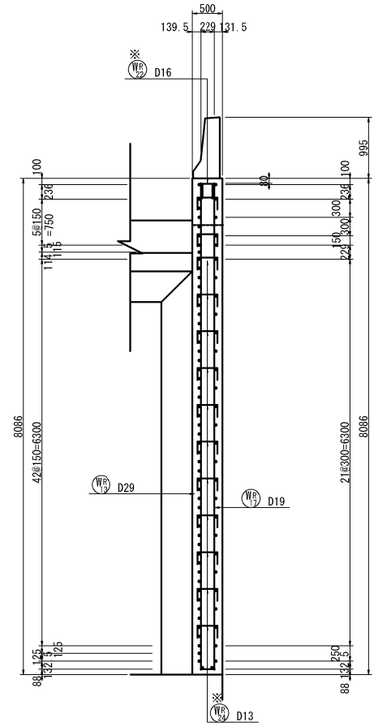
S=1:100

右側ウイング

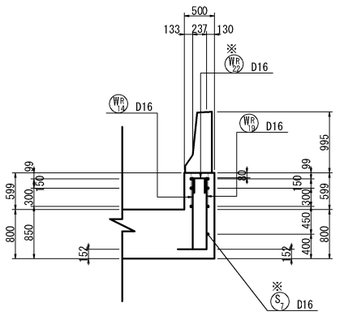
1 － 1
外側



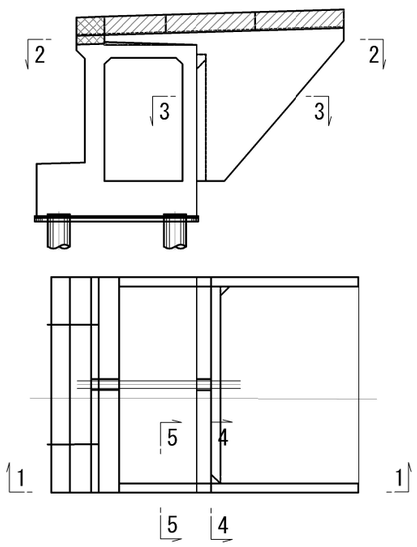
4 － 4



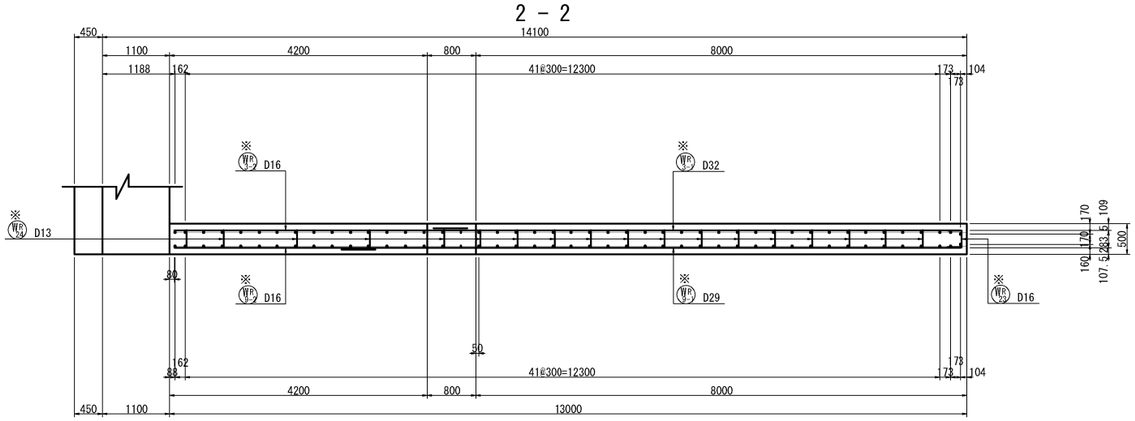
5 － 5



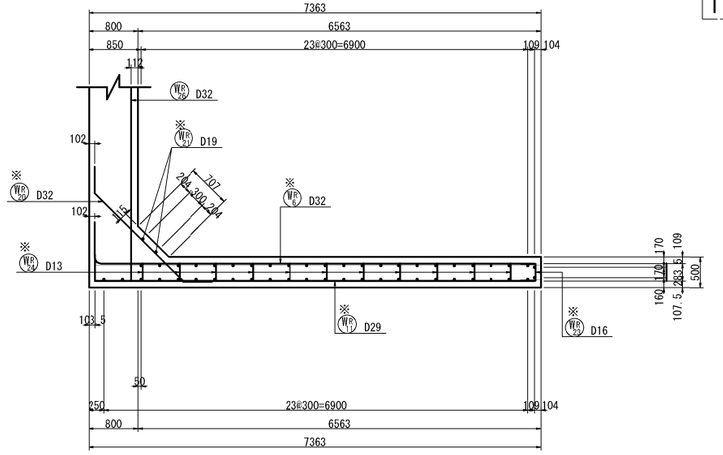
位置図



2 － 2



3 － 3



注1）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）K 印は機械式継手位置を表す。

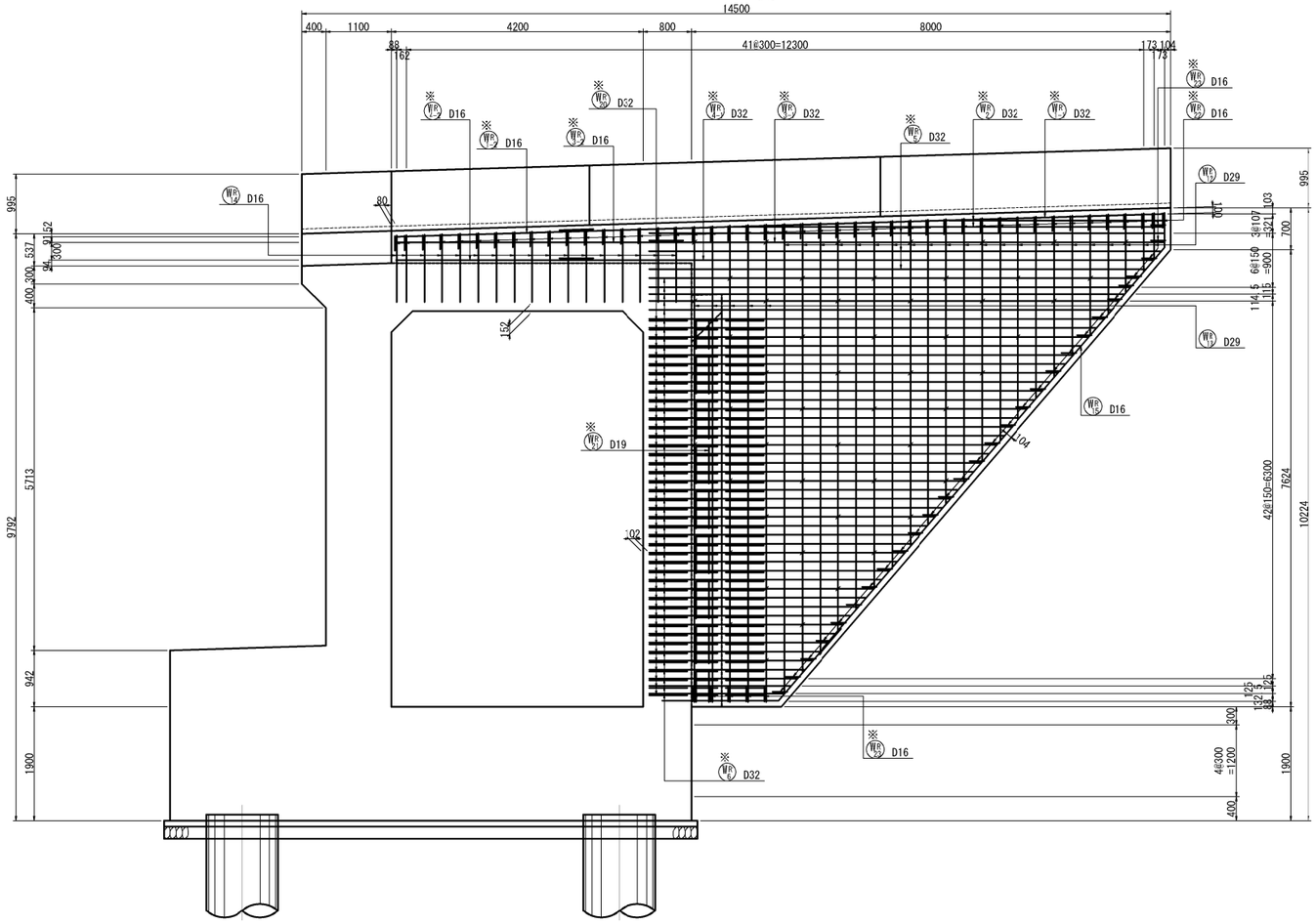
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その17)		
縮　　尺	1:100	図面番号	59 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

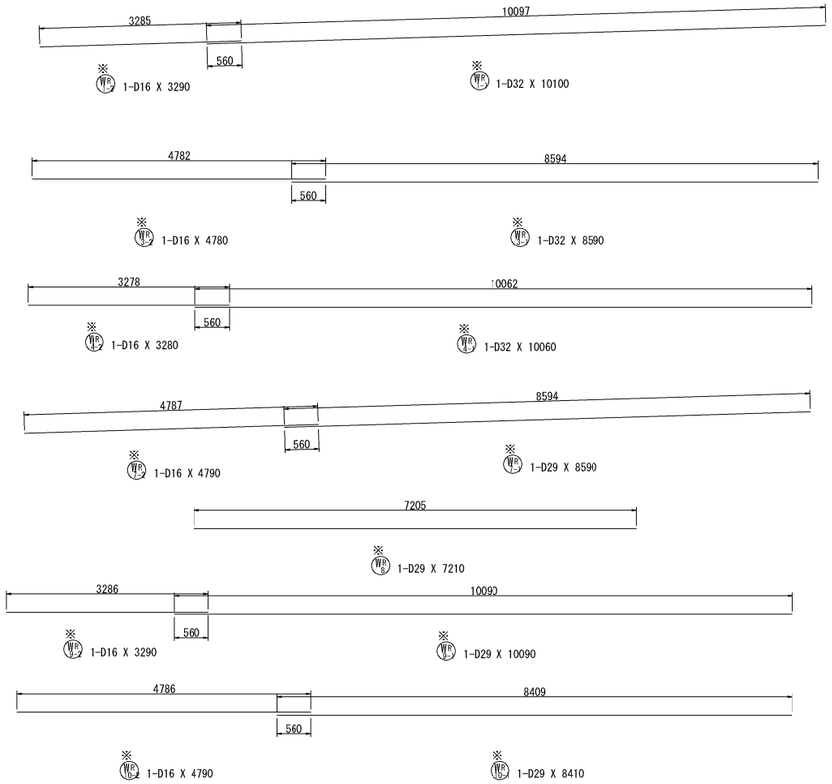
トマム川橋　A2橋台配筋図(その18)

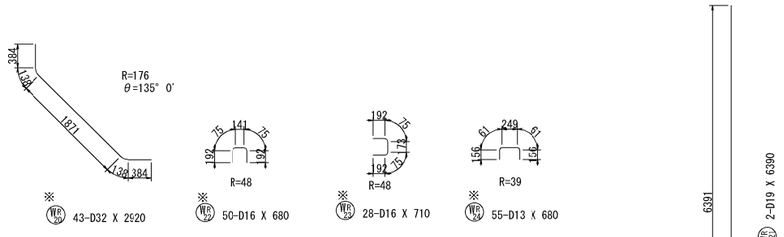
右側ウイング

S=1:100

1 － 1
内側

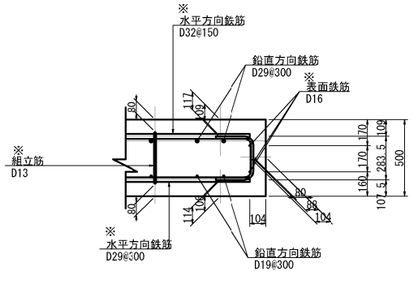






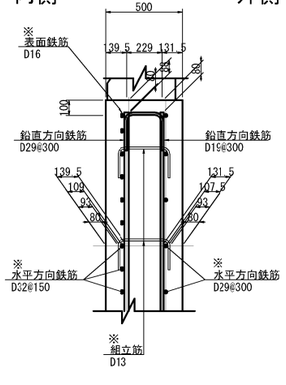
かぶり詳細図　S=1:40
(右翼壁)

端 部

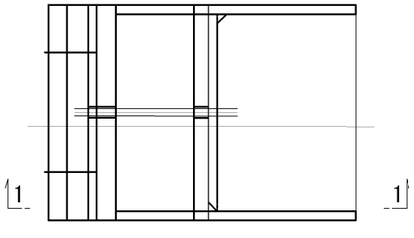


パラレル部

内側　　外側



位 置 図

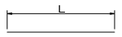


注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その18)		
縮　　尺	図 示	図面番号	60 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その19)　S=1:100

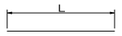
変化鉄筋表



※ WP 2-D32 X 5400（平均長）

種 別	径	本数	L
W B 2-1	D32	1	3599
-2	D32	1	7205
平均長		2	5400

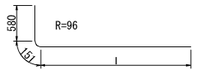
変化鉄筋表



※ WP 3-D32 X 8470（平均長）

種 別	径	本数	L
W B 5-1	D32	1	8283
-2	D32	1	8545
-3	D32	1	8594
平均長		3	8470

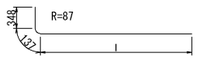
変化鉄筋表



※ WP 6 48-D32 X 5850（平均長）

種 別	径	本数	l	L
W B 6-1	D32	1	2153	2880
-2	D32	1	2260	2990
-3	D32	1	2367	3100
-4	D32	1	2494	3230
-5	D32	1	2622	3350
-6	D32	1	2750	3480
-7	D32	1	2878	3610
-8	D32	1	3006	3740
-9	D32	1	3134	3870
-10	D32	1	3262	3990
-11	D32	1	3390	4120
-12	D32	1	3518	4250
-13	D32	1	3645	4380
-14	D32	1	3773	4500
-15	D32	1	3901	4630
-16	D32	1	4029	4760
-17	D32	1	4157	4890
-18	D32	1	4285	5020
-19	D32	1	4413	5140
-20	D32	1	4541	5270
-21	D32	1	4668	5400
-22	D32	1	4796	5530
-23	D32	1	4924	5660
-24	D32	1	5052	5780
-25	D32	1	5180	5910
-26	D32	1	5308	6040
-27	D32	1	5436	6170
-28	D32	1	5564	6300
-29	D32	1	5692	6420
-30	D32	1	5819	6550
-31	D32	1	5947	6680
-32	D32	1	6075	6810
-33	D32	1	6203	6930
-34	D32	1	6331	7060
-35	D32	1	6459	7190
-36	D32	1	6587	7320
-37	D32	1	6715	7450
-38	D32	1	6843	7570
-39	D32	1	6970	7700
-40	D32	1	7098	7830
-41	D32	1	7226	7960
-42	D32	1	7354	8090
-43	D32	1	7482	8210
-44	D32	1	7610	8340
-45	D32	1	7738	8470
-46	D32	1	7835	8570
-47	D32	1	7931	8660
-48	D32	1	8059	8790
平均長		48		5850

変化鉄筋表



※ WP 15 25-D29 X 5660（平均長）

種 別	径	本数	l	L
W R 11-1	D29	1	2161	2650
-2	D29	1	2374	2860
-3	D29	1	2630	3120
-4	D29	1	2886	3370
-5	D29	1	3141	3630
-6	D29	1	3397	3880
-7	D29	1	3653	4140
-8	D29	1	3909	4390
-9	D29	1	4164	4650
-10	D29	1	4420	4910
-11	D29	1	4676	5160
-12	D29	1	4932	5420
-13	D29	1	5188	5670
-14	D29	1	5443	5930
-15	D29	1	5699	6180
-16	D29	1	5955	6440
-17	D29	1	6211	6700
-18	D29	1	6466	6950
-19	D29	1	6722	7210
-20	D29	1	6978	7460
-21	D29	1	7234	7720
-22	D29	1	7489	7970
-23	D29	1	7745	8230
-24	D29	1	7939	8420
-25	D29	1	8069	8550
平均長		25		5660

変化鉄筋表

WP 16 22-D25 X 4240（平均長）

種 別	径	本数	L
W R 12-1	D25	1	776
-2	D25	1	974
-3	D25	1	1317
-4	D25	1	1660
-5	D25	1	2003
-6	D25	1	2346
-7	D25	1	2689
-8	D25	1	3032
-9	D25	1	3375
-10	D25	1	3718
-11	D25	1	4061
-12	D25	1	4404
-13	D25	1	4747
-14	D25	1	5090
-15	D25	1	5433
-16	D25	1	5776
-17	D25	1	6119
-18	D25	1	6462
-19	D25	1	6805
-20	D25	1	7148
-21	D25	1	7491
-22	D25	1	7834
平均長		22	4240

変化鉄筋表

WP 17 22-D19 X 4240（平均長）

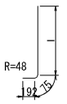
種 別	径	本数	L
W R 16-1	D19	1	776
-2	D19	1	974
-3	D19	1	1317
-4	D19	1	1660
-5	D19	1	2003
-6	D19	1	2346
-7	D19	1	2689
-8	D19	1	3032
-9	D19	1	3375
-10	D19	1	3718
-11	D19	1	4061
-12	D19	1	4404
-13	D19	1	4747
-14	D19	1	5090
-15	D19	1	5433
-16	D19	1	5776
-17	D19	1	6119
-18	D19	1	6462
-19	D19	1	6805
-20	D19	1	7148
-21	D19	1	7491
-22	D19	1	7834
平均長		22	4240

変化鉄筋表

WP 14 17-D16 X 1400（平均長）

種 別	径	本数	l	L
W R 14-1	D16	1	1061	1330
-2	D16	1	1066	1330
-3	D16	1	1074	1340
-4	D16	1	1083	1350
-5	D16	1	1092	1360
-6	D16	1	1101	1370
-7	D16	1	1110	1380
-8	D16	1	1119	1390
-9	D16	1	1128	1400
-10	D16	1	1137	1400
-11	D16	1	1146	1410
-12	D16	1	1155	1420
-13	D16	1	1163	1430
-14	D16	1	1172	1440
-15	D16	1	1181	1450
-16	D16	1	1190	1460
-17	D16	1	1199	1470
平均長		17		1400

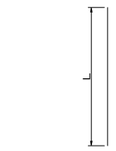
変化鉄筋表



WP 15 17-D16 X 1400（平均長）

種 別	径	本数	l	L
W R 19-1	D16	1	1061	1330
-2	D16	1	1066	1330
-3	D16	1	1074	1340
-4	D16	1	1083	1350
-5	D16	1	1092	1360
-6	D16	1	1101	1370
-7	D16	1	1110	1380
-8	D16	1	1119	1390
-9	D16	1	1128	1400
-10	D16	1	1137	1400
-11	D16	1	1146	1410
-12	D16	1	1155	1420
-13	D16	1	1163	1430
-14	D16	1	1172	1440
-15	D16	1	1181	1450
-16	D16	1	1190	1460
-17	D16	1	1199	1470
平均長		17		1400

変化鉄筋表



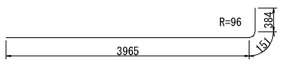
WP 18 5-D29 X 7950（平均長）

種 別	径	本数	L
W R 13-1	D29	1	7964
-2	D29	1	7955
-3	D29	1	7946
-4	D29	1	7937
-5	D29	1	7928
平均長		5	7950

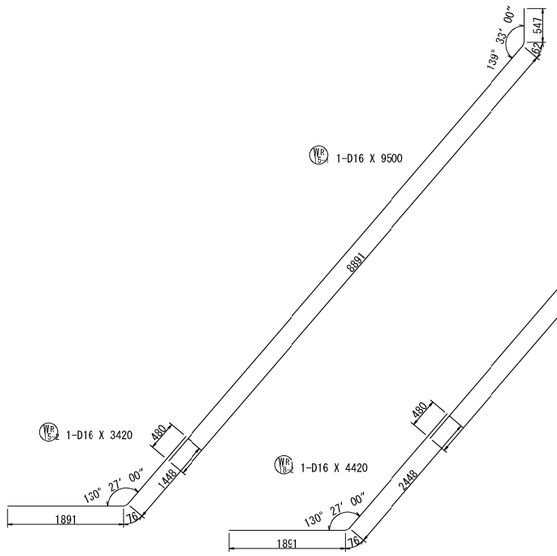
変化鉄筋表

WP 19 5-D19 X 7950（平均長）

種 別	径	本数	L
W R 17-1	D19	1	7964
-2	D19	1	7955
-3	D19	1	7946
-4	D19	1	7937
-5	D19	1	7928
平均長		5	7950



※ WP 20 23-D32 X 4500



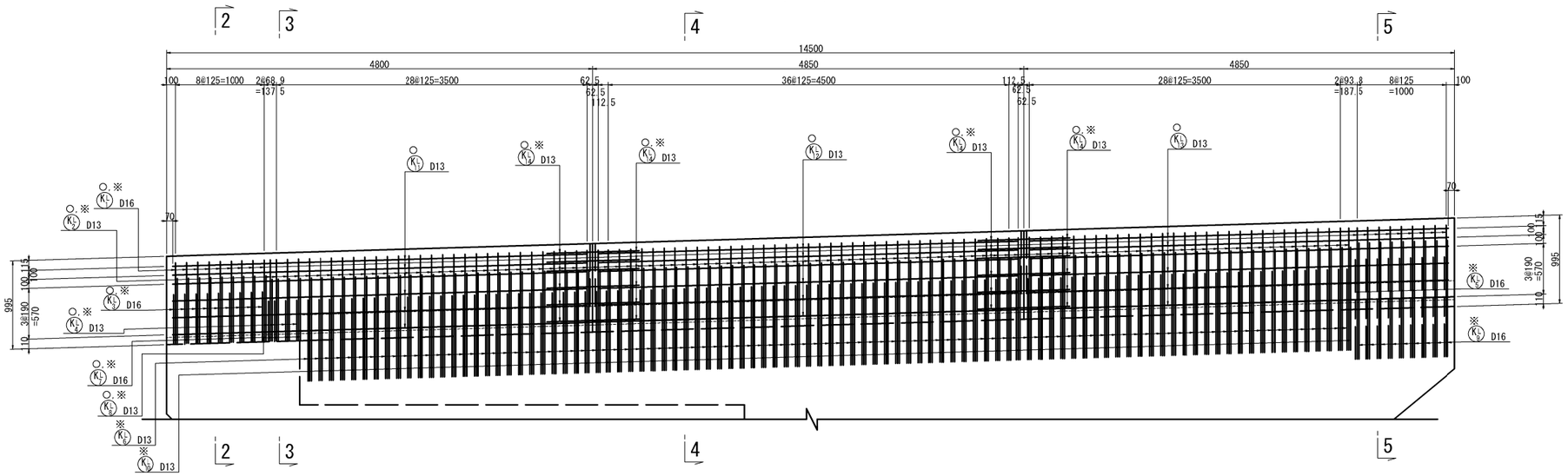
注1）T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2）※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4）鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5）K 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その19)		
縮　　尺	1:100	図面番号	61 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

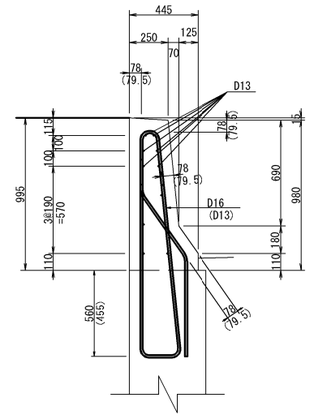
トマム川橋　A2橋台配筋図(その20)　S=1:60

左側壁高欄配筋図

1 － 1

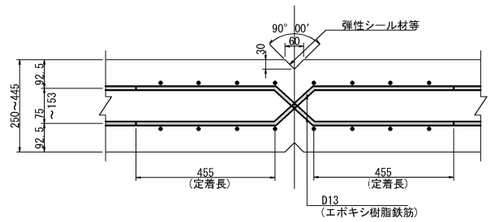


かぶり詳細図　S=1:40

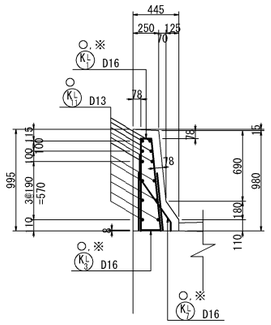


※( )内数字はD13の場合を示す。

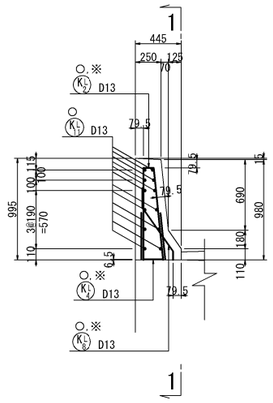
Vカット詳細図　S=1:20



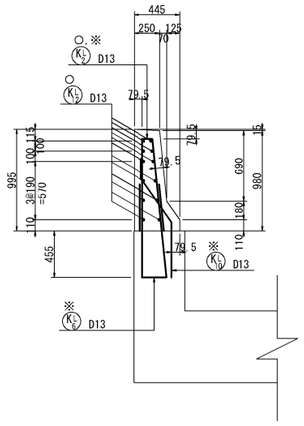
2 － 2



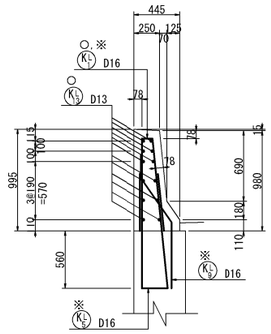
3 － 3

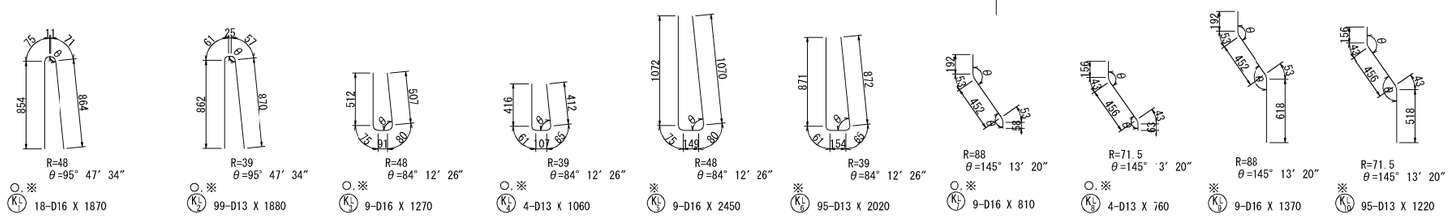


4 － 4

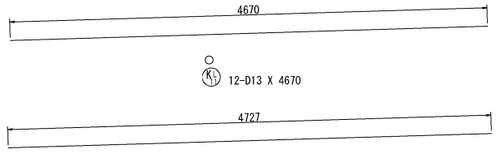


5 － 5

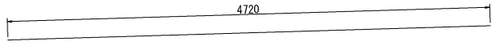




○,※ 18-D16 X 1870
○,※ 99-D13 X 1880
○,※ 9-D16 X 1270
○,※ 4-D13 X 1060
※ 9-D16 X 2450
※ 95-D13 X 2020
○,※ 9-D16 X 810
○,※ 4-D13 X 760
※ 9-D16 X 1370
※ 95-D13 X 1220

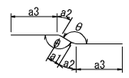


○ 12-D13 X 4670
○ 12-D13 X 4730



○ 12-D13 X 4720

変化鉄筋表



○,※ 24-D13 X 1070 (平均長)

種 別	径	本数	a1	a2	a3	L	θ
K 14-1	D13	4	106	39	435	1050	149° 02′ 10″
-2	D13	4	107	43	433	1060	145° 47′ 03″
-3	D13	4	109	46	431	1060	142° 45′ 55″
-4	D13	4	114	53	427	1070	137° 38′ 07″
-5	D13	4	121	59	424	1090	133° 00′ 35″
-6	D13	4	130	63	421	1100	129° 14′ 55″
平均長		24				1070	

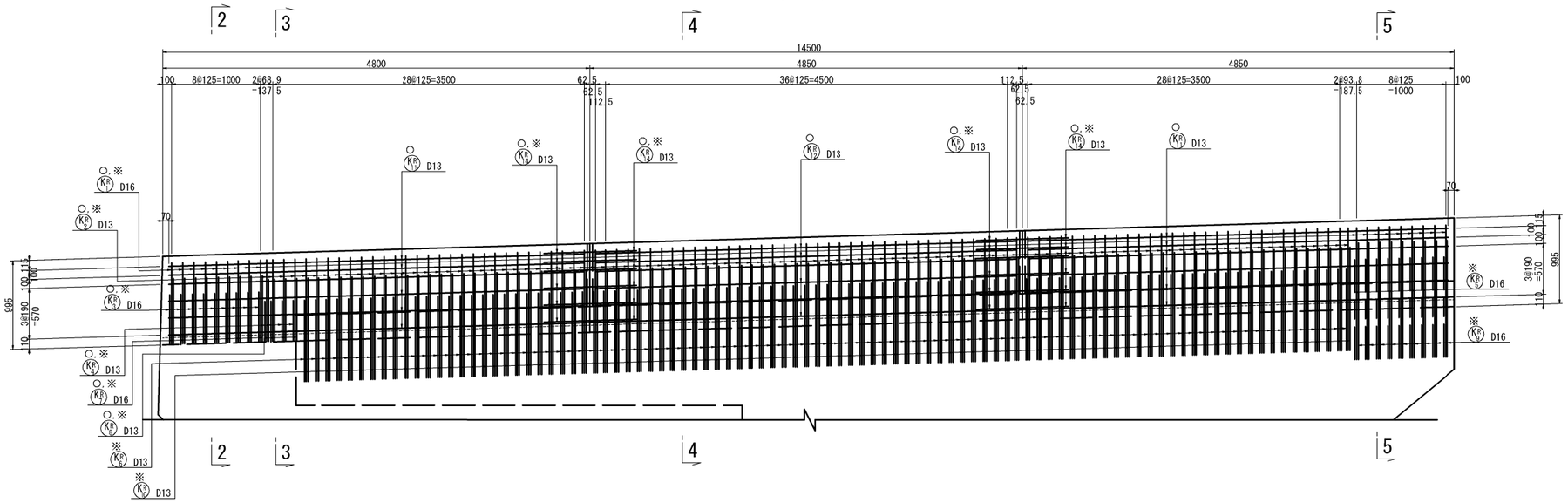
注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その20)		
縮　尺	図 示	図面番号	62 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

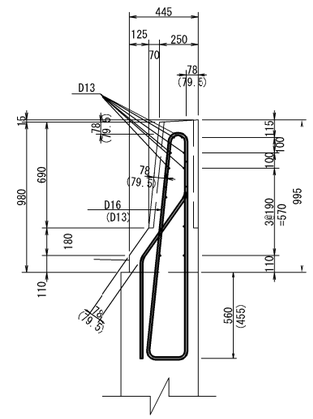
トマム川橋　A2橋台配筋図(その21)　S=1:60

左側壁高欄配筋図

1 － 1

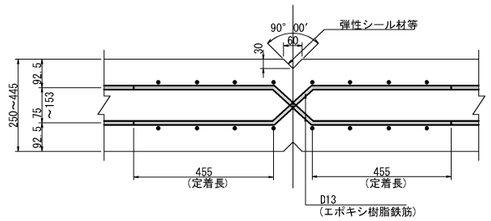


かぶり詳細図　S=1:40

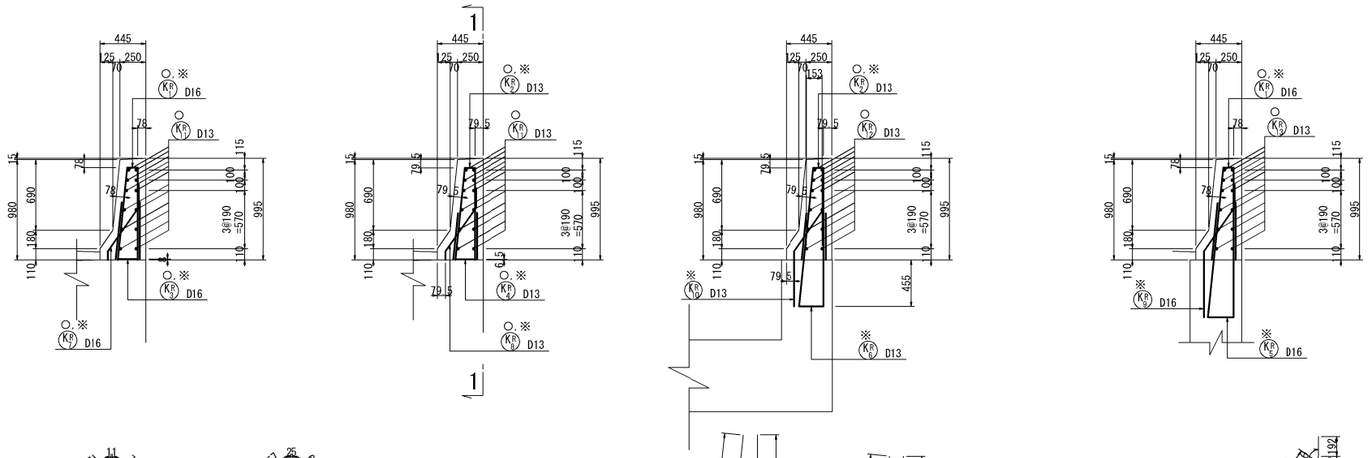


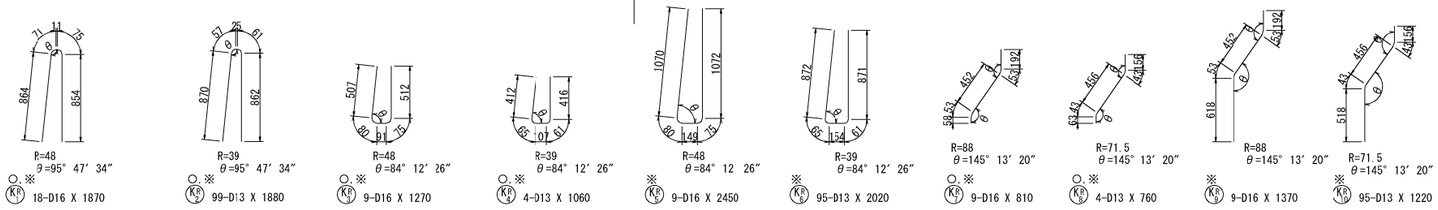
※( )内数字はD13の場合を示す。

Vカット詳細図　S=1:20

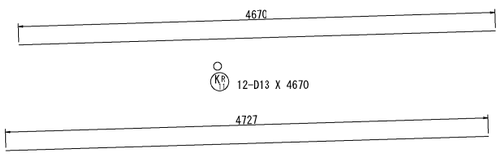


2 － 2　　3 － 3　　4 － 4　　5 － 5



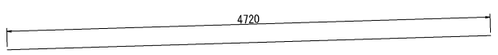


18-D16 X 1870　99-D13 X 1880　9-D16 X 1270　4-D13 X 1060　9-D16 X 2450　95-D13 X 2020　9-D16 X 810　4-D13 X 760　9-D16 X 1370　95-D13 X 1220



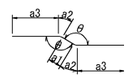
12-D13 X 4670

12-D13 X 4730



12-D13 X 4720

変化鉄筋表



24-D13 X 1070 (平均長)

種 別	径	本数	a1	a2	a3	L	θ
K 14-1	D13	4	106	39	435	1050	149° 02′ 10″
-2	D13	4	107	43	433	1060	145° 47′ 03″
-3	D13	4	109	46	431	1060	142° 45′ 55″
-4	D13	4	114	53	427	1070	137° 38′ 07″
-5	D13	4	121	59	424	1090	133° 00′ 35″
-6	D13	4	130	63	421	1100	129° 14′ 55″
平均長		24				1070	

注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その21)		
縮　尺	図 示	図面番号	63 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その22)　S=1:100

鉄筋質量表

(下部工施工, エポキシ樹脂塗装鉄筋)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
P 5	D22	11540	33	3.04	35.1	1158	
P 6-1	〃	3670	1	3.04	11.2	11	
P 6-2	〃	1510	1	3.04	4.59	5	
P 6-3	〃	1510	1	3.04	4.59	5	
P 6-4	〃	3690	1	3.04	11.2	11	
P 7-1	〃	5420	4	3.04	16.5	66	(平均長)
P 7-2	〃	5460	4	3.04	16.6	66	(平均長)
P 8	〃	11540	18	3.04	35.1	632	
P 9-1	〃	5390	2	3.04	16.4	33	(平均長)
P 9-2	〃	5440	2	3.04	16.5	33	(平均長)
P 12	D16	1310	39	1.56	2.04	80	
P 15	〃	11540	1	1.56	18.0	18	
						2118 kg	
◎ P^{0}_{1}	D22	1220	90	3.04	3.71	334	(90) C
						334 kg	
A 3	D16	11990	2	1.56	18.7	37	
A 4	〃	6810	1	1.56	10.6	11	
A 5	〃	11990	1	1.56	18.7	19	
A 6	〃	11990	2	1.56	18.7	37	
A 7	〃	6810	1	1.56	10.6	11	
A 8	〃	11990	1	1.56	18.7	19	
A 10-1	〃	9500	6	1.56	14.8	89	
A 10-2	〃	3700	6	1.56	5.77	35	
A 11-1	〃	9500	5	1.56	14.8	74	
A 11-2	〃	3700	5	1.56	5.77	29	
A 14	〃	3930	7	1.56	6.13	43	
						404 kg	
◎ A^{0}_{1}	D16	3750	13	1.56	5.85	76	(13) C
◎ A^{0}_{2}	〃	3750	26	1.56	5.85	152	(26) C
						228 kg	
B 5-1	D29	7020	15	5.04	35.4	531	
B 5-2	〃	9920	4	5.04	50.0	200	
B 6-1	〃	3190	3	5.04	16.1	48	(平均長)
B 6-2	〃	3470	3	5.04	17.5	53	(平均長)
B 7-1	D22	5750	3	3.04	17.5	53	(平均長)
B 7-2	〃	5790	3	3.04	17.6	53	(平均長)
B 8-1	〃	9740	19	3.04	29.6	562	
B 8-2	〃	4080	19	3.04	12.4	236	
B 9	D16	1010	4	1.56	1.58	6	
B 12-1	〃	5460	1	1.56	8.52	9	
B 12-2	〃	5510	1	1.56	8.60	9	
						1760 kg	
◎ B^{0}_{1}	D16	860	141	1.56	1.34	189	(141) C
						189 kg	
S 5-1	D25	6840	19	3.98	39.2	745	
S 5-2	〃	4170	19	3.98	16.6	315	
S 6-1	D19	9630	17	2.25	21.7	369	
S 6-2	〃	3970	17	2.25	8.93	152	
S 7	D16	6220	2	1.56	9.70	19	
						1600 kg	
◎ S^{0}_{1}	D16	850	168	1.56	1.33	223	(168) C
						223 kg	

鉄筋質量表

(下部工施工, エポキシ樹脂塗装鉄筋)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
D 3	D16	11540	7	1.56	18.0	126	
						126 kg	
E 3	D16	11540	2	1.56	18.0	36	
E 4-1	〃	5390	2	1.56	8.41	17	(平均長)
E 4-2	〃	5420	2	1.56	8.46	17	(平均長)
E 5	D22	520	14	3.04	1.58	22	
						92 kg	
H 1	D22	2340	16	3.04	7.11	114	
H 2	D35	3250	8	7.51	24.4	195	
H 3	〃	2860	4	7.51	21.5	86	
H 4	〃	2930	4	7.51	22.0	88	
H 5	D22	2340	8	3.04	7.11	57	
H 6	〃	2280	4	3.04	6.93	28	
H 7	〃	2290	4	3.04	6.96	28	
H 8	D29	2830	8	5.04	14.3	114	
H 9	〃	2510	4	5.04	12.7	51	
H 10	〃	2510	4	5.04	12.7	51	
						812 kg	
Y 1	D16	550	16	1.56	0.858	14	
						14 kg	
W^{L}_{1-1}	D25	8600	1	3.98	34.2	34	
W^{L}_{1-2}	D16	4780	1	1.56	7.46	7	
W^{L}_{2}	D25	6100	2	3.98	24.3	49	(平均長)
W^{L}_{3-1}	〃	10100	1	3.98	40.2	40	
W^{L}_{3-2}	D16	2380	1	1.56	3.71	4	
W^{L}_{4-1}	D25	8470	1	3.98	33.7	34	
W^{L}_{4-2}	D16	4780	1	1.56	7.46	7	
W^{L}_{5-1}	D25	9610	1	3.98	38.2	38	
W^{L}_{5-2}	D16	3280	1	1.56	5.12	5	
W^{L}_{6}	D25	8270	3	3.98	32.9	99	(平均長)
W^{L}_{7}	〃	4910	40	3.98	19.5	780	(平均長)
W^{L}_{8-1}	D22	10100	1	3.04	30.7	31	
W^{L}_{8-2}	D16	3280	1	1.56	5.12	5	
W^{L}_{9}	D22	4170	1	3.04	12.7	13	
W^{L}_{10-1}	〃	8600	1	3.04	26.1	26	
W^{L}_{10-2}	D16	3880	1	1.56	6.05	6	
W^{L}_{11-1}	D22	9970	1	3.04	30.3	30	
W^{L}_{11-2}	D16	3280	1	1.56	5.12	5	
W^{L}_{12-1}	D22	8110	1	3.04	24.7	25	
W^{L}_{12-2}	D16	4780	1	1.56	7.46	7	
W^{L}_{13}	D22	4690	21	3.04	14.3	300	(平均長)
W^{L}_{20}	D25	2730	29	3.98	10.9	316	
W^{L}_{21}	〃	2340	3	3.98	9.31	28	(平均長)
W^{L}_{22}	D16	4800	2	1.56	7.49	15	
W^{L}_{23}	〃	690	45	1.56	1.08	49	
W^{L}_{24}	〃	720	25	1.56	1.12	28	
W^{L}_{25}	D13	680	45	0.995	0.677	30	
W^{L}_{26}	D25	3500	18	3.98	13.9	250	
W^{L}_{27}	〃	4500	18	3.98	17.9	322	
						2583 kg	

鉄筋質量表

(下部工施工, エポキシ樹脂塗装鉄筋)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
W^{R}_{1-1}	D32	10100	1	6.23	62.9	63	
W^{R}_{1-2}	D16	3290	1	1.56	5.13	5	
W^{R}_{2}	D32	5400	2	6.23	33.6	67	(平均長)
W^{R}_{3-1}	〃	8590	1	6.23	53.5	54	
W^{R}_{3-2}	D16	4780	1	1.56	7.46	7	
W^{R}_{4-1}	D32	10060	1	6.23	62.7	63	
W^{R}_{4-2}	D16	3280	1	1.56	5.12	5	
W^{R}_{5}	D32	8470	3	6.23	52.8	158	(平均長)
W^{R}_{6}	〃	5850	48	6.23	36.4	1747	(平均長)
W^{R}_{7-1}	D29	8590	1	5.04	43.3	43	
W^{R}_{7-2}	D16	4790	1	1.56	7.47	7	
W^{R}_{8}	D29	7210	1	5.04	36.3	36	
W^{R}_{9-1}	〃	10090	1	5.04	50.9	51	
W^{R}_{9-2}	D16	3290	1	1.56	5.13	5	
W^{R}_{10-1}	D29	8410	1	5.04	42.4	42	
W^{R}_{10-2}	D16	4790	1	1.56	7.47	7	
W^{R}_{11}	D29	5660	25	5.04	28.5	713	(平均長)
W^{R}_{20}	D32	2920	43	6.23	18.2	783	
W^{R}_{21}	D19	6390	2	2.25	14.4	29	
W^{R}_{22}	D16	680	50	1.56	1.06	53	
W^{R}_{23}	〃	710	28	1.56	1.11	31	
W^{R}_{24}	D13	680	55	0.995	0.677	37	
W^{R}_{25}	D32	3500	22	6.23	21.8	480	
W^{R}_{26}	〃	4500	23	6.23	28.0	644	
						5130 kg	
Z 1	D16	2880	28	1.56	4.49	126	
Z 2	〃	3660	4	1.56	5.71	23	
						149 kg	

鉄筋質量 (SD345)

		鉄筋A	鉄筋C	(機械定着箇所)
合計	D35	359 kg	- kg	
	D32	4059 kg	- kg	
	D29	1933 kg	- kg	
	D25	3050 kg	- kg	
	D22	3598 kg	334 kg	(90)
	D19	550 kg	- kg	
	D16	1152 kg	640 kg	(348)
	D13	57 kg	- kg	
総質量		14738 kg	974 kg	(438)

注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。
注6) ( )内は機械式鉄筋定着工法箇所数を示す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その22)		
縮尺	1:100	図面番号	64 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台配筋図(その23)　S=1:100

鉄筋質量表

(下部工施工, エポキシ樹脂塗装鉄筋, 壁高欄)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
K^{L}_{5}	D16	2450	9	1.56	3.82	34	
K^{L}_{6}	D13	2020	95	0.995	2.01	191	
K^{L}_{9}	D16	1370	9	1.56	2.14	19	
K^{L}_{10}	D13	1220	95	0.995	1.21	115	
						359kg	
K^{R}_{5}	D16	2450	9	1.56	3.82	34	
K^{R}_{6}	D13	2020	95	0.995	2.01	191	
K^{R}_{9}	D16	1370	9	1.56	2.14	19	
K^{R}_{10}	D13	1220	95	0.995	1.21	115	
						359kg	

鉄筋質量 (SD345)

		鉄筋A
合計	D16	106 kg
	D13	612 kg
総質量		718 kg

鉄筋質量表

(下部工施工, 普通鉄筋)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
P 1	D38	10000	76	8.95	89.5	6802	
P 2-1	〃	7020	5	8.95	62.8	314	(平均長)
P 2-2	〃	2260	5	8.95	20.2	101	(平均長)
P 3	〃	9500	38	8.95	85.0	3230	
P 4-1	〃	6460	2	8.95	57.8	116	
P 4-2	〃	2260	2	8.95	20.2	40	
P 10	D16	6530	2	1.56	10.2	20	
P 11	〃	6730	2	1.56	10.5	21	
P 13	D29	3390	38	5.04	17.1	650	
P 14	〃	1550	2	5.04	7.81	16	
						11310kg	
S 1	D29	7310	76	5.04	36.8	2797	
S 2	〃	6950	5	5.04	35.0	175	
S 3	〃	7300	38	5.04	36.8	1398	
S 4	〃	6130	2	5.04	30.9	62	
						4432kg	
A 1	D16	2800	41	1.56	4.37	179	(平均長)
A 2	〃	2800	41	1.56	4.37	179	(平均長)
A 9	〃	6000	41	1.56	9.36	384	
A 12	〃	2860	11	1.56	4.46	49	
A 13	〃	2660	11	1.56	4.15	46	
						837kg	
B 1	D32	10350	76	6.23	64.5	4902	
B 2-1	〃	7990	5	6.23	49.8	249	(平均長)
B 2-2	〃	1640	5	6.23	10.2	51	(平均長)
B 3	D35	10480	38	7.51	78.7	2991	
B 4-1	〃	7980	2	7.51	59.9	120	(平均長)
B 4-2	〃	1830	2	7.51	13.7	27	(平均長)
B 10	D29	2960	38	5.04	14.9	566	
B 11	〃	1360	2	5.04	6.85	14	
B 13	D16	9190	2	1.56	14.3	29	
						8949kg	

鉄筋質量表

(下部工施工, 普通鉄筋)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
D 1	D16	3760	36	1.56	5.87	211	
D 2	〃	3010	3	1.56	4.70	14	
						225kg	
E 1	D16	2040	64	1.56	3.18	204	
E 2	〃	1010	2	1.56	1.58	3	
E 6	D13	950	14	0.995	0.945	13	
						220kg	
F 1	D29	9230	46	5.04	46.5	2139	
F 2	D38	11460	46	8.95	103	4738	
F 3	D19	11460	33	2.25	25.8	851	
F 4	D22	11460	33	3.04	34.8	1148	
F 5	D19	9000	10	2.25	20.3	203	
F 6	〃	11540	10	2.25	26.0	260	
F 7	D16	2060	32	1.56	3.21	103	
						9442kg	
◎ F^{O}_{1}	D16	1840	130	1.56	2.87	373	(130) C
						373kg	
W^{L}_{T4}	D22	3740	27	3.04	11.4	308	(平均長)
W^{L}_{T5}	D16	11320	1	1.56	17.7	18	
W^{L}_{T6}	〃	1580	17	1.56	2.46	42	(平均長)
W^{L}_{T7}	〃	3740	27	1.56	5.83	157	(平均長)
W^{L}_{T8}	〃	11320	1	1.56	17.7	18	
W^{L}_{T9}	〃	1580	17	1.56	2.46	42	(平均長)
						585kg	
W^{R}_{12}	D29	4240	22	5.04	21.4	471	(平均長)
W^{R}_{13}	〃	7950	5	5.04	40.1	201	(平均長)
W^{R}_{14}	D16	1400	17	1.56	2.18	37	(平均長)
W^{R}_{15-1}	〃	9500	1	1.56	14.8	15	
W^{R}_{15-2}	〃	3420	1	1.56	5.34	5	
W^{R}_{16}	D19	4240	22	2.25	9.54	210	(平均長)
W^{R}_{17}	〃	7950	5	2.25	17.9	90	(平均長)
W^{R}_{18-1}	D16	8500	1	1.56	13.3	13	
W^{R}_{18-2}	〃	4420	1	1.56	6.90	7	
W^{R}_{19}	〃	1400	17	1.56	2.18	37	(平均長)
						1086kg	
J 1	D16	1660	36	1.56	2.59	93	(平均長)
J 2	〃	2060	36	1.56	3.21	116	(平均長)
						209kg	

鉄筋質量 (SD345)

		鉄筋A	鉄筋C	(機械定着箇所)
合計	D38	15341 kg	- kg	
	D35	3138 kg	- kg	
	D32	5202 kg	- kg	
	D29	8489 kg	- kg	
	D25	- kg	- kg	
	D22	1456 kg	- kg	
	D19	1614 kg	- kg	
	D16	2042 kg	373 kg	(130)
	D13	13 kg	- kg	
総質量		37295 kg	373 kg	(130)

注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。
注6) ( )内は機械式鉄筋定着工法箇所数を示す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その23)		
縮尺	1:100	図面番号	65 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

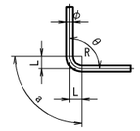
トマム川橋　A2橋台配筋図(その24)　S=1:100

鉄筋集計表

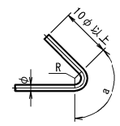
種　別			普通鉄筋			エポキシ樹脂塗装鉄筋		
			下部工施工			下部工施工		
			躯体	底版	小計	躯体	壁高欄	小計
A (SD345)	D13		13	-	13	67	612	679
	D16 ～ D25	D16	1939	103	2042	1162	106	1268
		D19	300	1314	1614	550	-	550
		D22	308	1148	1456	3598	-	3598
		D25	-	-		3050	-	3050
		計	2547	2565	5112	8360	106	8466
	D29 ～ D32	D29	6350	2139	8489	1933	-	1933
		D32	5202	-	5202	4059	-	4059
		計	11552	2139	13691	5992	-	5992
	D35		3138	-	3138	369	-	369
	D38		10603	4738	15341	-	-	
	D41		-	-		-	-	
	D51		-	-		-	-	
	Aの合計		27853	9442	37295	14788	718	15506
C (SD345)	D13		-	-		-	-	
	D16 ～ D25	D16	-	373	373	640	-	640
		D19	-	-		-	-	
		D22	-	-		334	-	334
		D25	-	-		-	-	
		計	-	373	373	974	-	974
	D29 ～ D32	D29	-	-		-	-	
		D32	-	-		-	-	
		計	-	-		-	-	
	D35		-	-		-	-	
	D38		-	-		-	-	
	D41		-	-		-	-	
	D51		-	-		-	-	
	Cの合計			373	373	974		974
合　計 (SD345)			27853	9815	37668	15762	718	16480

鉄筋曲げ加工表(SD345)

主　筋
せん断補強筋

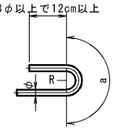


鋭角フック

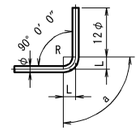


半円形フック

8φ以上で12cm以上



直角フック



▲L=2L-a

径	θ≦90° R=3.0φ	θ＞90° R=5.5φ	θ=45°		θ=60°		θ=90°		θ=135°	
			a	▲L	a	▲L	a	▲L	a	▲L
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

機械式鉄筋定着工法数量表

(下部工施工)

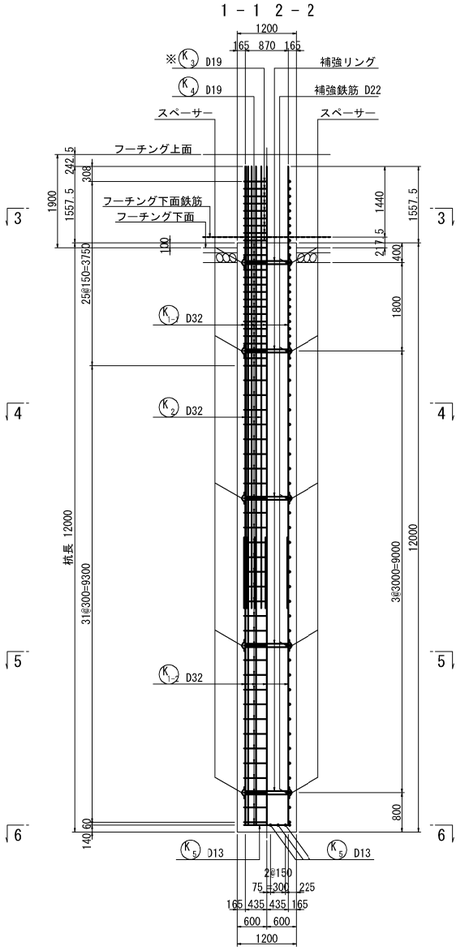
鉄筋径	箇　所　数					
	L≦1m	1m＜L≦2m	2m＜L≦3m	3m＜L≦4m	4m＜L≦5m	5m＜L≦6m
D16	—	130	—	—	—	—
						130
D16(エポキシ樹脂塗装鉄筋)	309	—	—	39	—	—
D22(エポキシ樹脂塗装鉄筋)	—	90	—	—	—	—
合　計						438

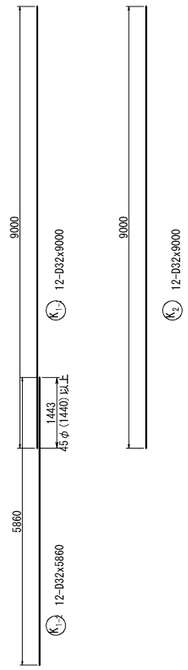
注1) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注2) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
注3) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は四捨五入の10mm丸めとする。
注5) K 印は機械式継手位置を表す。
注6) ( )内は機械式鉄筋定着工法箇所数を示す。

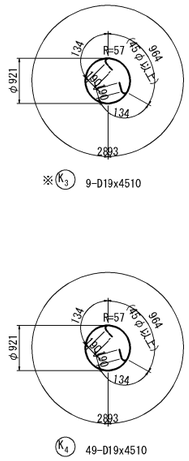
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台配筋図(その24)		
縮　　尺	1:100	図面番号	66 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台場所打ち杭配筋図 S=1：125

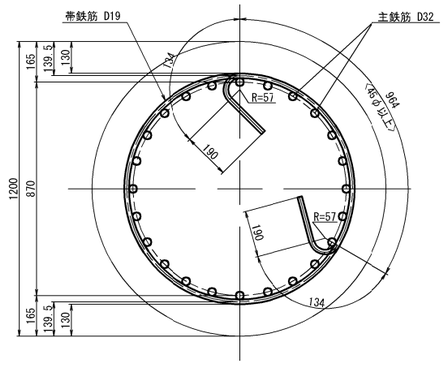
側 面 図
1 － 1 2 － 2



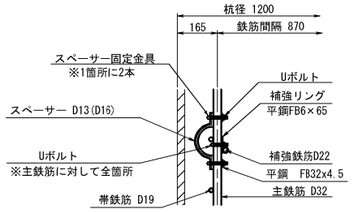




かぶり詳細図 S=1:25



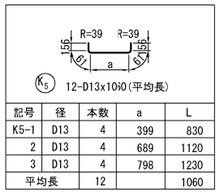
スペーサー参考図 S=1:25



※1. スペーサーは1断面あたり4箇所(D13)を固定する。
　　但し杭頭最上段のみ6箇所(D16)を固定する。
　　1交差箇所につき、上下一ヶ所ずつ金具で固定。
2. この図のケーシングチューブの仕様は標準値である為、
　　これによらない場合は別途スペーサーの加工などを見直すこと。

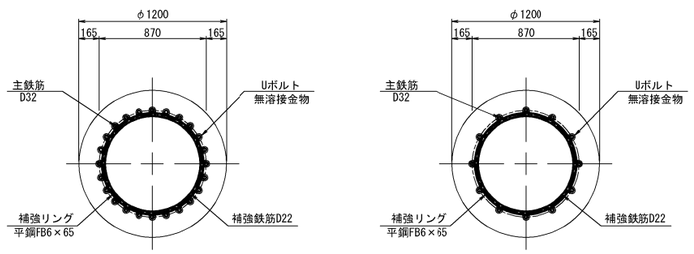
鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
Y鉄筋(SD345)							
K1-1	D32	9000	12	6.23	56.1	673	｜
K1-2	D32	5860	12	6.23	36.5	438	｜
K2	D32	9000	12	6.23	56.1	673	｜
K4	D19	4510	49	2.25	10.1	495	○
K5	D13	1060	12	0.995	1.05	13	⊔ (平均長)
						2292 kg	
Y鉄筋 鉄筋集計(SD345)							
1本当たり					1基当たり		
D32			1784 kg	x 12 =		21408 kg	
D19			495 kg	x 12 =		5940 kg	
D13			13 kg	x 12 =		156 kg	
合計			2292 kg	x 12 =		27504 kg	
A鉄筋(SD345)							
※ K3	D19	4510	9	2.25	10.1	91	○
						91 kg	
A鉄筋 鉄筋集計(SD345)							
1本当たり					1基当たり		
D19			91 kg	x 12 =		1092 kg	
合計			91 kg	x 12 =		1092 kg	



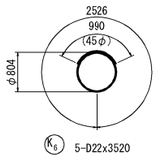
記号	径	本数	a	L
K5-1	D13	4	399	830
2	D13	4	689	1120
3	D13	4	798	1230
平均長		12		1060

主鉄筋固定金具配置図 S=1:50

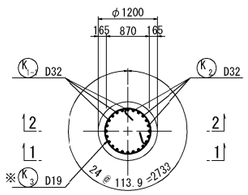


補強リング、固定金具
(杭1本当り)

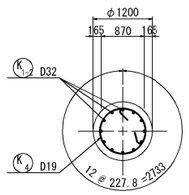
種別		長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
FB6×65		2633	5	3.06	8.06	40	補強リングD32用
Uボルト(32用)		－	96	－	－	－	主鉄筋と補強リングの固定
補強鉄筋(D22)	K 6	3520	5	3.04	10.7	54	補強リングD32用



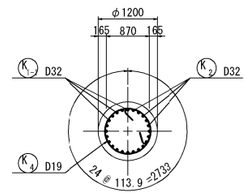
断 面 図
3 － 3



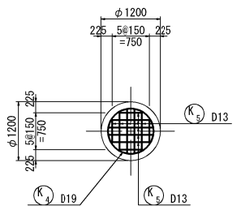
断 面 図
5 － 5



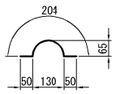
断 面 図
4 － 4



底 面 図
6 － 6

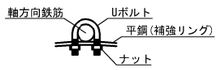


スペーサー詳細図 S=1:25



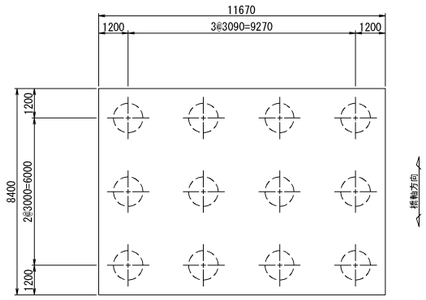
6-D16x300
16-D13x300

Uボルト部詳細図 S=1:12.5



Uボルト又は同等品

杭配置図



使用材料表

コンクリート	フーチング	σck=24N/mm²
	場所打ち杭	σck=24N/mm²
鉄　筋	場所打ち杭	SD345

スペーサー、固定金具
(杭1本当り)

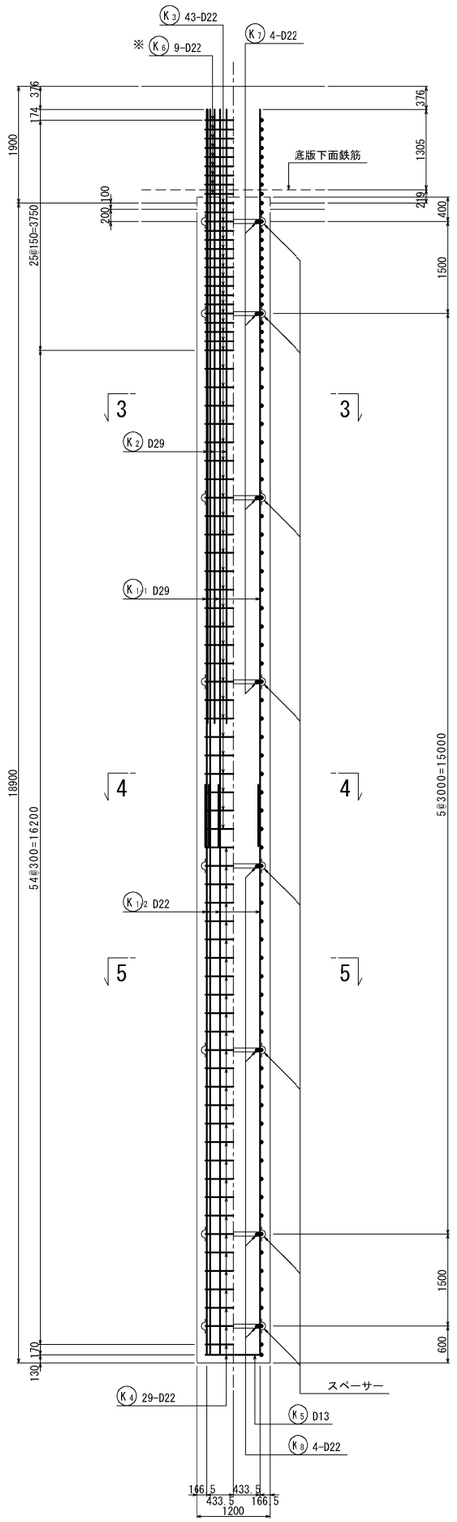
種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
SD345 D16	300	6	1.56	0.468	3	スペーサー鉄筋
SD345 D13	300	16	0.995	0.298	5	〃
Uボルト(D32用)	－	44	－	－	－	スペーサーと主鉄筋の固定
FB-32×4.5	80	44	1.130	0.090	4	Uボルト固定用

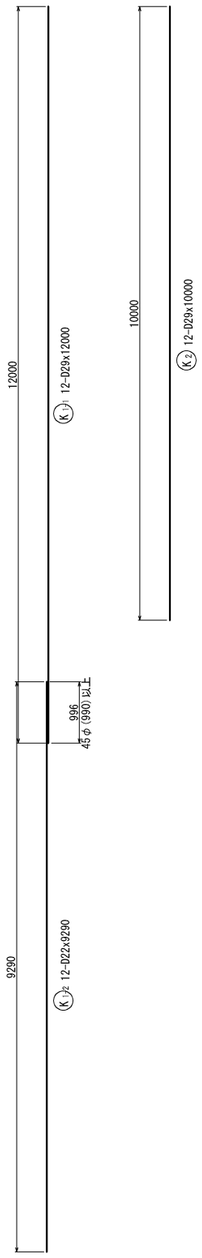
注1) ※印はA鉄筋を示し、他はY鉄筋を示す。
注2) 鉄筋長は、四捨五入の10mm丸めとする。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台場所打ち杭配筋図		
縮　尺	図 示	図面番号	67 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

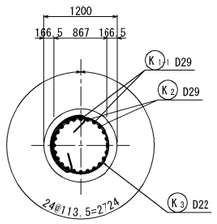
トマム川橋　A2橋台場所打ち杭配筋図(その1)　S=1:100

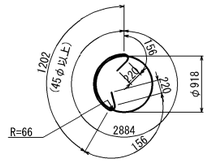
1 － 1　2 － 2





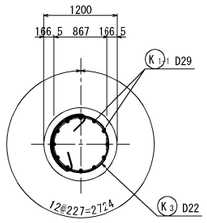
3 － 3

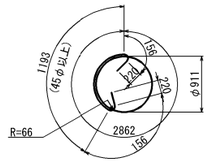




K3 43-D22x4840
※ K6 9-D22x4840

4 － 4

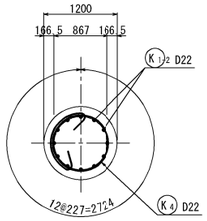




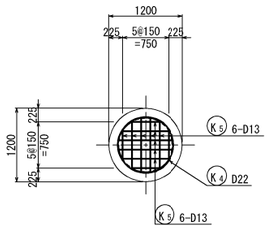
K4 29-D22x4810

※ 帯鉄筋の継手位置は1段毎に90°ずらして設置すること。

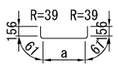
5 － 5



6 － 6



変化鉄筋表



K5 12-D13x1050（平均長）

種 別	径	本数	a	L
K 5-1	D13	4	375	810
-2	D13	4	674	1110
-3	D13	4	785	1220
平均長		12		1050

鉄 筋 表　(Y鉄筋)

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
K 1-1	D29	12 000	12	5.04	60.5	726	
K 1-2	D22	9 290	12	3.04	28.2	338	
K 2	D29	10 000	12	5.04	50.4	605	
K 3	D22	4 840	43	3.04	14.7	632	
K 4	〃	4 810	29	〃	14.6	423	
K 5	D13	1 050	12	0.995	1.04	12	（平均長）
						2 736 kg	

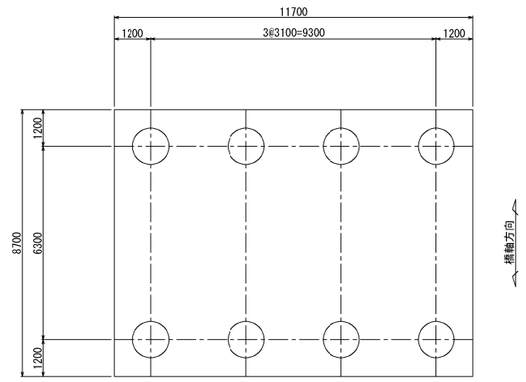
鉄筋質量 (SD345)						
D29	1 331 kg	×	8 本	=	10 648 kg	
D22	1 393 kg	×	8 本	=	11 144 kg	
D13	12 kg	×	8 本	=	96 kg	
合 計	2 736 kg	×	8 本	=	21 888 kg	

鉄 筋 表　(A鉄筋)

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
K 6	D22	4 840	9	3.04	14.7	132	
						132 kg	

鉄筋質量 (SD345)						
D22	132 kg	×	8 本	=	1 056 kg	
合 計	132 kg	×	8 本	=	1 056 kg	

位 置 図

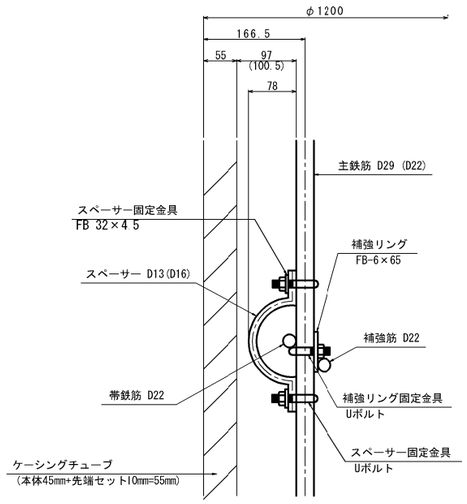


注1)　鉄筋長は四捨五入とし10mm丸めとする。
注2)　※印はA鉄筋とし、それ以外はY鉄筋とする。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台場所打ち杭配筋図(その1)		
縮　尺	図示	図面番号	68 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台場所打ち杭配筋図(その2)　S=1:100

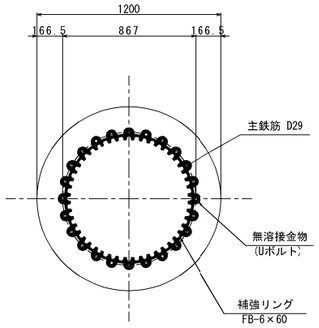
スペーサー部詳細図　S=1:10



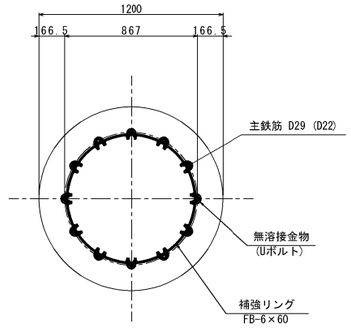
※1.スペーサーは1断面あたり4箇所(D13)を固定する。
但し杭頭最上段のみ6箇所(D16)を固定する。
1交差箇所につき、上下一ヶ所ずつ金具で固定。

補強リングと主筋金具詳細図　S=1:40

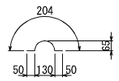
主鉄筋 D29部



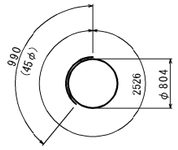
主鉄筋D29(D22)部



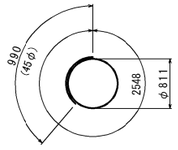
スペーサー詳細図



6-D16×300
28-D13×300



Ⓚ7 4-D22x3520



Ⓚ8 4-D22x3540

※ 帯鉄筋の継手位置は1段毎に
90°ずらして設置すること。

補強リング、固定金具

杭1本当り

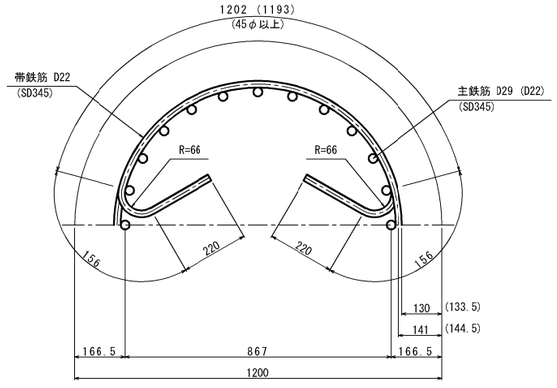
種　別		長　さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質　量 (kg)	摘　要
FB-6×65		2633	4	3.062	8.06	32	補強リングD29用
〃		2655	4	〃	8.13	33	補強リングD22用
Uボルト(D29用)		–	96	–	–	–	主鉄筋と補強リングの固定
Uボルト(D22用)		–	48	–	–	–	主鉄筋と補強リングの固定
補強筋(D22)	K 7	3520	4	3.04	10.7	43	補強リングD29用
〃	K 8	3540	4	〃	10.8	43	補強リングD22用

スペーサー固定金具

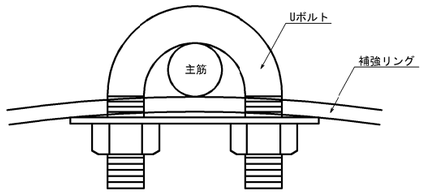
杭1本当り

種　別	長　さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質　量 (kg)	摘　要
SD345 D16	300	6	1.56	0.468	3	スペーサー鉄筋
SD345 D13	300	28	0.995	0.298	8	〃
Uボルト(D29用)	–	36	–	–	–	スペーサーと主鉄筋の固定
FB-32×4.5	80	36	1.130	0.090	3	Uボルト固定用
Uボルト(D22用)	–	32	–	–	–	スペーサーと主鉄筋の固定
FB-32×4.5	80	32	1.130	0.090	3	Uボルト固定用

帯鉄筋継手部詳細図　S=1:20



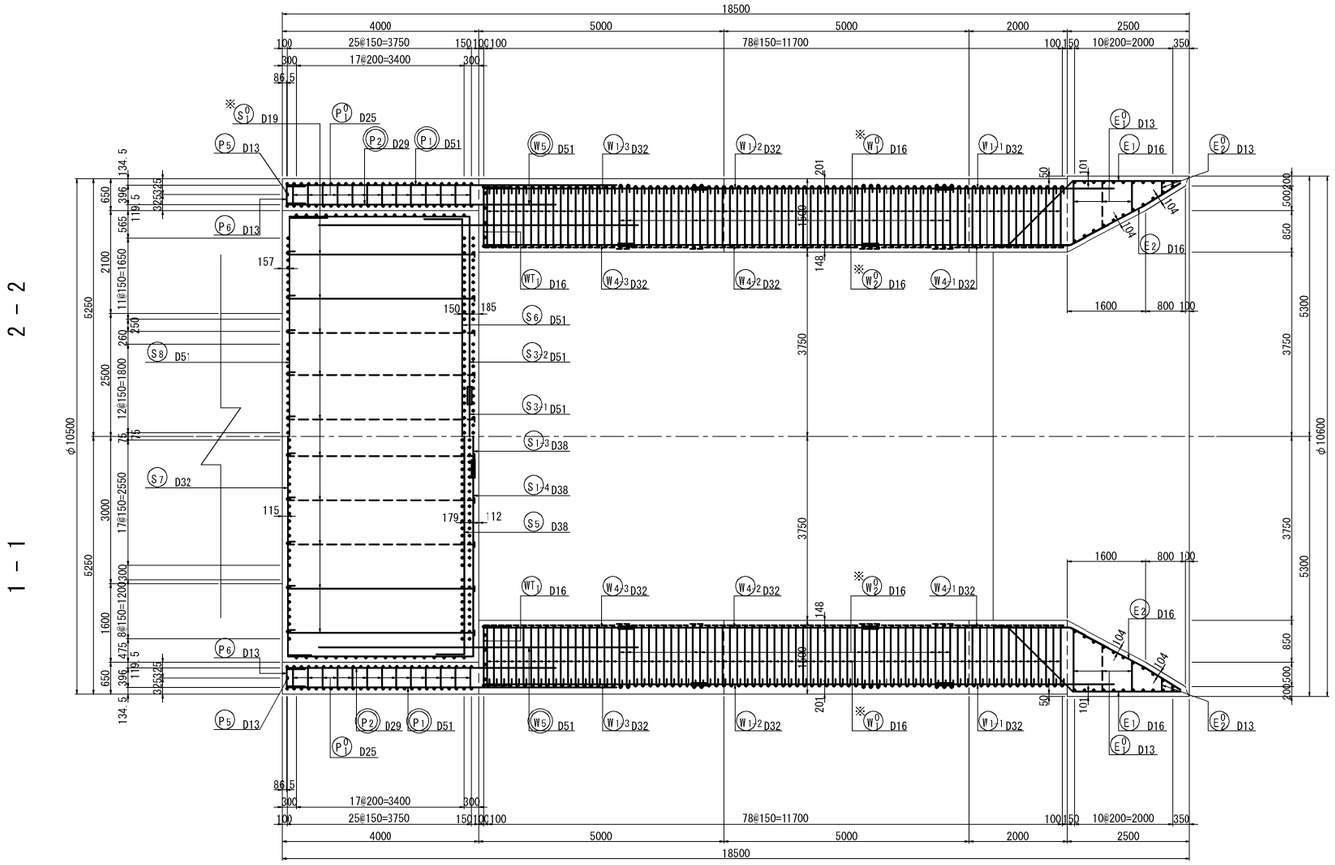
Uボルト詳細図

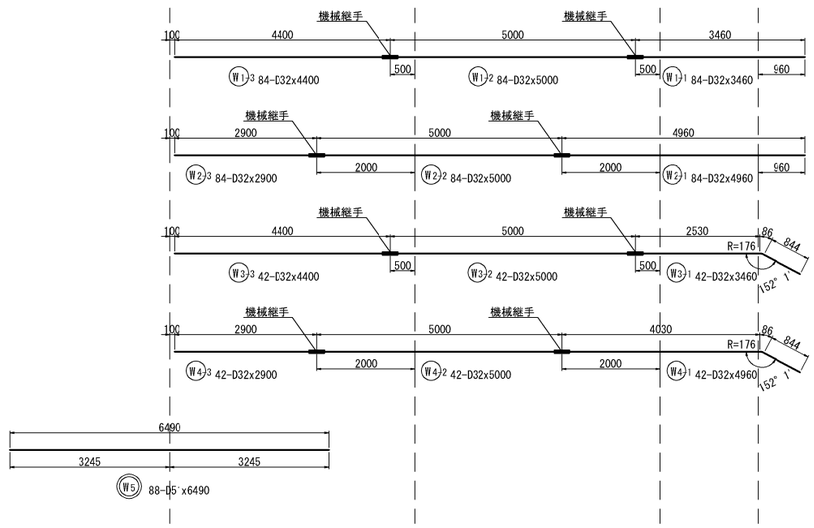


※Uボルト又は同等品
主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定。

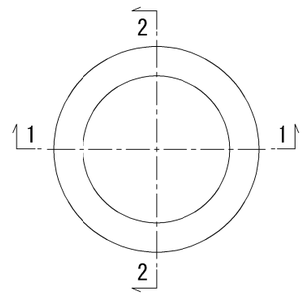
道東自動車 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台場所打ち杭配筋図(その2)		
縮　尺	図示	図面番号	69 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚オープンケーソン配筋図（その1）　S=1:125





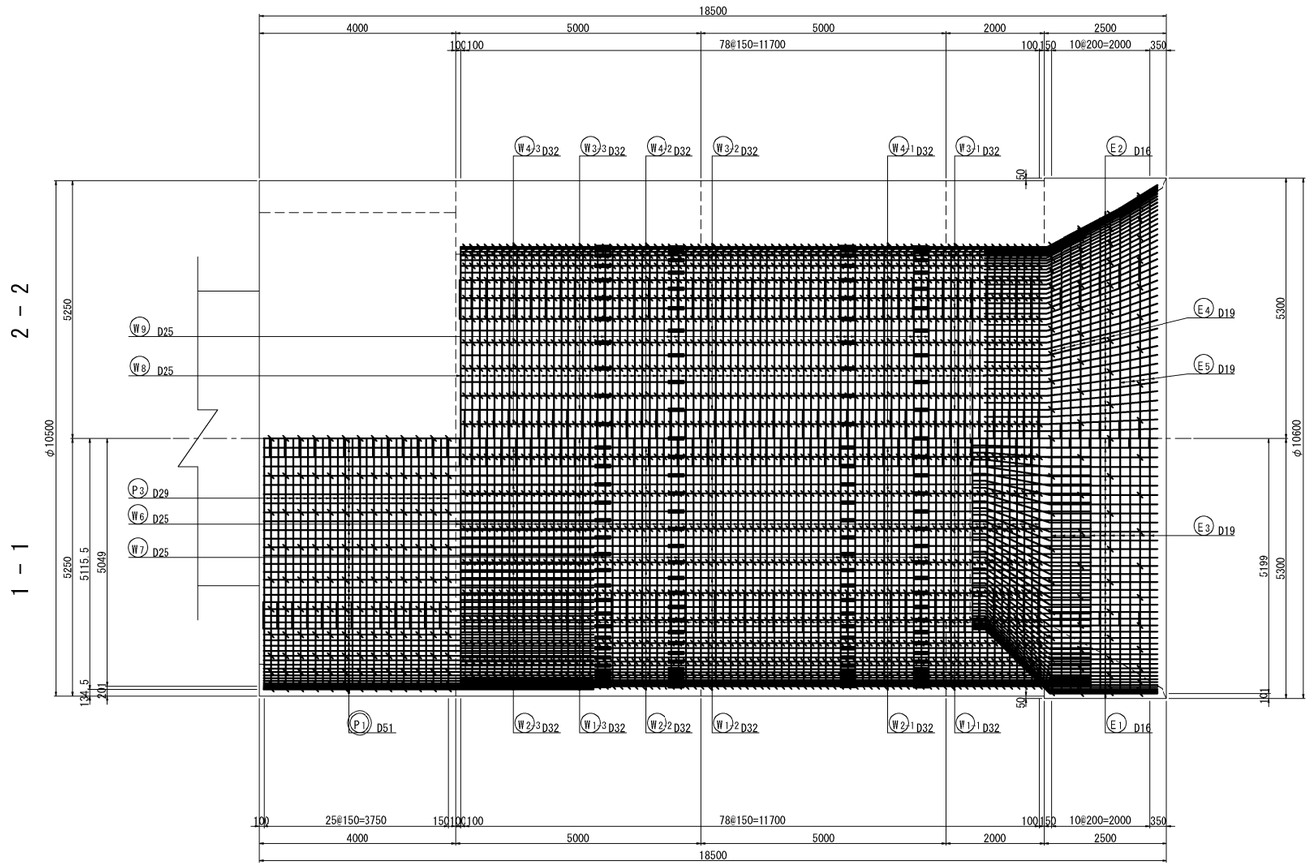
位 置 図



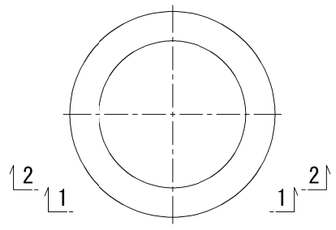
注1) ◎　鉄筋はSD490とする。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚オープンケーソン配筋図（その1）		
縮　　尺	図 示	図面番号	70 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚オープンケーソン配筋図（その2）　S=1:125



位 置 図

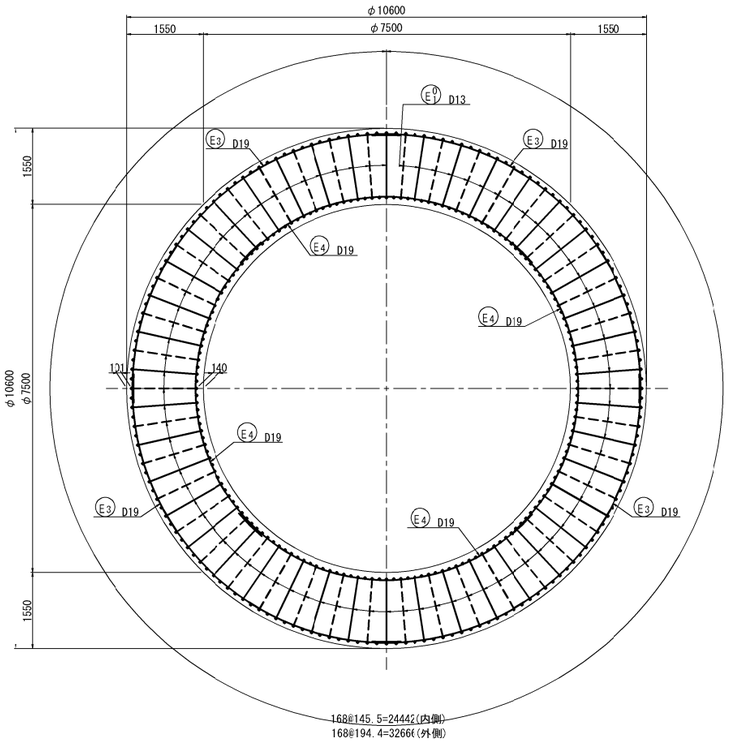


注1)◯　鉄筋はSD490とする。

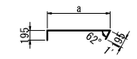
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚オープンケーソン配筋図（その2）		
縮　　尺	図 示	図面番号	71 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚オープンケーソン配筋図（その3）　S=1:125

1 － 1



変化鉄筋表

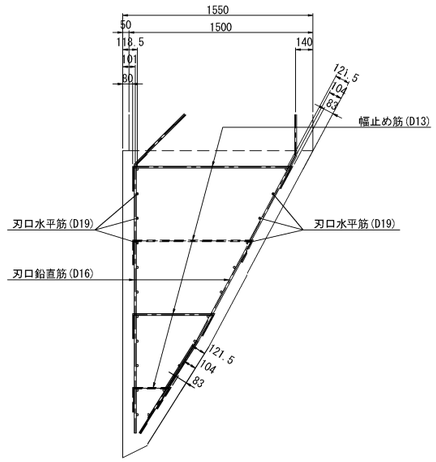


E1 126-D13x1300(平均長)

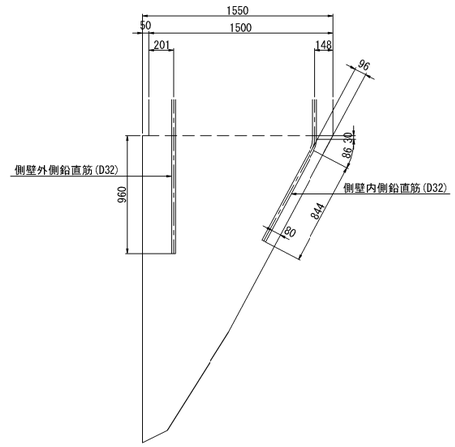
記号	径	本数	a	L
1	D13	42	1291	1620
2	〃	42	972	1300
3	〃	42	653	980
平均		126		1300

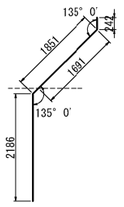
E2 42-D13x610

かぶり詳細図　S=1:50

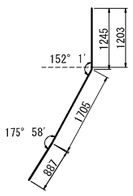


刃口部

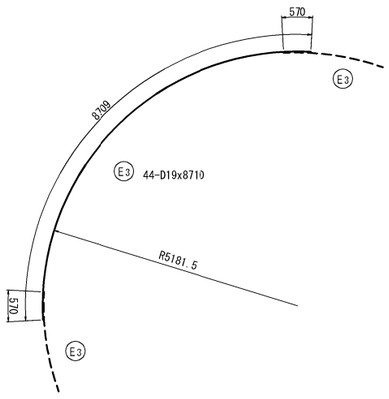




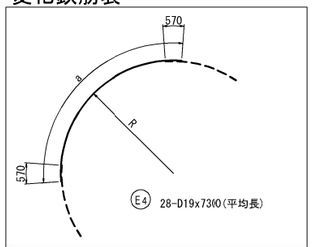
E1 168-D16x4270



E2 168-D16x3840



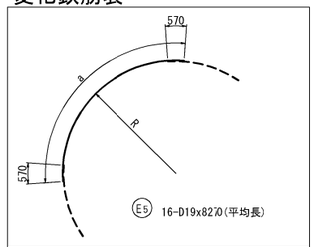
変化鉄筋表



E4 28-D19x7300(平均長)

記号	径	本数	R	a	L
1	D19	4	3967	6801	6800
2	〃	4	4074	6969	6970
3	〃	4	4180	7136	7140
4	〃	4	4286	7302	7300
5	〃	4	4392	7469	7470
6	〃	4	4499	7637	7640
7	〃	4	4605	7804	7800
平均		28			7300

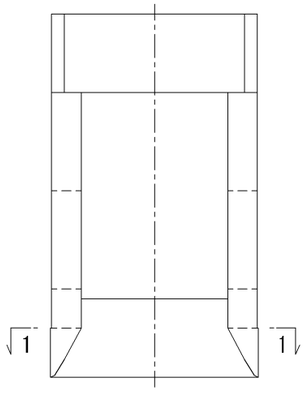
変化鉄筋表



E5 16-D19x8270(平均長)

記号	径	本数	R	a	L
1	D19	4	4712	7972	7970
2	〃	4	4837	8168	8170
3	〃	4	4962	8364	8360
4	〃	4	5087	8561	8560
平均		16			8270

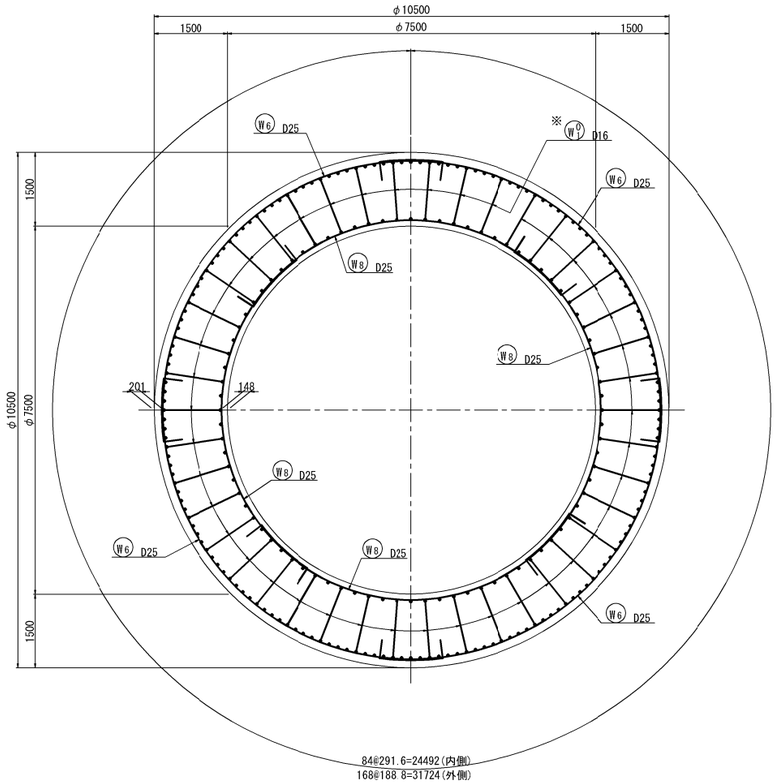
位 置 図



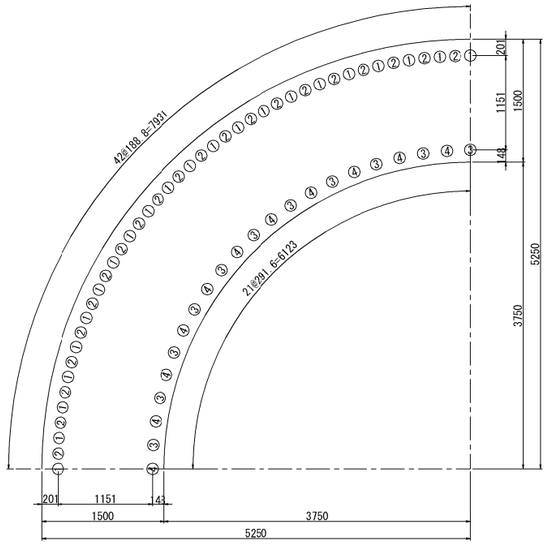
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚オープンケーソン配筋図（その3）		
縮　　尺	図 示	図面番号	72 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚オープンケーソン配筋図（その4）　S=1:125

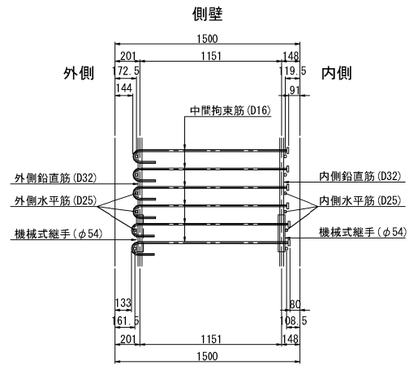
1 － 1

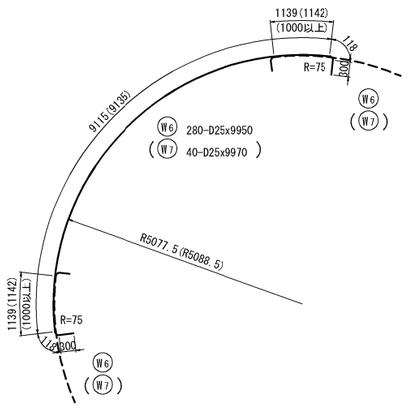


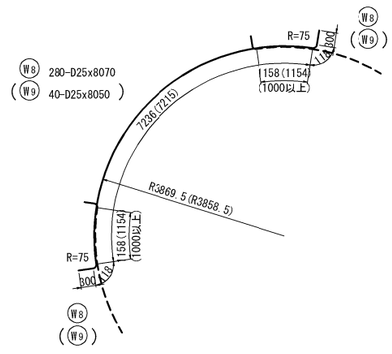
側壁鉛直筋配置図　S=1:75

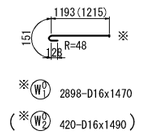


かぶり詳細図　S=1:50

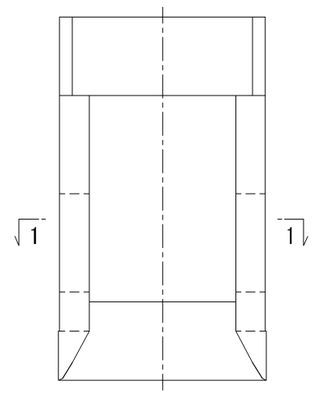








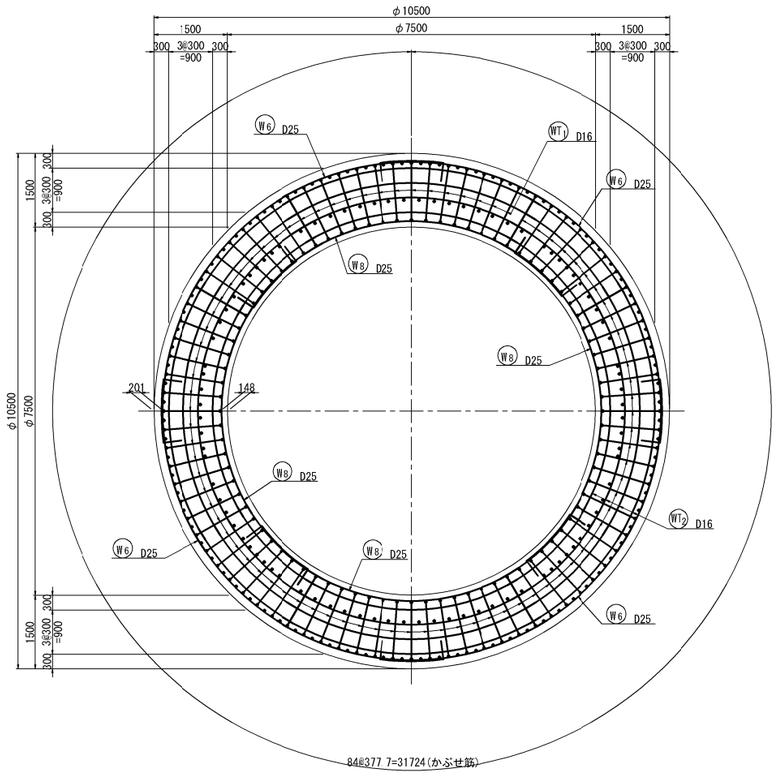
位 置 図



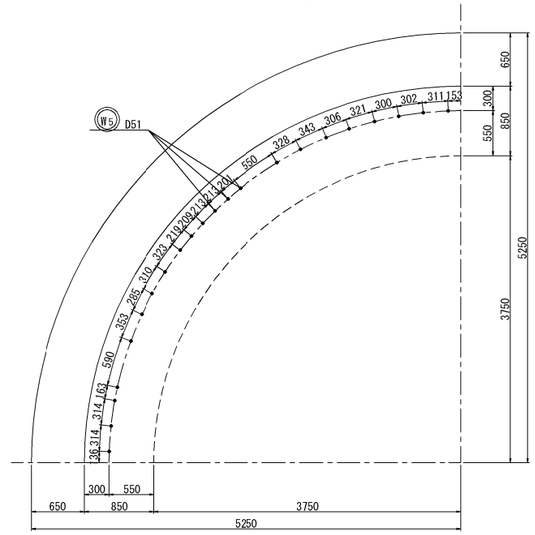
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚オープンケーソン配筋図（その4）		
縮　　尺	図 示	図面番号	73 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚オープンケーソン配筋図（その5）　S=1:125

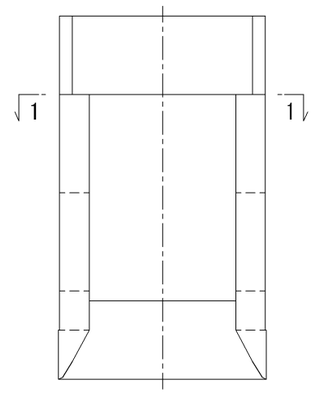
1 － 1

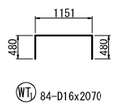


連結筋配置図 S=1:75

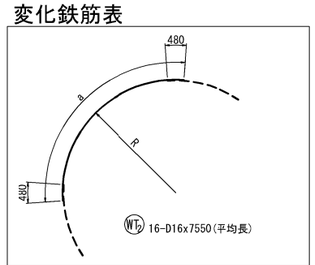


位 置 図





変化鉄筋表



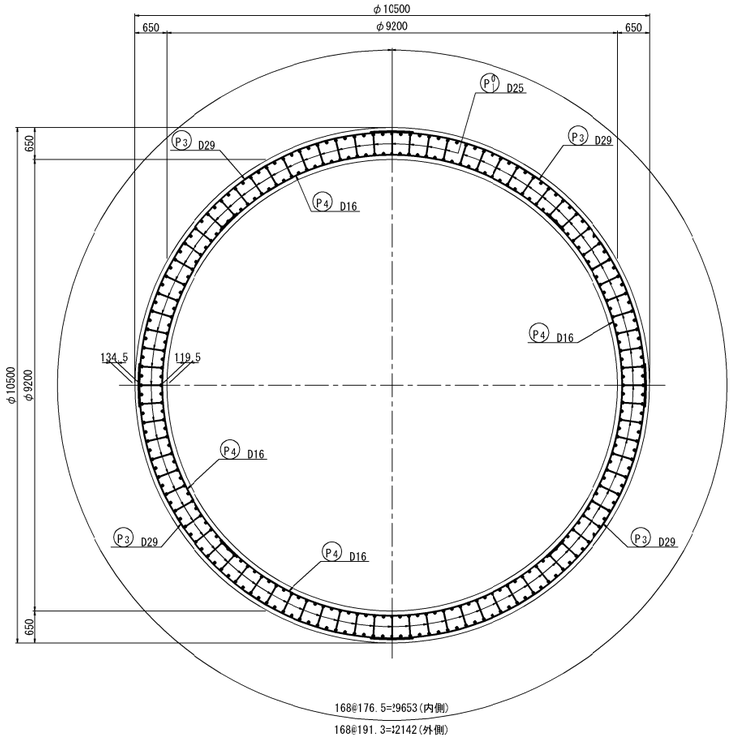
記号	径	本数	R	ε	L
1	D16	4	4050	6842	6840
2	〃	4	4350	7313	7310
3	〃	4	4650	7784	7780
4	〃	4	4950	8255	8260
平均		16			7550

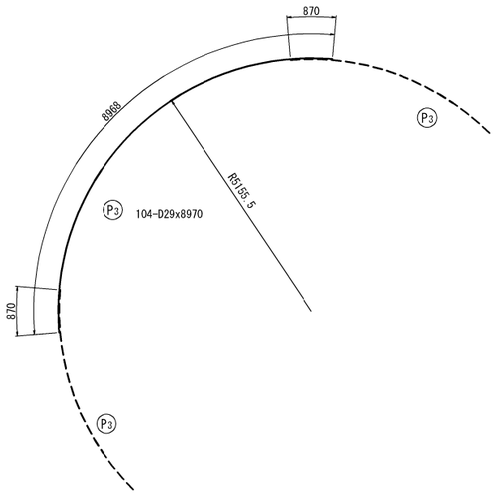
注1) ◎　鉄筋はSD490とする。

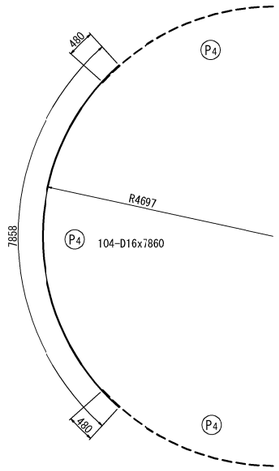
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚オープンケーソン配筋図（その5）		
縮　　尺	図 示	図面番号	74 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚オープンケーソン配筋図（その6）　S=1:125

1 － 1

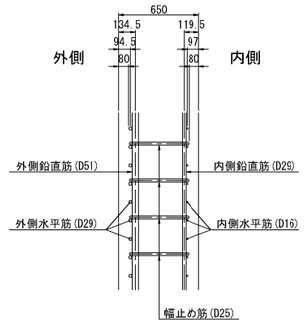




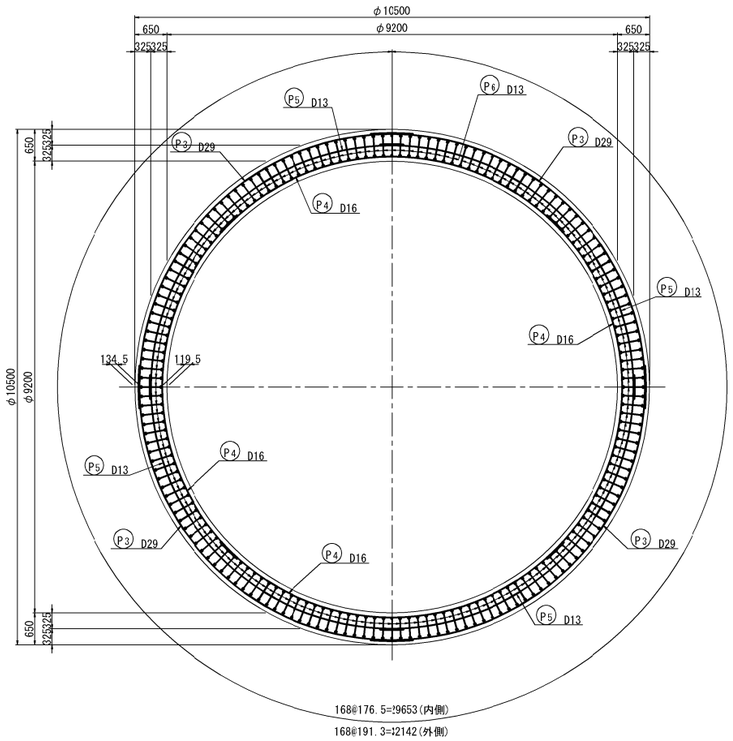


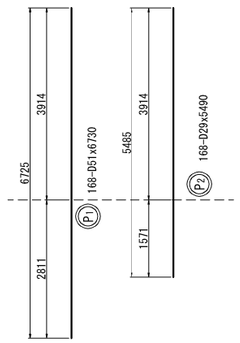
かぶり詳細図 S=1:50

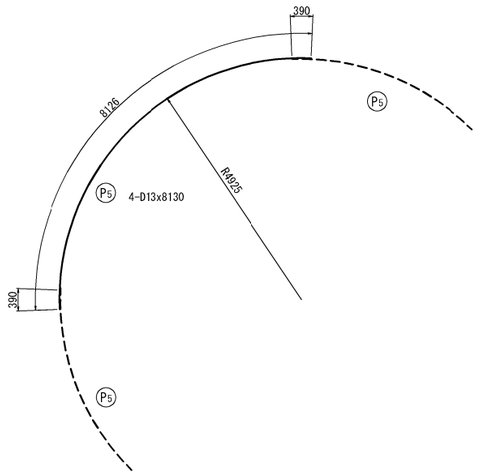
パラペット部

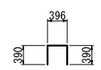


2 － 2

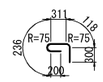






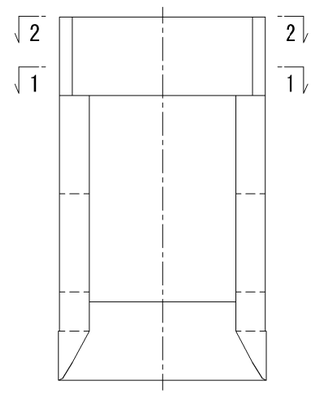


P5 168-D13x1140



P6 1092-D25x1170

位 置 図

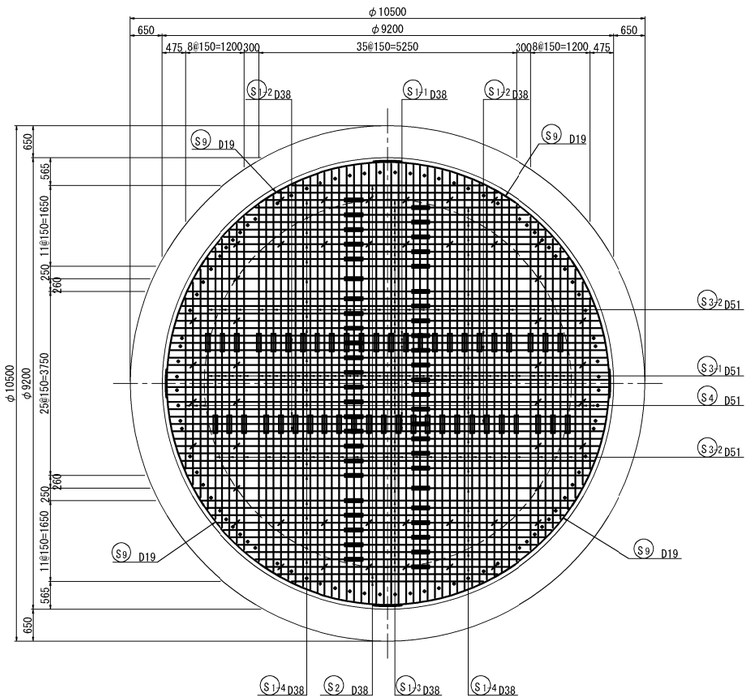


注1) ◎　鉄筋はSD490とする。

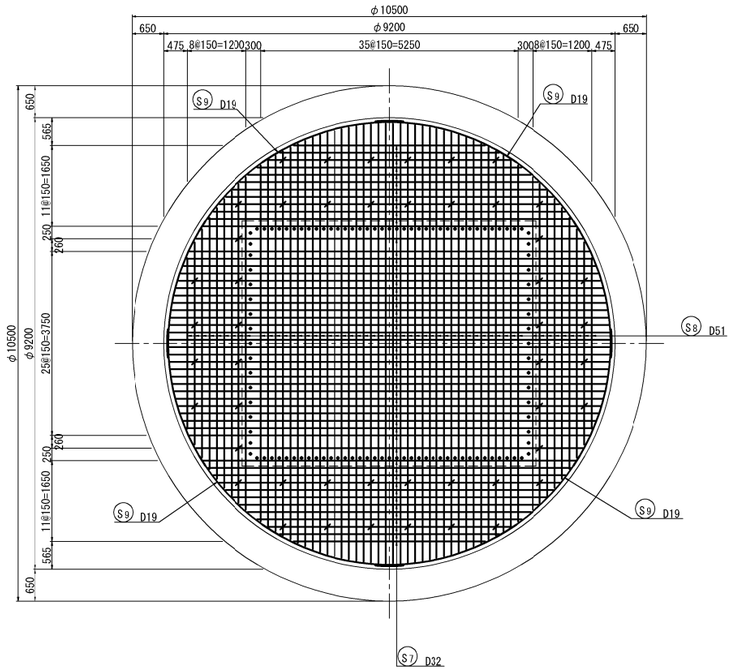
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚オープンケーソン配筋図（その6）		
縮　　尺	図 示	図面番号	75 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚オープンケーソン配筋図（その7）　S=1:125

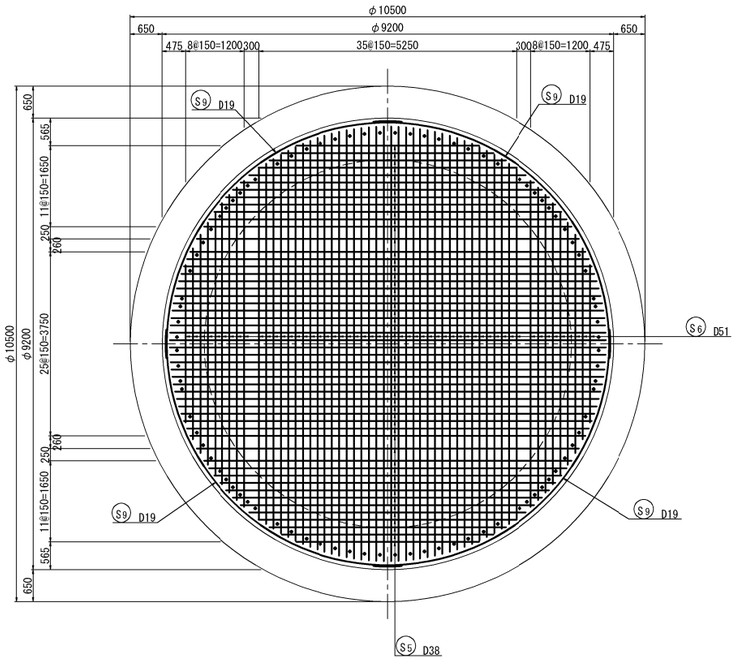
1 － 1



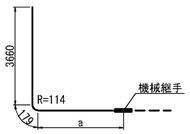
3 － 3



2 － 2



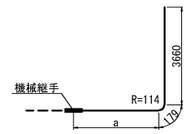
変化鉄筋表



S1-1 6-D38x8810(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D38	2	4941	8780
2	〃	2	4971	8810
3	〃	2	4997	8840
平均		6		8810

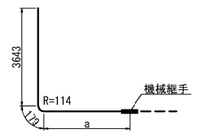
変化鉄筋表



S1-2 6-D38x7450(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D38	2	3581	7420
2	〃	2	3611	7450
3	〃	2	3637	7480
平均		6		7450

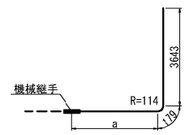
変化鉄筋表



S1-3 42-D38x8170(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D38	2	3044	6870
2	〃	2	3256	7080
3	〃	2	3445	7270
4	〃	2	3615	7440
5	〃	2	3769	7590
6	〃	2	3909	7730
7	〃	2	4037	7860
8	〃	2	4155	7980
9	〃	2	4262	8080
10	〃	2	4361	8180
11	〃	2	4507	8330
12	〃	2	4637	8460
13	〃	2	4703	8530
14	〃	2	4762	8580
15	〃	2	4815	8640
16	〃	2	4863	8690
17	〃	2	4905	8730
18	〃	2	5017	8840
19	〃	2	5032	8850
20	〃	2	5042	8860
21	〃	2	5047	8870
平均		42		8170

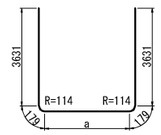
変化鉄筋表



S1-4 42-D38x6810(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D38	2	1684	5510
2	〃	2	1896	5720
3	〃	2	2085	5910
4	〃	2	2255	6080
5	〃	2	2409	6230
6	〃	2	2549	6370
7	〃	2	2677	6500
8	〃	2	2795	6620
9	〃	2	2902	6720
10	〃	2	3001	6820
11	〃	2	3147	6970
12	〃	2	3277	7100
13	〃	2	3343	7170
14	〃	2	3402	7220
15	〃	2	3455	7280
16	〃	2	3503	7330
17	〃	2	3545	7370
18	〃	2	3657	7480
19	〃	2	3672	7490
20	〃	2	3682	7500
21	〃	2	3687	7510
平均		42		6810

変化鉄筋表

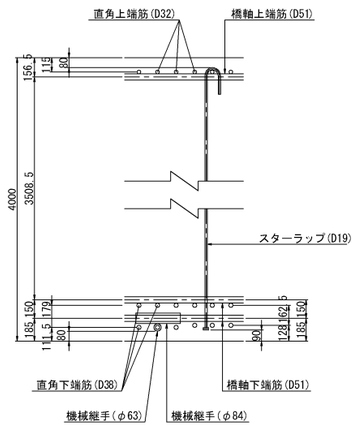


S2 4-D38x11580(平均長)

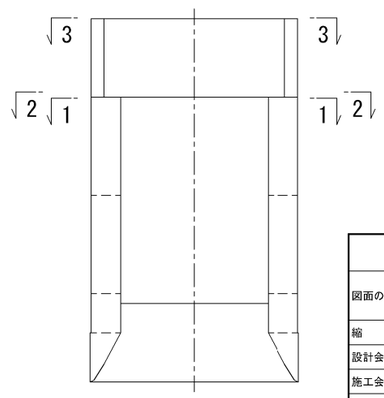
記号	径	本数	a	L
1	D38	2	3674	11290
2	〃	2	4242	11860
平均		4		11580

かぶり詳細図　S=1:50

頂版部



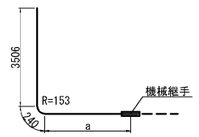
位 置 図



道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚オープンケーソン配筋図（その7）		
縮　尺	図 示	図面番号	76 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚オープンケーソン配筋図（その8）　S=1:125

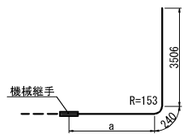
変化鉄筋表



S3-1 48-D51x8310(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D51	2	3231	6980
2	〃	2	3435	7180
3	〃	2	3616	7360
4	〃	2	3780	7530
5	〃	2	3929	7680
6	〃	2	4064	7810
7	〃	2	4302	8050
8	〃	2	4406	8150
9	〃	2	4501	8250
10	〃	2	4588	8330
11	〃	2	4668	8410
12	〃	2	4741	8490
13	〃	2	4807	8550
14	〃	2	4866	8610
15	〃	2	4920	8670
16	〃	2	4967	8710
17	〃	2	5009	8760
18	〃	2	5045	8790
19	〃	2	5076	8820
20	〃	2	5101	8850
21	〃	2	5122	8870
22	〃	2	5137	8880
23	〃	2	5147	8890
24	〃	2	5152	8900
平均		48		8310

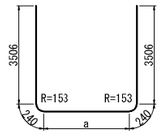
変化鉄筋表



S3-2 48-D51x6650(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D51	2	1571	5320
2	〃	2	1775	5520
3	〃	2	1956	5700
4	〃	2	2120	5870
5	〃	2	2269	6020
6	〃	2	2404	6150
7	〃	2	2642	6390
8	〃	2	2746	6490
9	〃	2	2841	6590
10	〃	2	2928	6670
11	〃	2	3008	6750
12	〃	2	3081	6830
13	〃	2	3147	6890
14	〃	2	3206	6950
15	〃	2	3260	7010
16	〃	2	3307	7050
17	〃	2	3349	7100
18	〃	2	3385	7130
19	〃	2	3416	7160
20	〃	2	3441	7190
21	〃	2	3462	7210
22	〃	2	3477	7220
23	〃	2	3487	7230
24	〃	2	3492	7240
平均		48		6650

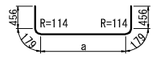
変化鉄筋表



S4 6-D51x11260(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D51	2	3166	10660
2	〃	2	3807	11300
3	〃	2	4341	11830
平均		6		11260

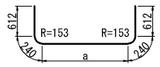
変化鉄筋表



S5 52-D38x8410(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D38	2	3598	4870
2	〃	2	4166	5440
3	〃	2	4651	5920
4	〃	2	5076	6350
5	〃	2	5454	6720
6	〃	2	5794	7060
7	〃	2	6102	7370
8	〃	2	6383	7650
9	〃	2	6639	7910
10	〃	2	6873	8140
11	〃	2	7088	8360
12	〃	2	7285	8560
13	〃	2	7578	8850
14	〃	2	7838	9110
15	〃	2	7969	9240
16	〃	2	8088	9360
17	〃	2	8195	9470
18	〃	2	8290	9560
19	〃	2	8373	9640
20	〃	2	8445	9720
21	〃	2	8507	9780
22	〃	2	8558	9830
23	〃	2	8598	9870
24	〃	2	8629	9900
25	〃	2	8649	9920
26	〃	2	8659	9930
平均		52		8410

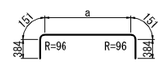
変化鉄筋表



S6 54-D51x6670(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D51	2	3064	4770
2	〃	2	3705	5410
3	〃	2	4239	5940
4	〃	2	4701	6410
5	〃	2	5107	6810
6	〃	2	5471	7180
7	〃	2	5798	7500
8	〃	2	6096	7800
9	〃	2	6367	8070
10	〃	2	6842	8550
11	〃	2	7050	8750
12	〃	2	7240	8940
13	〃	2	7415	9120
14	〃	2	7574	9280
15	〃	2	7720	9420
16	〃	2	7851	9560
17	〃	2	7970	9670
18	〃	2	8077	9780
19	〃	2	8172	9880
20	〃	2	8256	9960
21	〃	2	8328	10030
22	〃	2	8390	10090
23	〃	2	8441	10150
24	〃	2	8481	10190
25	〃	2	8512	10220
26	〃	2	8532	10240
27	〃	2	8542	10250
平均		54		8670

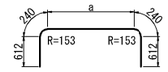
変化鉄筋表



S7 52-D32x8330(平均長)

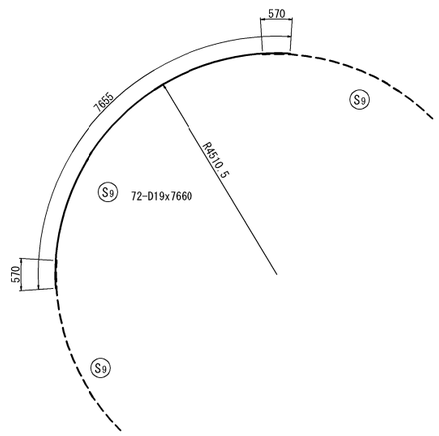
記号	径	本数	a	L
1	D32	2	3724	4790
2	〃	2	4290	5360
3	〃	2	4774	5840
4	〃	2	5198	6270
5	〃	2	5575	6650
6	〃	2	5915	6990
7	〃	2	6223	7290
8	〃	2	6503	7570
9	〃	2	6759	7830
10	〃	2	6993	8060
11	〃	2	7208	8280
12	〃	2	7405	8480
13	〃	2	7696	8770
14	〃	2	7957	9030
15	〃	2	8088	9160
16	〃	2	8207	9280
17	〃	2	8313	9380
18	〃	2	8408	9480
19	〃	2	8491	9560
20	〃	2	8563	9630
21	〃	2	8625	9700
22	〃	2	8676	9750
23	〃	2	8716	9790
24	〃	2	8747	9820
25	〃	2	8767	9840
26	〃	2	8777	9850
平均		52		8330

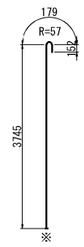
変化鉄筋表



S8 54-D51x8770(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D51	2	3166	4870
2	〃	2	3807	5510
3	〃	2	4341	6050
4	〃	2	4803	6510
5	〃	2	5209	6910
6	〃	2	5573	7280
7	〃	2	5900	7600
8	〃	2	6198	7900
9	〃	2	6469	8170
10	〃	2	6944	8650
11	〃	2	7152	8860
12	〃	2	7342	9050
13	〃	2	7517	9220
14	〃	2	7676	9380
15	〃	2	7822	9530
16	〃	2	7953	9660
17	〃	2	8072	9780
18	〃	2	8179	9880
19	〃	2	8274	9980
20	〃	2	8358	10060
21	〃	2	8430	10130
22	〃	2	8492	10200
23	〃	2	8543	10250
24	〃	2	8583	10290
25	〃	2	8614	10320
26	〃	2	8634	10340
27	〃	2	8644	10350
平均		54		8770





※S9-1 48-D19x4080

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚オープンケーソン配筋図（その8）		
縮　　尺	図 示	図面番号	77 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚オープンケーソン配筋図（その9）　S=1:125

鉄筋質量表

	符号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
	E 1	D16	4270	168	1.56	6.66	1119	
	2	D16	3840	168	1.56	5.99	1006	
	3	D19	8710	44	2.25	19.6	862	
	4	D19	7300	28	2.25	16.4	459	(平均長)
	5	D19	8270	16	2.25	18.6	298	(平均長)
	EO 1	D13	1300	126	0.995	1.29	163	(平均長)
	2	D13	610	42	0.995	0.607	25	
							3932 kg	
	W 1-1	D32	3460	84	6.23	21.6	1814	(B) <84>
	1-2	D32	5000	84	6.23	31.2	2621	(B) <84>
	1-3	D32	4400	84	6.23	27.4	2302	(B)
	2-1	D32	4960	84	6.23	30.9	2596	(B) <84>
	2-2	D32	5000	84	6.23	31.2	2621	(B) <84>
	2-3	D32	2900	84	6.23	18.1	1520	(B)
	3-1	D32	3460	42	6.23	21.6	907	(B) <42>
	3-2	D32	5000	42	6.23	31.2	1310	(B) <42>
	3-3	D32	4400	42	6.23	27.4	1151	(B)
	4-1	D32	4960	42	6.23	30.9	1298	(B) <42>
	4-2	D32	5000	42	6.23	31.2	1310	(B) <42>
	4-3	D32	2900	42	6.23	18.1	760	(B)
SD490	5	D51	6490	88	15.9	103	9064	
	6	D25	9950	280	3.98	39.6	11088	
	7	D25	9970	40	3.98	39.7	1588	
	8	D25	8070	280	3.98	32.1	8988	
	9	D25	8050	40	3.98	32.0	1280	
※	WO 1	D16	1470	2898	1.56	2.29	6636	(C)
※	2	D16	1490	420	1.56	2.32	974	(C)
	WT 1	D16	2070	84	1.56	3.23	271	
	2	D16	7550	16	1.56	11.8	189	(平均長)
							60288 kg	
SD490	P 1	D51	6730	168	15.9	107	17976	
SD490	2	D29	5490	168	5.04	27.7	4654	
	3	D29	8970	104	5.04	45.2	4701	
	4	D16	7860	104	1.56	12.3	1279	
	5	D13	8130	4	0.995	8.09	32	
	6	D13	1140	168	0.995	1.13	190	
	PO 1	D25	1170	1092	3.98	4.66	5089	
							33921 kg	

符号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
S 1-1	D38	8810	6	8.95	78.8	473	(6)(B) (平均長)
1-2	D38	7450	6	8.95	66.7	400	(B) (平均長)
1-3	D38	8170	42	8.95	73.1	3070	(42)(B) (平均長)
1-4	D38	6810	42	8.95	60.9	2558	(B) (平均長)
2	D38	11580	4	8.95	104	416	(平均長)
3-1	D51	8310	48	15.9	132	6336	(48)(B) (平均長)
3-2	D51	6650	48	15.9	106	5088	(B) (平均長)
4	D51	11260	6	15.9	179	1074	(平均長)
5	D38	8410	52	8.95	75.3	3916	(平均長)
6	D51	8670	54	15.9	138	7452	(平均長)
7	D32	8330	52	6.23	51.9	2699	(平均長)
8	D51	8770	54	15.9	139	7506	(平均長)
9	D19	7660	72	2.25	17.2	1238	
※ SO 1	D19	4080	48	2.25	9.18	441	(C)
						42667 kg	

SD345	A	B	C	A+B+C
合計 D51	16032 kg	11424 kg	–	27456 kg
D38	4332 kg	6501 kg	–	10833 kg
D32	2699 kg	20210 kg	–	22909 kg
D29	4701 kg	–	–	4701 kg
D25	28033 kg	–	–	28033 kg
D19	2857 kg	–	441 kg	3298 kg
D16	3864 kg	–	7610 kg	11474 kg
D13	410 kg	–	–	410 kg
総質量	62928 kg	38135 kg	8051 kg	109114 kg

SD490	A	B	C	A+B+C
合計 D51	27040 kg	–	–	27040 kg
D38	–	–	–	–
D32	–	–	–	–
D29	4654 kg	–	–	4654 kg
D25	–	–	–	–
D19	–	–	–	–
D16	–	–	–	–
D13	–	–	–	–
総質量	31694 kg	–	–	31694 kg

鉄筋集計表(SD345)

種別	径(mm)		質量(kg)	合計(kg)
A	D13		410	410
	D16～D25	D16	3864	
		D19	2857	
		D22	—	
		D25	28033	34754
	D29～D32	D29	4701	
		D32	2699	7400
	D35		—	—
	D38		4332	4332
	D41		—	—
	D51		16032	16032
	計			62928
B	D16～D25	D16	—	
		D19	—	
		D22	—	
		D25	—	—
	D29～D32	D29	—	
		D32	20210	20210
	D35		—	—
	D38		6501	6501
	D41		—	—
	D51		11424	11424
	計			38135
C	D13		—	—
	D16～D25	D16	7610	
		D19	441	
		D22	—	
		D25	—	8051
	D29～D32	D29	—	
		D32	—	—
	D35		—	—
	D38		—	—
	D41		—	—
	D51		—	—
	計			8051
合計				109114
継手箇所数	D19～D25	D19	—	
		D22	—	
		D25	—	—
	ガス圧接合計			
	D29～D35	D29	—	
		D32	504	
		D35	—	504
	D38～D51	D38	48	
		D41	—	
		D51	48	96
	機械継手合計			600

鉄筋集計表(SD490)

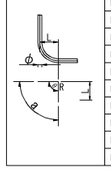
種別	径(mm)		質量(kg)	合計(kg)
A(H)	D13		—	—
	D16～D25	D16	—	
		D19	—	
		D22	—	
		D25	—	—
	D29～D32	D29	4654	
		D32	—	4654
	D35		—	—
	D38		—	—
	D41		—	—
	D51		27040	27040
	計			31694
B(H)	D16～D25	D16	—	
		D19	—	
		D22	—	
		D25	—	—
	D29～D32	D29	—	
		D32	—	—
	D35		—	—
	D38		—	—
	D41		—	—
	D51		—	—
	計			—
C(H)	D13		—	—
	D16～D25	D16	—	
		D19	—	
		D22	—	
		D25	—	—
	D29～D32	D29	—	
		D32	—	—
	D35		—	—
	D38		—	—
	D41		—	—
	D51		—	—
	計			—
合計				31694
継手箇所数	D19～D25	D19	—	
		D22	—	
		D25	—	—
	ガス圧接合計			
	D29～D35	D29	—	
		D32	—	
		D35	—	—
	D38～D51	D38	—	
		D41	—	
		D51	—	—
	機械継手合計			—

機械式鉄筋定着工法数量表

(箇所)

鉄筋長	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38
0<L≦1m	–	–	–	–	–	–	–	–	–
1<L≦2m	–	3318	–	–	–	–	–	–	–
2<L≦3m	–	–	–	–	–	–	–	–	–
3<L≦4m	–	–	–	–	–	–	–	–	–
4<L≦5m	–	–	48	–	–	–	–	–	–
5<L≦6m	–	–	–	–	–	–	–	–	–
計	–	3318	48	–	–	–	–	–	–

鉄筋曲げ加工表



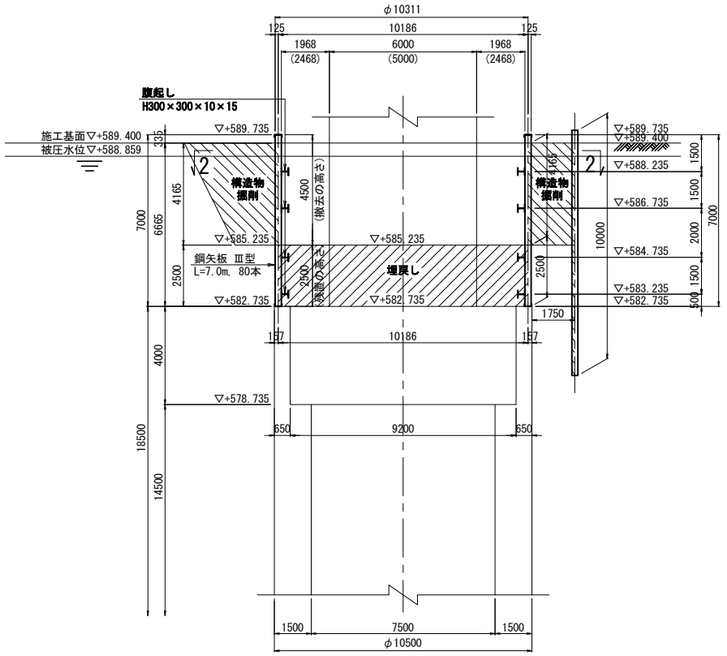
φ	主筋・スターラップ θ≦90° R=3φ	θ>90° R=5.5φ	θ = 45° a	θ = 45° ΔL	θ = 60° a	θ = 60° ΔL	θ = 90° a	θ = 90° ΔL	θ = 135° a	θ = 135° ΔL
D 13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D 16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D 19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D 22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D 25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D 29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D 32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D 35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D 38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D 41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D 51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

注）1　ΔL=2L-a
　　2　θ（曲げ角度）

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚オープンケーソン配筋図（その9）		
縮尺	1:125	図面番号	78 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

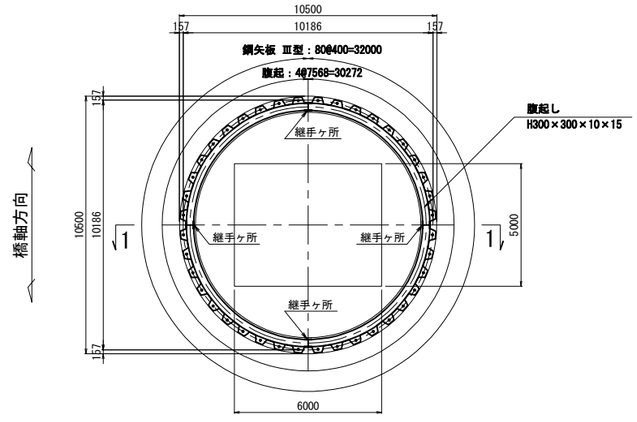
トマム川橋　P1橋脚オープンケーソン止水壁詳細図　S=1:250

断面図
1 － 1
直角方向

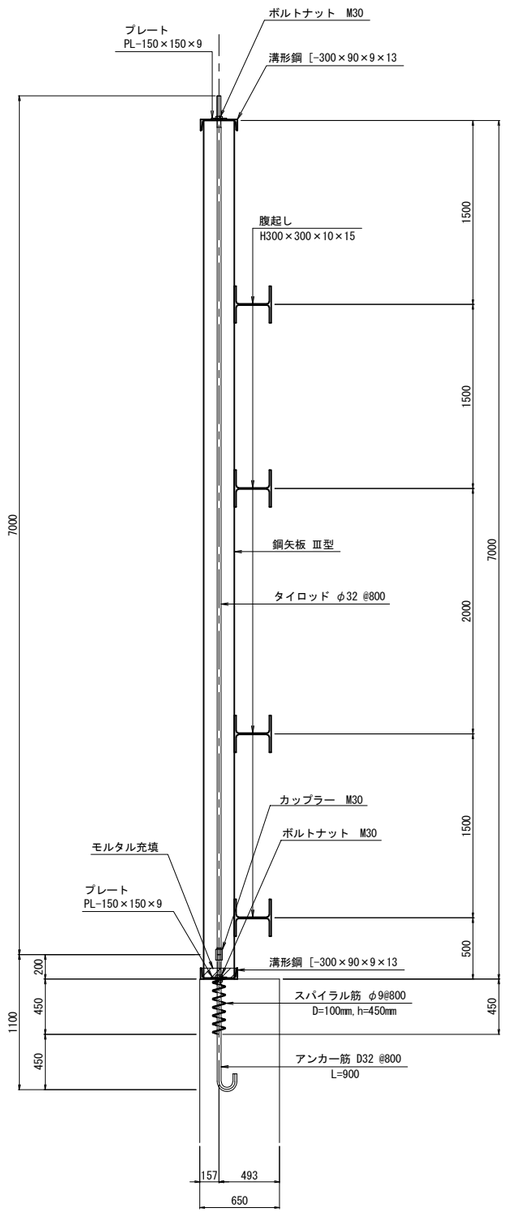


※ 構造物撤削(開削)後，腹起しを撤去する．
腹起しを撤去する際，埋戻しを行うこと．
埋戻しの高さは，止水壁下端から4,3段腹起しの0.5m下げた位置とする．
2,1段段腹起しを撤去する際，埋戻しの高さは基礎天端から2.5m位置とする．

断面図
2 － 2
直角方向



止水壁詳細図　S=1:50

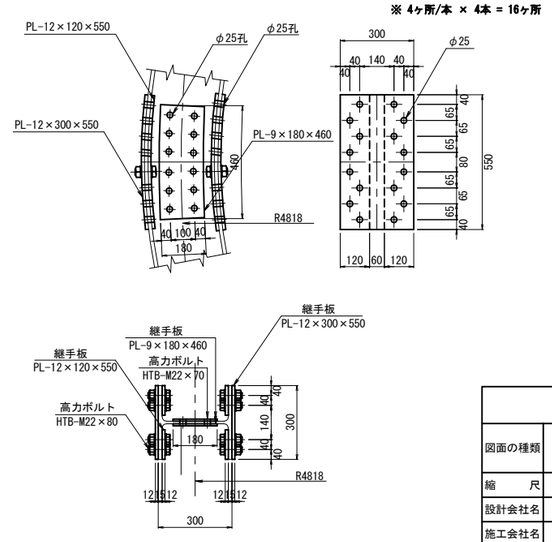


止水壁材料表

名　称	規格・寸法	長さ (m)	数量	単位質量 (kg)	1本当り質量 (kg)	質　量 (kg)	摘　要
鋼矢板	鋼矢板 Ⅲ型	7.00	80	60.0	420.00	33,600	
溝形鋼	[-300×90×9×13	32.00	2	38.1	1,219.20	2,438	購入材
アンカー筋	D32	1.10	40	6.23	6.85	274	ネジ切加工
タイロッド	φ32	7.00	40	6.31	44.17	1,767	ネジ切加工
スパイラル筋	φ 9		40				
カップラー	M30		40				
ナット	M30		80				
プレート	PL-150×150×9		80				
					合計	38,079 kg	
腹起し	H-300×300×10×15	30.27	4	93.0	2,815.11	11,260	購入材
					合計	11,260 kg	
止水壁	鋼矢板 Ⅲ型				33,600 kg		
	溝型鋼 [-300×90×9×13				2,438 kg		
	アンカー筋 D32、タイロッド φ32				2,041 kg		
					38,079 kg		
腹起し	主部材				11,260 kg		
	副部材(A)				2,477 kg	(鋼材×0.22)	
	副部材(B)				450 kg	(鋼材×0.04)	
	鋼材重量				14,187 kg		
モルタル体積	V＝32.000×0.300×0.050＝0.480 m^3				0.480 m^3		
鋼矢板の撤去	W1＝4.500×60.0×80＝21,600 kg				21,600 kg		
鋼矢板の残置	W2＝2.500×60.0×80＝12,000 kg				12,000 kg		

腹起H300 継手詳細図(参考図)　S=1:25

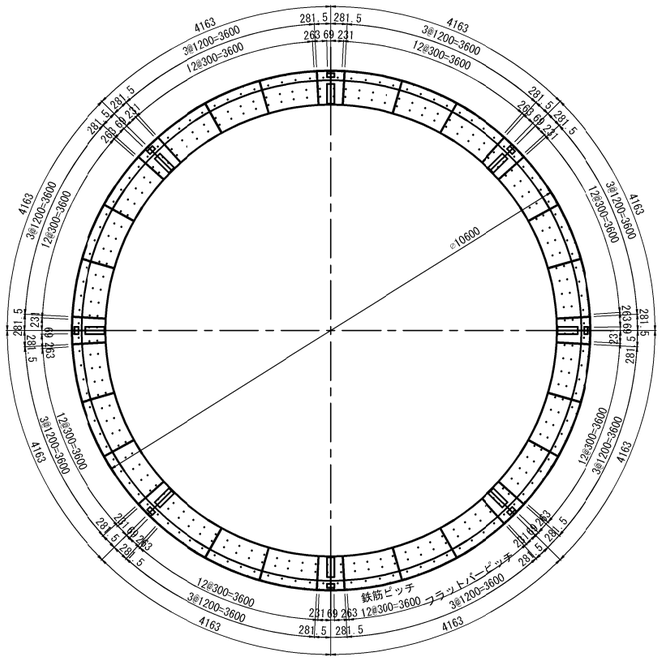
※ 4ヶ所/本 × 4本 = 16ヶ所



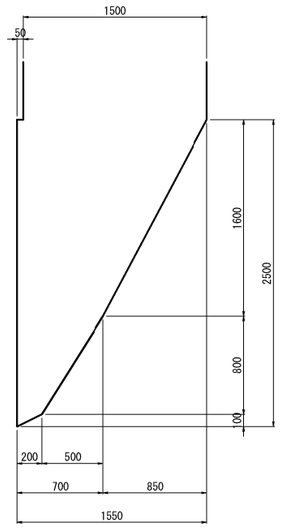
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚オープンケーソン止水壁詳細図		
縮　尺	1:250	図面番号	79 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚オープンケーソン刃口金物図　S=1:250

刃口平面図　S=1:125



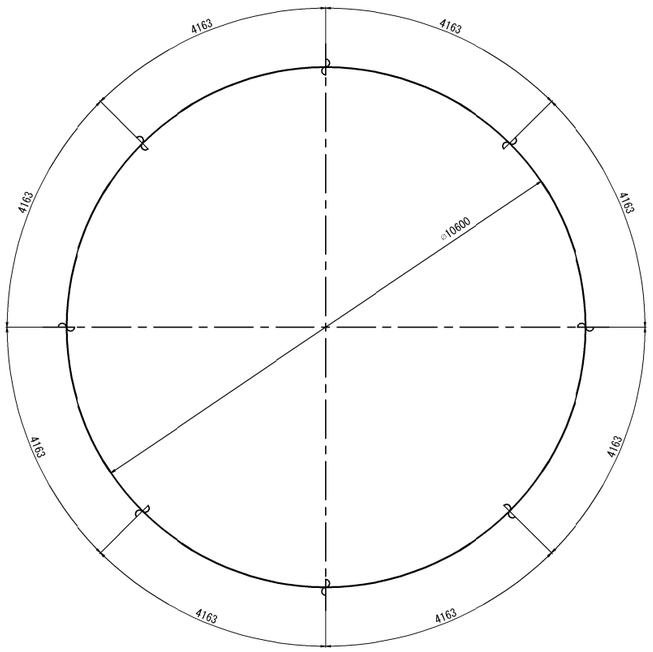
作業室内断面図　S=1:50



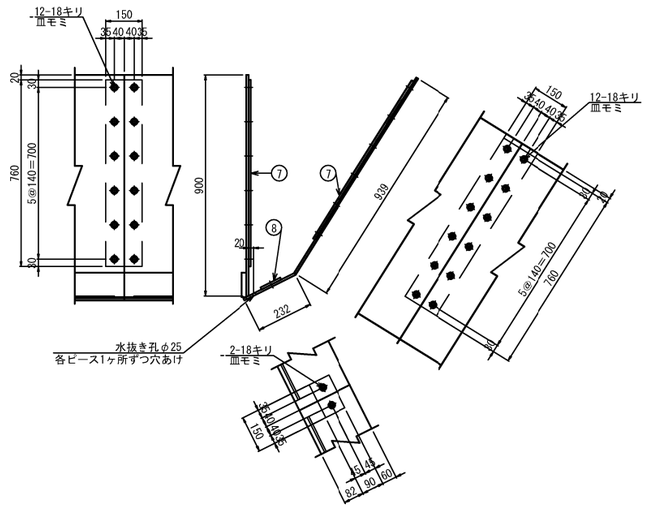
材料表

種別	形状寸法	長さ寸法	数量	1個重	重量	材質	摘要
①	PL-9×900	4168	8	265.0	2120.0	SS400	側板
②	PL-9×232	4168	8	68.3	546.4	〃	底板
③	PL-9×939	4006	8	265.8	2126.4	〃	斜板
④	Fb-19×100	4178	8	62.3	498.4	〃	フラットバー
⑤	Fb-9×100	627	32	4.4	140.8	〃	〃
⑥	〃	377	32	2.7	86.4	〃	〃
⑦	PL-9×900	760	16	8.1	129.6	〃	添接板
⑧	〃	90	8	1.0	8.0	〃	〃
				小計	5656.0kg		
⑨	D-16	600	112	0.936	104.8	SD345	アンカー鉄筋
⑩	〃	〃	112	0.936	104.8	〃	〃
⑪	〃	300	112	0.468	52.4	〃	〃
⑫	〃	200	112	0.312	34.9	〃	〃
				小計	296.9kg		
				合計	5952.9kg		

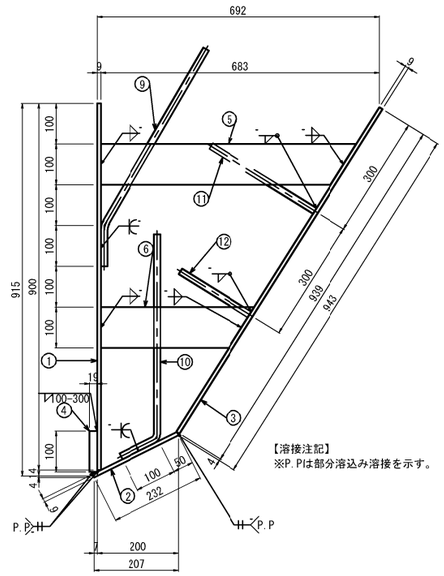
分割図　S=1:125



現場継手部詳細図　S=1:25



断面図　S=1:15

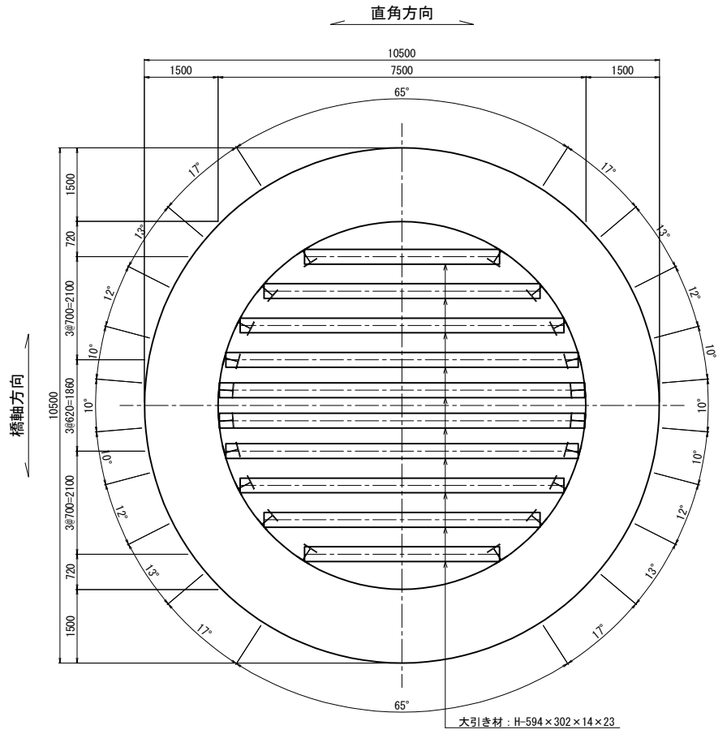


【溶接注記】
※P.Pは部分溶込み溶接を示す。

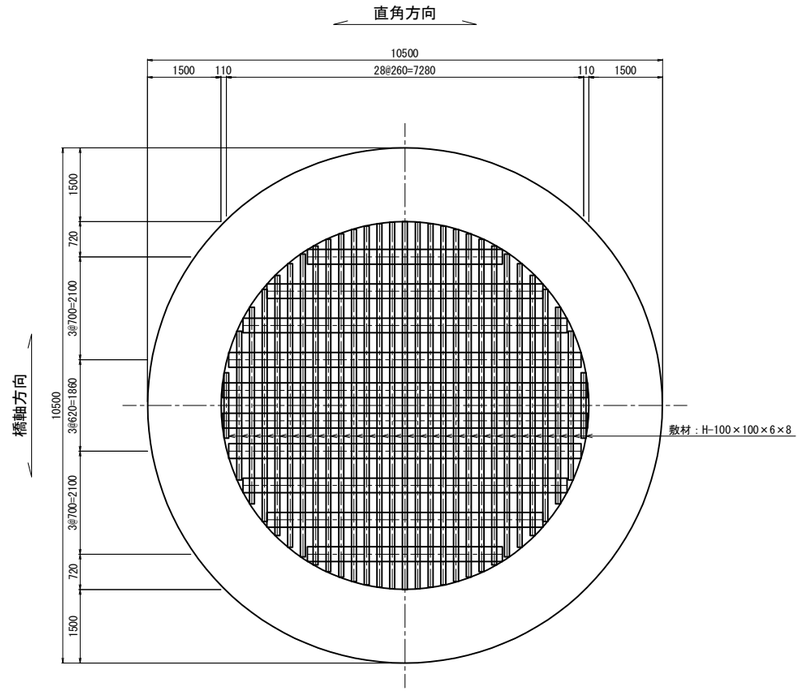
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚 オープンケーソン刃口金物図		
縮　　尺	図 示	図面番号	80 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P1橋脚オープンケーソン頂版支保工図　S=1:250

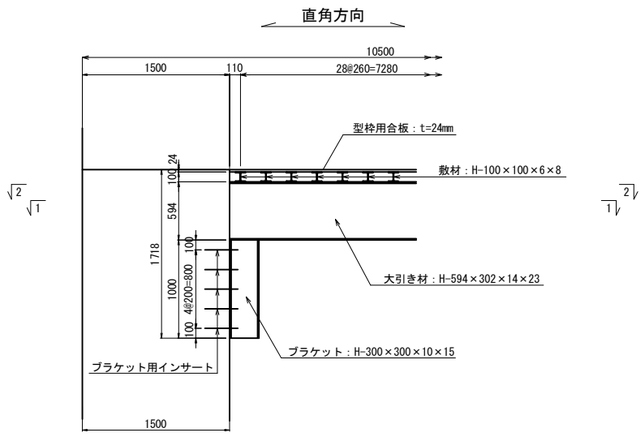
1 － 1



2 － 2



3 － 3



材 料 表

種　別	寸法	長 さ (m)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
大引き材	H-594×302×14×23	7.44	2	170.0	1264.8	2530	SS400
〃	〃	7.18	2	170.0	1220.6	2441	〃
〃	〃	6.60	2	170.0	1122.0	2244	〃
〃	〃	5.63	2	170.0	957.1	1914	〃
〃	〃	3.98	2	170.0	676.6	1353	〃
					小計	10482 kg	
敷　材	H-100×100×6×8	7.50	1	16.9	126.8	127	SS400
〃	〃	7.47	2	16.9	126.2	252	〃
〃	〃	7.41	2	16.9	125.2	250	〃
〃	〃	7.31	2	16.9	123.5	247	〃
〃	〃	7.18	2	16.9	121.3	243	〃
〃	〃	7.00	2	16.9	118.3	237	〃
〃	〃	6.77	2	16.9	114.4	229	〃
〃	〃	6.50	2	16.9	109.9	220	〃
〃	〃	6.17	2	16.9	104.3	209	〃
〃	〃	5.78	2	16.9	97.7	195	〃
〃	〃	5.31	2	16.9	89.7	179	〃
〃	〃	4.73	2	16.9	79.9	160	〃
〃	〃	4.01	2	16.9	67.8	136	〃
〃	〃	3.03	2	16.9	51.2	102	〃
〃	〃	1.34	2	16.9	22.6	45	〃
					小計	2831 kg	
ブラケット	H-300×300×10×15	1.00	20	93.0	93.0	1860	SS400
					小計	1860 kg	
					鋼材合計	15173 kg	

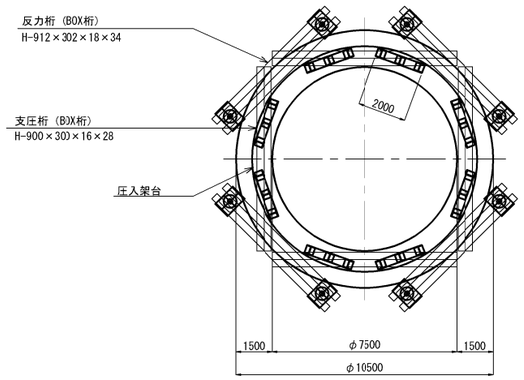
型枠用合板　t＝24mm　A＝44.2m2

ブラケット用インサート（M22　F10T）　L＝300mm　n＝200本（1箇所あたり10本）

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマムJI橋 P1橋脚オープンケーソン頂版支保工図		
縮　尺	図 示	図面番号	81 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

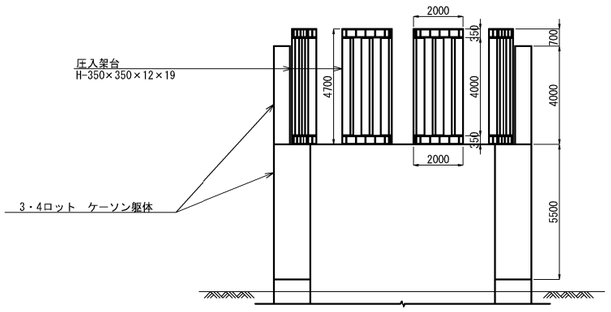
P1橋脚オープンケーソン圧入架台図　S=1:250

圧入架台配置平面図



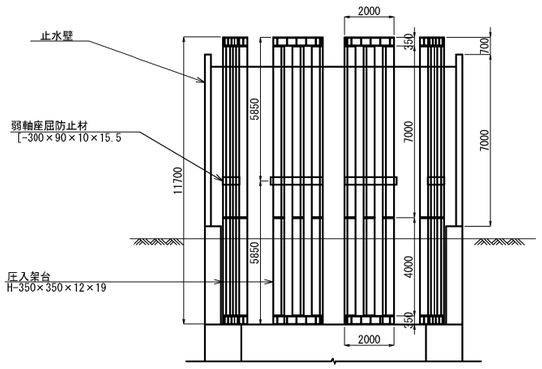
圧入架台配置側面図

3･4ロット施工



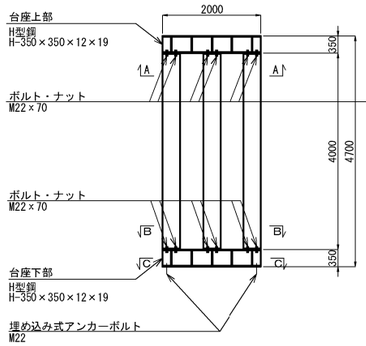
圧入架台配置側面図

止水壁施工

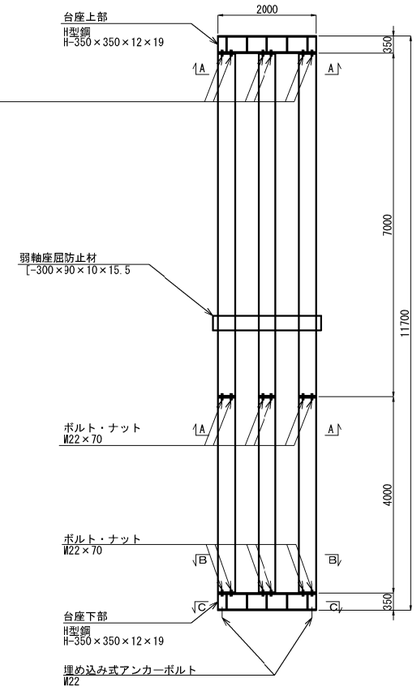


架台部材詳細図　S=1:125

3・4ロット

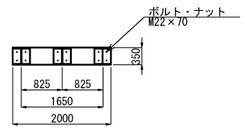


止水壁



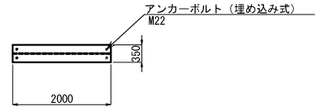
A-A、B-B断面図

3・4ロット、止水壁共通



C-C断面図

3・4ロット、止水壁共通



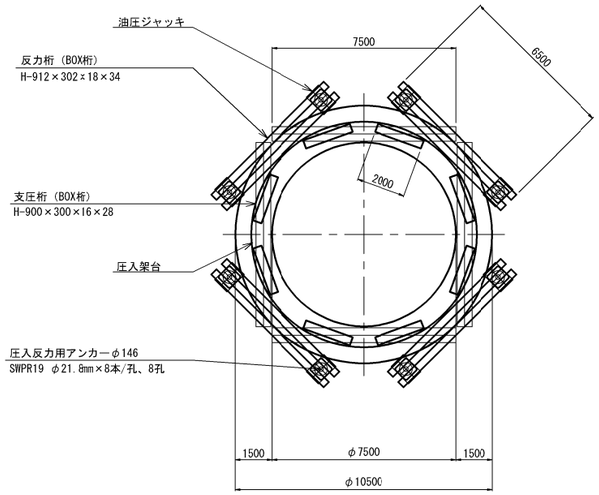
圧入架台数量表

名称	規格	長さ（m）	数量	単位質量	質量（kg）	備考
山留材（柱材）	H-350×350×12×19	7.00	24 本	135 kg/m	22,680	
山留材（柱材）	H-350×350×12×19	4.00	24 本	135 kg/m	12,960	
山留材（台座）	H-350×350×12×19	2.00	16 本	135 kg/m	4,320	上下
	PL-16×312×169		160 枚	6.62 kg/枚	1,059	
座屈防止材	[-300×90×10×15.5	2.20	8 本	43.8 kg/m	771	
ボルト・ナット	M22×70		288 組			
ｱﾝｶｰ・ﾎﾞﾙﾄ	M22（埋め込み式）		32 組			ｱﾝｶｰ,ﾎﾞﾙﾄｾｯﾄ
計					41,790	

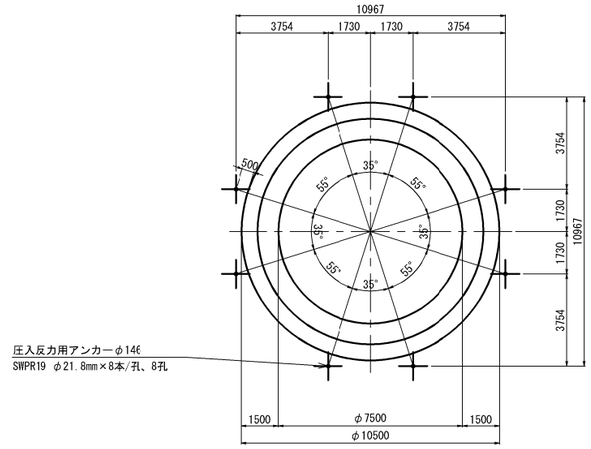
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚オープンケーソン圧入架台図		
縮　尺	図 示	図面番号	82 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

P1橋脚オープンケーソン圧入装置図　S=1:250

平面図
(3～5ロット時)



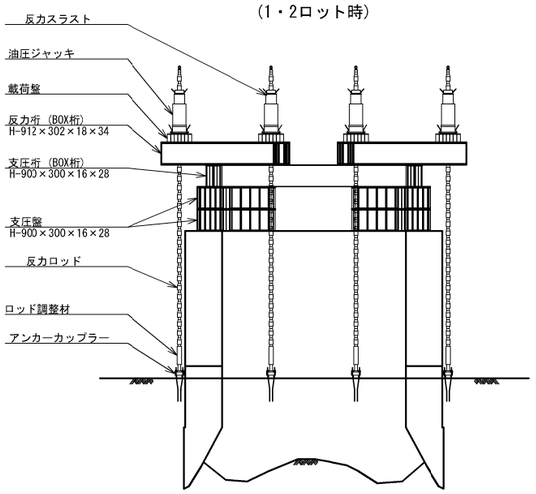
圧入反力用アンカー位置図

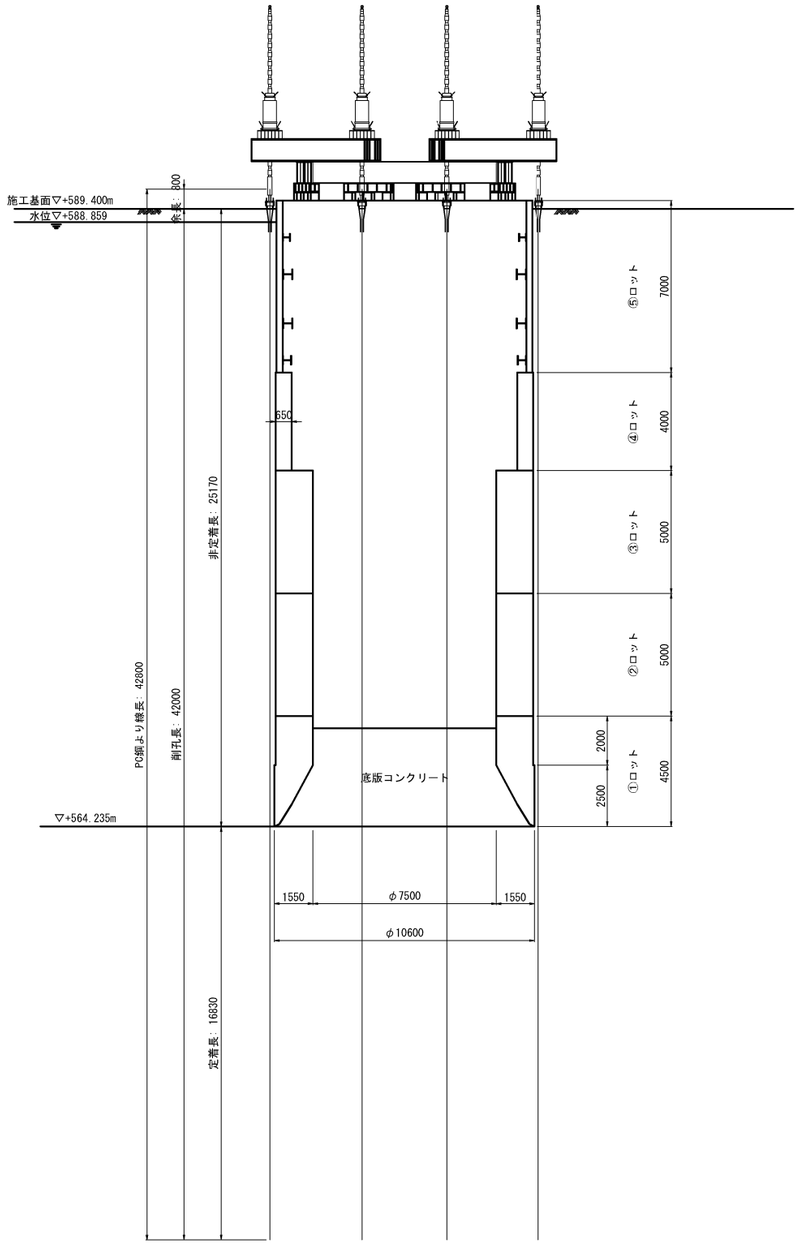


圧入反力用アンカー仕様表(参考)

項目	単位	数量	備考
設計耐力	kN	2,900	
打設本数	本	8	φ146mm
削孔径	mm	146	
削孔長	m	42.000	
定着長	m	16.830	
非定着長	m	25.170	
鋼線長	m	42.800	余長 0.80m
テンドン構成	本/孔	8	φ21.8mm

圧入機材配置側面図
(1・2ロット時)





圧入機材数量表(参考)

名 称	能 力	数 量	単位質量	質量(kg)	備 考
油圧パワーユニット	69 MPa	1 台	2,700 kg/台	2,700	
油圧ジャッキ	3,000 kN	8 台	900 kg/台	7,200	
反力スラスト	3,000 kN	8 台	555 kg/台	4,440	
載荷盤	3,000 kN	8 台	350 kg/台	2,800	
反力ロッド	3,000 kN	88 本	150 kg/本	13,200	
ロッド調整材	3,000 kN	8 本	160 kg/本	1,280	
アンカーカップラー		8 個	205 kg/個	1,640	φ21.8x8本
油圧ホース		480 m			φ9mm
合 計				33,260	

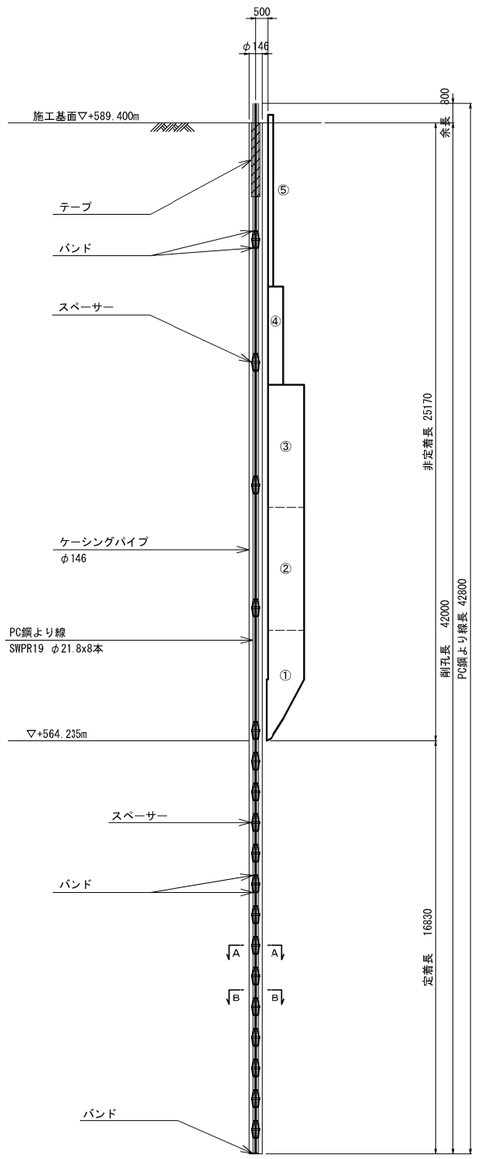
圧入桁数量表(参考)

名 称	呼 名	長さ(m)	数 量	単位質量	質量(kg)	備 考
反 力 桁	H-912x302x18x34	6.500	8 本	283 kg/m	14,716	
補 強 材	PL-16x844x6500		16 枚	689 kg/枚	11,024	垂直補剛材
支 圧 桁	H-900x300x16x28	7.500	8 本	240 kg/m	14,400	
補 強 材	PL-19x844x7500		16 枚	795 kg/枚	12,720	垂直補剛材
支 圧 盤	H-900x300x16x28	2.000	16 本	240 kg/m	7,680	
補 強 材	PL-16x844x142		160 枚	15.05 kg/枚	2,408	垂直補剛材
合 計					62,948	

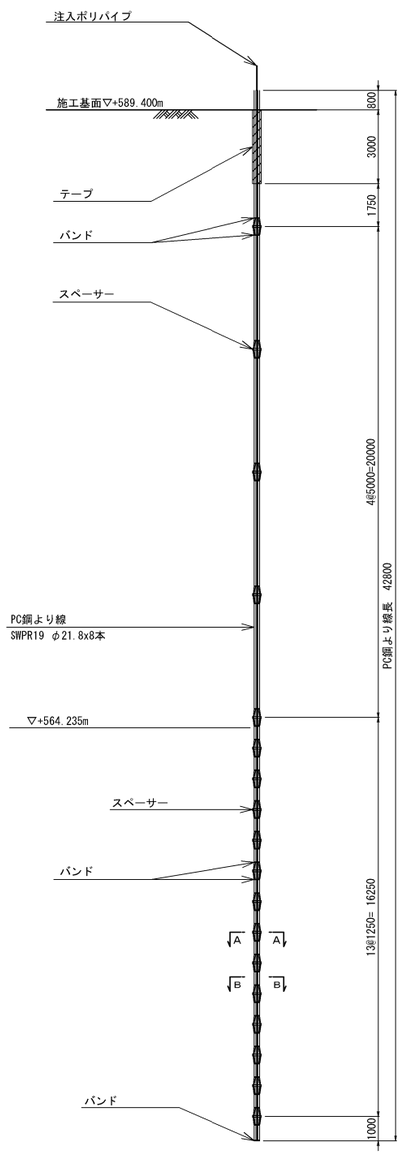
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマムJH橋 P1橋脚オープンケーソン圧入装置図		
縮　　尺	図 示	図面番号	83 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

P1橋脚オープンケーソン圧入反力用アンカー図　S=1:250

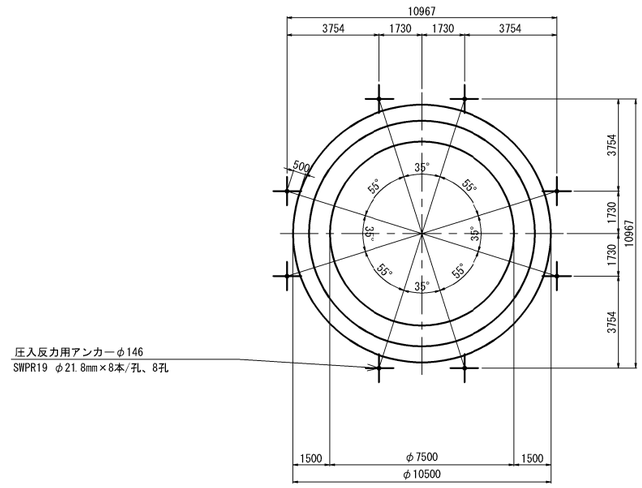
断　面　図



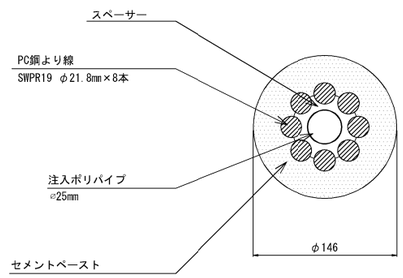
PC鋼より線組立図



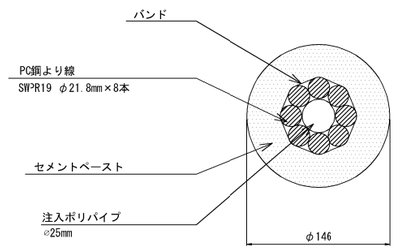
アンカー位置平面図



アンカー体Ａ－Ａ断面図　S=1:6.25



アンカー体Ｂ－Ｂ断面図　S=1:6.25



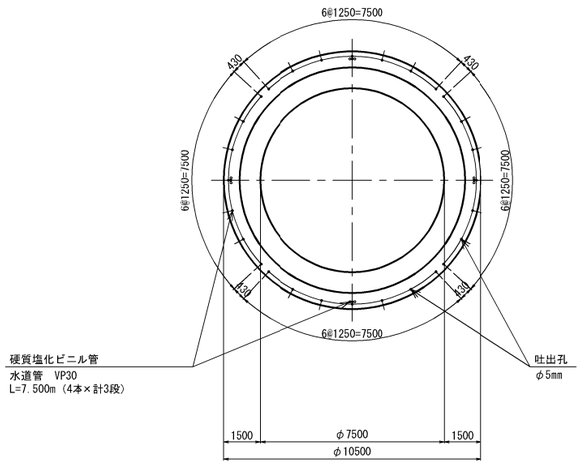
圧入反力用アンカー数量表

名　称	呼　名	長さ（m）	数量	単位質量	質量（kg）	備　考
PC鋼より線	SWPR19　φ21.8mm	42.80	64 本	2.482　Kg/m	6,799	
スペーサー			144 個			
バンド			296 個			
注入ポリパイプ		43.80	8 本			鋼線長＋1.0m

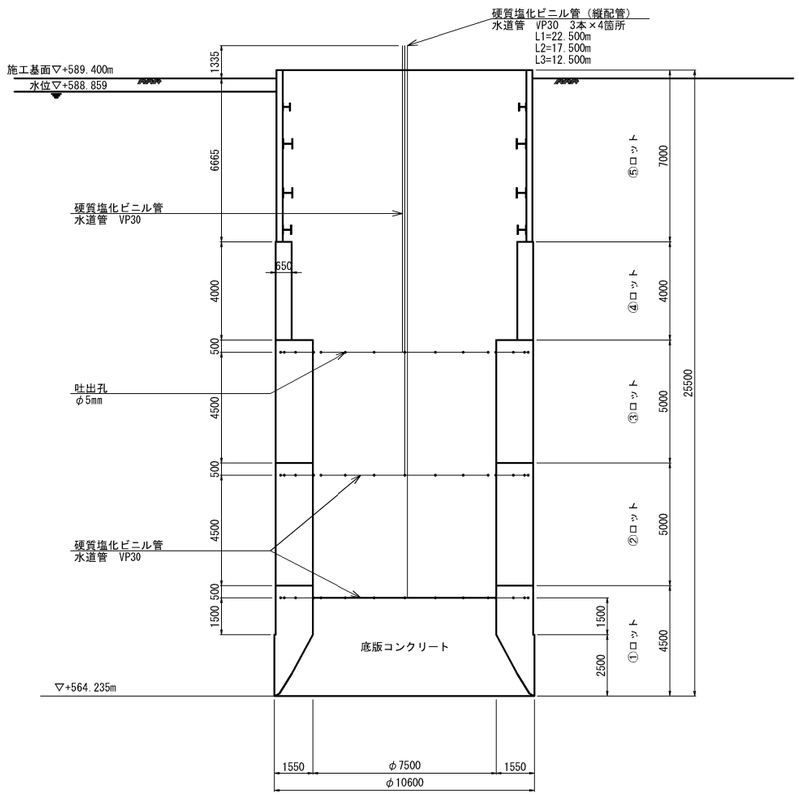
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚オープンケーソン圧入反力用アンカー図		
縮　　尺	図示	図面番号	84 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

P1橋脚オープンケーソン注入配管図　S=1:250

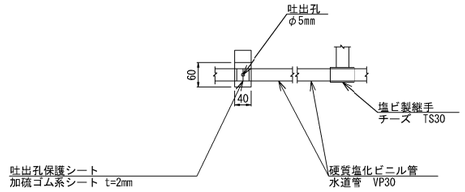
平面図

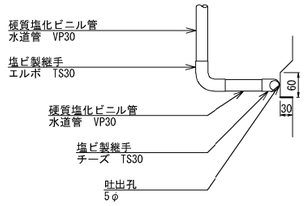


断面図



配管詳細図



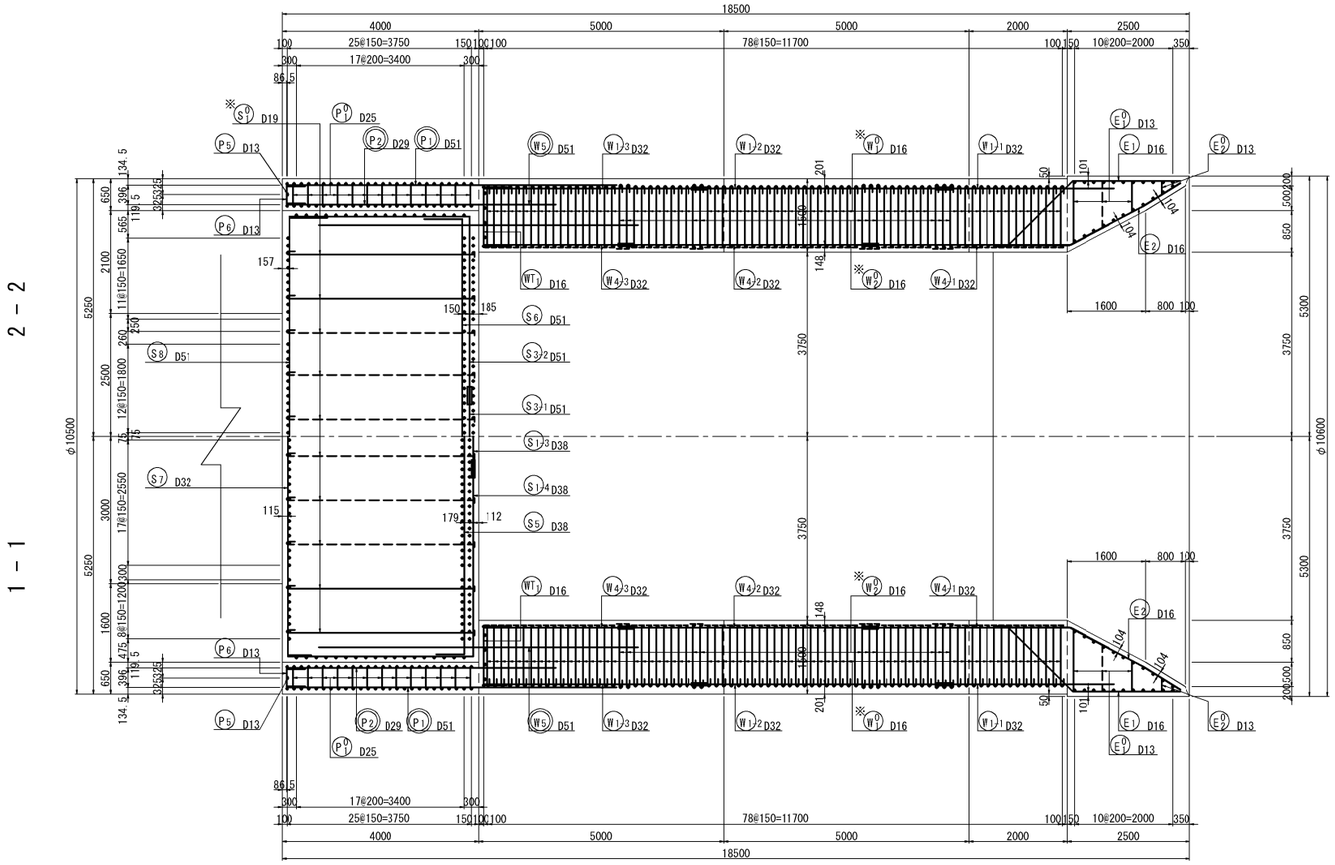


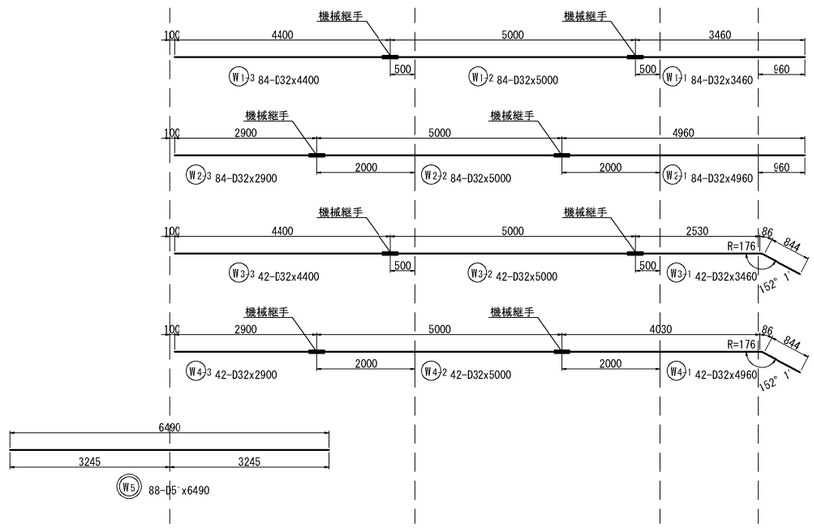
材料表

名称	規格		単位	数量	備考
硬質塩化ビニル管	水道管	VP30	m	300	(22.5+17.5+12.5)×4 +7.5×4×3
塩ビ製継手	チーズ	TS30	個	12	
	ソケット	TS30	個	60	
	キャップ	TS30	個	24	
	バルブソケット	TS30	個	12	
	エルボ 90°	TS30	個	12	
吐出孔	5φ		箇所	84	
吐出保護シート	加硫ゴム系シート　t=2mm		m2	0.84	100×100×84

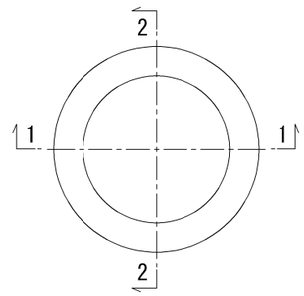
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマムJI橋 PI橋脚オープンケーソン注入配管図		
縮　尺	図 示	図面番号	85 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚オープンケーソン配筋図（その1）　S=1:125





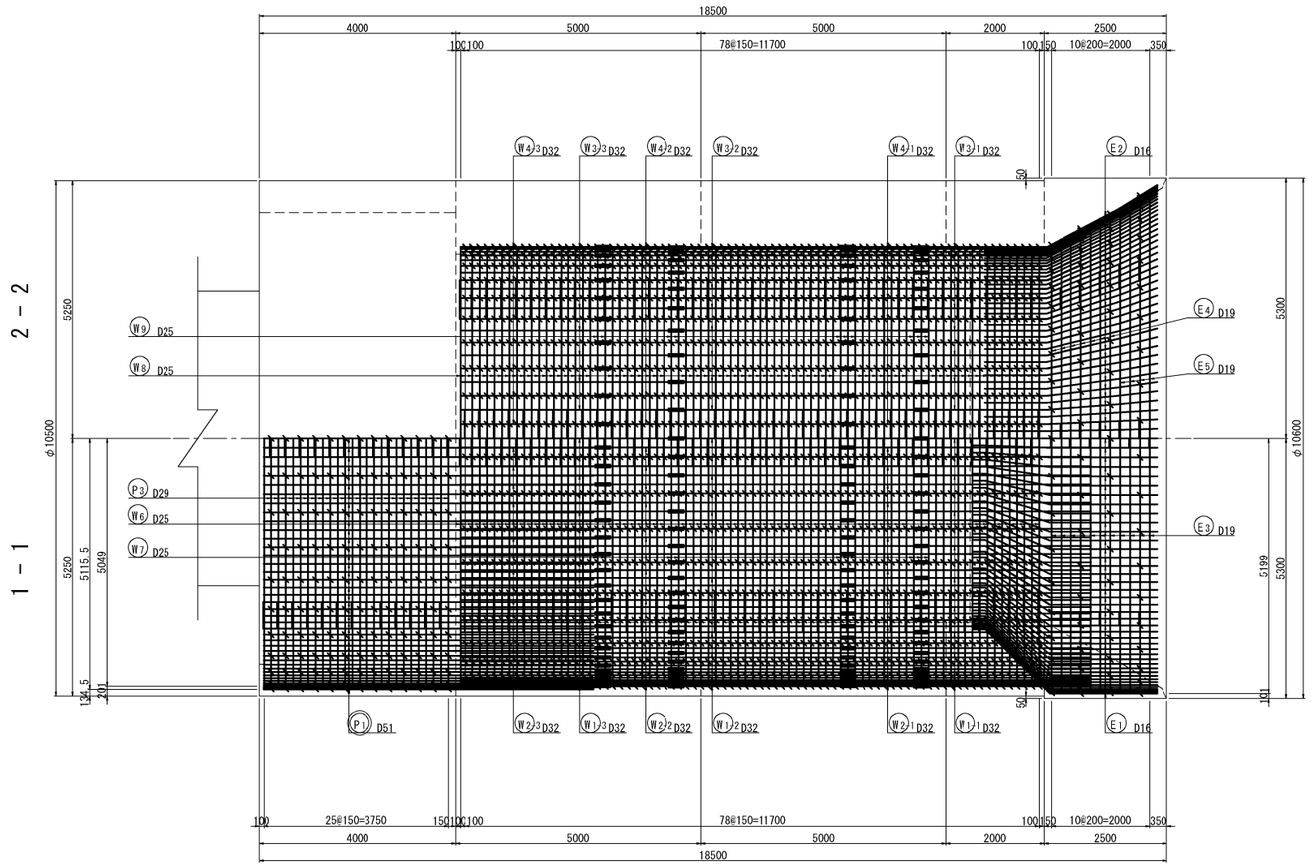
位置図



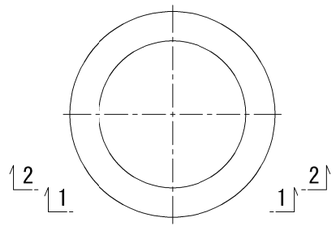
注1) ◎　鉄筋はSD490とする。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン配筋図（その1）		
縮　　尺	図 示	図面番号	86 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚オープンケーソン配筋図（その2）　S=1:125



位 置 図

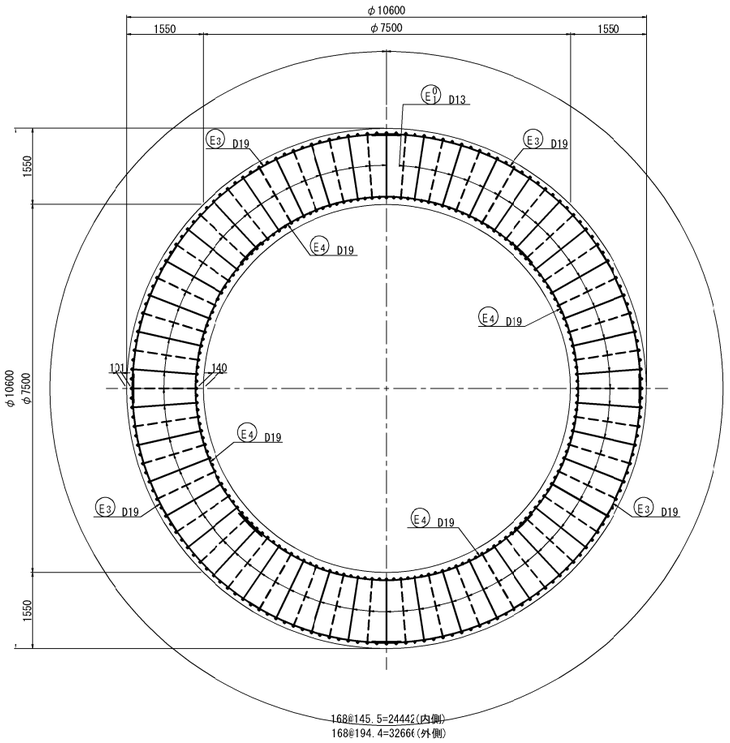


注1)◎　鉄筋はSD490とする。

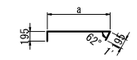
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン配筋図（その2）		
縮　　尺	図 示	図面番号	87 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚オープンケーソン配筋図（その3）　S=1:125

1 － 1



変化鉄筋表

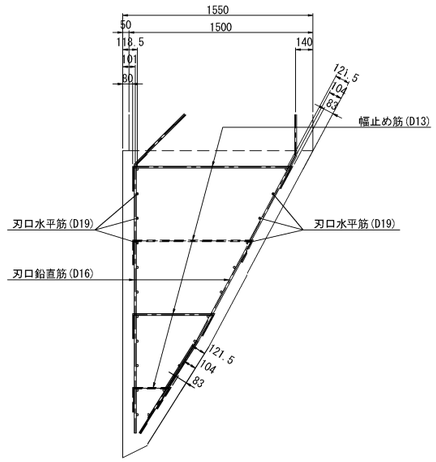


E1 126-D13x1300(平均長)

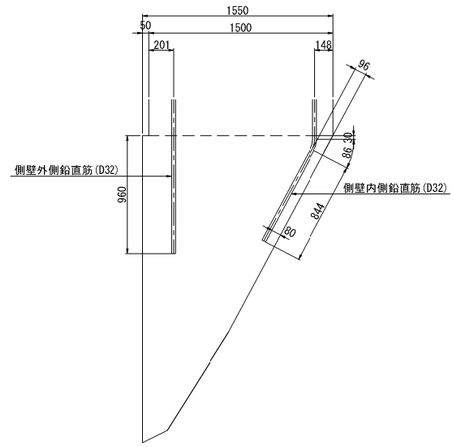
記号	径	本数	a	L
1	D13	42	1291	1620
2	〃	42	972	1300
3	〃	42	653	980
平均		126		1300

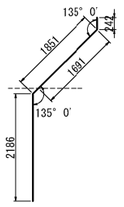
E2 42-D13x610

かぶり詳細図　S=1:50

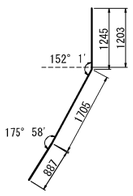


刃口部

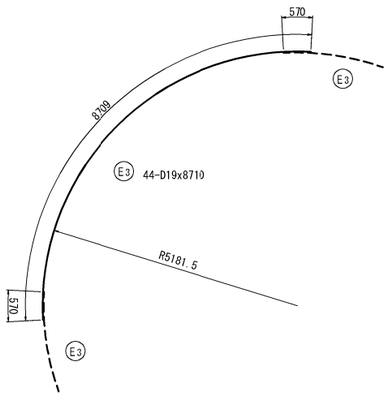




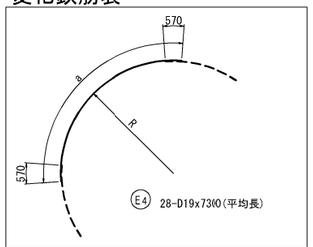
E1 168-D16x4270



E2 168-D16x3840



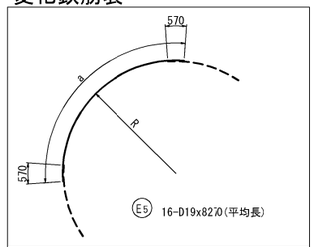
変化鉄筋表



E4 28-D19x7300(平均長)

記号	径	本数	R	a	L
1	D19	4	3967	6801	6800
2	〃	4	4074	6969	6970
3	〃	4	4180	7136	7140
4	〃	4	4286	7302	7300
5	〃	4	4392	7469	7470
6	〃	4	4499	7637	7640
7	〃	4	4605	7804	7800
平均		28			7300

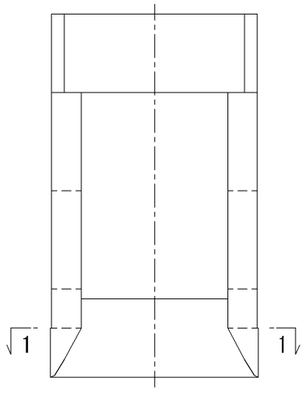
変化鉄筋表



E5 16-D19x8270(平均長)

記号	径	本数	R	a	L
1	D19	4	4712	7972	7970
2	〃	4	4837	8168	8170
3	〃	4	4962	8364	8360
4	〃	4	5087	8561	8560
平均		16			8270

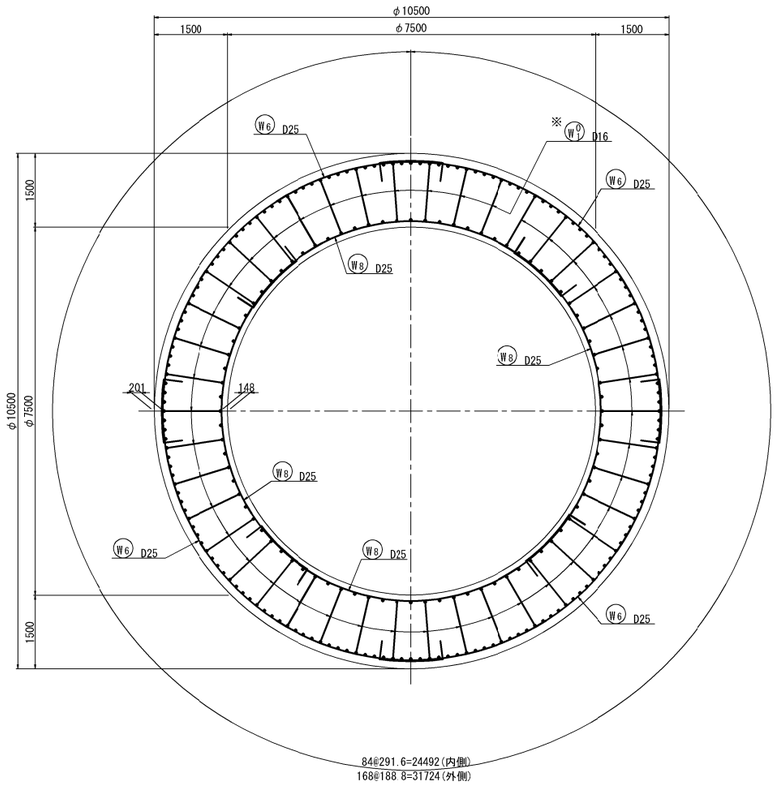
位 置 図



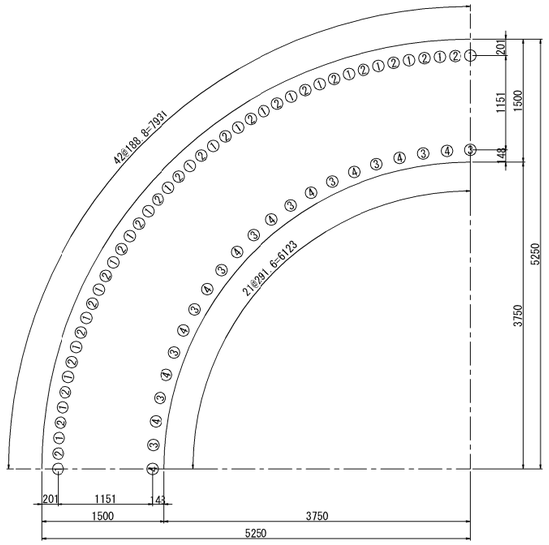
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン配筋図（その3）		
縮　　尺	図 示	図面番号	88 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚オープンケーソン配筋図（その4）　S=1:125

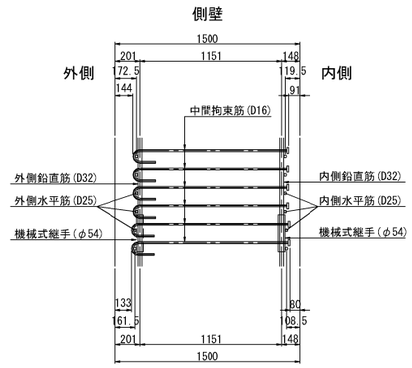
1 － 1

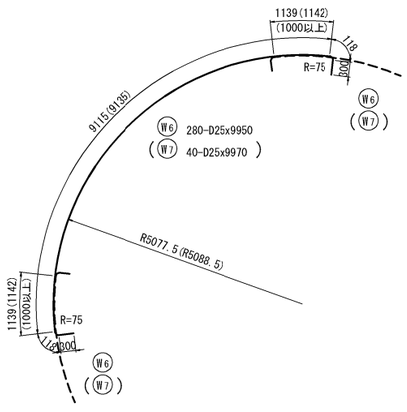


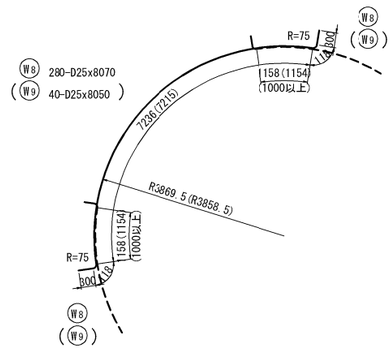
側壁鉛直筋配置図　S=1:75

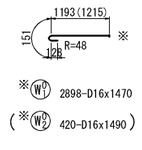


かぶり詳細図　S=1:50

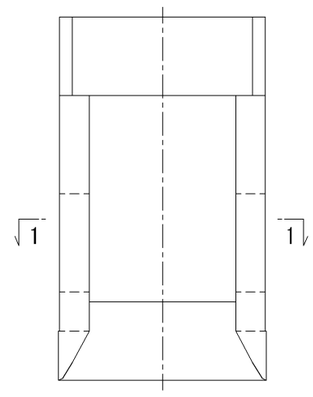








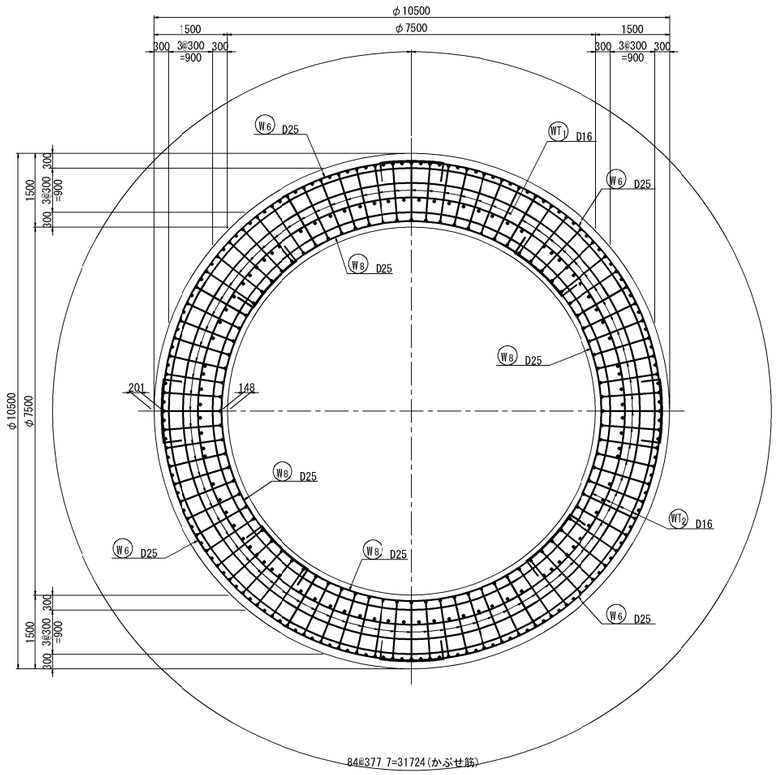
位 置 図



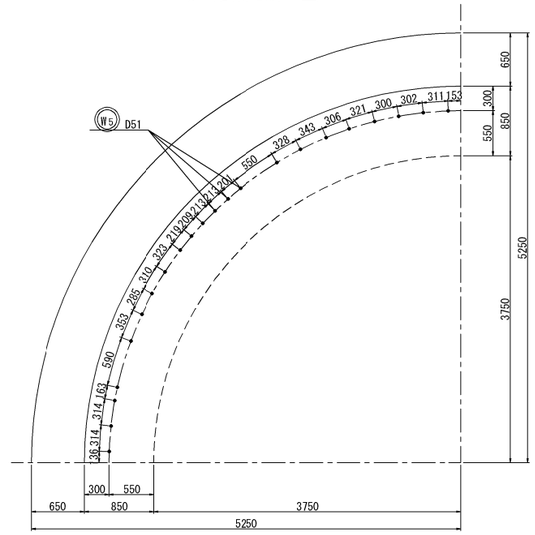
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン配筋図（その4）		
縮　　尺	図 示	図面番号	89 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚オープンケーソン配筋図（その5）　S=1:125

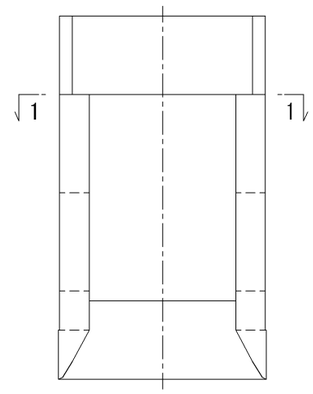
1 － 1

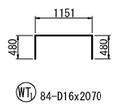


連結筋配置図 S=1:75

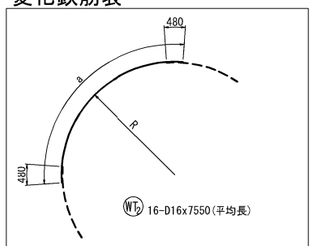


位 置 図





変化鉄筋表



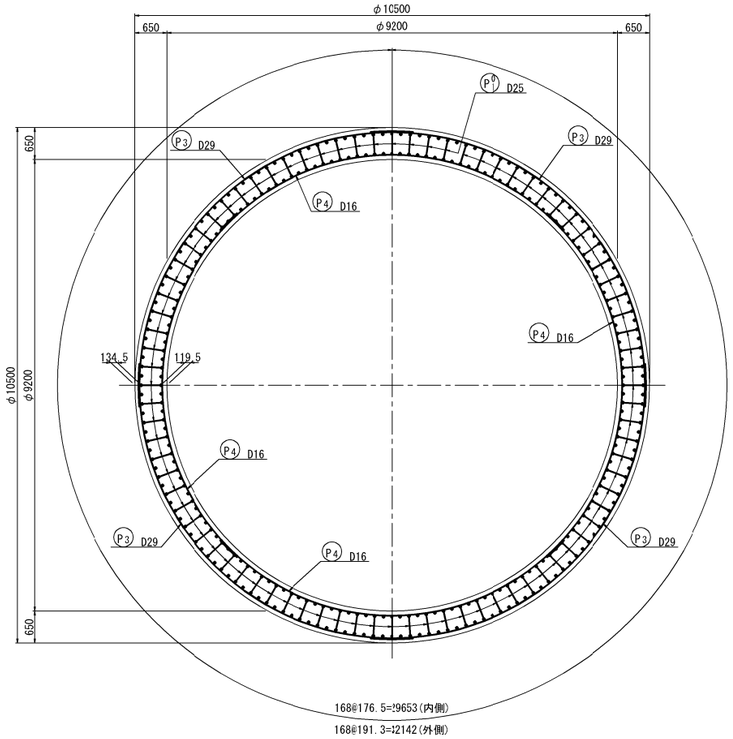
記号	径	本数	R	ε	L
1	D16	4	4050	6842	6840
2	〃	4	4350	7313	7310
3	〃	4	4650	7784	7780
4	〃	4	4950	8255	8260
平均		16			7550

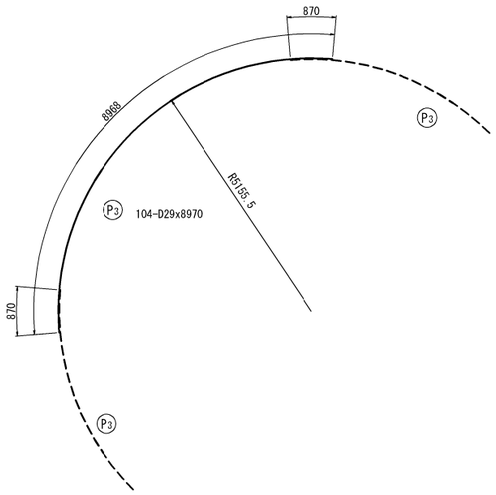
注1)◎　鉄筋はSD490とする。

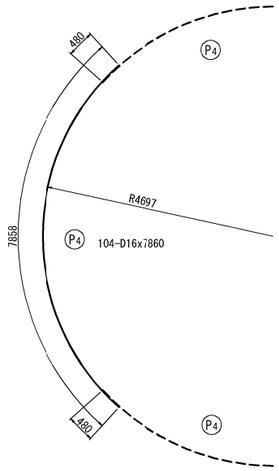
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン配筋図（その5）		
縮　　尺	図 示	図面番号	90 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚オープンケーソン配筋図（その6）　S=1:125

1 － 1

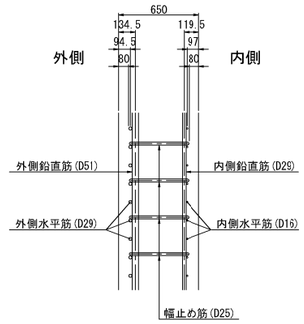




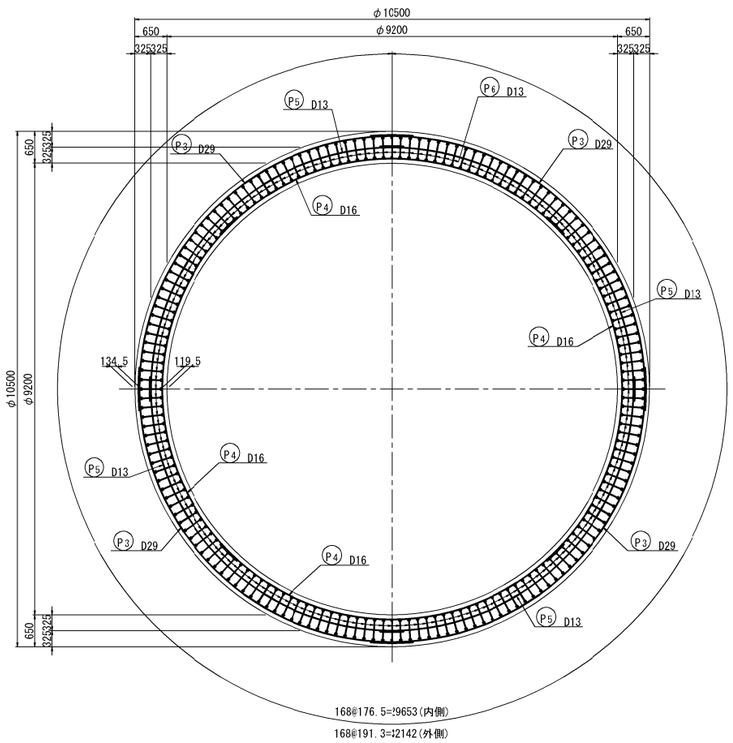


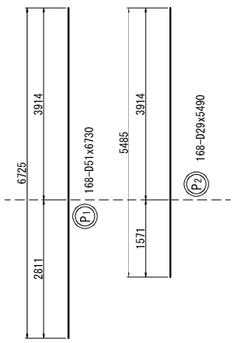
かぶり詳細図 S=1:50

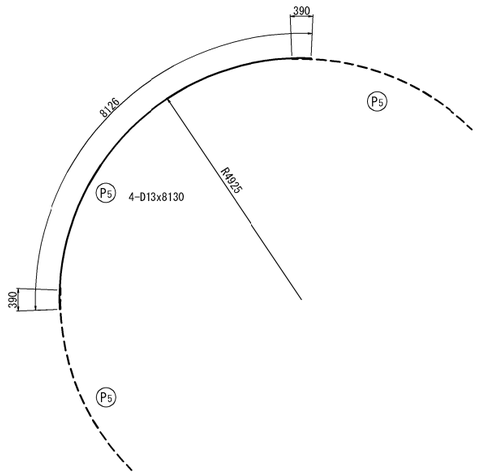
パラペット部



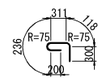
2 － 2





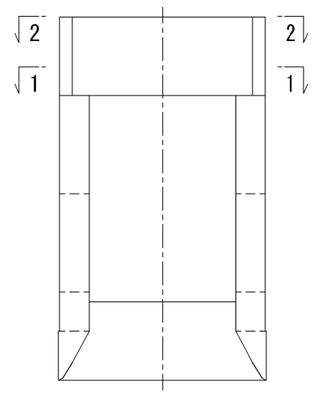


P5 168-D13x1140



P6 1092-D25x1170

位 置 図

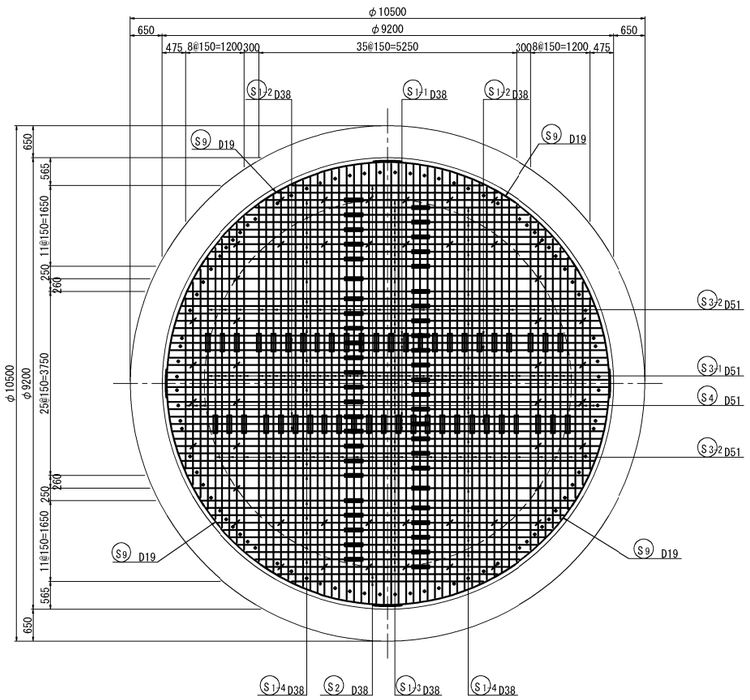


注1) ◯　鉄筋はSD490とする。

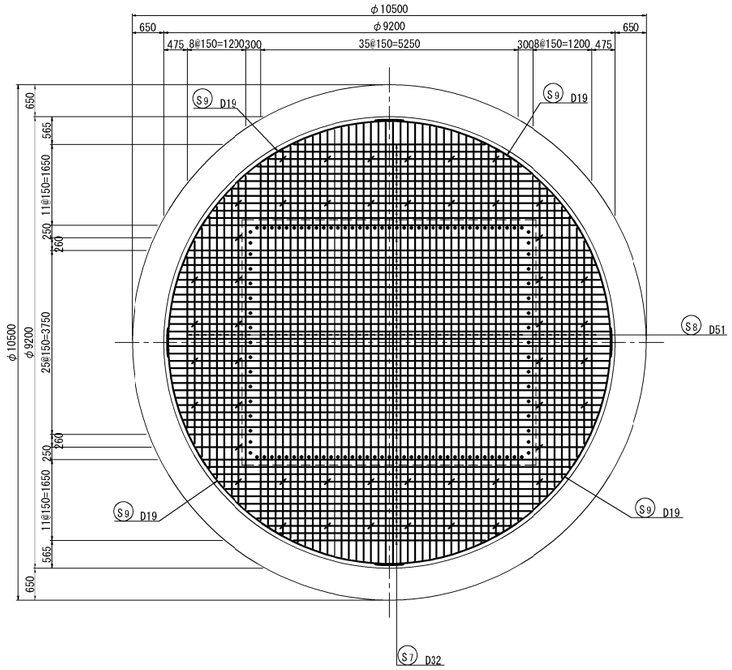
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン配筋図（その6）		
縮　　尺	図 示	図面番号	91 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚オープンケーソン配筋図（その7）　S=1:125

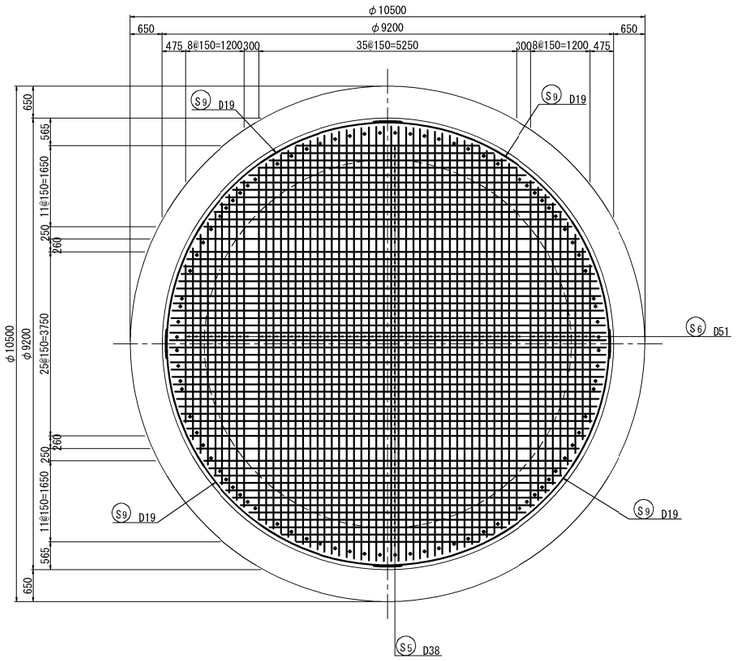
1 － 1



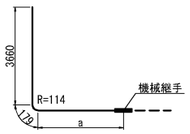
3 － 3



2 － 2



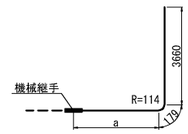
変化鉄筋表



S1-1 6-D38x8810(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D38	2	4941	8780
2	〃	2	4971	8810
3	〃	2	4997	8840
平均		6		8810

変化鉄筋表

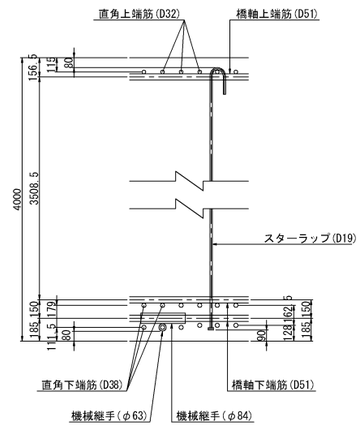


S1-2 6-D38x7450(平均長)

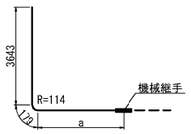
記号	径	本数	a	L
1	D38	2	3581	7420
2	〃	2	3611	7450
3	〃	2	3637	7480
平均		6		7450

かぶり詳細図　S=1:50

頂版部



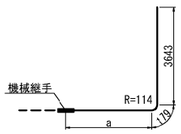
変化鉄筋表



S1-3 42-D38x8170(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D38	2	3044	6870
2	〃	2	3256	7080
3	〃	2	3445	7270
4	〃	2	3615	7440
5	〃	2	3769	7590
6	〃	2	3909	7730
7	〃	2	4037	7860
8	〃	2	4155	7980
9	〃	2	4262	8080
10	〃	2	4361	8180
11	〃	2	4507	8330
12	〃	2	4637	8460
13	〃	2	4703	8530
14	〃	2	4762	8580
15	〃	2	4815	8640
16	〃	2	4863	8690
17	〃	2	4905	8730
18	〃	2	5017	8840
19	〃	2	5032	8850
20	〃	2	5042	8860
21	〃	2	5047	8870
平均		42		8170

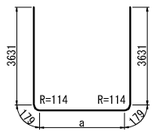
変化鉄筋表



S1-4 42-D38x6810(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D38	2	1684	5510
2	〃	2	1896	5720
3	〃	2	2085	5910
4	〃	2	2255	6080
5	〃	2	2409	6230
6	〃	2	2549	6370
7	〃	2	2677	6500
8	〃	2	2795	6620
9	〃	2	2902	6720
10	〃	2	3001	6820
11	〃	2	3147	6970
12	〃	2	3277	7100
13	〃	2	3343	7170
14	〃	2	3402	7220
15	〃	2	3455	7280
16	〃	2	3503	7330
17	〃	2	3545	7370
18	〃	2	3657	7480
19	〃	2	3672	7490
20	〃	2	3682	7500
21	〃	2	3687	7510
平均		42		6810

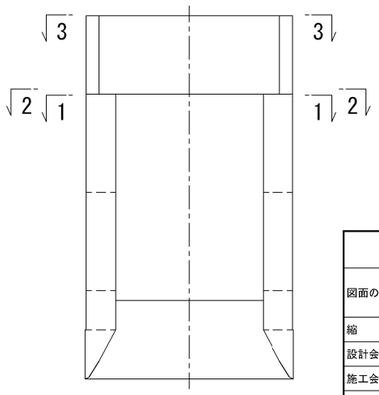
変化鉄筋表



S2 4-D38x11580(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D38	2	3674	11290
2	〃	2	4242	11860
平均		4		11580

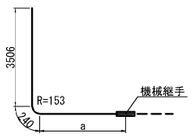
位 置 図



道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン配筋図（その7）		
縮　尺	図 示	図面番号	92 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚オープンケーソン配筋図（その8）　S=1:125

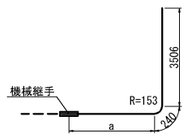
変化鉄筋表



S3-1 48-D51x8310(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D51	2	3231	6980
2	〃	2	3435	7180
3	〃	2	3616	7360
4	〃	2	3780	7530
5	〃	2	3929	7680
6	〃	2	4064	7810
7	〃	2	4302	8050
8	〃	2	4406	8150
9	〃	2	4501	8250
10	〃	2	4588	8330
11	〃	2	4668	8410
12	〃	2	4741	8490
13	〃	2	4807	8550
14	〃	2	4866	8610
15	〃	2	4920	8670
16	〃	2	4967	8710
17	〃	2	5009	8760
18	〃	2	5045	8790
19	〃	2	5076	8820
20	〃	2	5101	8850
21	〃	2	5122	8870
22	〃	2	5137	8880
23	〃	2	5147	8890
24	〃	2	5152	8900
平均		48		8310

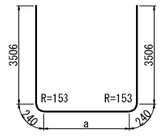
変化鉄筋表



S3-2 48-D51x6650(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D51	2	1571	5320
2	〃	2	1775	5520
3	〃	2	1956	5700
4	〃	2	2120	5870
5	〃	2	2269	6020
6	〃	2	2404	6150
7	〃	2	2642	6390
8	〃	2	2746	6490
9	〃	2	2841	6590
10	〃	2	2928	6670
11	〃	2	3008	6750
12	〃	2	3081	6830
13	〃	2	3147	6890
14	〃	2	3206	6950
15	〃	2	3260	7010
16	〃	2	3307	7050
17	〃	2	3349	7100
18	〃	2	3385	7130
19	〃	2	3416	7160
20	〃	2	3441	7190
21	〃	2	3462	7210
22	〃	2	3477	7220
23	〃	2	3487	7230
24	〃	2	3492	7240
平均		48		6650

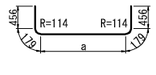
変化鉄筋表



S4 6-D51x11260(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D51	2	3166	10660
2	〃	2	3807	11300
3	〃	2	4341	11830
平均		6		11260

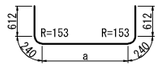
変化鉄筋表



S5 52-D38x8410(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D38	2	3598	4870
2	〃	2	4166	5440
3	〃	2	4651	5920
4	〃	2	5076	6350
5	〃	2	5454	6720
6	〃	2	5794	7060
7	〃	2	6102	7370
8	〃	2	6383	7650
9	〃	2	6639	7910
10	〃	2	6873	8140
11	〃	2	7088	8360
12	〃	2	7285	8560
13	〃	2	7578	8850
14	〃	2	7838	9110
15	〃	2	7969	9240
16	〃	2	8088	9360
17	〃	2	8195	9470
18	〃	2	8290	9560
19	〃	2	8373	9640
20	〃	2	8445	9720
21	〃	2	8507	9780
22	〃	2	8558	9830
23	〃	2	8598	9870
24	〃	2	8629	9900
25	〃	2	8649	9920
26	〃	2	8659	9930
平均		52		8410

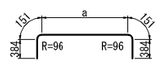
変化鉄筋表



S6 54-D51x4670(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D51	2	3064	4770
2	〃	2	3705	5410
3	〃	2	4239	5940
4	〃	2	4701	6410
5	〃	2	5107	6810
6	〃	2	5471	7180
7	〃	2	5798	7500
8	〃	2	6096	7800
9	〃	2	6367	8070
10	〃	2	6842	8550
11	〃	2	7050	8750
12	〃	2	7240	8940
13	〃	2	7415	9120
14	〃	2	7574	9280
15	〃	2	7720	9420
16	〃	2	7851	9560
17	〃	2	7970	9670
18	〃	2	8077	9780
19	〃	2	8172	9880
20	〃	2	8256	9960
21	〃	2	8328	10030
22	〃	2	8390	10090
23	〃	2	8441	10150
24	〃	2	8481	10190
25	〃	2	8512	10220
26	〃	2	8532	10240
27	〃	2	8542	10250
平均		54		8670

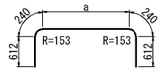
変化鉄筋表



S7 52-D32x8330(平均長)

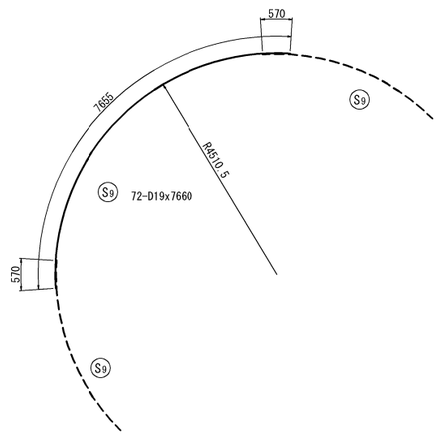
記号	径	本数	a	L
1	D32	2	3724	4790
2	〃	2	4290	5360
3	〃	2	4774	5840
4	〃	2	5198	6270
5	〃	2	5575	6650
6	〃	2	5915	6990
7	〃	2	6223	7290
8	〃	2	6503	7570
9	〃	2	6759	7830
10	〃	2	6993	8060
11	〃	2	7208	8280
12	〃	2	7405	8480
13	〃	2	7696	8770
14	〃	2	7957	9030
15	〃	2	8088	9160
16	〃	2	8207	9280
17	〃	2	8313	9380
18	〃	2	8408	9480
19	〃	2	8491	9560
20	〃	2	8563	9630
21	〃	2	8625	9700
22	〃	2	8676	9750
23	〃	2	8716	9790
24	〃	2	8747	9820
25	〃	2	8767	9840
26	〃	2	8777	9850
平均		52		8330

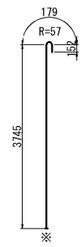
変化鉄筋表



S8 54-D51x8770(平均長)

記号	径	本数	a	L
1	D51	2	3166	4870
2	〃	2	3807	5510
3	〃	2	4341	6050
4	〃	2	4803	6510
5	〃	2	5209	6910
6	〃	2	5573	7280
7	〃	2	5900	7600
8	〃	2	6198	7900
9	〃	2	6469	8170
10	〃	2	6944	8650
11	〃	2	7152	8860
12	〃	2	7342	9050
13	〃	2	7517	9220
14	〃	2	7676	9380
15	〃	2	7822	9530
16	〃	2	7953	9660
17	〃	2	8072	9780
18	〃	2	8179	9880
19	〃	2	8274	9980
20	〃	2	8358	10060
21	〃	2	8430	10130
22	〃	2	8492	10200
23	〃	2	8543	10250
24	〃	2	8583	10290
25	〃	2	8614	10320
26	〃	2	8634	10340
27	〃	2	8644	10350
平均		54		8770





※S9-1 48-D19x4080

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン配筋図（その8）		
縮　　尺	図 示	図面番号	93 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚オープンケーソン配筋図（その9）　S=1:125

鉄筋質量表

	符号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
	E 1	D16	4270	168	1.56	6.66	1119	
	2	D16	3840	168	1.56	5.99	1006	
	3	D19	8710	44	2.25	19.6	862	
	4	D19	7300	28	2.25	16.4	459	(平均長)
	5	D19	8270	16	2.25	18.6	298	(平均長)
	EO 1	D13	1300	126	0.995	1.29	163	(平均長)
	2	D13	610	42	0.995	0.607	25	
							3932 kg	
	W 1-1	D32	3460	84	6.23	21.6	1814	(B) <84>
	1-2	D32	5000	84	6.23	31.2	2621	(B) <84>
	1-3	D32	4400	84	6.23	27.4	2302	(B)
	2-1	D32	4960	84	6.23	30.9	2596	(B) <84>
	2-2	D32	5000	84	6.23	31.2	2621	(B) <84>
	2-3	D32	2900	84	6.23	18.1	1520	(B)
	3-1	D32	3460	42	6.23	21.6	907	(B) <42>
	3-2	D32	5000	42	6.23	31.2	1310	(B) <42>
	3-3	D32	4400	42	6.23	27.4	1151	(B)
	4-1	D32	4960	42	6.23	30.9	1298	(B) <42>
	4-2	D32	5000	42	6.23	31.2	1310	(B) <42>
	4-3	D32	2900	42	6.23	18.1	760	(B)
SD490	5	D51	6490	88	15.9	103	9064	
	6	D25	9950	280	3.98	39.6	11088	
	7	D25	9970	40	3.98	39.7	1588	
	8	D25	8070	280	3.98	32.1	8988	
	9	D25	8050	40	3.98	32.0	1280	
※	WO 1	D16	1470	2898	1.56	2.29	6636	(C)
※	2	D16	1490	420	1.56	2.32	974	(C)
	WT 1	D16	2070	84	1.56	3.23	271	
	2	D16	7550	16	1.56	11.8	189	(平均長)
							60288 kg	
SD490	P 1	D51	6730	168	15.9	107	17976	
SD490	2	D29	5490	168	5.04	27.7	4654	
	3	D29	8970	104	5.04	45.2	4701	
	4	D16	7860	104	1.56	12.3	1279	
	5	D13	8130	4	0.995	8.09	32	
	6	D13	1140	168	0.995	1.13	190	
	PO 1	D25	1170	1092	3.98	4.66	5089	
							33921 kg	

符号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
S 1-1	D38	8810	6	8.95	78.8	473	(6)(B) (平均長)
1-2	D38	7450	6	8.95	66.7	400	(B) (平均長)
1-3	D38	8170	42	8.95	73.1	3070	(42)(B) (平均長)
1-4	D38	6810	42	8.95	60.9	2558	(B) (平均長)
2	D38	11580	4	8.95	104	416	(平均長)
3-1	D51	8310	48	15.9	132	6336	(48)(B) (平均長)
3-2	D51	6650	48	15.9	106	5088	(B) (平均長)
4	D51	11260	6	15.9	179	1074	(平均長)
5	D38	8410	52	8.95	75.3	3916	(平均長)
6	D51	8670	54	15.9	138	7452	(平均長)
7	D32	8330	52	6.23	51.9	2699	(平均長)
8	D51	8770	54	15.9	139	7506	(平均長)
9	D19	7660	72	2.25	17.2	1238	
※ SO 1	D19	4080	48	2.25	9.18	441	(C)
						42667 kg	

SD345	A	B	C	A+B+C
合計 D51	16032 kg	11424 kg	–	27456 kg
D38	4332 kg	6501 kg	–	10833 kg
D32	2699 kg	20210 kg	–	22909 kg
D29	4701 kg	–	–	4701 kg
D25	28033 kg	–	–	28033 kg
D19	2857 kg	–	441 kg	3298 kg
D16	3864 kg	–	7610 kg	11474 kg
D13	410 kg	–	–	410 kg
総質量	62928 kg	38135 kg	8051 kg	109114 kg

SD490	A	B	C	A+B+C
合計 D51	27040 kg	–	–	27040 kg
D38	–	–	–	–
D32	–	–	–	–
D29	4654 kg	–	–	4654 kg
D25	–	–	–	–
D19	–	–	–	–
D16	–	–	–	–
D13	–	–	–	–
総質量	31694 kg	–	–	31694 kg

鉄筋集計表(SD345)

種別	径(mm)		質量(kg)	合計(kg)
A	D13		410	410
	D16～D25	D16	3864	
		D19	2857	
		D22	—	
		D25	28033	34754
	D29～D32	D29	4701	
		D32	2699	7400
	D35		—	—
	D38		4332	4332
	D41		—	—
	D51		16032	16032
	計			62928
B	D16～D25	D16	—	
		D19	—	
		D22	—	
		D25	—	—
	D29～D32	D29	—	
		D32	20210	20210
	D35		—	—
	D38		6501	6501
	D41		—	—
	D51		11424	11424
	計			38135
C	D13		—	—
	D16～D25	D16	7610	
		D19	441	
		D22	—	
		D25	—	8051
	D29～D32	D29	—	
		D32	—	—
	D35		—	—
	D38		—	—
	D41		—	—
	D51		—	—
	計			8051
合計				109114
継手箇所数	D19～D25	D19	—	
		D22	—	
		D25	—	—
	ガス圧接合計			
	D29～D35	D29	—	
		D32	504	
		D35	—	504
	D38～D51	D38	48	
		D41	—	
		D51	48	96
	機械継手合計			600

鉄筋集計表(SD490)

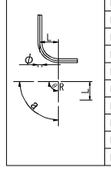
種別	径(mm)		質量(kg)	合計(kg)
A(H)	D13		—	—
	D16～D25	D16	—	
		D19	—	
		D22	—	
		D25	—	—
	D29～D32	D29	4654	
		D32	—	4654
	D35		—	—
	D38		—	—
	D41		—	—
	D51		27040	27040
	計			31694
B(H)	D16～D25	D16	—	
		D19	—	
		D22	—	
		D25	—	—
	D29～D32	D29	—	
		D32	—	—
	D35		—	—
	D38		—	—
	D41		—	—
	D51		—	—
	計			—
C(H)	D13		—	—
	D16～D25	D16	—	
		D19	—	
		D22	—	
		D25	—	—
	D29～D32	D29	—	
		D32	—	—
	D35		—	—
	D38		—	—
	D41		—	—
	D51		—	—
	計			—
合計				31694
継手箇所数	D19～D25	D19	—	
		D22	—	
		D25	—	—
	ガス圧接合計			
	D29～D35	D29	—	
		D32	—	
		D35	—	—
	D38～D51	D38	—	
		D41	—	
		D51	—	—
	機械継手合計			—

機械式鉄筋定着工法数量表

(箇所)

鉄筋長	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38
0<L≦1m	–	–	–	–	–	–	–	–	–
1<L≦2m	–	3318	–	–	–	–	–	–	–
2<L≦3m	–	–	–	–	–	–	–	–	–
3<L≦4m	–	–	–	–	–	–	–	–	–
4<L≦5m	–	–	48	–	–	–	–	–	–
5<L≦6m	–	–	–	–	–	–	–	–	–
計	–	3318	48	–	–	–	–	–	–

鉄筋曲げ加工表



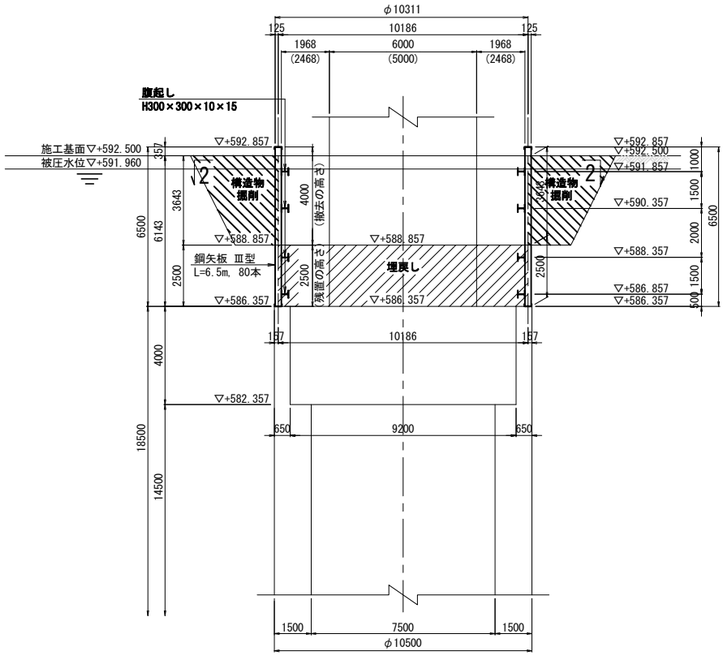
φ	主筋・スターラップ θ≦90° R=3φ	θ>90° R=5.5φ	θ=45° a	θ=45° ΔL	θ=60° a	θ=60° ΔL	θ=90° a	θ=90° ΔL	θ=135° a	θ=135° ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

注）1　ΔL=2L-a
　　2　θ(曲げ角度)

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン配筋図（その9）		
縮尺	1:125	図面番号	94 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚オープンケーソン止水壁詳細図　S=1:250

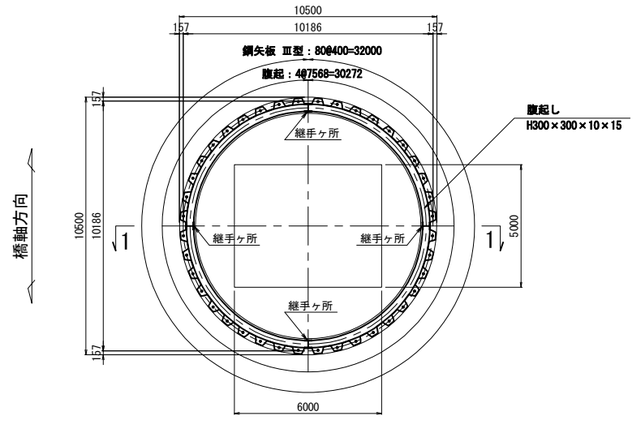
断面図
1 － 1
直角方向



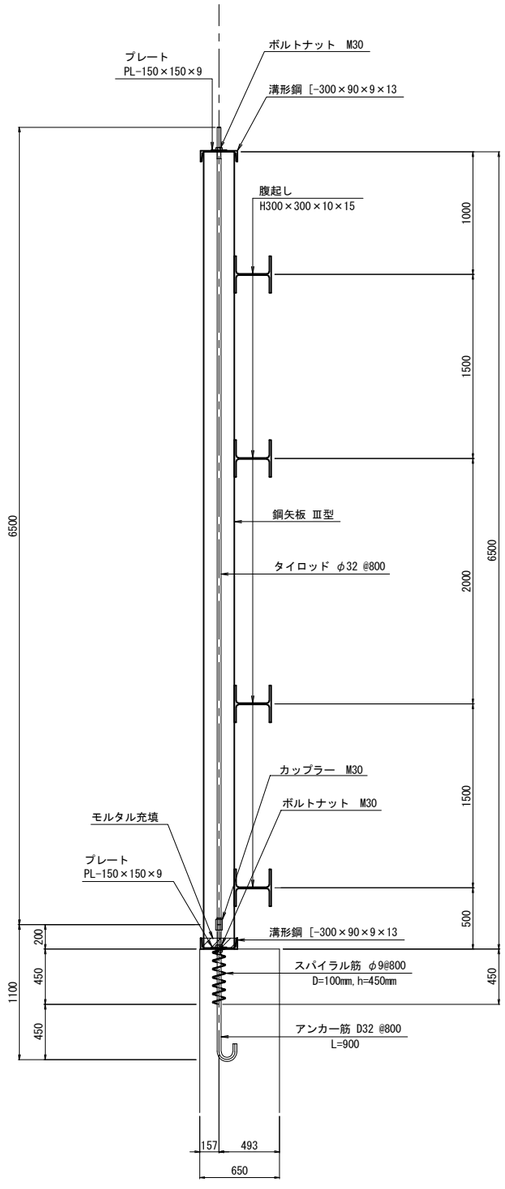
注：( )内は，橋軸方向の値を示す．

※ 構造物撤去(開削)後，腹起しを撤去する．
腹起しを撤去する際，埋戻しを行うこと．
埋戻しの高さは，止水壁下端から4,3段腹起しの0.5m下げた位置とする．
2,1段腹起しを撤去する際，埋戻しの高さは基礎天端から2.5m位置とする．

断面図
2 － 2
直角方向



止水壁詳細図　S=1:50

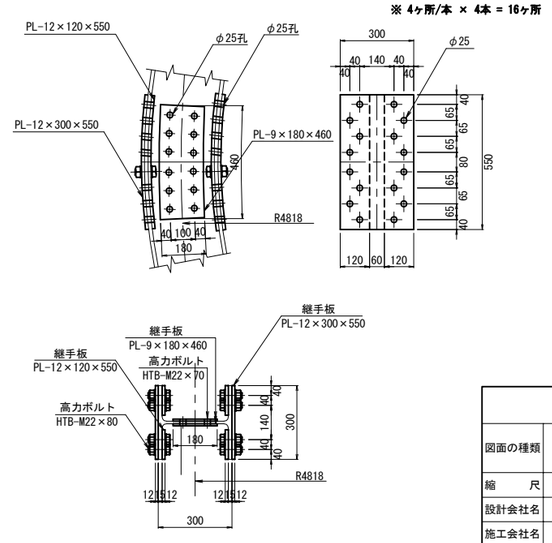


止水壁材料表

名　称	規格・寸法	長さ (m)	数量	単位質量 (kg)	1本当り質量 (kg)	質　量 (kg)	摘　要
鋼矢板	鋼矢板 Ⅲ型	6.50	80	60.0	390.00	31,200	
溝形鋼	[-300×90×9×13	32.00	2	38.1	1,219.20	2,438	購入材
アンカー筋	D32	1.10	40	6.23	6.85	274	ネジ切加工
タイロッド	φ32	6.50	40	6.31	41.02	1,641	ネジ切加工
スパイラル筋	φ 9		40				
カップラー	M30		40				
ナット	M30		80				
プレート	PL-150×150×9		80				
					合計	35,553	kg
腹起し	H-300×300×10×15	30.27	4	93.0	2,815.11	11,260	購入材
					合計	11,260	kg
止水壁	鋼矢板 Ⅲ型				31,200	kg	
	溝型鋼 [-300×90×9×13				2,438	kg	
	アンカー筋 D32、タイロッド φ32				1,915	kg	
					35,553	kg	
腹起し	主部材				11,260	kg	
	副部材(A)				2,477	kg	(鋼材×0.22)
	副部材(B)				450	kg	(鋼材×0.04)
	鋼材重量				14,187	kg	
モルタル体積	V＝32.000×0.300×0.050＝0.480 m^3				0.480	m^3	
鋼矢板の撤去	W1＝4.000×60.0×80＝19,200 kg				19,200	kg	
鋼矢板の残置	W2＝2.500×60.0×80＝12,000 kg				12,000	kg	

腹起H300 継手詳細図(参考図)　S=1:25

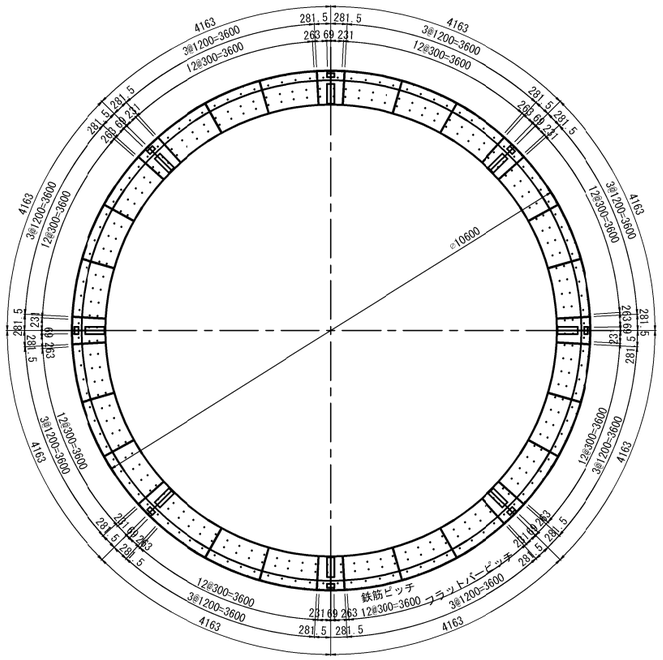
※ 4ヶ所/本 × 4本 = 16ヶ所



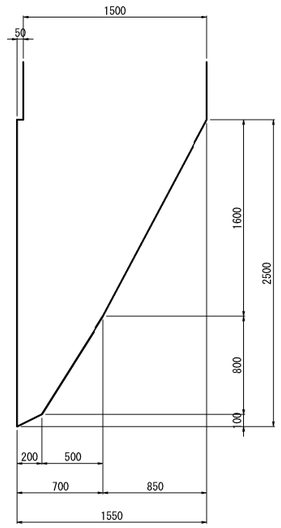
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン止水壁詳細図		
縮　尺	1:250	図面番号	95 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚オープンケーソン刃口金物図　S=1:250

刃口平面図　S=1:125



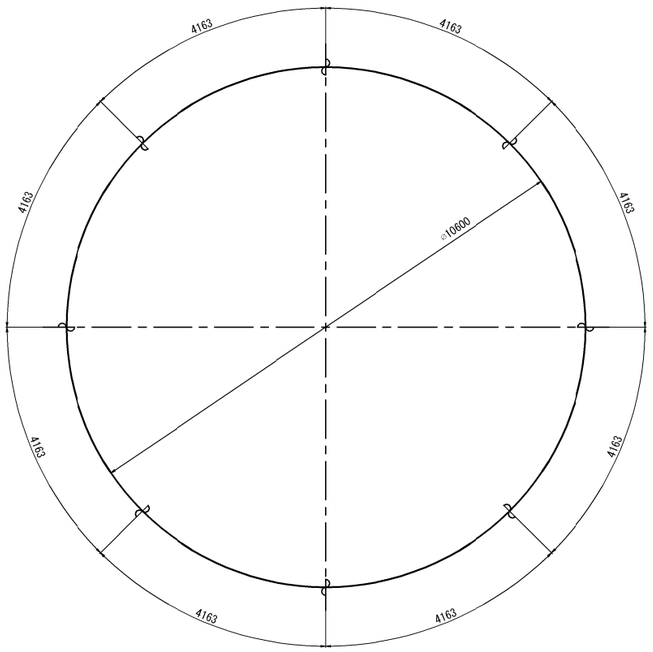
作業室内断面図　S=1:50



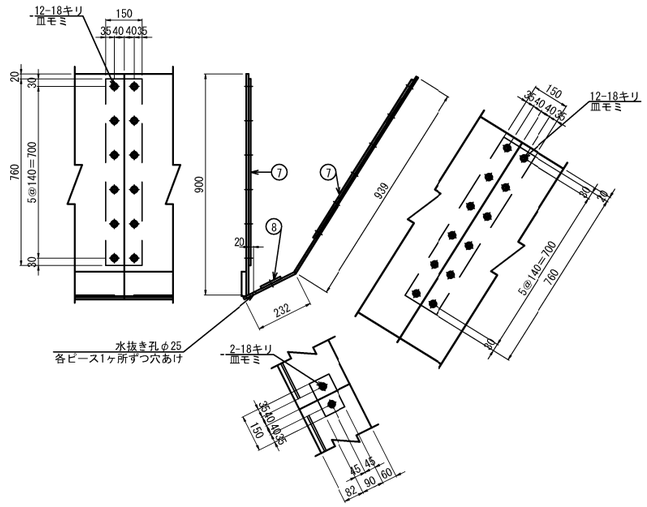
材料表

種別	形状寸法	長さ寸法	数量	1個重	重量	材質	摘要
①	PL-9×900	4168	8	265.0	2120.0	SS400	側板
②	PL-9×232	4168	8	68.3	546.4	〃	底板
③	PL-9×939	4006	8	265.8	2126.4	〃	斜板
④	Fb-19×100	4178	8	62.3	498.4	〃	フラットバー
⑤	Fb-9×100	627	32	4.4	140.8	〃	〃
⑥	〃	377	32	2.7	86.4	〃	〃
⑦	PL-9×900	760	16	8.1	129.6	〃	添接板
⑧	〃	90	8	1.0	8.0	〃	〃
				小計	5656.0kg		
⑨	D-16	600	112	0.936	104.8	SD345	アンカー鉄筋
⑩	〃	〃	112	0.936	104.8	〃	〃
⑪	〃	300	112	0.468	52.4	〃	〃
⑫	〃	200	112	0.312	34.9	〃	〃
				小計	296.9kg		
				合計	5952.9kg		

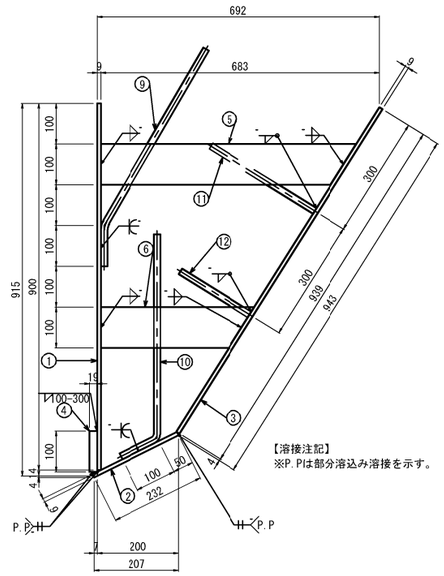
分割図　S=1:125



現場継手部詳細図　S=1:25



断面図　S=1:15

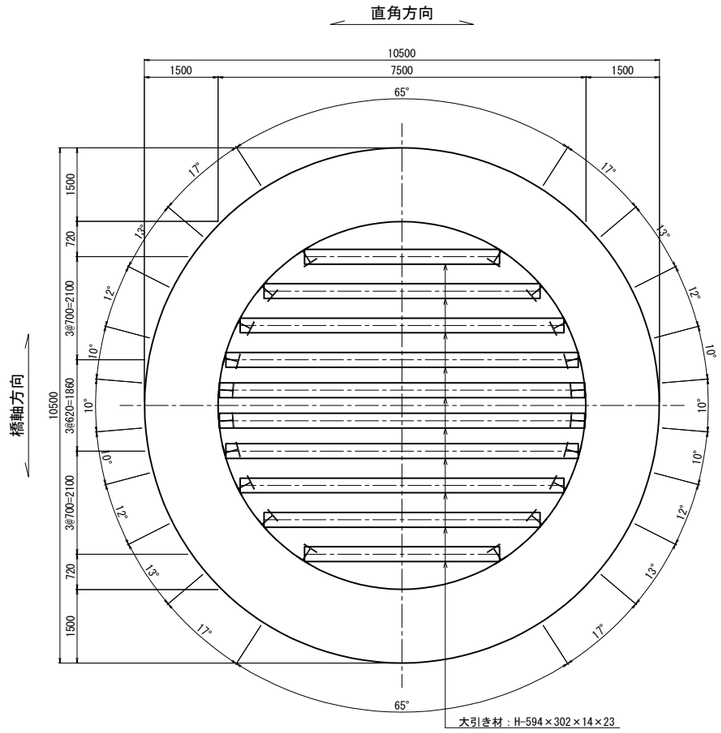


【溶接注記】
※P.Pは部分溶込み溶接を示す。

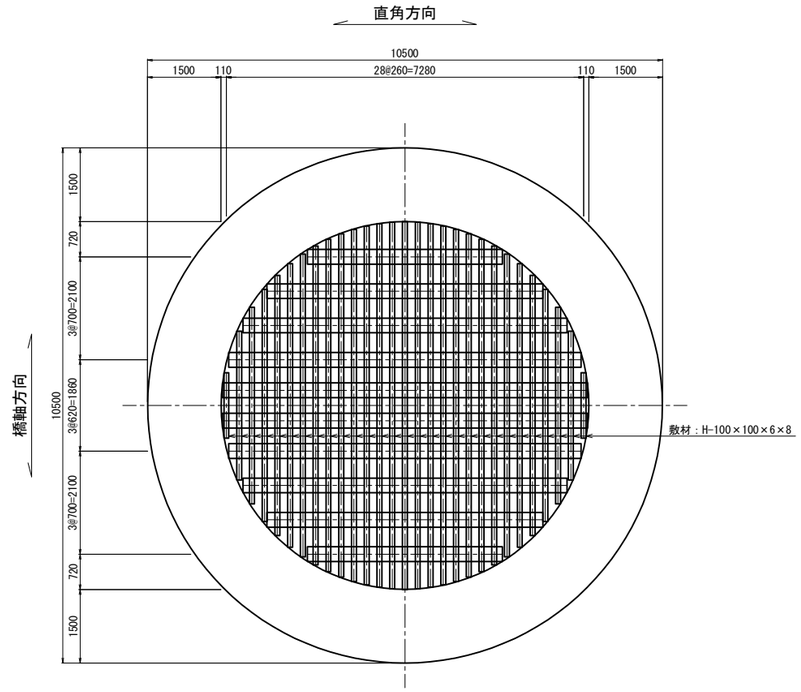
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚 オープンケーソン刃口金物図		
縮　　尺	図 示	図面番号	96 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　P2橋脚オープンケーソン頂版支保工図　S=1:250

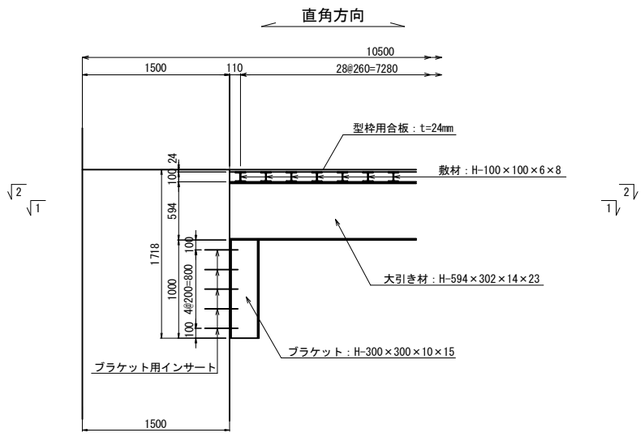
1 － 1



2 － 2



3 － 3



材 料 表

種　別	寸法	長 さ (m)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
大引き材	H-594×302×14×23	7.44	2	170.0	1264.8	2530	SS400
〃	〃	7.18	2	170.0	1220.6	2441	〃
〃	〃	6.60	2	170.0	1122.0	2244	〃
〃	〃	5.63	2	170.0	957.1	1914	〃
〃	〃	3.98	2	170.0	676.6	1353	〃
					小計	10482 kg	
敷　材	H-100×100×6×8	7.50	1	16.9	126.8	127	SS400
〃	〃	7.47	2	16.9	126.2	252	〃
〃	〃	7.41	2	16.9	125.2	250	〃
〃	〃	7.31	2	16.9	123.5	247	〃
〃	〃	7.18	2	16.9	121.3	243	〃
〃	〃	7.00	2	16.9	118.3	237	〃
〃	〃	6.77	2	16.9	114.4	229	〃
〃	〃	6.50	2	16.9	109.9	220	〃
〃	〃	6.17	2	16.9	104.3	209	〃
〃	〃	5.78	2	16.9	97.7	195	〃
〃	〃	5.31	2	16.9	89.7	179	〃
〃	〃	4.73	2	16.9	79.9	160	〃
〃	〃	4.01	2	16.9	67.8	136	〃
〃	〃	3.03	2	16.9	51.2	102	〃
〃	〃	1.34	2	16.9	22.6	45	〃
					小計	2831 kg	
ブラケット	H-300×300×10×15	1.00	20	93.0	93.0	1860	SS400
					小計	1860 kg	
					鋼材合計	15173 kg	

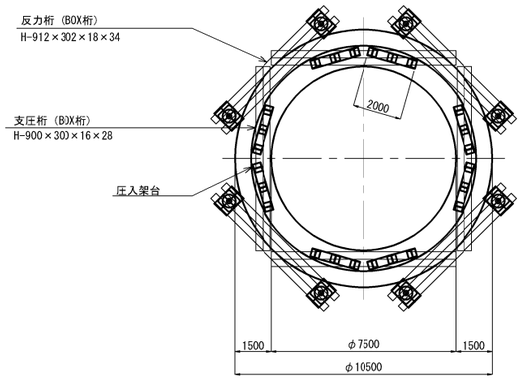
型枠用合板　t＝24mm　A＝44.2m2

ブラケット用インサート（M22　F10T）　L＝300mm　n＝200本（1箇所あたり10本）

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマムJI橋 P2橋脚オープンケーソン頂版支保工図		
縮　尺	図 示	図面番号	97 ／ 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

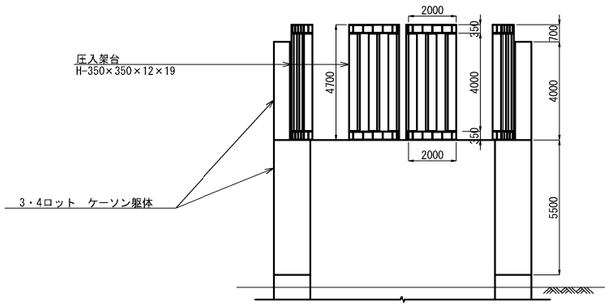
P2橋脚オープンケーソン圧入架台図　S=1:250

圧入架台配置平面図



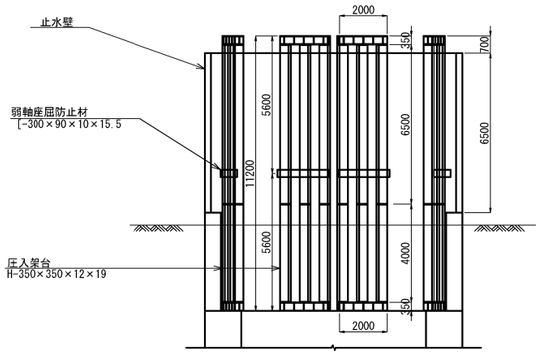
圧入架台配置側面図

3･4ロット施工



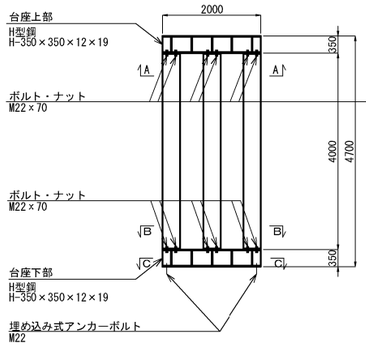
圧入架台配置側面図

止水壁施工

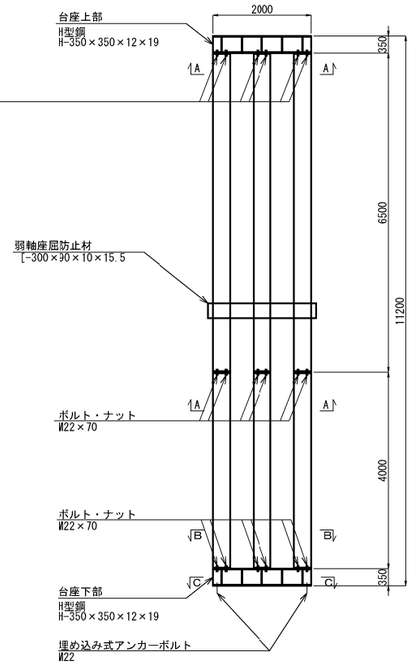


架台部材詳細図　S=1:125

3・4ロット

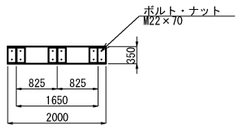


止水壁



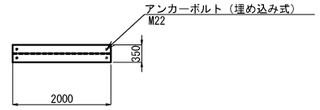
A-A、B-B断面図

3・4ロット、止水壁共通



C-C断面図

3・4ロット、止水壁共通



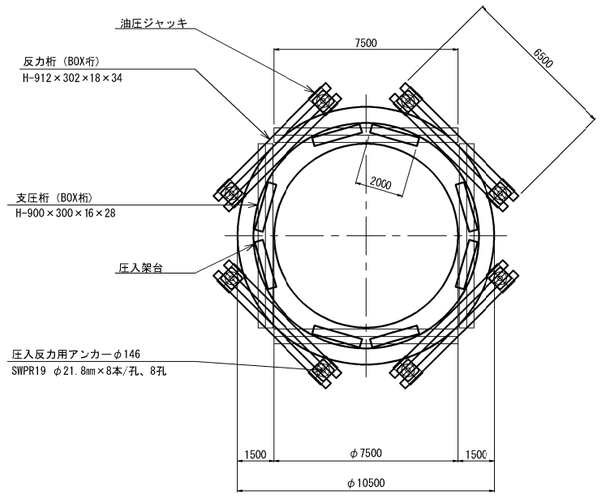
圧入架台数量表

名称	規格	長さ（m）	数量	単位質量	質量（kg）	備考
山留材（柱材）	H-350×350×12×19	6.50	24 本	135 kg/m	21,060	
山留材（柱材）	H-350×350×12×19	4.00	24 本	135 kg/m	12,960	
山留材（台座）	H-350×350×12×19	2.00	16 本	135 kg/m	4,320	上下
	PL-16×312×169		160 枚	6.62 kg/枚	1,059	
座屈防止材	[-300×90×10×15.5	2.20	8 本	43.8 kg/m	771	
ボルト・ナット	M22×70		288 組			
ｱﾝｶｰ・ﾎﾞﾙﾄ	M22（埋め込み式）		32 組			ｱﾝｶｰ,ﾎﾞﾙﾄｾｯﾄ
計					40,170	

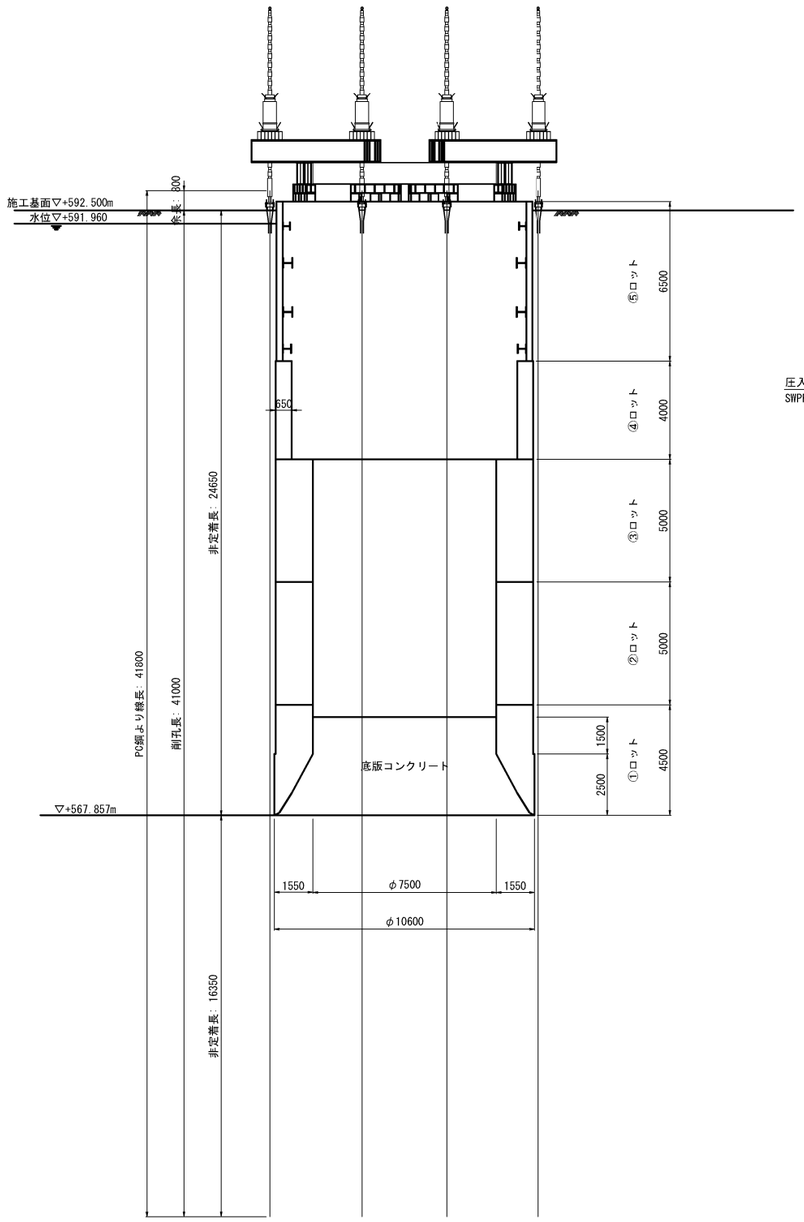
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン圧入架台図		
縮　尺	図 示	図面番号	98 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

P2橋脚オープンケーソン圧入装置図　S=1:250

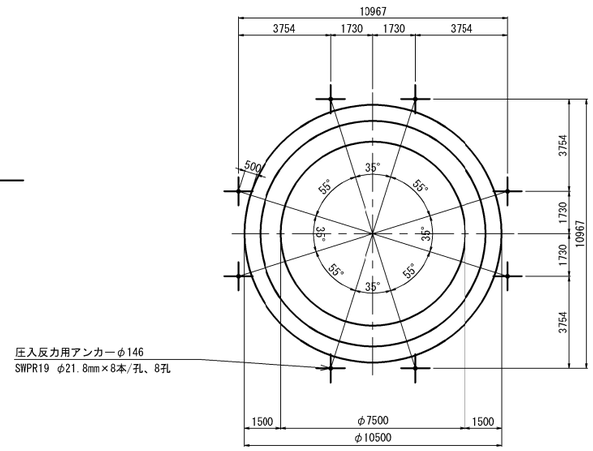
平面図
(3～5ロット時)



断面図



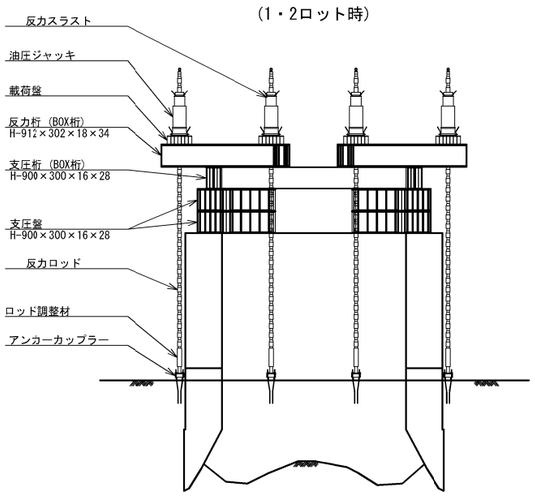
圧入反力用アンカー位置図



圧入反力用アンカー仕様表(参考)

項目	単位	数量	備考
設計耐力	kN	2,850	
打設本数	本	8	φ146mm
削孔径	mm	146	
削孔長	m	41.000	
定着長	m	16.350	
非定着長	m	24.650	
鋼線長	m	41.800	余長 0.80m
テンドン構成	本/孔	8	φ21.8mm

圧入機材配置側面図
(1・2ロット時)



圧入機材数量表(参考)

名 称	能 力	数 量	単位質量	質量(kg)	備 考
油圧パワーユニット	69 MPa	1 台	2,700 kg/台	2,700	
油圧ジャッキ	3,000 kN	8 台	900 kg/台	7,200	
反力スラスト	3,000 kN	8 台	555 kg/台	4,440	
載荷盤	3,000 kN	8 台	350 kg/台	2,800	
反力ロッド	3,000 kN	88 本	150 kg/本	13,200	
ロッド調整材	3,000 kN	8 本	160 kg/本	1,280	
アンカーカップラー		8 個	205 kg/個	1,640	φ21.8x8本
油圧ホース		480 m			φ9mm
合 計				33,260	

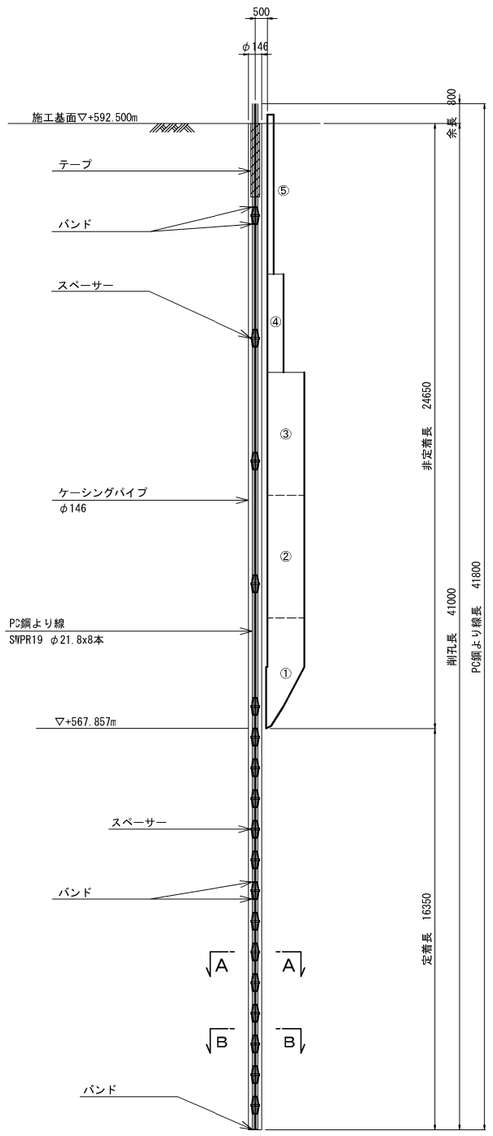
圧入桁数量表(参考)

名 称	呼 名	長さ(m)	数 量	単位質量	質量(kg)	備 考
反 力 桁	H-912x302x18x34	6.500	8 本	283 kg/m	14,716	
補 強 材	PL-16x844x6500		16 枚	689 kg/枚	11,024	垂直補剛材
支 圧 桁	H-900x300x16x28	7.500	8 本	240 kg/m	14,400	
補 強 材	PL-19x844x7500		16 枚	795 kg/枚	12,720	垂直補剛材
支 圧 盤	H-900x300x16x28	2.000	16 本	240 kg/m	7,680	
補 強 材	PL-16x844x1420		160 枚	15.05 kg/枚	2,408	垂直補剛材
合 計					62,948	

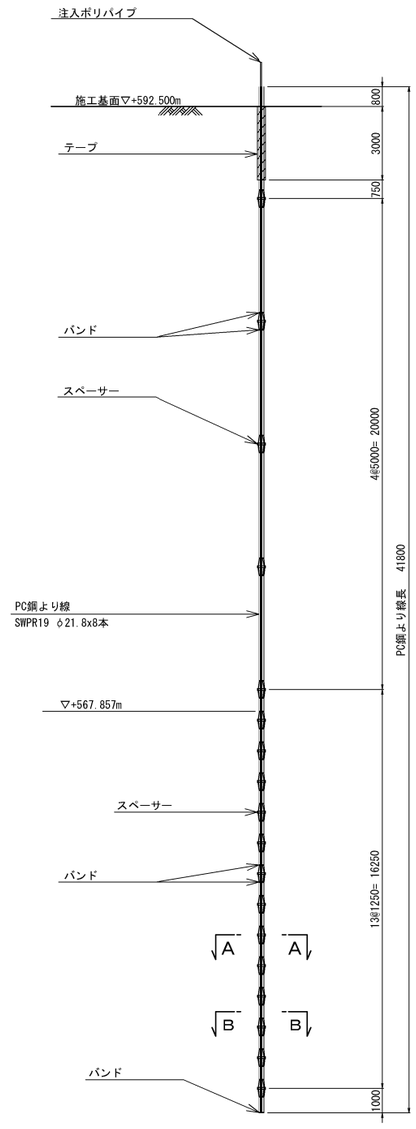
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン圧入装置図		
縮　尺	図 示	図面番号	99 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

P2橋脚オープンケーソン圧入反力用アンカー図　S=1:250

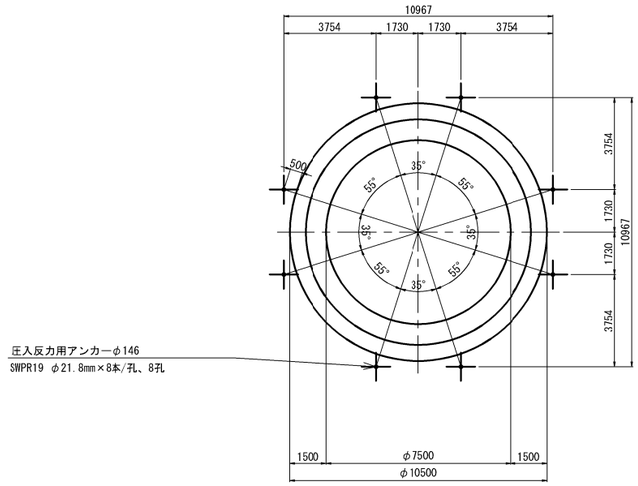
断　面　図



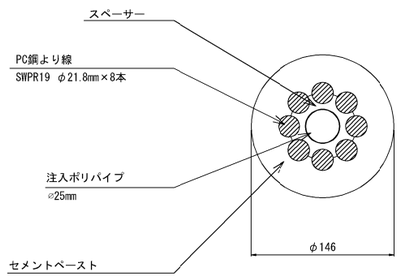
PC鋼より線組立図



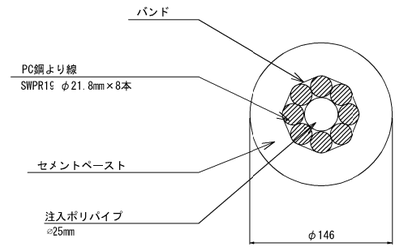
アンカー位置平面図



アンカー体Ａ−Ａ断面図　S=1:6.25



アンカー体Ｂ−Ｂ断面図　S=1:6.25



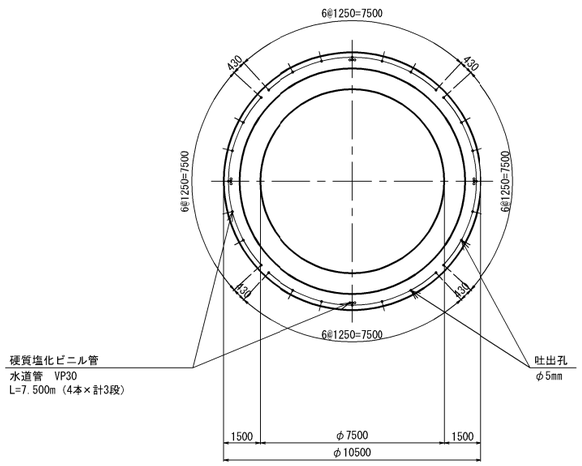
圧入反力用アンカー数量表

名　称	呼　名	長さ（m）	数量	単位質量	質量（kg）	備　考
PC鋼より線	SWPR19　φ21.8mm	41.80	64　本	2.482　Kg/m	6,640	
スペーサー			144　個			
バンド			296　個			
注入ポリパイプ		42.80	8　本			鋼線長＋1.0m

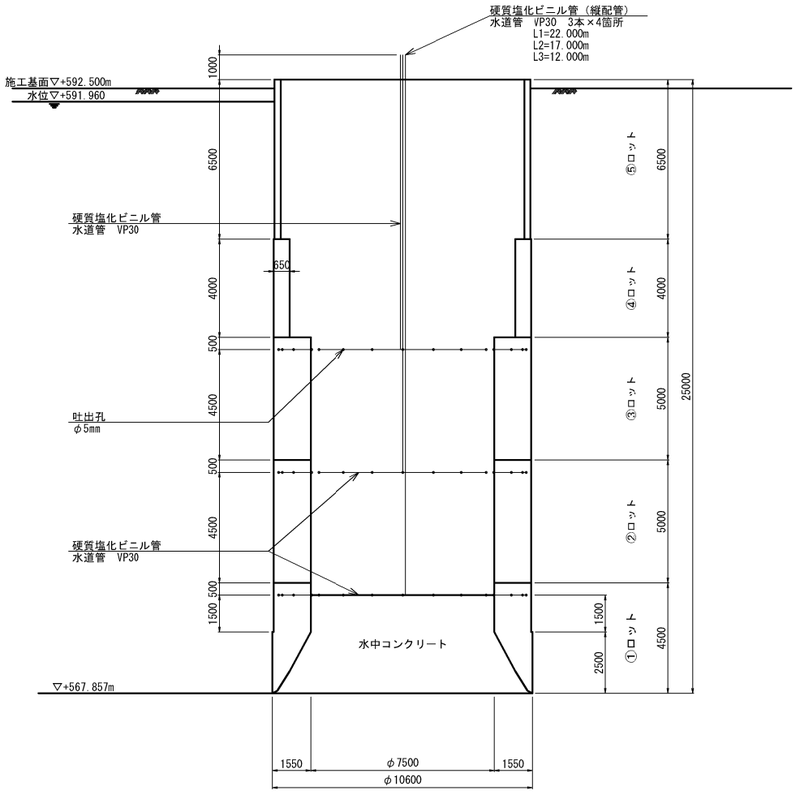
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン圧入反力用アンカー図		
縮　　尺	図 示	図面番号	100 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

P2橋脚オープンケーソン注入配管図　S=1:250

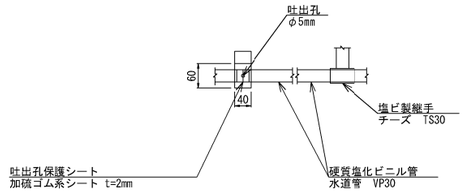
平面図

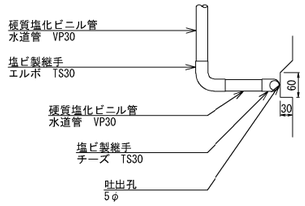


断面図



配管詳細図





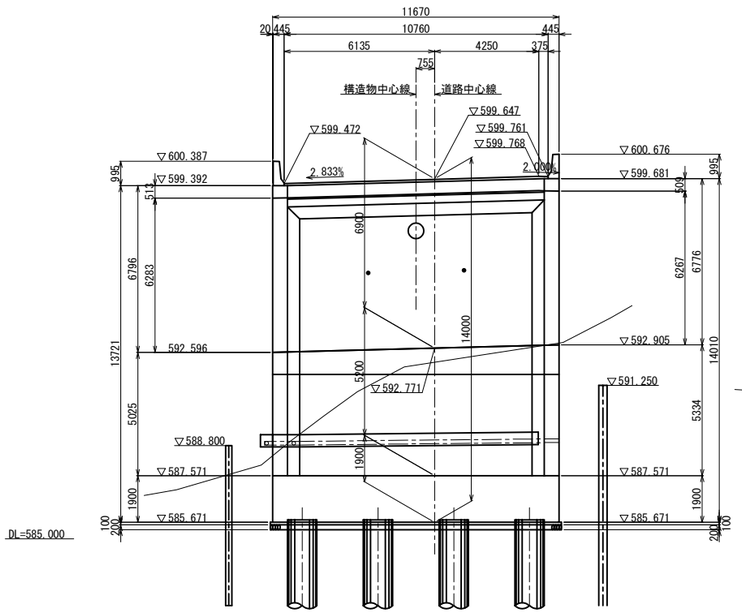
材料表

名称	規格		単位	数量	備考
硬質塩化ビニル管	水道管	VP30	m	294	(22.0+17.0+12.0)×4 +7.5×4×3
塩ビ製継手	チーズ	TS30	個	12	
	ソケット	TS30	個	60	
	キャップ	TS30	個	24	
	バルブソケット	TS30	個	12	
	エルボ 90°	TS30	個	12	
吐出孔	5φ		箇所	84	
吐出保護シート	加硫ゴム系シート　t=2mm		m2	0.84	100×100×84

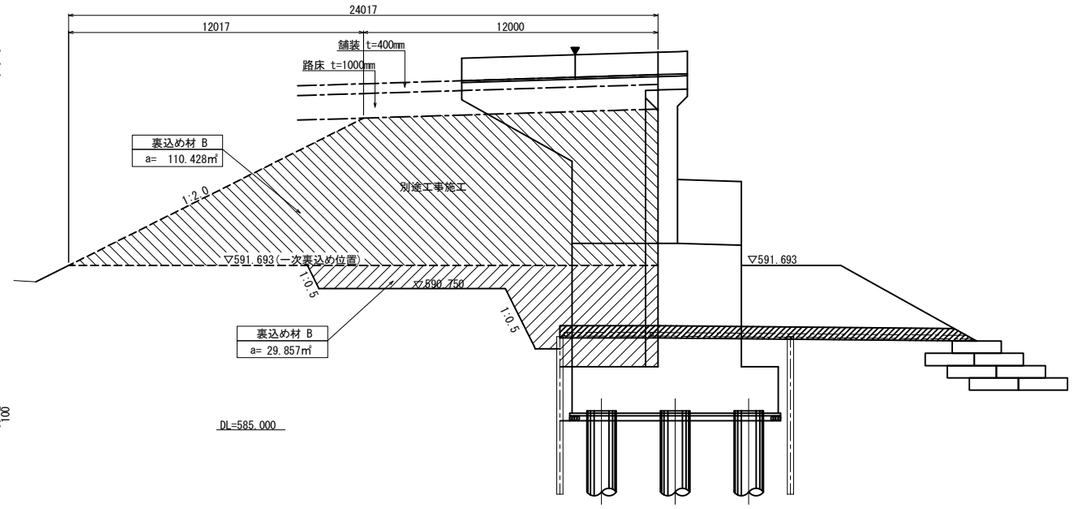
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P2橋脚オープンケーソン注入配管図		
縮　尺	図 示	図面番号	101 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A1橋台裏込め工詳細図　S=1:250

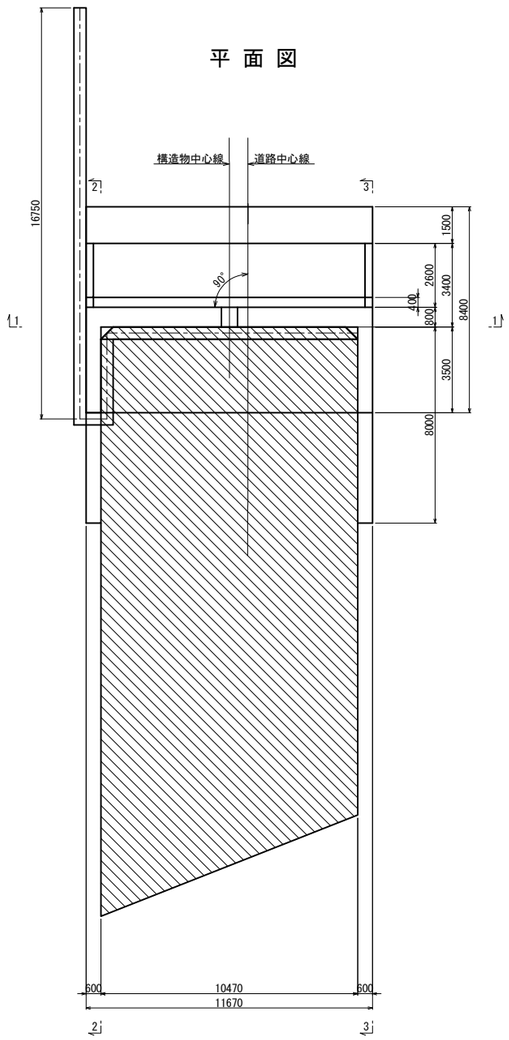
背 面 図
1-1



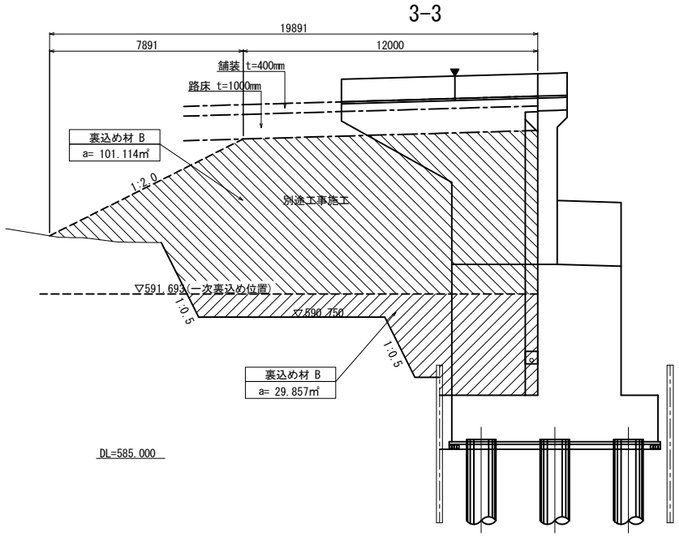
左側ウイング側面図
2-2



平 面 図



右側ウイング側面図
3-3



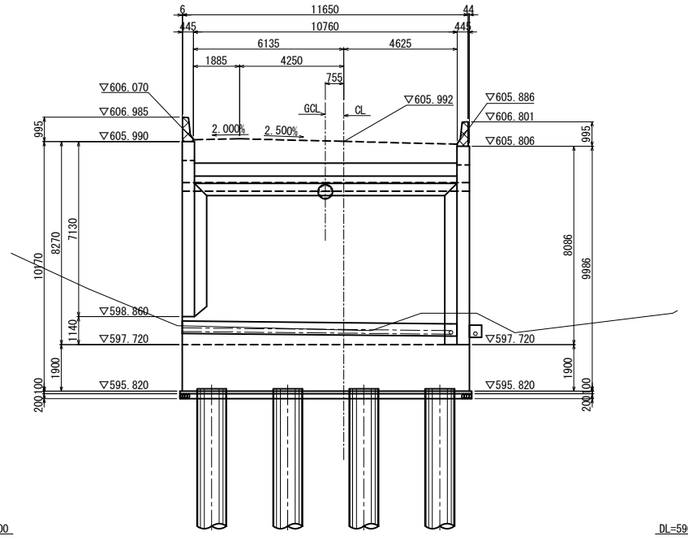
材 料 表

項　目	種　　別	単位	数　量	摘　要
構造物裏込め工	裏込め工B	m^3	312.6	

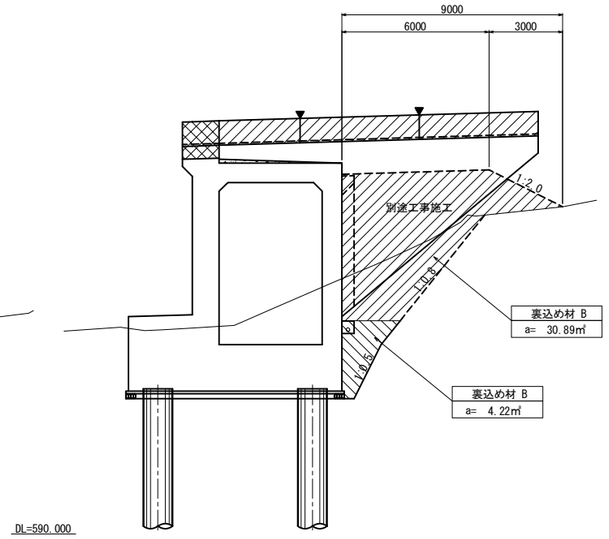
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台裏込め工詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	102 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋　A2橋台裏込め工詳細図　S=1:250

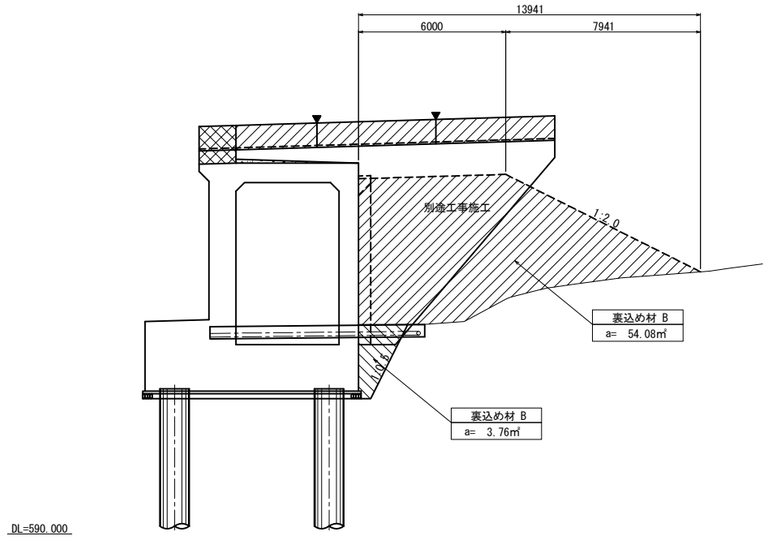
背 面 図
1-1



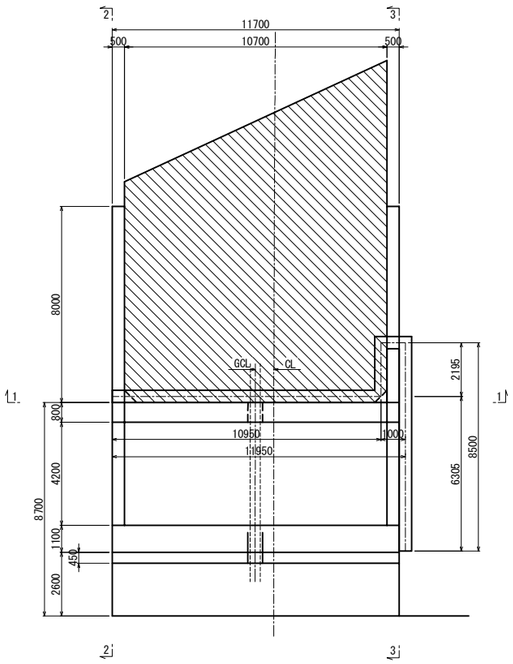
左側ウイング側面図
2-2



右側ウイング側面図
3-3



平 面 図



材 料 表

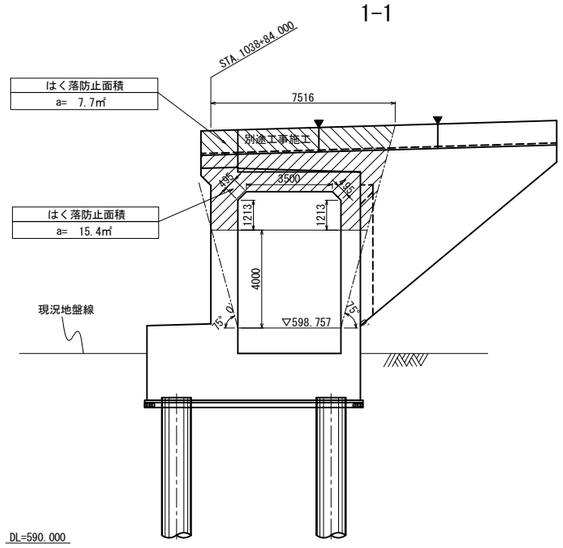
項　目	種　　別	単位	数　量	摘　要
構造物裏込め工	裏込め工B	m^3	42.7	

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A2橋台裏込め工詳細図		
縮　　尺	図示	図面番号	103 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

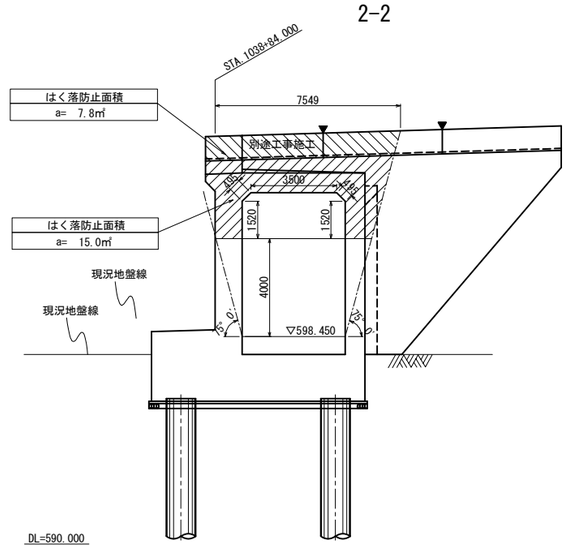
トマム川橋　はく落防止対策工詳細図　S=1:250

A2橋台

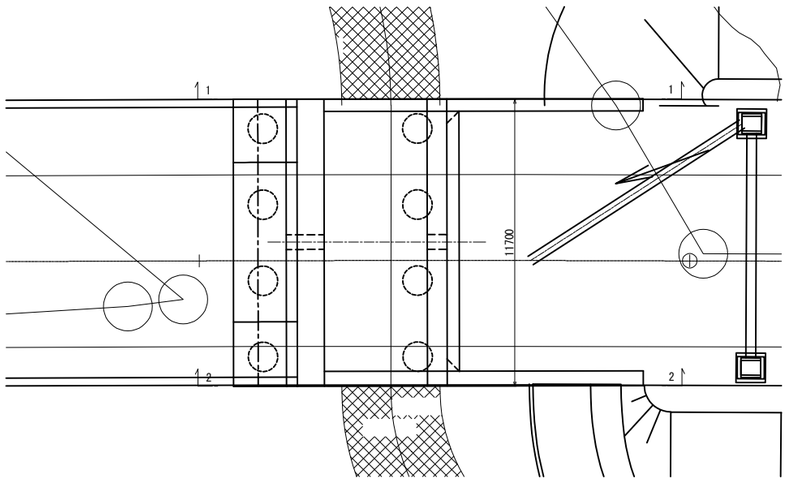
左側側面図
1-1



右側側面図
2-2



平面図



数量表

はく落防止対策工（連続繊維シート）		単位	数量	合計
はく落防止面積（下部工施工）	左側側面図	m2	15.4	114.9
	内空	〃	84.5	
	右側側面図	〃	15.0	

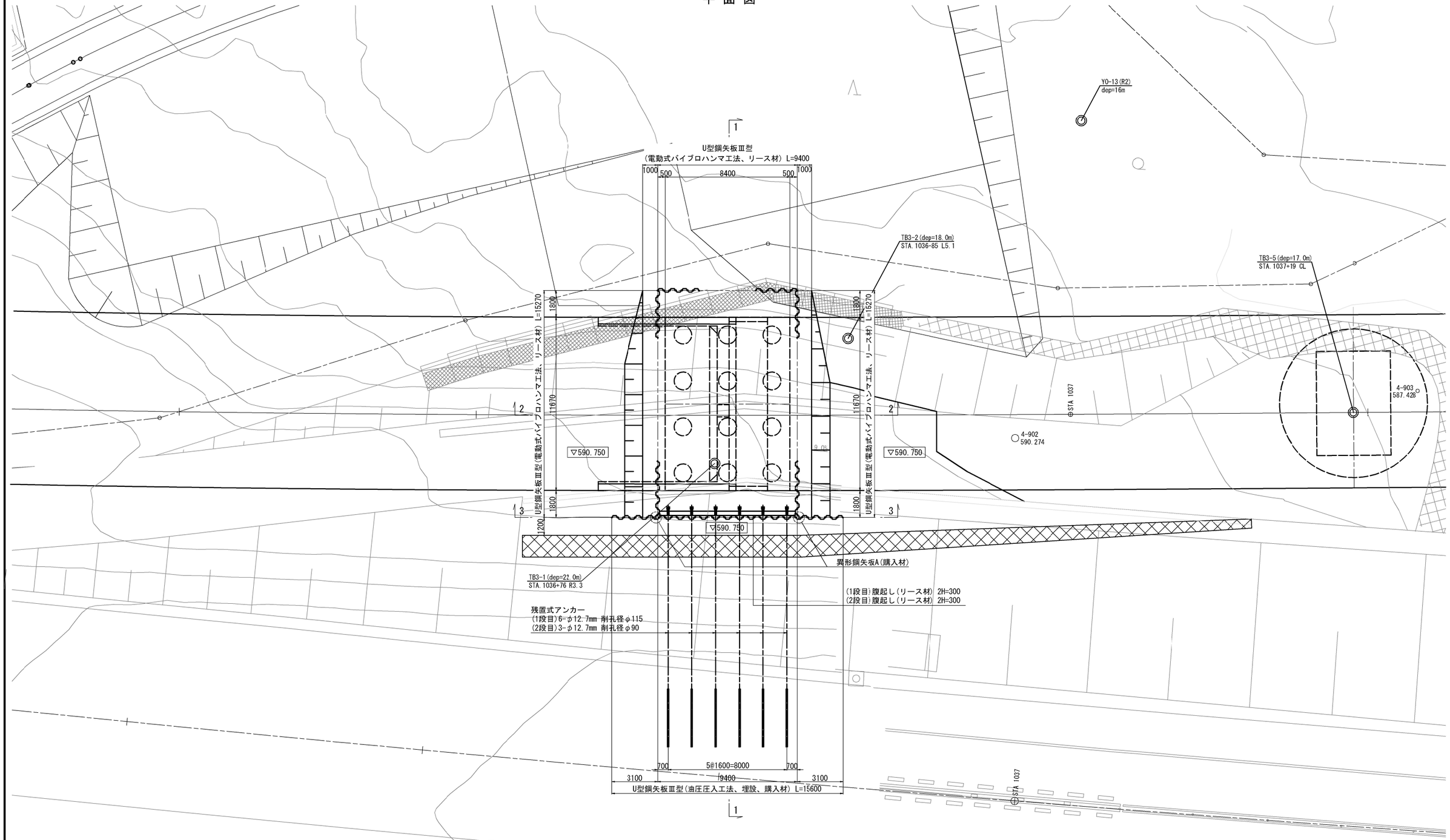
注記）

※ ハッチング部 ▨ ははく落対策範囲を示す。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 はく落防止対策工詳細図		
縮　　尺	1:250	図面番号	104 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋 A1橋台仮設土留め工詳細図(その1)　S = 1:250

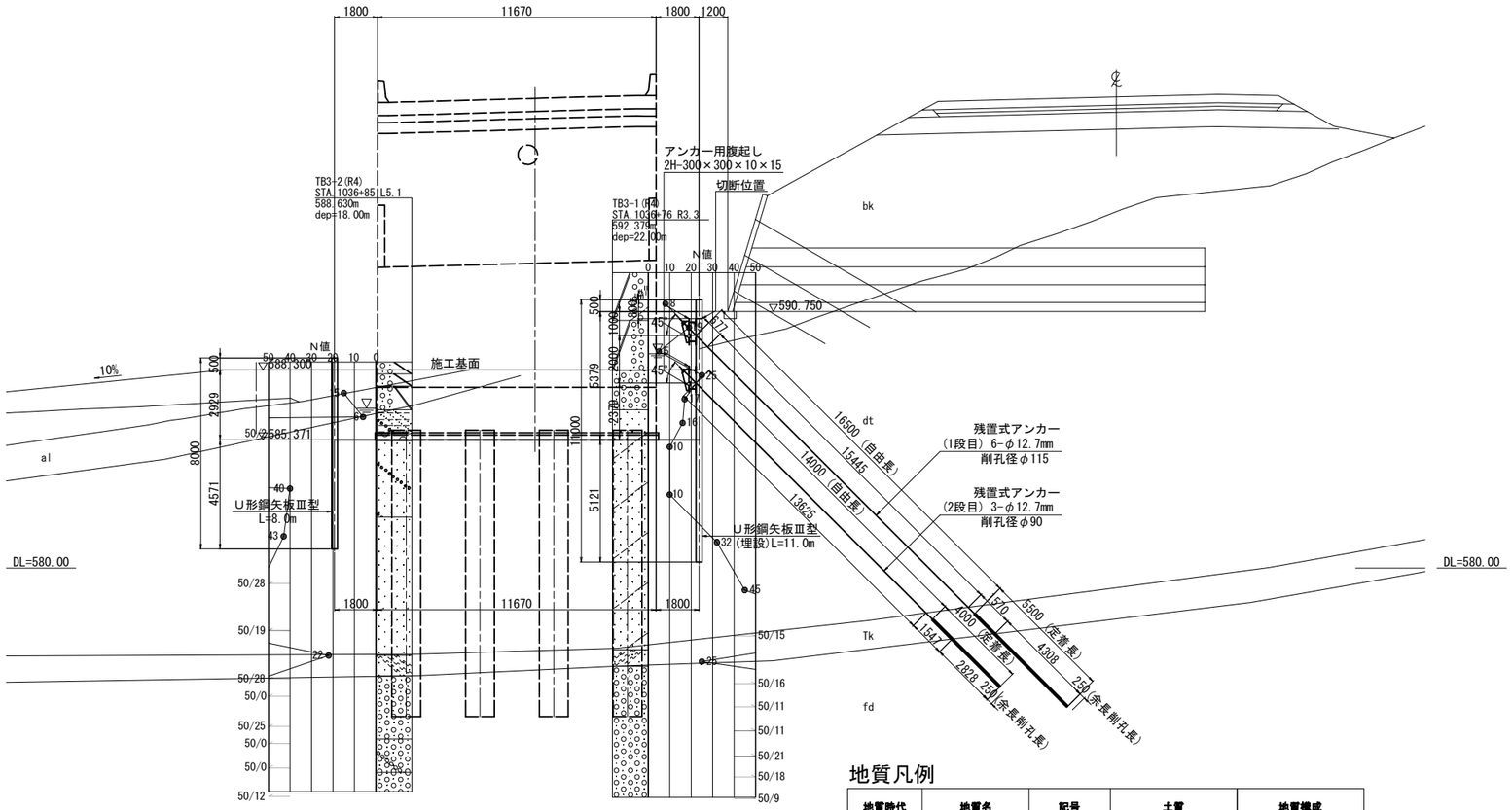
平 面 図



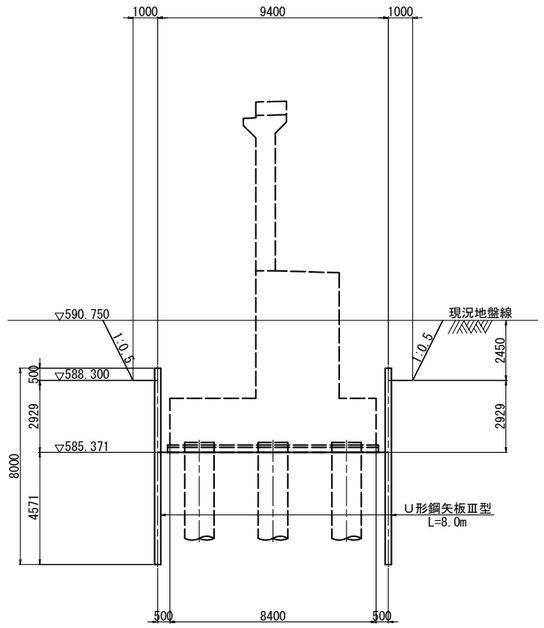
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台仮設土留め工詳細図(その1)		
縮　　尺	図 示	図面番号	105 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋 A1橋台仮設土留め工詳細図(その2)　S = 1:250

断面図(1-1)

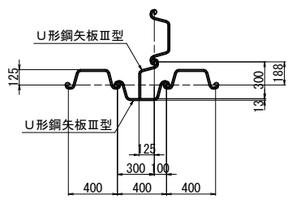


断面図(2-2)



異形鋼矢板断面図 S = 1:50

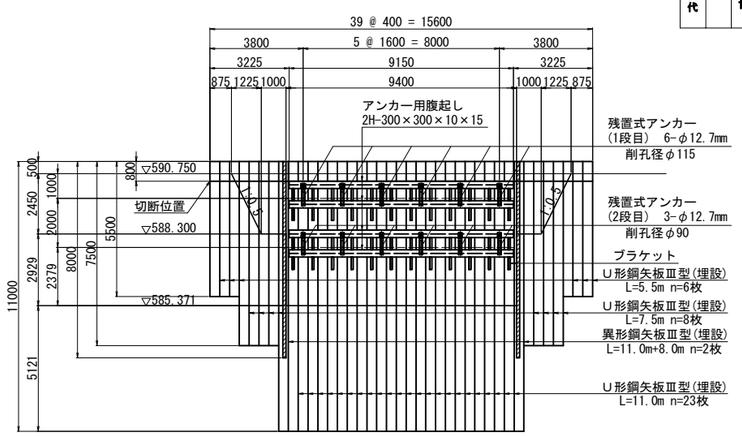
異形鋼矢板A



地質凡例

地質時代			地質名	記号	土質	地質構成
新世代	第四紀	完新世	盛土	bk	砂質土	礫・砂・シルト・粘土
			現河床堆積物・氾濫原堆積物	al	砂質土	円礫・砂
		更新世	岩屑堆積物・山麓緩斜面堆積物	dt	砂質土	礫・砂・シルト・粘土
			十勝火砕流堆積物	Tk	砂質土	火山灰・軽石・礫・砂・シルト
			古期扇状地堆積物	fd	砂礫	礫・砂・粘性土

断面図(3-3)



断面図(1-1) 部材リスト

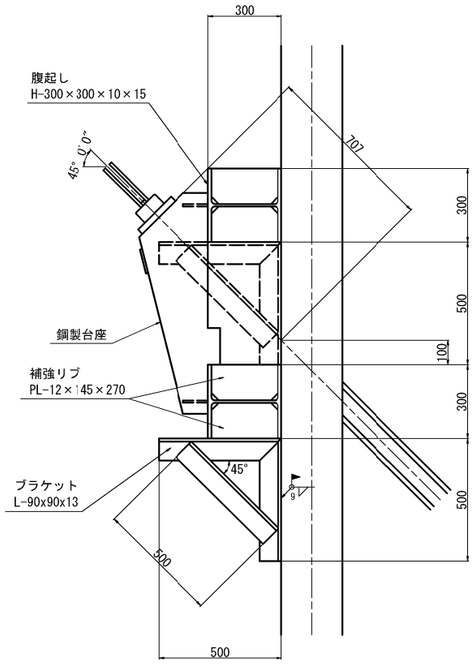
鋼矢板	U形鋼矢板Ⅲ型	
腹　起	2H-300x300x10x15	1段目
	2H-300x300x10x15	2段目
グラウンドアンカー	PC鋼より線 φ12.7mm 6本、打設角度45度、設置間隔 @1.60m 削孔径 φ115、定着長 L=5.50m、設計アンカー力 552kN	1段目
	PC鋼より線 φ12.7mm 3本、打設角度45度、設置間隔 @1.60m 削孔径 φ90、定着長 L=4.00m、設計アンカー力 283kN	2段目

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台仮設土留め工詳細図(その2)		
縮　尺	図 示	図面番号	106 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

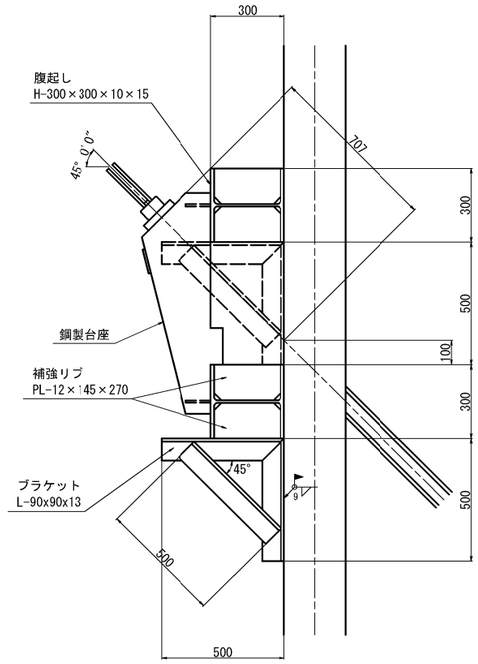
トマム川橋 A1橋台仮設土留め工詳細図(その3) S = 1:250

アンカー取付部詳細図 S = 1:25

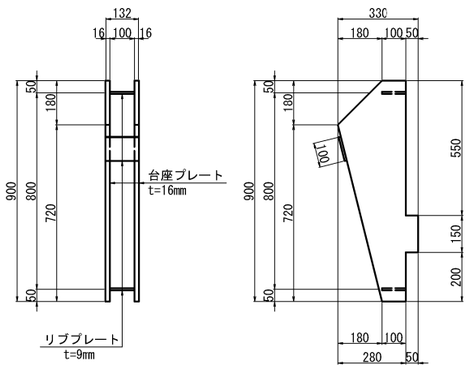
1段目(H-300)



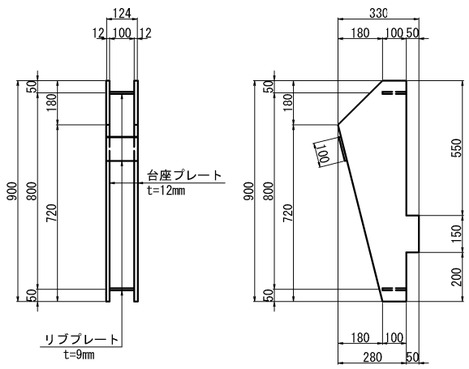
2段目(H-300)



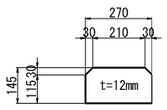
1段目台座



2段目台座

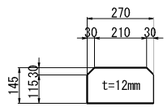


補強リブ



※補強リブは台座1箇所に8ヶ使用する。

補強リブ



※補強リブは台座1箇所に8ヶ使用する。

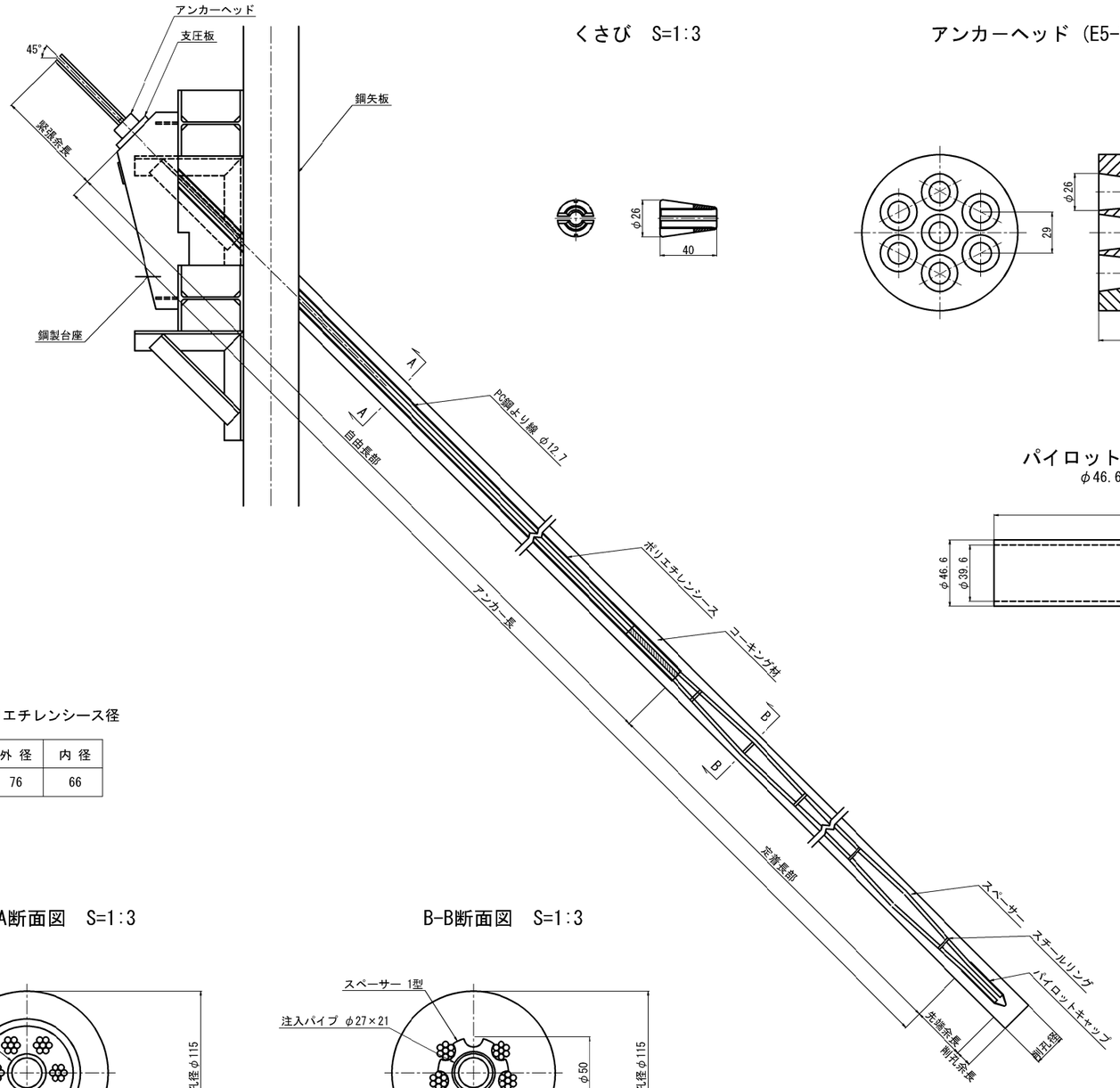
材料表

種別	断面 (mm)	長さ (m)	単位質量 (kg/m)	一部材当り (kg)	数量 (枚)	質量計 (kg)	材質	摘要
鋼矢板(購入材)								
鋼矢板	Ⅲ型	11.0	60.0	660.0	23	15 180	SY295	
〃	〃	7.5	60.0	450.0	8	3 600	〃	
〃	〃	5.5	60.0	330.0	6	1 980	〃	
				合計	37	20 760		
異形鋼矢板(購入材)								
鋼矢板	Ⅲ型	11.0	60.0	660.0	2	1 320	SY295	
〃	〃	8.0	60.0	480.0	2	960	〃	
				合計	4	2 280		
鋼矢板(リース材)								
鋼矢板	Ⅲ型	8.0	60.0	480.0	100	48 000	SY295	
				合計	100	48 000		
支保工								
種別	断面 (mm)	長さ (m)	単位質量 (kg/m)	一部材当 (kg)	数量 (枚)	質量計 (kg)	材質	摘要
腹越し	H-300×300×10×15	9.15	93.0	851.0	4	3 404	SS400	リース材
				合計	4	3 404		
グラウンドアンカー工								
種別	断面 (mm)	自由長 (m)	定着長 (m)	全長 (m)	数量 (枚)	総延長 (m)	材質	摘要
アンカー材	6×φ12.7mm	16.5	5.5	22.0	6	132.0	PC鋼より線	残置式
	3×φ12.7mm	14.0	4.0	18.0	6	108.0	〃	〃
				合計	12	240.0		
鋼製台座(1段目)								
種別	断面 (mm)	長さ (m)	単位質量 (kg/m)	一部材当 (kg)	数量 (枚)	質量計 (kg)	材質	摘要
鋼製台座	t=16mm			47.0	6	282	SS400	全損
ブラケット	L-90×90×13			27.0	24	648	〃	〃
補強リブ	PL-145×12	0.270	13.7	3.7	48	178	〃	〃
				合計		1 108		
鋼製台座(2段目)								
種別	断面 (mm)	長さ (m)	単位質量 (kg/m)	一部材当 (kg)	数量 (枚)	質量計 (kg)	材質	摘要
鋼製台座	t=12mm			36.0	6	216	SS400	全損
ブラケット	L-90×90×13			27.0	24	648	〃	〃
補強リブ	PL-145×12	0.270	13.7	3.7	48	178	〃	〃
				合計		1 042		
種別	断面 (mm)	長さ (m)	単位質量 (kg/m)	一部材当 (kg)	数量 (枚)	質量計 (kg)	材質	摘要
ガス切断	鋼矢板Ⅲ型				41箇所			
スクラップ	鋼矢板Ⅲ型	0.8	60.0	48.0	41	1 968	SY295	

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台仮設土留め工詳細図(その3)		
縮　尺	図 示	図面番号	107 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

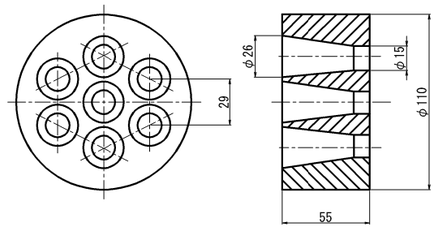
トマム川橋 A1橋台仮設土留め工詳細図(その4) S = 1:250

(残置式アンカー参考図 6×φ12.7mm)

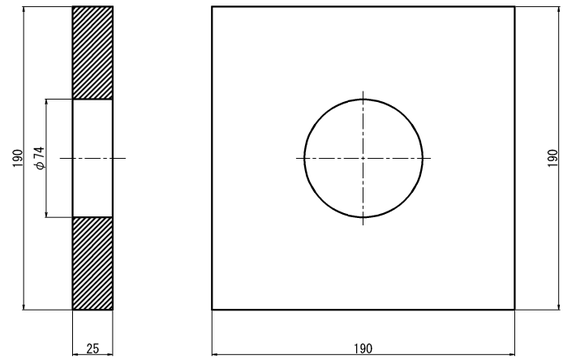


くさび S=1:3

アンカーヘッド (E5-7) S=1:3

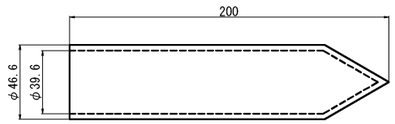


支圧板 (E5-7) S=1:3



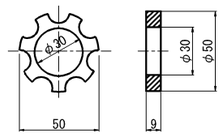
パイロットキャップ 2型 S=1:3

φ46.6/39.6×200



スペーサー 1型 S=1:3

φ50×9

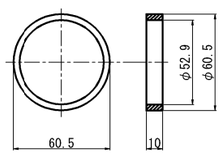


ポリエチレンシース径

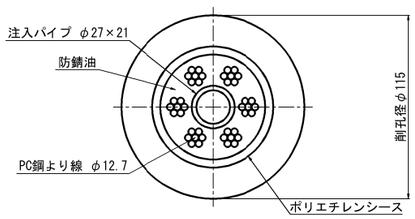
外 径	内 径
76	66

スチールリング 2型 S=1:3

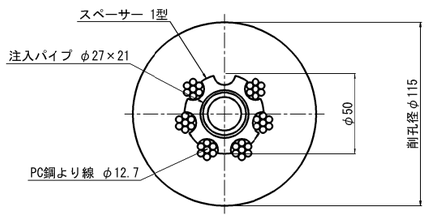
φ60.5×10



A-A断面図 S=1:3



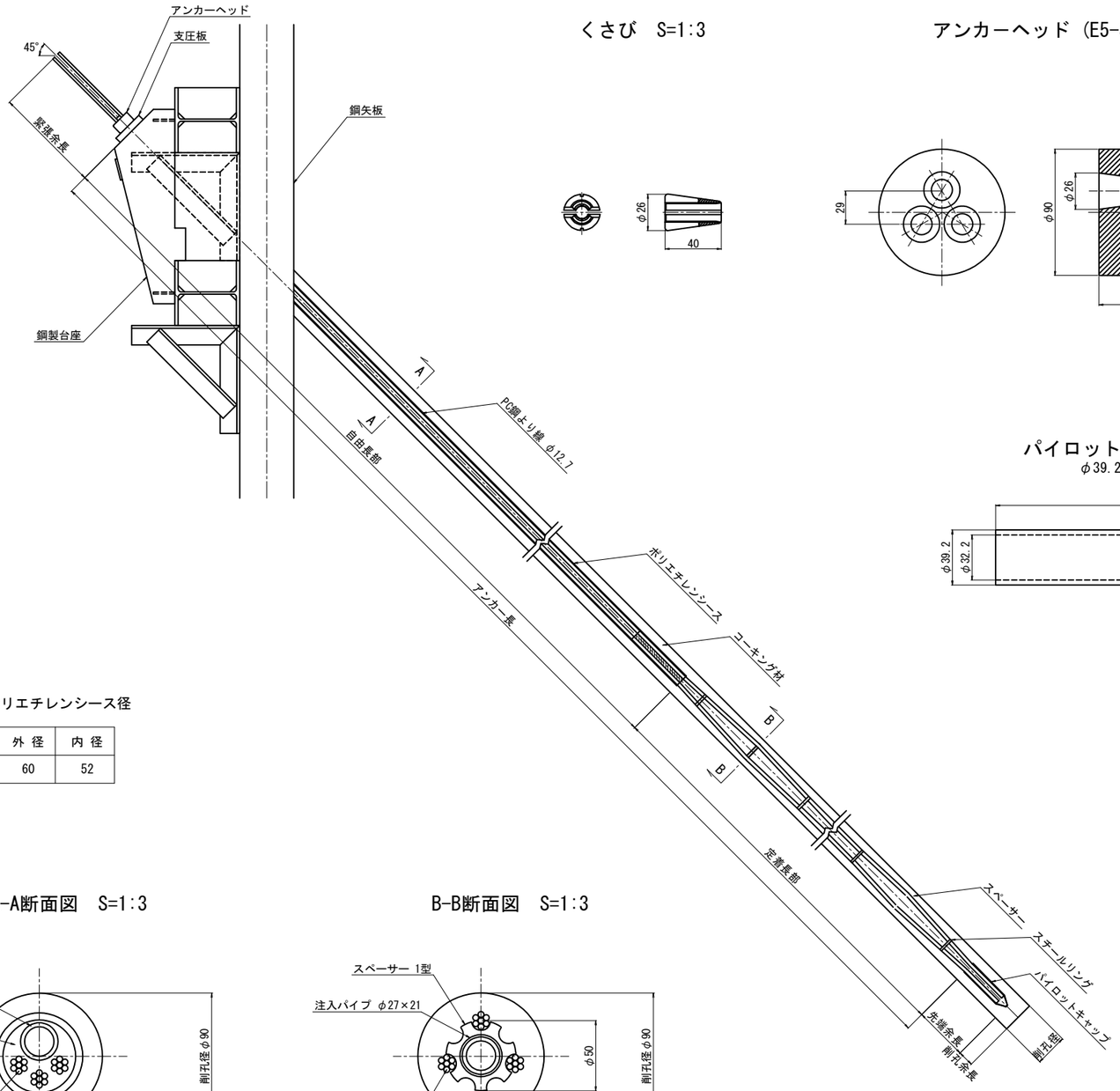
B-B断面図 S=1:3



道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台仮設土留め工詳細図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	108 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

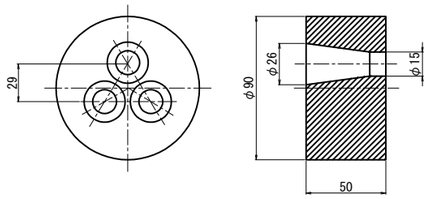
トマム川橋 A1橋台仮設土留め工詳細図(その5)　S = 1:250

(残置式アンカー参考図 3×φ12.7mm)

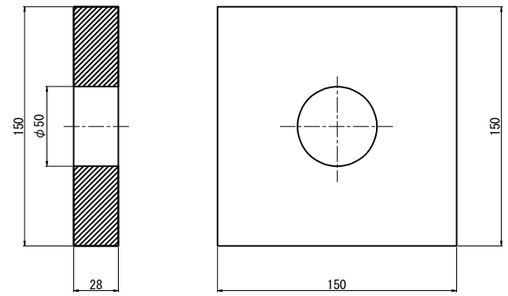


くさび　S=1:3

アンカーヘッド (E5-3) S=1:3

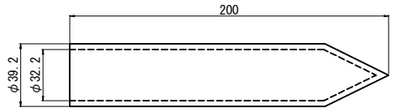


支圧板 (E5-3N) S=1:3



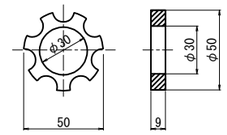
パイロットキャップ 1型 S=1:3

φ39.2/32.2×200



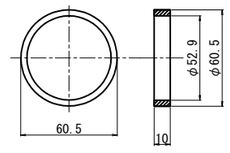
スペーサー 1型　S=1:3

φ50×9



スチールリング 2型　S=1:3

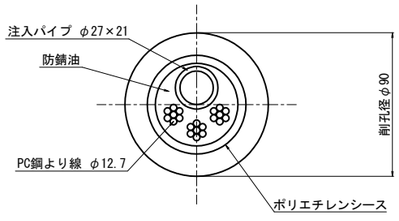
φ60.5×10



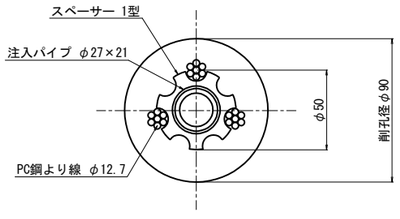
ポリエチレンシース径

外 径	内 径
60	52

A-A断面図　S=1:3



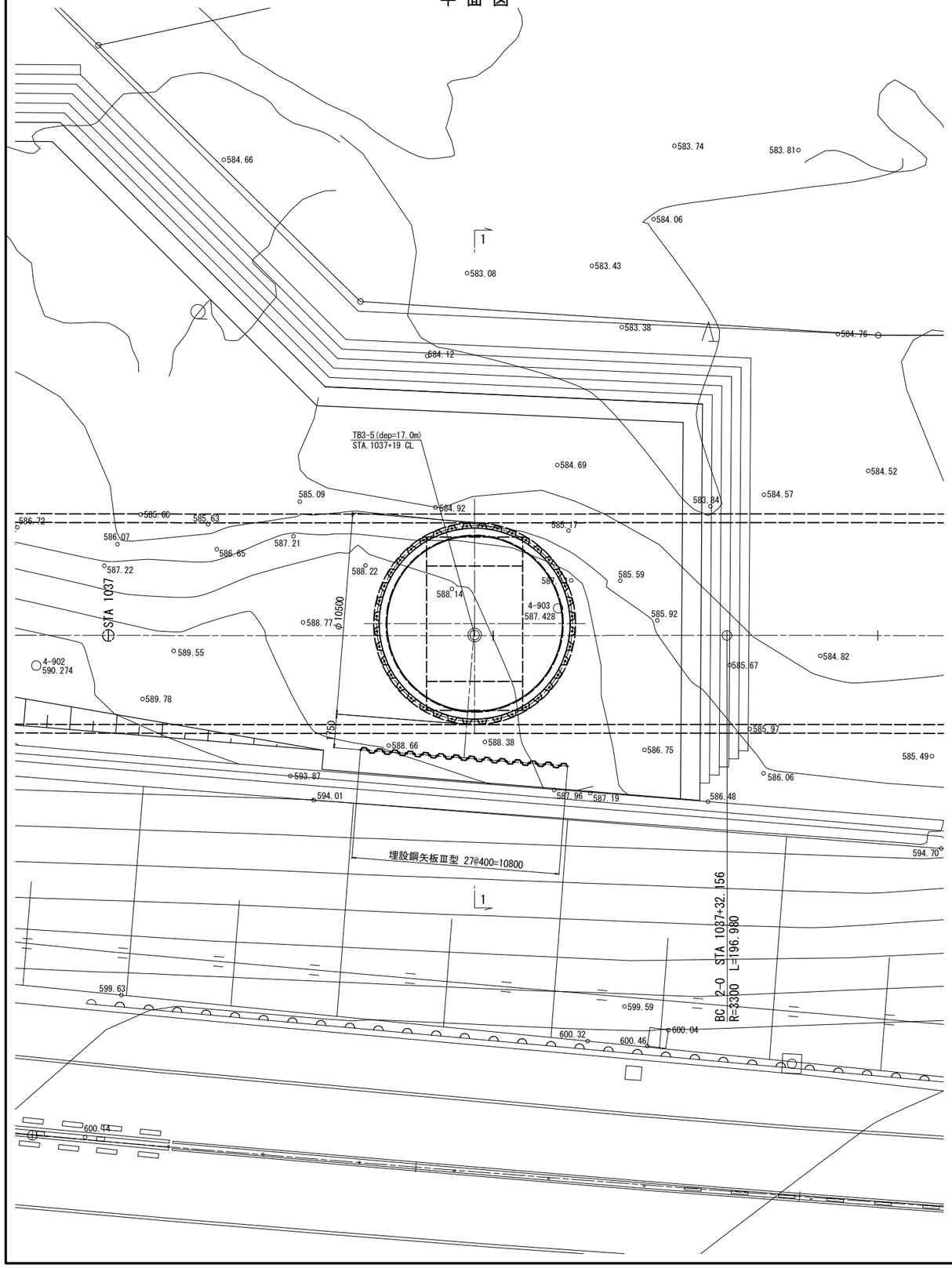
B-B断面図　S=1:3



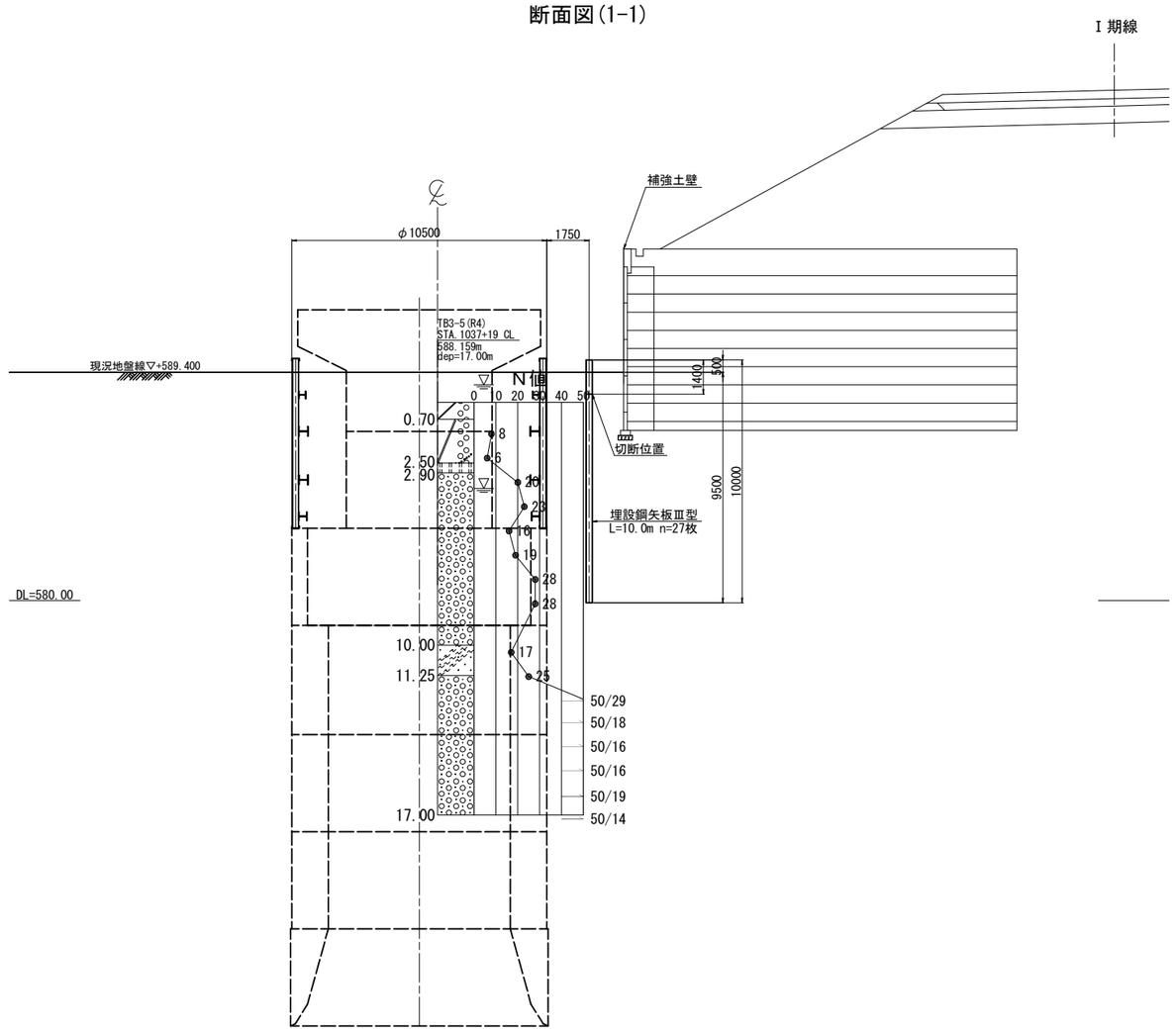
道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 A1橋台仮設土留め工詳細図(その5)		
縮　　尺	図 示	図面番号	109 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

トマム川橋 P1橋脚仮設土留め工詳細図 S = 1:250

平 面 図



断面図(1-1)



材料表

種別	断面 (mm)	長さ (m)	単位質量 (kg/m)	一部材当り (kg)	数量 (枚)	質量計 (kg)	材質	摘要
鋼矢板(購入材)								
鋼矢板	Ⅲ型	10.0	60.0	600.0	27	16 200	SY295	残置(全損)
				合計	27	16 200		
ガス切断	鋼矢板Ⅲ型				27箇所			
スクラップ	鋼矢板Ⅲ型	1.4	60.0	84.0	27	2 268	SY295	

※鋼矢板の施工工法は油圧圧入工法とする。

道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事			
図面の種類	トマム川橋 P1橋脚仮設土留め工詳細図		
縮　　尺	図 示	図面番号	110 / 110
設計会社名	八千代エンジニヤリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		